Panasonic®

TH-65AX800

VIERA ビエラ 操作ガイド

A0414-2114

まずお読みください

ビエラ操作ガイドについて

お使いになる前に

リモコンボタンの名称とはたらき

音声タッチパッドリモコンを使う

操作がわからなくなったときや、戻りたいときは

「マイホーム」を使う

「マイ ホーム」画面を操作する

いろいろな機能を設定する

リモコンが反応しない、リモコンで操作できない

ＳＤメモリーカードが再生できない

アクトビラが動かない、つながらない

録画ができない、予約が実行されない

再生ができない、録画した番組が消える

番組表が出ない、表示がおかしい

接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない

外部機器に関するメッセージが表示される

録画や再生に関するメッセージが表示される

ネットで使い方ガイドなどに関するメッセージが表示される

くらし機器に関するメッセージが表示される

アクトビラの機能に関するＱ＆Ａ集

アクトビラの動作に関するＱ＆Ａ集

くらし機器に関するＱ＆Ａ集

お部屋ジャンプリンクに関するＱ＆Ａ集

英字ではじまる機能や操作に関する用語集

「Ａ～Ｃ」ではじまる用語

「Ｄ」ではじまる用語

「Ｅ～Ｉ」ではじまる用語

「Ｊ～Ｐ」ではじまる用語

「Ｓ～Ｔ」ではじまる用語

「Ｕ～Ｚ」ではじまる用語

数字ではじまる機能や操作に関する用語集

「１～２」ではじまる用語

「３～７」ではじまる用語

あ行ではじまる機能や操作に関する用語集

「あ」ではじまる用語

「い」ではじまる用語

「え」ではじまる用語

「お」ではじまる用語（１／２）

「お」ではじまる用語（２／２）

か行ではじまる機能や操作に関する用語集

「か」ではじまる用語

「き」ではじまる用語

「く」ではじまる用語

「け」ではじまる用語

「つ」ではじまる用語

「て」ではじまる用語

「と」ではじまる用語

な行ではじまる機能や操作に関する用語集

「に」ではじまる用語

「ね」ではじまる用語

は行ではじまる機能や操作に関する用語集

「は」ではじまる用語

まずお読みください
ビエラ操作ガイドについて
ビエラ操作ガイドをお使いになる前に

ビエラ操作ガイドをお使いになる前に

ビエラ操作ガイドを表示中は、［ガイド？］、［▲、▼、◀、▶］、［決定］、［戻る］、［黄］、［赤］以外のボタンを押さないでください。

もし、意図しない画面が表示された場合は［元の画面］ボタンを押して、最初からやり直してください。

- 画面下部に「この機能を使ってみる」が表示されているときに［赤］ボタンを押すと、ビエラ操作ガイドを終了し、実際の操作画面に切り換わります。
- 画面下部に「トップページ」が表示されているときに［黄］ボタンを押すと、ビエラ操作ガイドのトップページ（表紙）に戻ります。
- ［ガイド？］ボタンを押すと、ビエラ操作ガイドを終了します。

- ビエラ操作ガイドの使いかたは、取扱説明書をご覧ください。
- ビエラ操作ガイドの「➡📖」は、紙の取扱説明書を示しています。

■ ビエラ操作ガイドでのイラストや画面について
- ビエラ操作ガイドでのイラストや画面は、イメージであり、実際と異なる場合があります。

録画内容の保管について

- ＵＳＢハードディスクは録画した内容の一次的な保管場所としてお使いください。
  - 大切な内容はディーガで録画した後、ディスクにダビング（または移動）されることをおすすめします。
  - ＵＳＢハードディスクに録画した内容は、ＬＡＮ接続でダビング対応のディーガにダビング（または移動）できます。

ＳＤメモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い

- パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、ＳＤメモリーカード内のデータは完全に消去されません。
  - 廃棄の際は、ＳＤメモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってＳＤメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
  - 譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってＳＤメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
- ＳＤメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

記録内容などの損害・損失について

- 何らかの不具合により、接続した機器に正常に録画できなかった場合の補償、録画した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。
- アクトビラ有料サービスの購入情報やメールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が紛失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- 録画機器などで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

まずお読みください
お使いになる前に
認証ＩＤについて

● 本機は技術基準適合証明済みの無線装置を装着しています。

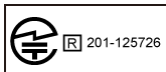
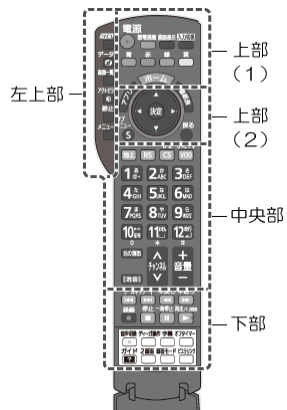
無線ＬＡＮ装置　ＤＮＵＡ－Ｐ７５

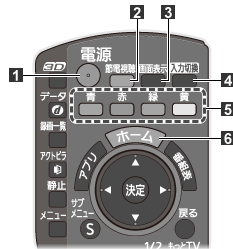
R 201-135346

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ装置　ＤＢＵＢ－Ｐ７０５

R 201-125726

メインリモコンについて

左上部
上部（1）
上部（2）
中央部
下部

リモコンを操作するときは、テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

- リモコンボタンは左記の通りに分割して説明しています。名称とはたらきについては、それぞれの項目を選択してご覧ください。
- ビエラ操作ガイドでは基本的にメインリモコンでの操作を中心に説明しています。
  メインリモコンと同じまたは似た名前の音声タッチパッドリモコンのボタンでも同様に操作できます。

メインリモコン（上部１）

1 電源ボタン
本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する

2 節電視聴ボタン
画面の明るさで消費電力を調整する

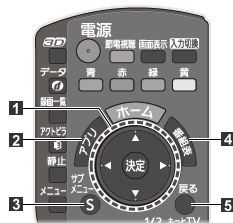
3 画面表示ボタン
番組のタイトルなどを表示する

4 入力切換ボタン
外部入力に切り換える（ディーガ・ＤＶＤなど）

5 カラーボタン
画面に従って使う

6 ホームボタン
ホーム画面を表示する

まずお読みください
リモコンボタンの名称とはたらき
メインリモコン（上部２）

メインリモコン（上部2）

1 カーソル／決定ボタン
画面上で選ぶ／決定する
- ［▲、▼、◀、▶］ボタンで項目を選びます。
- ［決定］ボタンで決定します（次の画面へ）。

2 アプリボタン
アプリの一覧を表示する

3 サブメニューボタン
サブメニューを表示する

4 番組表ボタン
番組表を見る
- 本機の番組表はＧガイドを使用しています。

5 戻るボタン
１つ前の画面に戻る

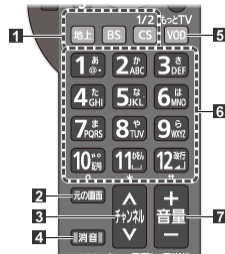
まずお読みください
リモコンボタンの名称とはたらき
メインリモコン（左上部）

メインリモコン（左上部）

1 ３Ｄボタン
映像（２Ｄ／３Ｄ）を切り換える
2 データボタン
データ放送を表示する
／ハイブリッドキャストを表示する
3 録画一覧ボタン
録画一覧を表示する
4 アクトビラボタン
アクトビラの画面を表示する
5 静止ボタン
画面を静止する
- もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。

6 メニューボタン
メニュー画面を表示する／音声ガイドを設定する

まずお読みください
リモコンボタンの名称とはたらき
メインリモコン（中央部）

メインリモコン（中央部）

1 放送切換ボタン
放送を切り換える
- 見ない放送のボタンを使えないようにできます。（ＢＳ・ＣＳのみ）

2 元の画面ボタン
テレビ画面に戻る

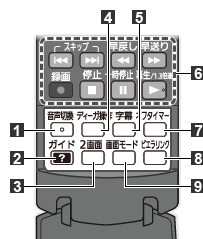
3 チャンネルボタン
チャンネルを順送りで選ぶ

4 消音ボタン
音を一時的に消す（もう一度押すと解除）

5 もっとＴＶ（ＶＯＤ）ボタン
もっとＴＶを表示する

6 数字（文字入力）ボタン
チャンネルを直接選ぶ／文字を入力する

7 音量ボタン
音量を調整する（画面下に音量を表示）

メインリモコン（下部）

1 音声切換ボタン
２カ国語などを切り換える

2 ガイド？ボタン
ビエラ操作ガイドを見る

3 ２画面ボタン
２画面で探す／２画面で見る

4 ディーガ操作ボタン
ディーガ操作一覧を表示する

5 字幕ボタン
字幕がある場合に、字幕の「オン」「オフ」を切り換える

6 外部機器操作ボタン
ディーガやＵＳＢハードディスクなどの録画・再生機器を操作する

7 オフタイマーボタン
自動的に電源を切りたいときに設定する
（押して時間を選ぶ）

8 ビエラリンクボタン
接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器に応じたメニューを表示する

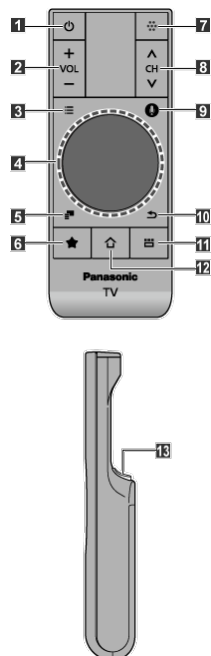
9 画面モードボタン
画面モードを切り換える

音声タッチパッドリモコンについて

音声タッチパッドリモコンで音声操作機能を使って本機の操作をしたり、インターネットなどの画面操作が簡単にできます。送受信にＢｌｕｅｔｏｏｔｈ無線技術を使っています。

- 初めてお使いになる前に、音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）してください。
- 電源を「入」「切」するときは、テレビ本体のリモコン受信部に向けてください。テレビ本体のリモコン受信部と音声タッチパッドリモコンの間に障害物があると電源の「入」「切」ができないことがあります。

お知らせ
- 音声タッチパッドリモコンは、本機専用のリモコンです。
- 音声タッチパッドリモコンを使用できる距離は、使用環境によって異なります。
- ビエラ操作ガイドでは基本的にメインリモコンでの操作を中心に説明しています。メインリモコンと同じまたは似た名前の音声タッチパッドリモコンのボタンでも同様に操作できます。

音声タッチパッドリモコン

1 電源ボタン
本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
● テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください。
2 音量ボタン
音量を調整する（画面下に音量を表示）
3 メニューボタン
メニュー画面を表示する
4 タッチパッド
タップ、スワイプ、外周をなぞる、カーソル移動などの方法で操作する
5 サブメニューボタン
サブメニューを表示する
3 秒以上押すとメインリモコンのボタンを表すアイコン（画面リモコン）を表示する
6 マイボタン
お気に入りの番組やコンテンツなどを登録する
7 マイク
8 チャンネルボタン
チャンネルを順送りで選ぶ
9 音声操作ボタン
音声操作機能を使う
10 戻るボタン
1 つ前の画面に戻る
11 アプリボタン
アプリの一覧を表示する
12 ホームボタン
ホーム画面を表示する
13 決定ボタン
決定する

音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）する

音声タッチパッドリモコンは、電池を入れたあとタップなどの操作をするとペアリング（登録）を行います。ペアリング（登録）をやり直す場合は、メインリモコンで以下の手順を行ってください。

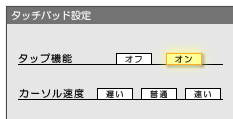
① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「タッチパッドリモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「登録」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 画面の表示内容に従って音声タッチパッドリモコンをペアリング（登録）する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 本機に音声タッチパッドリモコンをペアリング（登録）するときは、音声タッチパッドリモコンを本機から約５０ cm以内に近づけてください。ペアリング（登録）がうまくできないときは、本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部に音声タッチパッドリモコンを近づけて、再度ペアリング（登録）してください。
  本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部については、取扱説明書をご覧ください。
- 本機にペアリング（登録）できる音声タッチパッドリモコンは１つだけです。
- 音声タッチパッドリモコンの電池残量が少ない場合や、通信状態がよくない場合に、正しくペアリング（登録）できないことがあります。

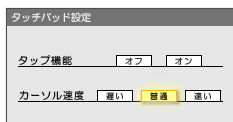
まずお読みください
音声タッチパッドリモコンを使う
音声タッチパッドリモコンの設定をする

音声タッチパッドリモコンのタップ機能を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「タッチパッドリモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「タッチパッド設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「タップ機能」を設定する

- タップ機能を「オン（有効）」「オフ（無効）」に切り換えることができます。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

音声タッチパッドリモコンのカーソルの速度を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「タッチパッドリモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「タッチパッド設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「カーソル速度」を設定する

- カーソル速度を「遅い」「普通」「速い」に切り換えることができます。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

音声タッチパッドリモコンのタッチパッドでの操作を確認する

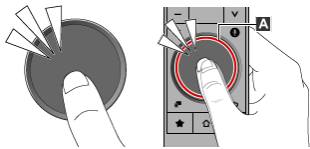
① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「タッチパッドリモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「タッチパッド操作ガイド」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 画面の表示内容に従って音声タッチパッドリモコンの操作を確認する

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

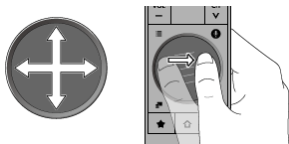
音声タッチパッドリモコンの操作をする

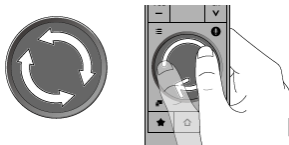
指でタッチパッドを以下のように操作することで、項目を選択したり、チャンネルを選局するなどの操作ができます。

■ タップ

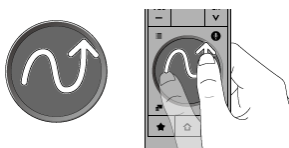
- タッチパッドを指で軽くたたくことで決定します。
  メインリモコンで［決定］ボタンを押したときと同じ働きをします。

A タップ操作の有効な範囲

■ スワイプ

- タッチパッド上で指を上下左右に動かすことにより、メインリモコンの［▲、▼、◀、▶］ボタンを押したときと同じ働きをします。

■ 外周をなぞる

- タッチパッドの縁に触れながらそのまま円を描くように縁に沿ってなぞることで項目を選択したり、画面をスクロールさせます。

- テレビを全画面で視聴中に選局するには
  1. タッチパッドの縁に触れながら、そのまま円を描くように外周をなぞる
     - 画面右上に表示されるチャンネル番号などの表示が切り換わります。
  2. タップ操作、または［決定］ボタンを押して選局する

■ カーソル移動

- タッチパッドに触れたまま、指を自由な方向に動かすことによって、インターネットの画面でカーソル移動などができます。

お知らせ

- 画面上に表示されるリモコンガイド はメインリモコンでの操作方法を表しています。

メインリモコンのボタンを表示する

音声タッチパッドリモコンでメインリモコンと同様の操作をする

① 音声タッチパッドリモコンの［ （サブメニュー）］ボタンを 3 秒以上押す

- メインリモコンのボタンを表すアイコン（画面リモコン）が画面に表示されます。
- 画面リモコン表示中に［ （サブメニュー）］ボタンを押すと、アイコン（画面リモコン）の表示位置が画面の左右に移動します。

② 左右のスワイプ操作で項目を切り換える
③ 上下のスワイプ操作でアイコンを選び、タップ操作で決定する

- アイコン（画面リモコン）を消すには［ （戻る）］ボタンを押す

お知らせ

- メニュー画面など、画面操作が必要な場合は、［ （戻る）］ボタンを押して画面リモコンを消してください。

まずお読みください
操作がわからなくなったときや、戻りたいときは
戻る・元の画面ボタンを使う

操作がわからなくなったときや、戻りたいとき

■ 1つ前の画面に戻りたいときは

- ［戻る］ボタンを押す
  - メニュー画面やビエラ操作ガイドなどの操作で1つ前の画面に戻ります。
  - 音声タッチパッドリモコンの［（戻る）］ボタンでも操作できます。

■ テレビ放送の画面やホーム画面に戻りたいときは

- ［元の画面］ボタンを押す
  - メニュー画面やビエラ操作ガイドなどから、テレビ放送の画面やホーム画面に戻ります。

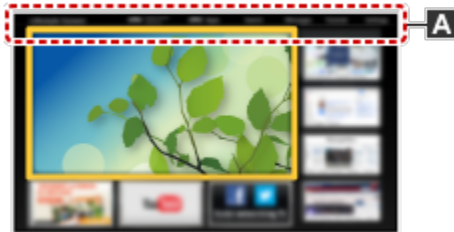
「マイホーム」を使う
「マイ ホーム」画面を操作する
「マイ ホーム」について

「マイ ホーム」とは

テレビ放送やメディアプレーヤー、インターネット、データサービスなどを選んで楽しむことができます。
いくつかのホーム画面から選ぶことができ、それぞれのホーム画面ではテレビ画面以外のアプリを並べ替えたり、入れ替えたりすることもできます。

詳しくはホーム画面の「使いかたガイド」を選び、［決定］ボタンを押すことで表示されるガイドをご覧ください。

「マイ　ホーム」の画面について

ホーム操作パネルについて

A 操作パネル（表示されていないときは［ホーム］ボタンを押してください ）

- 「ホームの選択」：
  ホーム画面を切り換えたり、ホーム画面の追加や削除などができます。
- 「アプリ一覧」：
  アプリ一覧画面を表示します。
- 「検索」：
  キーワードを入力してホームページや写真などを検索します。
- 「お知らせ」：
  「マイ　ホーム」に関するお知らせを表示します。
- 「使いかたガイド」：
  「マイ　ホーム」の使いかたを案内します。
- 「ホームの設定」：
  ホームにアプリを追加したり、ホームの名前を編集するなどホーム画面に関する設定ができます。
  また、ホーム画面にオーナーを設定すると、ユーザー特有の情報を表示できます。
  - 1 人のユーザーが複数のホーム画面にオーナー設定できます。
  - ［決定］ボタンを押して、画面の表示に従って操作してください。

ホーム画面の種類について

本機ではホームの選択画面から以下のようなホーム画面に切り換えることができます。

- 「テレビ全画面」：
  テレビを常に全画面で表示して使いたいとき
- 「テレビのホーム」：
  裏番組など、テレビをもっと便利に見たいとき
- 「くらしのホーム」：
  天気やおでかけ時間など、くらしに役立つ情報が欲しいとき
- 「ネットのホーム」：
  テレビを見ながらインターネットを楽しみたいとき

など

■ ホーム画面の切り換えかた

① ホーム画面を表示しているときに［ホーム］ボタンを押す

② 「ホームの選択」画面で［◀、▶］ボタンを押してお好みのホームを選び、［決定］ボタンを押す

- 音声タッチパッドリモコンの［ ⌂ （ホーム）］ボタンを押し、タッチパッドを使って操作することもできます。

ホーム画面　　「ホームの選択」画面

- 以下の場合は［ホーム］ボタンを 2 回押して「ホームの選択」画面を表示する
  - テレビを全画面で視聴しているとき
  - ホーム画面からテレビを全画面で視聴しているとき

ホーム画面からテレビを見る

- テレビ画面を選び、［決定］ボタンを押す
  - テレビ全画面に切り換わります。

A

A テレビ画面

お知らせ

- テレビを全画面で視聴しているときは、サブメニューを表示することができます。

本機の電源「入」時に表示するホーム画面を設定する

テレビの電源を「入」にしたときに、表示されるホーム画面を設定できます。
設定しない場合は、最後に選んだホーム画面が表示されます。

① お好みのホーム画面を選ぶ
- **テレビを常に全画面で表示するには「テレビ全画面」を選んでください。**

② 「ホームの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「電源オン時に表示するホーム」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「必ずこのホームを表示」を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

「マイホーム」を使う
「マイ ホーム」画面を操作する
顔や声の認識機能を利用してホーム画面を切り換える

内蔵カメラの顔認識機能や音声タッチパッドリモコンまたは本機のリモコンとして設定したスマートフォンのマイクで声認識機能を利用して、ユーザーごとに設定したホーム画面に切り換えることができます。

- ユーザー設定で顔や音声認識データの登録と、ホーム画面の設定が必要です。ユーザー設定については「いろいろな機能を設定する」→「ユーザー設定をしていろいろな機能を使う」の「ユーザー設定をする」をご覧ください。

顔や声の認識機能を利用してホーム画面を切り換える

① 音声タッチパッドリモコンの［ （音声操作）］ボタンを押す

② マイクに向かって「マイホーム」と発話する

- 登録している顔や音声データを認識して、設定したホーム画面に切り換わります。
- 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従って操作してください。

お知らせ

- 本機のリモコンとして設定したスマートフォンのマイクを使って操作することもできます。
- 音声操作については「いろいろな機能を設定する」→「音声操作機能を使って操作する」の「音声操作機能を使って操作する」をご覧ください。
- 内蔵カメラについては「いろいろな機能を設定する」→「内蔵カメラを使う」の「内蔵カメラを使う」をご覧ください。
- 顔認識機能では登録した顔情報を基に認識するため、表情や周囲の環境によっては登録した本人でも正しく認識できない場合があります。
- お使いになる人の声質や話しかた、周囲の環境や状況によっては正しく動作しないことがあります。

「マイホーム」を使う
アプリ一覧画面を操作する
アプリ一覧画面を表示し、アプリを選ぶ

アプリとは

番組表、予約一覧、メディアプレーヤー、インターネットサービスなどをアプリと呼びます。
本機ではアプリを一覧表示し、選んで楽しむことができます。

アプリ一覧画面を表示し、アプリを選ぶ

① ［アプリ］ボタンを押す
② ［▲、▼、◀、▶］ボタンでアプリ一覧画面からアプリを選び、［決定］ボタンを押す
- 音声タッチパッドリモコンの［ （アプリ）］ボタンを押し、タッチパッドを使って操作することもできます。

A アプリの追加などができます
B アプリの並べ替え、削除などができます
C お気に入りのアプリ
D お気に入り以外のアプリ

※ 利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。
※ 一部、削除できないアプリがあります。

- アプリ一覧画面を終了するには［元の画面］ボタンを押す

テーマカラーを設定する

ホーム画面やメニュー画面などの背景（テーマカラー）を、お好みに合わせて変更できます。

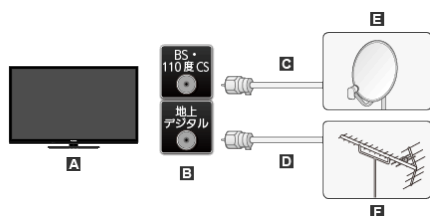
① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「表示の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「テーマカラー設定」を選び、設定する
- 「ジェットブラック」、「ペールグレー」「オーガニックブラウン」、「サンドベージュ」から選択できます。

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

アンテナ線を接続する前に

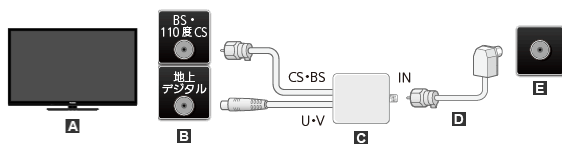
- 接続図は一般的な例であり、アンテナとの接続方法によって新たにご準備いただくもの（ケーブル・分配器・分波器・アンテナプラグなど）は変わります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、「地上デジタル受信設定」の「アッテネーター」を「オン」にしてください。

テレビを見る
テレビ放送を見るための準備をする
アンテナ線を接続する（個別の場合）

一戸建てなど、個別のアンテナで受信する場合

A ＴＶ
B ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ入力／地上デジタル入力
C 衛星用同軸ケーブル（市販品）
D 同軸ケーブル（市販品）
E ＢＳ・１１０度ＣＳデジタルハイビジョンアンテナ
F 地上デジタル放送用ＵＨＦアンテナ

お知らせ
- 「衛星受信設定」の「アンテナ電源」を「オン」にして、調整してください。

テレビを見る
テレビ放送を見るための準備をする
アンテナ線を接続する（共用の場合）

マンションなど、共同のアンテナで受信する場合

A ＴＶ
B ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ入力／地上デジタル入力
C ＣＳ・ＢＳ／Ｕ・Ｖ分波器（別売品）
D 同軸ケーブル（市販品）
E 壁面アンテナ端子

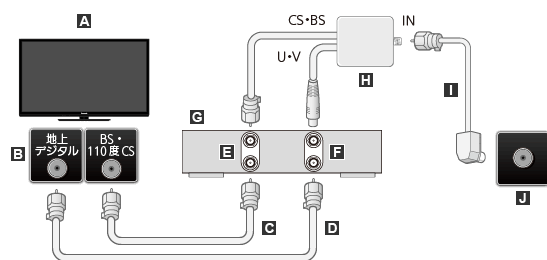
お知らせ
● 「衛星受信設定」の「アンテナ電源」を「オフ」にしてください。

テレビを見る

テレビ放送を見るための準備をする

アンテナ線を接続する（ディーガなどを接続する場合）

ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、ＢＳ・ＣＳチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。

- **A** ＴＶ
- **B** ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ入力／地上デジタル入力
- **C** 衛星用同軸ケーブル（市販品）
- **D** 同軸ケーブル（市販品）
- **E** ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ端子
- **F** 地上デジタル端子
- **G** 録画機器
- **H** ＣＳ・ＢＳ／Ｕ・Ｖ分波器（別売品）
- **I** 同軸ケーブル（市販品）
- **J** 壁面アンテナ端子

テレビを見る
テレビ放送を見るための準備をする
かんたん設置設定をする

かんたん設置設定をする

かんたん設置設定を行うと、テレビ番組を視聴するために必要な設定画面を表示します。

お知らせ
- 引っ越しなどで設定をやり直すときは、かんたん設置設定を行ってください。
- 事前にアンテナ線の接続を確認してください。

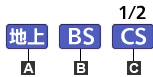
① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「かんたん設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 画面の表示内容に従って設定する

テレビを見る
テレビ放送を見る
テレビ放送を選局する

放送や放送局を選局したり、音量を調整します。

選局（数字）ボタンでチャンネルを選ぶ

① 放送切換ボタンを押して放送の種類を選ぶ

1/2
地上 BS CS
A B C

A ［地上］：地上デジタル（地上D）放送
B ［ＢＳ］：ＢＳデジタル放送
C ［ＣＳ］：１１０度ＣＳデジタル放送（スカパー！）
- 押すたびにＣＳ１とＣＳ２が切り換わります。

② ［１］～［１２］ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

- 音量を調整するには、［音量］ボタンを押す
  - 画面の下に現在の音量を表示します。
  - 音声タッチパッドリモコンの［音量］ボタンでも操作できます。
- 音を消すには、［消音］ボタンを押す
  （［消音］または［音量］ボタンで解除）

順送りボタンでチャンネルを順番に選ぶ

① 放送切換ボタンを押して放送を選ぶ
② ［チャンネル］ボタンで選局する
- 音声タッチパッドリモコンの［チャンネル］ボタンでも操作できます。

お知らせ
- 電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶されます。
- 番組表から探して選局できます。
- デジタル放送で順送りに選局できるチャンネルを変更するには「機器設定」→「その他の設定」の「選局対象」を変更します。
- 本体の［入力切換／決定／メニュー長押し］ボタンを押したときは、地上Ｄ→ＢＳ→ＣＳ１→ＣＳ２と切り換わった後、ＨＤＭＩ１→ＨＤＭＩ２→ＨＤＭＩ３→ＨＤＭＩ４→DisplayPort→ビデオ／Ｄ端子…の順に切り換わります。
  - ビデオ入力とＤ端子の両方に機器を接続すると、Ｄ端子の画像が映ります。
- チャンネル切換時にタイトルを表示させなくするには、「機器設定」→「表示の設定」の「タイトル表示」で設定します。
- 「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「する」に設定しているときは、本体の［音量］ボタンで、ヘッドホン／イヤホンの音量調整ができます。
- 「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「しない」に設定しているときは、ヘッドホンやイヤホンを接続するとリモコンや本体の［音量］ボタンで、ヘッドホン／イヤホンの音量調整ができます。
- リモコンや本体の［音量］ボタンで、ヘッドホン／イヤホンの音量調整したときは、画面下に「ヘッドホン／イヤホン音量」を表示します。
- 本機では４Ｋの放送は受信できません。

３桁のチャンネル番号を入力して選局する

① 放送切換ボタンを押して放送を選ぶ
② ［サブメニュー］ボタンを押す
③ 「３桁入力選局」を選び、［決定］ボタンを押す
- 視聴している放送の（地上Ｄ／ＢＳ／ＣＳ）入力画面を表示します。

④ 番号を入力する
例：「１０１」チャンネルを選ぶとき
［１］［１０］［１］ボタンを押す
- チャンネルが切り換わります。

お知らせ
- ご覧になれないチャンネルを選ぶとメッセージを表示します。
- 番号入力中に番号を修正したいときは［黄］ボタンを押します。
- 違う枝番の付いた放送局を選ぶには、地上デジタル放送の画面で、［サブメニュー］ボタンを押して「枝番選局」を選びます。

地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局する

① 地上デジタル放送の画面で［サブメニュー］ボタンを押す
② 「枝番選局」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 表示された「枝番選局」画面から見たい放送を選び、［決定］ボタンを押す
※ 枝番とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。

- ［緑］ボタンを押すと、選択中の放送局に「主選局」を表示します。
  チャンネル番号入力時は、この「主選局」のある放送局が選局されます。

テレビを見る
テレビ放送を見る
データ放送を見る

データ放送とは

- デジタル放送を見ているときに、画面に表示される説明に従い操作すると、いろいろな情報を見ることができます。
- 本機ではインターネット（ＬＡＮ）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。ただし、電話回線を直接本機に接続することによる双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。
- 本機はデータ放送の新サービス「ハイブリッドキャスト」に対応しています。
  本機をインターネットに接続し、［データ］ボタンを押すとご利用いただけます。
  - 本機でハイブリッドキャストを利用する場合は、「ハイブリッドキャスト」を「オン」に設定してください。

データ放送を見る

① デジタル放送を見ているときに［データ］ボタンを押す
- 情報が多いときは、表示に時間がかかります。
- ホーム画面を表示しているときは、テレビ全画面に切り換わりデータ放送を表示します。
  番組によっては、データ放送が表示されない場合があります。

② 見たい項目を選び、［決定］ボタンを押す

- デジタル放送に戻るときは、もう一度［データ］ボタンを押す

■ データ放送の画面の指示について
- 番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面を表示します。その指示に従ってください。

■ ハイブリッドキャストの設定をする
ハイブリッドキャストをご利用になる場合に設定します。
① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「その他の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ハイブリッドキャスト」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- ２画面のときは、データ放送を表示できません。
- ホーム画面ではデータ放送を表示できません。
- 「３Ｄ切換」で「３Ｄ」、または「３Ｄ切換（マニュアル）」で「サイドバイサイド－３Ｄ」や「トップアンドボトム－３Ｄ」に設定すると、データ放送は正しく表示されません。

データ放送を確認する

「番組内容」画面でデータ放送があるか、確認できます。

① ［番組表］ボタンを押す
② 番組を選び、［決定］ボタンを押す
- 「データ」、「＋ｄテレビ」、「ｄラジオ」などのアイコンが表示された番組はデータ放送があります。（アイコンが表示されない番組もあります）

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

関連する機能を呼び出す

① ［サブメニュー］ボタンを押す
- 関連する機能を表示します。

② 項目を選び［決定］ボタンを押す
- 選んだ機能の画面に変わります。

■ 「テレビ放送を見る」に関連する機能項目について

「視聴制限一時解除」：
制限解除のための暗証番号の登録または入力画面を表示します。

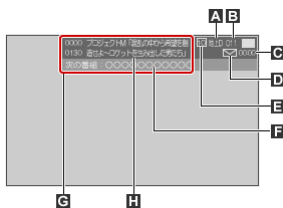
「アンテナレベル」：
アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。
表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
アンテナレベルは天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。
また、アンテナシステムの条件などによって、変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
- 受信可能なアンテナレベル（目安）
  地上デジタル　４４以上
  衛星　５０以上
  アンテナレベルについては、取扱説明書をご覧ください。

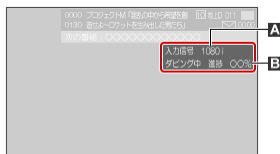
「データ放送表示オフ」：
データ放送の表示を中止できるときに表示します。

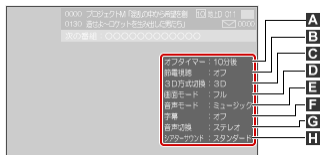
番組を見ているときに、情報を表示する

● ［画面表示］ボタンを押す

● 画面表示を消すには［画面表示］ボタンを数回押す

■ 表示例１

A 放送の種類
「地上Ｄ」：地上デジタル放送
「ＢＳ」：ＢＳデジタル放送
「ＣＳ１/ＣＳ２」：１１０度ＣＳデジタル放送（スカパー！）
B チャンネル番号
「３桁チャンネル番号」：
枝番（－１など）を表示する場合もあります。
C 現在時刻
デジタル放送から自動で取得されます。
D 放送メール表示
E リモコンボタン表示
リモコンのチャンネル番号［１］～［１２］ボタンに割り当てられているときに「１」～「１２」を表示します。それ以外のときは空白になります。
F 次の番組の紹介（３分前から表示）
G タイトル表示
H タイトルなどの情報

■ 表示例２

A 入力信号の種類
Ｄ端子／ＨＤＭＩ／DisplayPort入力時に、現在入力されている映像信号（ＶＧＡ、480i、480p、720p、1080i、1080p、3840×2160/60Hzなど）の種類を表示します。
B ダビングの進捗
● ダビングの進捗率を表示します。
ダビングが正常に終わったときや中止したときは表示が消えます。

■ 表示例３

A オフタイマー残り時間
B 節電視聴
C ３Ｄ映像の方式
D 画面モード
E 音声モード
F 字幕
G 音声切換
- 放送によって表示される内容は異なります。

H シアターサウンド
- ビエラリンク対応のシアターを接続したときに表示されます。
「オート」※：
番組に応じた最適な音
「スタンダード」：
全音域をバランスよくした音
「スタジアム」：
広がり感を重視した音
「ミュージック」：
メリハリ感を強調した音
「シネマ」：
映画の視聴に適した音
「ニュース」：
人の声を聴きやすくした音

※ ビエラリンクＶｅｒ．２に対応している場合は「オート」は表示されません。ビエラリンクＶｅｒ．５に対応している場合は「オート」の後にシアター側で選択された以下の項目を表示します。それ以外の項目がシアターから通知された場合は「オート」と表示されます。
スタンダード／スタジアム／ミュージック／シネマ／ニュース

お知らせ
- 画面表示は数秒で、放送とチャンネル番号などの小さな表示になります。

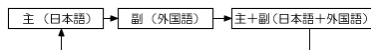
テレビを見る
テレビ放送を見る
音声や映像信号を切り換える

音声を切り換える

２カ国語放送などの音声を切り換えます。

- ［音声切換］ボタンを１回押すと、現在の音声を表示します。
  - 続けて押すたびに、音声が切り換わります。
    （切り換えのできる音声があるときのみ）

■ ２カ国語（二重）放送のとき

主（日本語）→副（外国語）→主＋副（日本語＋外国語）→主（日本語）

お知らせ
- 電源を「切」「入」すると、元の音声（２カ国語放送のときは「主」）に戻ります。
- 放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語や「主」で日本語、「副」で日本語（解説）などの場合があります。
- 接続した機器でＤＶＤなどを見ているときは、接続機器側で切り換えてください。

デジタル放送の映像信号を切り換える

１つの番組に複数の映像や音声がある放送（マルチビュー放送）のとき番組内の映像を切り換えます。

① ［サブメニュー］ボタンを押す
② 「信号切換」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「マルチビュー」または「映像」を選び、設定する

- 設定したら［戻る］ボタンを押す

お知らせ
- マルチビュー対応の放送は１つの番組に複数の映像のある放送です。
  (2014年３月現在では行われておりません)
- 信号切換で表示される設定項目は番組によって変わります。
- マルチビュー、映像、音声、二重音声、データの設定項目は、番組によって変わります。

テレビを見る
番組表の使いかた
番組表について

番組表とは

- 本機の画面上に新聞のテレビ欄のように番組を一覧表示します。
  画面上で番組を選ぶとその番組を見たり、録画予約などをすることができます。
- 本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組表を表示します。
- 本機の番組表はＧガイドを使用しています。

番組表データの受信について

- 番組表データは、ＢＳデジタル放送のＧガイドおよびデジタル放送電波のすきまで配信されます。
- 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に自動的に行われます。
  （２画面の場合は番組データが取得できないことがあります）
  最大約４時間かかります。（2014年３月現在）
  テレビ本体の電源を切らずに、必ずリモコンで電源をお切りください。
- お買い上げ直後や本体の電源を切って１週間以上経過した場合は、番組データがありません。

最新の番組表を取得する

地上デジタル放送の番組表で、表示されない放送局がある場合に、その局の番組情報を受信して表示します。

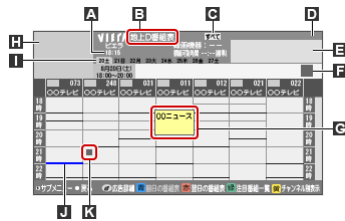
- 放送局の番組欄を選び、［決定］ボタンを押す
  - 表示には数分かかることもあります。

お知らせ
- ［サブメニュー］ボタンを押して「番組データ取得」を選び、［決定］ボタンを押しても取得できます。

■ 最新の番組データをインターネットからより確実に取得するには
本機はインターネットからも番組表のデータを取得できます。取得するには、インターネットに接続し、「機器設定」→「設置設定」の「番組表設定」で「通信によるＧガイド受信」を「オン」に設定します。

テレビを見る
番組表の使いかた
番組表の画面について

画面の見かた

- ［番組表］ボタンを押して番組表を開く
  - 番組表には、以下のような情報を表示します。

- ［緑］ボタンを押すと「注目番組一覧」を表示します。

■ 表示内容について

A 現在の時刻
B 放送の種類（地上Ｄ／ＢＳ／ＣＳ１／ＣＳ２）
C 番組の表示範囲の変更
D Ｇガイドデータ送信局
E パネル広告の広告詳細
- パネル広告が表示されているとき
  ［データ］ボタンを押すと「広告詳細」画面を表示します。
- 「広告詳細」画面が表示されているとき
  - ［◀、▶］ボタンで広告を切り換えます。
  - カラーボタンガイドが表示されている場合、該当のカラーボタンを押すと、インターネット経由で広告関連サイトを表示します。
- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押します。

F 番組のジャンルアイコン
- 「映画」、「情報／ワイドショー」、「趣味／教育」、「バラエティ」、「劇場／公演」、「音楽」、「ドキュメンタリー／教養」、「スポーツ」、「アニメ／特撮」、「ドラマ」、「ニュース／報道」、「福祉」などの番組ジャンルを表示します。
- 「番組内容」画面の「属性」を選ぶと、番組のジャンルを確認できます。

G 選ばれている番組
H 直前に見ていた番組
I 表示中の放送日
J 表示していない番組

K 予約／お気に入りアイコン

予 お部屋ジャンプリンク機器に録画予約した番組
（時間指定予約時には表示されない場合があります）

予 （青）見るだけ予約の番組／（赤）お部屋ジャンプリンク機器以外に録画予約した番組／（灰）録画予約を「実行切」にした番組／（緑）「最新ニュース」や「フリーワード録画」で録画予約した番組
（時間指定予約時には表示されない場合があります）※

お気に入り登録した番組

（青）見るだけ予約のお気に入り番組／（赤）お部屋ジャンプリンク機器以外に録画予約したお気に入り番組／（灰）録画予約を「実行切」にしたお気に入り番組／（緑）「最新ニュース」や「フリーワード録画」で録画予約したお気に入り番組

※ ビエラリンク（ＨＤＭＩ）予約時には表示されません。

お知らせ

- 番組表や番組内容画面で［ ★ （マイ）］ボタンを押すと、ユーザーを選択してお気に入りに登録できます。（もう一度操作すると、お気に入りを解除します。）
- 番組表からお気に入りに登録したあと、「録画予約登録確認」画面が表示された場合は、表示内容に従って操作してください。

アイコン一覧を表示する

番組表の番組欄や番組内容画面で表示されるアイコンの説明を表示します。

① 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「アイコン一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
（放送局から情報が送られてこない場合は、「アイコン一覧」は表示されません）

- すべてのアイコンの説明が表示されるわけではありません。

テレビを見る
番組表の使いかた
番組表の画面表示変更

番組の表示範囲を変更する

① 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「表示内容」を選び、表示する範囲を「すべて」「設定チャンネル」「テレビ」から設定する

- 「設定チャンネル」にすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

表示していない番組を表示する

番組と番組の間に表示していない番組があるとき、青い線を表示します。番組を一時的に表示し、内容などを見ることができます。

- ［▲、▼、◀、▶］ボタンで青い線を選ぶ

テレビを見る
番組表の使いかた
別の日や別の放送に切り換える

別の日の番組表を見る

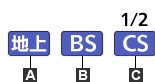
今日から８日分の番組が一覧できます。

- ［青］ボタンまたは［赤］ボタンを押す

  - ［青］ボタン：前日の番組表
  - ［赤］ボタン：翌日の番組表

別の放送の番組表を見る

- 放送切換（［地上］、［ＢＳ］、［ＣＳ１／２］）ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

1/2
地上 BS CS
A B C

A ［地上］：地上デジタル（地上Ｄ）放送
B ［ＢＳ］：ＢＳデジタル放送
C ［ＣＳ］：１１０度ＣＳデジタル放送（スカパー！）

1画面に表示したいチャンネル数を選ぶ

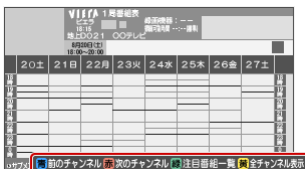
番組表の番組を選んでいるときに操作します。

① 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「表示チャンネル数」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 表示したいチャンネル数を選び、［決定］ボタンを押す

チャンネル別の番組表を見る

① 番組表を表示中に［◀］または［▶］ボタンを押して見たいチャンネルを選ぶ
② ［黄］ボタンを押す
- 1局番組表を表示します。

画面の見かた

1局番組表では、カラーボタンで放送局などの表示を切り換えることができます。

- ［青］ボタン：前のチャンネル
- ［赤］ボタン：次のチャンネル
- ［緑］ボタン：注目番組一覧
- ［黄］ボタン：全チャンネル表示

1画面に表示したい日数を選ぶ

番組表の表示日数（3／5／7／8日表示）の切換ができます。（1局番組表のみ）
① 1局番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「表示日数切換」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 表示したい日数を選び、［決定］ボタンを押す

Gガイド（電子番組表）の地域設定をする

お住まいの地域に合った番組表を表示させる設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「番組表設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「Gガイド地域設定」を選び、お住まいの地域を選ぶ

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- Gガイド地域設定は「かんたん設置設定」を実行すると、自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。
- 「Gガイド地域設定」を変更すると、番組情報を表示しなくなることがあります。表示されなくなった場合は、かんたん設置設定を最初からやり直してください。

通信によるGガイド受信の設定をする

本機の電源を「入」にしたとき、インターネットを利用して最新の番組データを取得するための設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「番組表設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「通信によるGガイド受信」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オン」に設定すると、インターネットを利用して自動的に番組データを取得します。
- インターネット「アクトビラ」の画面に切り換える必要はありません。

Gガイド（電子番組表）の受信を確認する

番組表データの受信スケジュールを確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「番組表設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「Gガイド受信確認」を選び、［決定］ボタンを押す
- Gガイド受信スケジュールを表示します。

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- Gガイド受信スケジュールの表示に最大6分かかります。
- 「番組データの受信ができません」が表示されたときは、アンテナの接続およびGガイド地域設定をご確認ください。

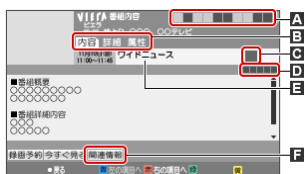
番組の内容を見る

番組表から、番組の詳しい内容をご覧いただくことができます。

- 番組表で番組を選び、［決定］ボタンを押す
  - ジャンル、キーワード、人名の検索結果などから選んで［決定］ボタンを押したときも、「番組内容」画面を表示します。

- 確認したら［元の画面］ボタンを押す
  - ［戻る］ボタンを押すと、番組表に戻ります。

番組内容画面の見かた

「番組内容」画面には、番組についてのさまざまな情報を表示します。

■ 表示内容について

A 番組の情報を表すアイコン（表示例）

番組情報の アイコン	説明
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
ラジオ	ラジオ放送の番組
データ	データ放送の番組
ｄテレビ	デジタル放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
＋ｄテレビ	デジタル放送で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
ｄラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
＋ｄラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
１６：９ １０８０ｉ	番組の映像信号情報 上：画像の横縦比（１６：９、４：３） 下：信号方式（480i、480p、720p、1080iなど）
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切換ができる番組
主＋副	二重音声信号で「主＋副」音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組
サラウンド	５．１ｃｈなどのサラウンド放送の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
有料	有料のデータを含む番組
２０才～	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は４～２０才まであります）
３Ｄ	３Ｄ映像の番組
マルチビュー	マルチビュー放送の番組
字幕	番組の中に字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
アナログ ＸＣＯＰＹ	アナログコピーガードが、かかっている番組 （アナログで録画できません）
コピー制限	ＤＶＤレコーダーなどのデジタル録画機器でのコピー回数に制限がある番組（録画後のダビングに制限があります）
デジタル １ＣＯＰＹ	ＤＶＤレコーダーなどのデジタル録画機器で１回だけコピー可能な番組（録画後ダビングできません）
デジタル ＸＣＯＰＹ	ＤＶＤレコーダーなどのデジタル録画機器でコピー禁止の番組 （録画できません）

- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。
- 「デジタル１ＣＯＰＹ」などのアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングできない場合があります。
- 「番組内容」画面の「属性」を選ぶと、番組情報の内容について確認できます。

B 詳しい内容などを見たいとき

C 番組のジャンルアイコン

「映画」、「情報／ワイドショー」、「趣味／教育」、「バラエティ」、「劇場／公演」、「音楽」、「ドキュメンタリー／教養」、「スポーツ」、「アニメ／特撮」、「ドラマ」、「ニュース／報道」、「福祉」などの番組ジャンルを表示します。

- 「番組内容」画面の「属性」を選ぶと、番組のジャンルを確認できます。

D デジタル放送のときに表示されるアイコン

デジタル放送では、番組表の番組欄や番組内容画面で、デジタル放送用のアイコンを表示することがあります。

- 表示されるデジタル放送用のアイコンの説明を見たいときは［サブメニュー］ボタンを押して「アイコン一覧」を選び決定します。（放送局から情報が送られてこない場合は、「アイコン一覧」は表示されません）
  - すべてのアイコンの説明が表示されるわけではありません。

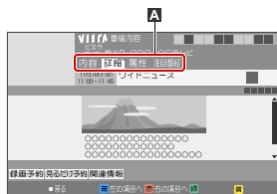
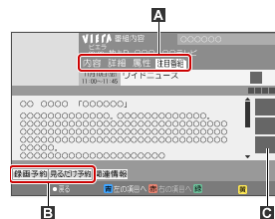
E 番組のタイトル

F 番組に関連した情報から別の番組を探す

より詳しい情報を見る

「番組内容」画面の項目を切り換えると、より詳しい情報をご覧いただけます。

- ［青］ボタンを押すと左の項目に切り換わり、［赤］ボタンを押すと右の項目に切り換わります。（項目がないときは選べません）

番組内容（詳細）

番組内容（注目番組）

■ 表示内容について

A 「内容」：

番組の内容を表示します。

「詳細」：

地上デジタル放送で情報があるときに、画像などで詳しい内容を表示します。（情報のないときは表示しません）

「属性」：

放送方式などを表示します。

「注目番組」：

放送局からの情報を基にGガイドが提供する番組情報を表示します。（番組データに情報があるときのみご覧いただけます）

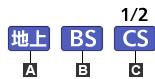
B 9日以降の番組を予約したときは予約方法が時間指定予約のみになる場合があります。

C 静止画を表示します。（情報がないときは表示しません）

テレビを見る
テレビ放送の番組を探して見る
番組表で探す

番組表から番組を探す

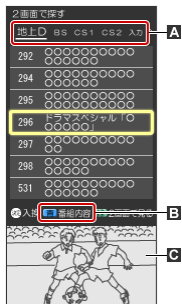
① ［番組表］ボタンを押して、番組表を開く
② 放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

地上 BS 1/2 CS
A B C

A ［地上］：地上デジタル（地上Ｄ）放送
B ［ＢＳ］：ＢＳデジタル放送
C ［ＣＳ］：１１０度ＣＳデジタル放送（スカパー！）

③ 番組を選び、［決定］ボタンを押す
④ 今放送している時間帯の番組を選んだときは
「今すぐ見る」を選び、［決定］ボタンを押す
まだ放送されていない番組を選んだときは
「見るだけ予約」を選び、［決定］ボタンを押す

現在放送中の番組から探す

① ［２画面］ボタンを押す
- ２画面が表示されている場合は［緑］または［画面モード］ボタンを押すと「２画面で探す」を表示します。

② 「２画面で探す」から番組を選び、［決定］ボタンを押す

A 選んでいる放送／入力
B 番組内容を確認できます。
C 選択中の番組の映像を表示
- ＵＳＢハードディスクに２番組を同時に録画中は番組内容を表示します。
  １番組を録画中の場合でも、番組によっては番組内容が表示される場合があります。

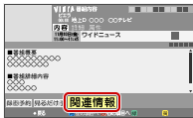
■ 別の放送／入力の「２画面で探す」を見たいとき
［◀］または［▶］ボタンで切り換える。

テレビを見る
テレビ放送の番組を探して見る
番組内容の関連情報から探す

「番組内容」の画面から、関連のある番組情報を表示・検索する

本機は番組表から番組を選んだときに、地上デジタル放送局やＢＳデジタル放送局から送られてくる番組に関連した情報に基づいて、番組や広告に関連した情報を見たり、番組を検索することができます。

● 放送局から送られてきた情報から、９日以上先の番組内容を見たり、予約もできます。

① 番組表から番組を選び、［決定］ボタンを押す
② 「番組内容」の画面下部から「関連情報」を選び、［決定］ボタンを押す

③ 「関連情報」の画面から各項目を選び、［決定］ボタンを押す
　● 情報のない項目は表示しません。

■ 「関連情報」の項目について

「放送中止時の番組を探す」：
　野球中継番組が雨天で中止になった場合などに、代わりとなる番組情報を表示します。
　● 「放送中止時の番組を探す」を選び、［決定］ボタンを押すと、代替えの番組情報を表示します。

「関連番組を探す」：
　番組表から選んだ番組に関連する他の番組を表示します。
　● 見たい番組を選び、［決定］ボタンを押す

「人名で番組を探す」：
　表示された名前から、関連する番組を表示します。
　● 表示された名前から選び、［決定］ボタンを押す

「ジャンルで番組を探す」：
　見たい番組をジャンル別に表示します。
　● 表示されたジャンルから選び、［決定］ボタンを押す

「キーワードで番組を探す」：
　キーワードから選んで番組を表示します。
　● 表示されたキーワードから選び、［決定］ボタンを押す

お知らせ
● キーワードや人名などから検索する場合、実際の放送に該当する項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。
● 関連情報を受信するためにはアンテナの接続と設定が必要です。

テレビを見る
テレビ放送の番組を探して見る
注目番組一覧から探す

注目番組一覧の画面から、番組を探す

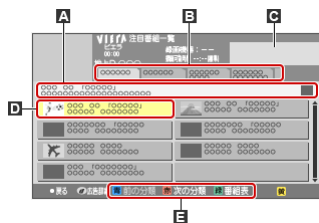
注目番組一覧では、放送局からの情報を基にGガイドが提供する番組情報を表示します。

● 番組表表示中に［緑］ボタンを押す

■ 「注目番組一覧」の画面は、サムネイル形式またはリスト形式で表示されます。
（表示される2種類の画面はGガイドが運用しています）

- ● 番組を選び、［決定］ボタンを押すと、「番組内容」画面を表示します。

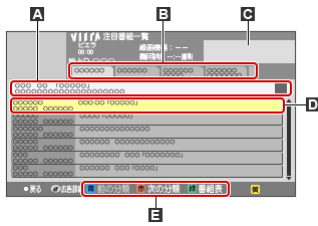
サムネイル形式画面の見かた

サムネイル形式のときは、見出し画像付きで番組の内容を表示します。

A 選んでいる番組の詳細
B カテゴリー
C パネル広告（広告詳細がご覧になれます）
D 選んでいる番組（▲、▼、◀、▶ で選ぶ）
E ［赤］［青］でカテゴリーを選びます。［緑］で「番組表」を表示します。

- ● パネル広告が表示されているとき
  ［データ］ボタンを押すと「広告詳細」画面を表示します。
- ● 「広告詳細」画面を表示しているとき
  - ［◀、▶］で広告を切り換えます。
  - カラーボタンガイドが表示されている場合、該当のカラーボタンを押すと、インターネット経由で広告関連サイトを表示します。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

リスト形式画面の見かた

リスト形式のときは、一覧表で番組の内容を表示します。

A 選んでいる番組の詳細
B カテゴリー
C パネル広告（広告詳細がご覧になれます）
D 選んでいる番組（▲、▼ で選ぶ）
E ［赤］［青］でカテゴリーを選びます。［緑］で「番組表」を表示します。

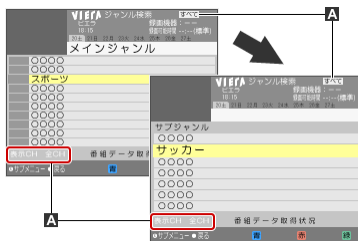
- パネル広告が表示されているとき
  ［データ］ボタンを押すと「広告詳細」画面を表示します。
- 「広告詳細」画面を表示しているとき
  - ［◀、▶］で広告を切り換えます。
  - カラーボタンガイドが表示されている場合、該当のカラーボタンを押すと、インターネット経由で広告関連サイトを表示します。

- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

テレビを見る
テレビ放送の番組を探して見る
ジャンルを選んで探す

ジャンルを選び、番組を探す

映画やスポーツなどのジャンル別に番組を探すことができます。

① 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「番組の検索」→「ジャンル検索」を選び、［決定］ボタンを押す
③ メインジャンルを選んだ後、サブジャンルを選び、［決定］ボタンを押す

A サブメニューから表示する範囲を変更できます。

1. ［サブメニュー］ボタンを押す
2. 「表示内容」または「表示ＣＨ」を選び、設定する

「表示内容」：
「すべて」「設定チャンネル」「テレビ」
「表示ＣＨ」：
「全ＣＨ」「地上Ｄ」「ＢＳ」「ＣＳ１」「ＣＳ２」「地上Ｄ＋ＢＳ（無料）」

- 「表示ＣＨ」は放送切換ボタンを押しても変更できます。
- 「表示内容」を「設定チャンネル」にすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

④ 番組を選び、［決定］ボタンを押す

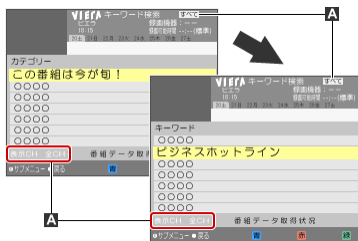
- ［青］ボタンで前日、［赤］ボタンで翌日の番組を見ることができます。

お知らせ

- ［赤］ボタンを押して９日目以降を選ぶと、放送局がおすすめする最大１年先までの番組（注目番組）があれば、その中から検索された番組を表示します。
９日目以降の番組を予約したときは予約方法が時間指定予約のみになる場合があります。
  - 実際の運用は、Ｇガイドが提供する番組情報に基づきます。

キーワードを選び、番組を探す

キーワードを選んで番組を探すことができます。

① 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「番組の検索」→「キーワード検索」を選び、［決定］ボタンを押す
③ カテゴリーを選んだ後、キーワードを選び、［決定］ボタンを押す

A サブメニューから表示する範囲を変更できます。
1. ［サブメニュー］ボタンを押す
2. 「表示内容」または「表示ＣＨ」を選び、設定する
「表示内容」：
「すべて」「設定チャンネル」「テレビ」
「表示ＣＨ」：
「全ＣＨ」「地上Ｄ」「ＢＳ」「ＣＳ１」「ＣＳ２」「地上Ｄ＋ＢＳ（無料）」
- 「表示ＣＨ」は放送切換ボタンを押しても変更できます。
- 「表示内容」を「設定チャンネル」にすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

④ 番組を選び、［決定］ボタンを押す
- ［青］ボタンで前日、［赤］ボタンで翌日の番組を見ることができます。

お知らせ
- ［赤］ボタンを押して９日目以降を選ぶと、放送局がおすすめする最大１年先までの番組（注目番組）があれば、その中から検索された番組を表示します。
９日目以降の番組を予約したときは予約方法が時間指定予約のみになる場合があります。
  - 実際の運用は、Ｇガイドが提供する番組情報に基づきます。

テレビを見る
テレビ放送の番組を探して見る
人名を選んで探す

人名を選び、番組を探す

番組に出演している人名から番組を探すことができます。

① 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「番組の検索」→「人名検索」を選び、［決定］ボタンを押す
③ カテゴリー、読みの最初、名前の順に選び、［決定］ボタンを押す

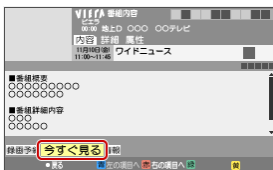
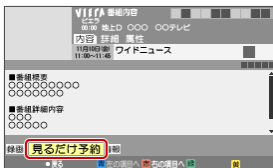
A サブメニューから表示する範囲を変更できます。
1. ［サブメニュー］ボタンを押す
2. 「表示内容」または「表示ＣＨ」を選び、設定する
「表示内容」：
「すべて」「設定チャンネル」「テレビ」
「表示ＣＨ」：
「全ＣＨ」「地上Ｄ」「ＢＳ」「ＣＳ１」「ＣＳ２」「地上Ｄ＋ＢＳ（無料）」
- 「表示ＣＨ」は放送切換ボタンを押しても変更できます。
- 「表示内容」を「設定チャンネル」にすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

④ 番組を選び、［決定］ボタンを押す
- ［青］ボタンで前日、［赤］ボタンで翌日の番組を見ることができます。

お知らせ
- ［赤］ボタンを押して９日目以降を選ぶと、放送局がおすすめする最大１年先までの番組（注目番組）があれば、その中から検索された番組を表示します。
９日目以降の番組を予約したときは予約方法が時間指定予約のみになる場合があります。
  - 実際の運用は、Ｇガイドが提供する番組情報に基づきます。

番組表や検索結果などから、選んだ番組を見るには

① 見たい番組を選び、［決定］ボタンを押す
- 「番組内容」画面を表示します。
- 選んだ番組の放送時間により「今すぐ見る」／「見るだけ予約」の表示が変わります。

② 「今すぐ見る」または「見るだけ予約」を選び、［決定］ボタンを押す
- 今放送している時間帯の番組を選んだときは、「今すぐ見る」を選び、［決定］ボタンを押す
  →選んだ番組が映ります。
- まだ放送されていない番組を選んだときは、「見るだけ予約」を選び、［決定］ボタンを押す
  →予約が完了します。

お知らせ
- テレビを見ているときに、予約時刻になると、予約番組に切り換わります。
  （アクトビラ、ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶ、ネットで使い方ガイド中を除く）
- 電源を「切」にし、テレビをご覧になっていない場合は、予約番組は映りません。

■ 予約番組が重なっているときは
- 予約重複のメッセージを表示します。「はい」を選び、［決定］ボタンを押すと「予約重複確認」画面を表示します。

Ａ 優先順位が高い予約番組から表示します。

- 予約番組を選び、［黄］ボタンを押すと削除／取り消します。

お知らせ

- 本機は同じ時間帯に最大２番組を録画予約できます。
  同じ時間帯に録画予約できない場合は、予約の重複になります。
- 重複している予約番組を削除／取り消したとき、予約の重複がなくなると「予約重複確認」画面の表示が消えます。
- 予約した番組の放送開始が確認できないとき、予約した開始時刻から３時間の間に予約している番組には重複アイコンが表示され、予約が実行されないことがあります。

テレビを見る
テレビ放送の番組を探して見る
番組データの取得について

番組データは放送局やインターネットから取得する

本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組を探します。そのため、実際の放送に該当する項目（キーワードや人名など）が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。

- 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。
（２画面の場合は番組データが取得できないことがあります）最大約４時間かかります。
（2014年３月現在）
- インターネットからも番組データを取得できます。取得するには、インターネットに接続し、「機器設定」→「設置設定」の「番組表設定」で「通信によるGガイド受信」を「オン」に設定することによって、最新の番組データをインターネットからより確実に取得できます。

テレビを見る
２つの画面を表示する
２画面表示にする

デジタル放送などを２画面表示にする

- ［２画面］ボタンを押す
  - 「２画面で探す」が表示されているときは、［緑］または［画面モード］ボタンを押すと２画面を表示します。

A	B

- もう一度押すと１画面に戻ります。

■　２画面時の画面組み合わせについて

左画面	右画面
デジタル放送	デジタル放送
デジタル放送	ビデオ入力／Ｄ端子入力
ビデオ入力／Ｄ端子入力	デジタル放送
ＨＤＭＩ入力	デジタル放送
DisplayPort入力	デジタル放送

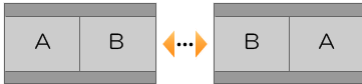
- ３Ｄ映像表示、メディアプレーヤーでの写真再生、メディアプレーヤーでのビデオ再生、メディアプレーヤーでの音楽再生、録画番組再生、データ放送表示、インターネット利用中（アクトビラ、YouTube、Ｗｅｂブラウザなど）、ビエラ操作ガイドのときは２画面を利用できません。
- ＨＤＭＩ／DisplayPort入力は左画面のみの表示です。

■　２画面にしたときは
- 両画面でテレビ放送を視聴中にチャンネルを換えると、左画面が切り換わります。
- 左画面と右画面では画質が異なる場合があります。
- 左画面でビデオなどの再生映像を早送りや巻戻しすると、右画面の映像が乱れる場合があります。
- ２画面にしたときは、音声ガイド機能は働きません。

2画面表示中にできる操作

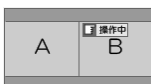
左右の画面を入れ換える

● ［決定］ボタンを押す

A B ⇔ B A

- 押すたびに左右が入れ換わります。
- 以下の組み合わせで2画面のとき、左右画面の入れ換えができます。
  - デジタル放送とデジタル放送
  - デジタル放送とビデオ入力／D端子入力
- 2番組録画を実行中、「左右入換」をすると録画を停止するか確認する画面を表示します。

右画面を操作する

① ［▶］ボタンを押す

A B

② の表示中に操作する

● 左画面でデジタル放送を見ているときは、右画面で入力切換（ビデオ入力／D端子）とデジタル放送の視聴（チャンネル切換）ができます。
- 2番組録画を実行中、右画面でチャンネル切り換えをすると録画を停止するか確認する画面を表示します。

３Ｄ映像を見る

３Ｄの立体感のある映像をお楽しみいただくには

- 当社製の３Ｄグラス（別売品）が必要です。
  - ３Ｄグラスについては、 取扱説明書をご覧ください。
- ３Ｄ対応ディーガで３Ｄソフトを再生したり、３Ｄ番組のチャンネルを選ぶなどして、３Ｄ映像を表示してください。
- 「３Ｄ自動切換」を「オン」または「アドバンスト」に設定すると、３Ｄ映像の信号が入力されたとき、自動的に３Ｄの表示に切り換わります。「オフ」にした場合も［３Ｄ］ボタンを押して３Ｄの表示に切り換えることができます。
- ２Ｄの映像を視聴しているとき、［３Ｄ］ボタンを押して３Ｄの表示に変換できます。
- ３Ｄの表示で視聴する場合は、３Ｄグラスの電源を入れて、装着してください。
- ３Ｄグラスの操作については、３Ｄグラスの取扱説明書をご覧ください。

■ サイドバイサイド形式について

- 本機で見ることのできる３Ｄ映像の方式です。左右に分割された映像を合成して、立体的に表示します。
- 日本ＢＳ放送（ＢＳ１１デジタル）などで採用されています。（2014年３月現在）

■ トップアンドボトム方式について

- 本機で見ることができる３Ｄ映像の方式です。上下に分割された映像を合成して、立体的に表示します。

お知らせ

- 本機の電源を「入」にしてから初めて映像を３Ｄで表示するとき、３Ｄを正しく見るためのメッセージ画面を表示します。
  今後表示しないときは「いいえ」を選び、決定してください。
- ホーム画面表示中や２画面のとき、番組表などでは映像を３Ｄで表示しません。
- 紛失、故障などで３Ｄグラスが使えないときや、一時的に３Ｄグラスの使用を中止するとき、「３Ｄ切換」画面で「２Ｄ」を選ぶと、２Ｄの表示で視聴できます。映像によっては「３Ｄ切換（マニュアル）」画面で「サイドバイサイド－２Ｄ」や「トップアンドボトム－２Ｄ」に設定する必要があります。
- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢでの３Ｄ映像の視聴については、ご契約のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

３Ｄ映像を視聴しているとき、表示を２Ｄや３Ｄに切り換える

① ［３Ｄ］ボタンを押し、「３Ｄ切換」画面にする
- ボタンを押すたびに、「３Ｄ」と「２Ｄ」が切り換わります。

② 見たい表示を選び、［決定］ボタンを押す
- ３Ｄで表示する場合、「３Ｄ設定」の各項目を設定することによって、奥行き感などの見え方を調整できます。
- 「３Ｄ切換」画面で設定しても適切に表示できない場合は、［青］ボタンを押して、「３Ｄ切換（マニュアル）」画面で設定してください。

■ 視聴できる３Ｄ映像について
３Ｄに対応した、以下の放送や入力信号を立体的な映像として視聴できます。
（2014年３月現在）

- 地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送
- ＨＤＭＩ入力※１
- DisplayPort入力
- お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）※２
- Ｄ端子入力
- メディアプレーヤーでの写真再生
- メディアプレーヤーでのビデオ再生
- メディアプレーヤーでの録画番組再生
- アクトビラ

※1 本機にＨＤＭＩロゴのある「Ｈｉｇｈ Ｓｐｅｅｄ ＨＤＭＩケーブル」で接続したプレーヤー／レコーダーやＣＡＴＶデジタルＳＴＢなどから３Ｄ映像を入力しているとき
※2 ＤＬＮＡ対応のレコーダー（ディーガ）のハードディスクに記録された３Ｄ映像を再生しているとき

お知らせ
- 本機の電源を「切」「入」したとき、入力やチャンネルを切り換えたときなどは、「２Ｄ」に設定したときの表示になります。
- メディアプレーヤーの写真再生、ビデオ再生、録画番組再生で複数のコンテンツを続けて再生するとき、「３Ｄ」に設定すると、再生が終了するまで「３Ｄ」に設定したときの表示になります。
- ディーガの映像を本機で３Ｄ表示するとき、ディーガのメニューが見にくくなることがあります。
- ４Ｋ映像は３Ｄで表示できません。また、４Ｋ映像は２Ｄから３Ｄに変換できません。

テレビを見る
３Ｄ映像で見る
３Ｄ映像を見やすいように調整する

３Ｄ映像を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「３Ｄ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ ３Ｄ設定の画面から設定したい項目を選び、項目ごとに設定する
- 「３Ｄ視聴に関するお願い」を選んで［決定］ボタンを押すと、３Ｄ映像を正しく見るためのメッセージ画面を表示します。

● 設定したら［戻る］ボタンを押して、テレビ画面に戻す

■ 設定項目について

「３Ｄ自動切換」：
「アドバンスト」に設定すると、３Ｄ信号が入力された場合や、同じような映像が左右（サイドバイサイド）や上下（トップアンドボトム）に並んでいると判別された場合に自動的に３Ｄ表示に切り換えます。
「オン」に設定すると、３Ｄ信号が入力された場合のみ自動的に３Ｄ表示に切り換えます。
「オフ」に設定すると、３Ｄ信号が入力された場合でも自動的に３Ｄに切り換わりません。

「３Ｄ信号入力通知」：
「オン」に設定すると、「３Ｄ自動切換」を「オフ」に設定し３Ｄ信号が入力された場合、または「３Ｄ自動切換」を「オフ」あるいは「オン」に設定しサイドバイサイドやトップアンドボトムの映像を表示した場合に、検出メッセージを表示します。

「３Ｄリフレッシュレート」：
お使いの照明によっては、３Ｄ映像をご覧になるときちらつきが感じられることがあります。その場合に設定を変更してちらつきを抑えます。
60 Hzの映像のときは100 Hz、120 Hzから選びます。
24 Hzの映像のときは96 Hz、100 Hz、120 Hzから選びます。

「２Ｄ→３Ｄ変換効果」：
２Ｄ映像視聴中に［３Ｄ］ボタンを押して「３Ｄ」を選んだとき、３Ｄ表示の奥行き感や見え方に違和感がある場合に調整します。

「左右反転」：
３Ｄグラスを装着して見ている３Ｄ映像に違和感を感じるとき、「反転」に設定する。

「斜め線フィルター」：
自動的に切り換わった３Ｄ映像や、「３Ｄ切換」画面で「３Ｄ」に設定したり、「３Ｄ切換（マニュアル）」画面で「サイドバイサイド - ３Ｄ」や「トップアンドボトム - ３Ｄ」に設定して表示した３Ｄ映像を、３Ｄグラスを装着しながら見て違和感を感じるとき、「オン」に設定する。

お知らせ

- 本機の電源を「切」「入」したとき、入力やチャンネルを切り換えたときは「左右反転」が「ノーマル」に戻ります。
- 照明によって３Ｄ映像がちらつく場合は、「３Ｄ設定」の「３Ｄリフレッシュレート」を設定してください。
- 「左右反転」と「斜め線フィルター」は、３Ｄ映像を３Ｄ表示しているときに設定できます。
- 「２Ｄ→３Ｄ変換効果」は、２Ｄ映像を３Ｄ映像に変換して表示しているときに設定できます。

３Ｄ映像の奥行きに違和感を感じるときに調整する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「３Ｄ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「３Ｄ奥行き設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「３Ｄ奥行き設定」を「オン」に設定し、「３Ｄ奥行き調整」で奥行きを調整する

- 「３Ｄ奥行き設定」を「オン」にすると、ご視聴いただく際のご注意に関するメッセージが表示されます。「３Ｄ奥行き調整」を設定する場合は、［戻る］ボタンを押してください。

- 設定したら［戻る］ボタンを押して、テレビ画面に戻す

お知らせ

- 「３Ｄ奥行き調整」は、３Ｄ映像を３Ｄ表示しているときに設定できます。
- 「３Ｄ奥行き調整」は、－３～３の間で調整できます。
- 本機の電源を「切」「入」したとき、入力やチャンネルを切り換えたとき、録画番組の再生が終了したときなどは「３Ｄ奥行き設定」が「オフ」に戻ります。
- 「３Ｄ奥行き設定」を「オフ」にすると、「３Ｄ奥行き調整」は０に戻ります。

テレビを見る
３Ｄ映像で見る
２Ｄ映像を３Ｄに変換して見る

２Ｄの映像を視聴しているとき、３Ｄに変換して映像を表示する

① ［３Ｄ］ボタンを押す
- ボタンを押すたびに、「３Ｄ」と「２Ｄ」が切り換わります。

② 「３Ｄ」を選び、［決定］ボタンを押す
- ３Ｄの効果が得られないときや違和感がある場合は、「３Ｄ設定」の「２Ｄ→３Ｄ変換効果」を設定することによって見え方を調整できます。
- ２Ｄの表示に戻す場合は、［３Ｄ］ボタンを押して「２Ｄ」を選び、［決定］ボタンを押してください。

■ ３Ｄ変換できる映像

以下の放送や入力信号を３Ｄに変換して視聴できます。（2014年３月現在）
- 地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送
- ＨＤＭＩ入力
- DisplayPort入力
- ビデオ入力
- Ｄ端子入力
- メディアプレーヤーでのビデオ再生
- メディアプレーヤーでの写真再生
- メディアプレーヤーでの録画番組再生
- お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）
- アクトビラ
- YouTube
- ひかりＴＶ
- もっとＴＶ

お知らせ
- 本機の電源を「切」「入」したとき、入力やチャンネルを切り換えたときなどは、「２Ｄ」に設定したときの表示になります。
- メディアプレーヤーの写真再生、ビデオ再生、録画番組再生で複数のコンテンツを続けて再生するとき、「３Ｄ」に設定すると、再生が終了するまで「３Ｄ」に設定したときの表示になります。
- ディーガの映像を本機で３Ｄ表示するとき、ディーガのメニューが見にくくなることがあります。
- ホーム画面表示中、２画面、ビエラ操作ガイドやメディアプレーヤーの写真一覧表示、ビデオ一覧表示、録画一覧表示のときは３Ｄに変換できません。
- テレビ番組などソフトの映像を３Ｄに変換すると、オリジナル映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、当機能をお使いください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて当機能を利用して２Ｄ映像を３Ｄ映像に変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ４Ｋ映像は３Ｄで表示できません。また、４Ｋ映像は２Ｄから３Ｄに変換できません。

3Ｄ映像の表示方式を切り換える

映像の表示方式を選び、切り換える

「3Ｄ切換」画面で切り換えても適切に表示しない映像のとき、方式を選んで切り換えます。

① ［3Ｄ］ボタンを押し、「3Ｄ切換」画面にする
② ［青］ボタンを押す
③ 視聴している映像の方式に合わせて設定を選び、［決定］ボタンを押す

■ 設定項目について

「オリジナル」：
　方式ごとのオリジナルの映像で表示
「サイドバイサイド - 3Ｄ」：
　サイドバイサイド方式の3Ｄ映像を3Ｄで表示
「サイドバイサイド - 2Ｄ」：
　サイドバイサイド方式の3Ｄ映像を2Ｄで表示
「トップアンドボトム - 3Ｄ」：
　トップアンドボトム方式の3Ｄ映像を3Ｄで表示
「トップアンドボトム - 2Ｄ」：
　トップアンドボトム方式の3Ｄ映像を2Ｄで表示
「2Ｄ→3Ｄ変換」：
　2Ｄの映像を3Ｄで表示

● 設定・入力信号と見え方のイメージについては、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- 本機の電源を「切」「入」したとき、入力やチャンネルを切り換えたときなどは、「オリジナル」に設定したときの表示になります。
- メディアプレーヤーの写真再生、ビデオ再生、録画番組再生で複数のコンテンツを続けて再生するとき、設定した表示は再生が終了するまで保持されます。
- ディーガの映像を本機で3Ｄ表示するとき、ディーガのメニューが見にくくなることがあります。

テレビを見る
画面を静止する
放送中の画面を静止する

放送番組の視聴中に画面を静止させることができます。（音声は放送中の状態のまま）

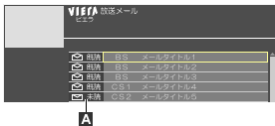
放送中の画面を静止する

- ［静止］ボタンを押す
  - 画面右上に「静止」と表示され、画面が静止します。
  - もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。

お知らせ
- 動きのある映像を静止した場合、斜めの線などが乱れることがあります。
- 本機の操作をしないとき、約１０分で静止状態は解除されます。
- 見るだけ予約が開始されると静止状態は解除されます。
- ホーム画面では画面を静止できません。

テレビを見る
放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る
放送メールを見る

放送局や本機からのお知らせや情報を見る（インターネットメールではありません）

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「放送メール」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 確認したいメールを選び、［決定］ボタンを押す

A 未読、既読を表示

- 放送メールの内容を表示します。

- 確認したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ

- 放送メールには、放送局からのお知らせ（最大３１通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の１通のみ保存）などがあります。
- 放送メールの下の部分に、「ダウンロード予約」のボタンが表示されることがあります。

テレビを見る
放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る
Ｂ－ＣＡＳカードの情報を見る

Ｂ－ＣＡＳカードの番号などを確認する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「Ｂ－ＣＡＳカード」を選び、［決定］ボタンを押す
- Ｂ－ＣＡＳカードの情報を表示します。

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

本機のバージョンなどの情報を確認する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ヘルプ」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＩＤ表示」を選び、［決定］ボタンを押す
- バージョンなどの情報を表示します。

- 確認したら［元の画面］ボタンを押す

テレビを見る
放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る
ソフトウェアやルート証明書の情報を見る

本機のソフトウェア情報を表示する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ライセンス情報」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ソフト情報表示」を選び、［決定］ボタンを押す

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

データ放送時のルート証明書の情報を表示する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ルート証明書」を選び、［決定］ボタンを押す

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

テレビを見る
放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る
ボードの情報を見る

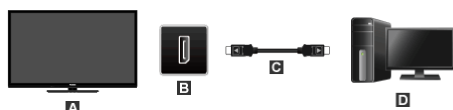
１１０度ＣＳデジタル放送から送られる情報を確認する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ボード」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ＣＳ１ボード」または「ＣＳ２ボード」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 確認したい情報を選び、［決定］ボタンを押す
- ボードの内容を表示します。

- 確認したら［元の画面］ボタンを押す

４Ｋ出力対応機器を接続する

４Ｋ出力対応機器を本機のDisplayPort端子やＨＤＭＩ４端子に接続して、４Ｋ映像コンテンツを視聴できます。

■　４Ｋ出力に対応したDisplayPort対応機器を接続する

A　ＴＶ
B　DisplayPort端子
C　DisplayPortケーブル（市販品）
D　DisplayPort対応機器（ＰＣなど）

お知らせ
- DisplayPortケーブル（市販品）は、DisplayPort１．２対応のケーブルをご使用ください。
- ケーブルやミニ変換コネクタの種類によっては、４Ｋ映像が正しく再生できない場合があります。

■　４Ｋ出力に対応したＨＤＭＩ対応機器を接続する
- ４Ｋ出力に対応した機器を接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。
  - 接続については「ＵＳＢハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する」の「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器（ディーガなど）を接続する」または「ビエラリンクを使わない機器を接続する」をご覧ください。

- 接続方法については、取扱説明書をご覧ください。

視聴可能な４Ｋ映像の入力信号について

本機でDisplayPort端子やＨＤＭＩ４端子に接続した場合、視聴可能な４Ｋ映像の入力信号は以下の通りです。

■　４Ｋ　ＵＨＤ：3840×2160（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
- 本機ではアスペクトを「フル」に固定して表示します。

■　ＤＣＩ　４Ｋ：4096×2160（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
- 本機ではアスペクトを「フル（3840×2160）」または「水平フル」、「垂直フル」に変換して表示できます。

お知らせ
- ４Ｋ映像は３Ｄで表示できません。また、４Ｋ映像は２Ｄから３Ｄに変換できません。
- ４Ｋ映像コンテンツ再生中に録画モードが「長時間１」または「長時間２」で予約した番組の録画予約が始まると、メッセージを表示して再生を停止します。
- 録画モードが「長時間１」または「長時間２」で番組を録画中は、４Ｋ映像コンテンツを再生できません。
- 本機では４Ｋの放送は受信できません。

DisplayPort端子に接続したＲＧＢ出力機器の画質を設定する

ＲＧＢ入力信号のレンジを切り換えて画質を設定します。
［入力切換］ボタンを押してDisplayPort入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「オプション機能」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「DisplayPort RGBレンジ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ DisplayPort端子を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オート」：
DisplayPortの識別情報によりＲＧＢ入力信号のレンジを自動的に切り換えるときに設定する。
「エンハンス」：
映像の黒い部分がつぶれて見づらいときに設定する。
「スタンダード」：
標準的な出力映像を表示するときに設定する。

DisplayPort端子に入力された映像信号の画質を設定する

入力信号に適した画質に設定します。
［入力切換］ボタンを押してDisplayPort入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「オプション機能」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「DisplayPort画質連動設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ DisplayPort端子を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「グラフィック固定」：
ＰＣなどの文字が見やすい画質に調整するときに設定する。
「写真固定」：
写真に適した画質に調整するときに設定する。
「オフ」：
画質調整をしないときに設定する。

外部機器をつないで見る、聴く
４Ｋ出力対応機器を接続・設定する
接続機器の表示方法を設定する

DisplayPort接続した機器のストリームの表示方法を切り換える

DisplayPortのストリーム選択を行います。
［入力切換］ボタンを押してDisplayPort入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「DisplayPort設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ストリーム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 表示方法を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オート」：
　入力信号に応じて、自動的に最適なストリームに切り換えるときに設定する。
「シングルストリーム」：
　シングルストリームで表示するときに設定する。

お知らせ
● DisplayPortケーブル（市販品）は、DisplayPort１．２対応のケーブルをご利用ください。

外部機器をつないで見る、聴く
４Ｋ出力対応機器を接続・設定する
接続機器の音声入力を設定する

DisplayPort対応機器と接続したときに音声入力の設定をする

DisplayPort機器を接続しているとき、音声の入力方法を設定します。
［入力切換］ボタンを押してDisplayPort入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「DisplayPort音声入力設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ DisplayPort端子を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「デジタル」：
音声をデジタルで入力するときに設定する。
「アナログ」：
音声をアナログで入力するときに設定する。

お知らせ
- 対応している音声信号の種類
リニアＰＣＭ、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
- 対応している映像信号
720p、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）、
2160p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
- 一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- アナログ音声をお使いになる場合は、DisplayPort端子とビデオ入力の音声入力端子に接続が必要です。

DisplayPort接続で表示可能な入力信号について

DisplayPort接続で表示できる入力信号の種類は以下の通りです。

信号名（表示解像度）
720p（59.94 Hz/60 Hz）
1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
４Ｋ　ＵＨＤ（3840×2160、24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
ＤＣＩ　４Ｋ（4096×2160、24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
ＶＧＡ（640×480）
ＳＶＧＡ（800×600）
ＸＧＡ（1024×768）
ＷＸＧＡ（1280×768）
ＷＸＧＡ（1360×768）
ＷＸＧＡ（1366×768）
ＳＸＧＡ（1280×1024）
ＷＱＨＤ（2560×1440）

ＨＤＭＩ４端子のＨＤＣＰバージョンを設定する

ＨＤＭＩ４端子に入力した４Ｋ映像コンテンツに合わせて、ＨＤＣＰ（デジタル著作権保護技術）バージョンを設定します。
［入力切換］ボタンを押してＨＤＭＩ入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＨＤＭＩ４　ＨＤＣＰ設定」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オート」：
視聴する４Ｋ映像コンテンツに応じて、自動的に最適なバージョンに切り換えるときに設定する。
「２．２」／「１．４」：
「オート」で正常に表示しない場合に、「２．２」または「１．４」に固定するときに設定する。

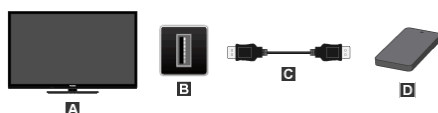
お知らせ
● ４Ｋ出力に対応した機器を接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する
ＵＳＢハードディスクをお使いになる前に

まず、ご確認ください

- 本機で録画するＵＳＢハードディスクは本機に登録し、録画用に設定する必要があります。接続時に登録のメッセージを表示する場合は、表示に従って本機に登録・設定してください。
  （登録するとＵＳＢハードディスクをフォーマットし、すべてのデータを消去します）
  - 本機に登録できるのは、容量が１６０ GB以上のＵＳＢハードディスクです。
- ＵＳＢハードディスクを接続して本機に登録していない場合は、「機器設定」の「ＵＳＢ機器一覧」で本機に登録してください。
- 本機に登録できるＵＳＢハードディスクは８台までです。そのうち、録画用に設定できるＵＳＢハードディスクは１台です。
- 本機でお使いいただくＵＳＢハードディスクは本機専用として使用してください。本機専用で使用中のＵＳＢハードディスクをほかの機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。
- 故障で本機を修理した場合などは、ＵＳＢハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。
- 本機で動作確認済みのＵＳＢ機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。
  「動作確認情報」→『液晶テレビ（ビエラ）』→『「ＴＨ－○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する
ＵＳＢハードディスクを接続／登録する

ＵＳＢハードディスクを本機に接続する

A ＴＶ
B ＵＳＢ端子
C ＵＳＢケーブル
D ＵＳＢハードディスク

- 録画用のＵＳＢハードディスクは本機のＵＳＢ３（録画用）端子に接続してください。
- 録画用に登録していないＵＳＢハードディスクを接続したときは、画面表示に従って録画用に登録してください。
- 録画用に登録できるＵＳＢハードディスクは１台のみです。
- すでに接続しているＵＳＢハードディスクを登録するには、「機器設定」の「ＵＳＢ機器一覧」で登録してください。

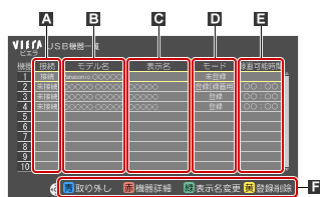
録画や再生に使用するＵＳＢハードディスクを本機に登録する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＵＳＢ機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 未登録のＵＳＢハードディスクを選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 画面に表示される内容に従って登録し、録画用に設定する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 登録済みのＵＳＢハードディスクを録画用にするには
すでに登録しているＵＳＢハードディスクを選んで［決定］ボタンを押すと、録画用に設定できます。
（録画用に設定できるＵＳＢハードディスクは１台のみです。それまで録画用に設定していたＵＳＢハードディスクは再生用になります。）

画面の見かた

登録できるＵＳＢハードディスクは８台までです。
現在登録しているＵＳＢハードディスクの台数と登録状態が確認できます。

A ＵＳＢ機器の接続状態
B ＵＳＢ機器のモデル名
C 本機での表示名（本機で登録するときに設定します）
D 「登録［録画用］」：録画・再生に使用
「登録」：録画番組の再生に使用
「未登録」：録画・再生に使用できません
E 「録画可能時間」：登録したＵＳＢハードディスクのみ表示
F 操作について

- 登録済み、または接続しているＵＳＢハードディスクの詳細情報を見るには
［赤］ボタンを押す
- 登録しているＵＳＢハードディスクの表示名を変えるには
［緑］ボタンを押す

お知らせ

- **ＵＳＢハードディスクを本機に登録するとき、ＵＳＢハードディスクのフォーマットを行います。フォーマットを行うとＵＳＢハードディスク内すべてのデータが消去されます。**
- 本機に登録したＵＳＢハードディスクに録画された番組は、本機でのみ再生できます。ほかのテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどに接続して再生することはできません。
- 本機でお使いいただくＵＳＢハードディスクは本機専用として使用してください。本機専用で使用中のＵＳＢハードディスクをほかの機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。
- 故障で本機を修理した場合などは、ＵＳＢハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。
- 「ＵＳＢ機器一覧」画面には、本機に登録済みのＵＳＢハードディスクと、本機のＵＳＢ端子に接続されている機器を表示します。

ＵＳＢハードディスクを本機から取り外す

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＵＳＢ機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 接続しているＵＳＢハードディスクを選び、［青］ボタンを押す

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する
ＵＳＢハードディスクの登録を削除する

登録を削除したＵＳＢハードディスクの番組は再生できません。また、再度登録するとフォーマットを行い、ＵＳＢハードディスク内のすべてのデータを消去します。したがって、登録を削除すると、それまでに録画した番組は再生できなくなりますので、ご注意ください。

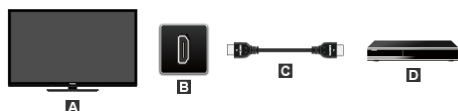
ＵＳＢハードディスクの登録を削除する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＵＳＢ機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 接続しているＵＳＢハードディスクを選び、［黄］ボタンを押す
⑤ 画面に表示される内容に従って操作し、登録を削除する

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器（ディーガなど）を接続する

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を接続する

本機とビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器（ディーガやシアターなど）をＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続して、映像、音楽を楽しむことができます。

- 接続方法については、➡📖取扱説明書をご覧ください。

A ＴＶ
B ＨＤＭＩ端子
C ＨＤＭＩケーブル（別売品）
D ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応ディーガ

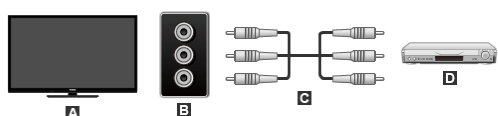
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の機能を使うには、「ビエラリンク」の設定を「オン」にしてください。
  詳しくは「外部機器をつないで見る、聴く」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の設定をする」をご覧ください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で録画に使う機器は、ＨＤＭＩ１端子に接続してください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で操作できるのは、各機器につき１台です。
  同じ種類の機器を複数接続した場合、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で操作できるものは、番号の小さいＨＤＭＩ端子に接続した機器のみです。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を最初に接続したときは、［入力切換］ボタンを押してＨＤＭＩ入力に切り換えてください。

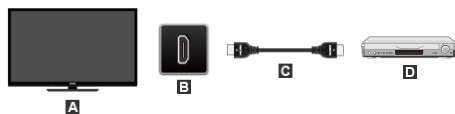
※ ４Ｋ出力に対応したディーガを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。

ビエラリンクを使わない機器を接続する

再生機器やオーディオ機器を本機と接続して、映像、音楽を楽しむことができます。

- 接続方法については、取扱説明書をご覧ください。
- 接続した機器の映像をお楽しみになるときは、［入力切換］ボタンで画面を切り換えてください。

■ ビデオ端子に接続する

A ＴＶ
B ビデオ入力端子
C 映像／音声ケーブル（市販品）
D 再生機器（ＤＶＤプレーヤーなど）

■ ＨＤＭＩ端子に接続する

A ＴＶ
B ＨＤＭＩ端子
C ＨＤＭＩケーブル（別売品）
D ＨＤＭＩ対応機器（ビエラリンク非対応）

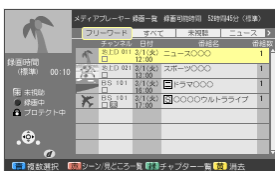
※ ４Ｋ出力に対応した機器を接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ ４端子に接続してください。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生・編集する
録画した番組を再生する

まず、ご確認ください

● 本機で録画したＵＳＢハードディスクが接続されていることを確認してください。
ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
● ＵＳＢハードディスクは本機に登録されている状態になっていますか？
（［メニュー］ボタン →「機器設定」→「ＵＳＢ機器一覧」画面で確認できます）

録画一覧から録画した番組を選んで再生する

① ［録画一覧］ボタンを押す
● 録画一覧画面を表示します。

② ［◀、▶］ボタンで見たい分類を選ぶ
③ ［▲、▼］ボタンで見たい番組を選び、［決定］ボタンを押す
● 再生が始まります。

● 再生を停止するには［停止］ボタンを押す
● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
● 前回、再生を途中で停止したＵＳＢハードディスクの録画番組を再生する場合、停止した場面から再生するか、先頭から再生するかを選び、決定すると再生が始まります。
● 有料放送を無料期間中に録画した番組などの場合、再生したときに画面上にメッセージを表示することがあります。
● ＵＳＢハードディスクに録画中のときに録画番組を再生すると、再生している映像に影響がでる場合があります。

番組の一部を繰り返し再生する（A－Bリピート）

指定した２点間を繰り返し再生することができます。

① 再生中に［黄］ボタンを押して、Ａ点を設定する
② もう一度［黄］ボタンを押して、Ｂ点を設定する
- Ａ点とＢ点の間で再生が繰り返されます。
- 番組の早送り、早戻し、一時停止中はＡ点とＢ点を設定できません。
- 複数の番組にまたがって、Ａ点とＢ点は設定できません。

- 通常の再生に戻るには、Ａ－Ｂリピート再生中に［黄］ボタンを押す
  - Ａ－Ｂリピート再生中にサーチやスキップなどの操作をすると通常の再生に戻ります。

リモコンの操作ボタンについて

リモコンの外部機器操作ボタンで以下の操作ができます。

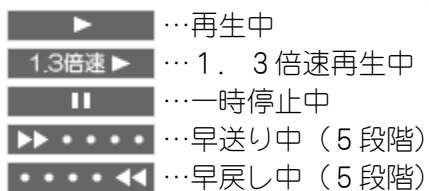
- ［再生／１．３倍速］ボタン
  再生を開始します。
  - テレビ放送やビデオ／Ｄ端子入力のときに［再生／１．３倍速］ボタンを押すと、「録画一覧」画面を表示します。
  - 途中まで見ていたＵＳＢハードディスクの番組については、先頭から再生するか前回見ていた場面から再生するか確認する画面を表示します。
  - 録画番組を再生中に３秒以上押すと１．３倍速で再生します。
    もう一度［再生／１．３倍速］ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
    ※ ＵＳＢハードディスクに録画しながら再生しているときは１．３倍速で再生できません。
- ［一時停止］ボタン
  再生中に押すと一時停止します。
  - もう一度押す、または［再生／１．３倍速］ボタンを押すと再生を再開します。
- ［停止］ボタン
  再生を停止します。
- ［早戻し／早送り］ボタン
  再生中に押すと早戻し／早送りをします。
  - 押すたびに、速度が速くなります。（５段階）
  - ［再生／１．３倍速］ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- ［スキップ］ボタン
  再生中に押すとスキップします。
  - 押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越して再生します。
    （前番組／次番組へは飛び越しません。）

再生画面の見かた

録画番組を再生すると、以下のような画面が表示されます。

A タイトルなどの情報

B 再生状態について

- 再生状態の表示は以下の通りです。
  - ▶ …再生中
  - 1.3倍速 ▶ …１．３倍速再生中
  - ❚❚ …一時停止中
  - ▶▶ ● ● ● ● …早送り中（５段階）
  - ● ● ● ● ◀◀ …早戻し中（５段階）

C チャプターバー

D 録画時間

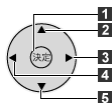
E 操作パネルについて

- 詳しくは下記「操作パネルについて」をご覧ください。

お知らせ

- ＵＳＢハードディスクの録画番組再生中は、数秒で画面表示が消えます。
  ［画面表示］ボタンを押すと、再度表示します。

操作パネルについて

■ カーソル／決定ボタン

1 再生： 一時停止中、早送り中、早戻し中に押す
一時停止： 再生中に押す
● タイムシークバーを表示します。
2 ３０秒スキップ： 再生中、早送り中、早戻し中に押す
● １回押すたびに、約３０秒飛び越して再生します。
● ３秒以上押すと、約１０秒戻って再生します。
3 サーチ（早送り）： 再生中、早戻し中に押す
● 押すたびに早送り速度が速くなります。（５段階）
● ［決定］ボタンを押すと通常の再生になります。
4 サーチ（早戻し）： 再生中、早送り中に押す
● 押すたびに早戻し速度が速くなります。（５段階）
● ［決定］ボタンを押すと通常の再生になります。
5 停止： 「録画一覧」画面に戻る

■ ［青］ボタン
前スキップをします。

■ ［赤］ボタン
次スキップをします。
● 再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に押したときは
押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越して再生します。
（前番組／次番組へは飛び越しません。）

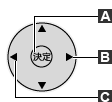
■ ［緑］ボタン
「チャプター一覧」画面を表示します。

■ ［黄］ボタン
Ａ－Ｂリピート再生の区間の設定と解除をします。

タイムシークバーについて

録画番組の再生中に［決定］ボタンを押して一時停止にすると、タイムシークバーを表示します。タイムシークバーを使用すると見たい場面に移動しやすくなります。

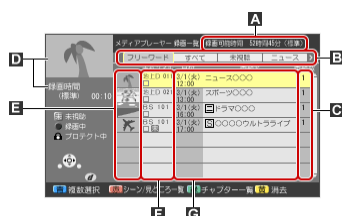
A カウンター
B 録画時間

■ 操作について

A 再生：
タイムシークバーの表示を消して、録画番組を再生します。
B サーチ（早送り）：
１回押すたびに、カウンターを約１０秒進めます。押したままにすると、連続して進みます。
C サーチ（早戻し）：
１回押すたびに、カウンターを約１０秒戻します。押したままにすると、連続して戻ります。

● タイムシークバーの表示を消すには
［戻る］ボタンを押す

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生・編集する
録画一覧画面の見かたと操作方法

録画一覧画面の見かた

「録画一覧」画面では、以下のような情報が表示されます。

A 録画できる時間
B 分類表示
C まとめ番組に含まれる番組数（まとめ番組以外は「１」と表示）
D 選んでいる番組のプレビュー映像、録画時間
E 録画番組のプレビュー画像
F 録画した放送、チャンネル、録画番組の情報（アイコン）

未 未視聴　● 録画中　プロテクト中　まとめ番組

G 録画した日付、開始時間、番組名（古いものから順に表示）

お知らせ
- 「録画中」の番組を選んで［停止］ボタンを押して「はい」を選ぶと、録画を停止できます。
- 「録画中」の番組を選んで［再生／１．３倍速］ボタンを押すと、追っかけ再生を開始します。ただし、再生している映像に影響がでる場合があります。
- ＵＳＢハードディスクに録画しながら再生しているときは１．３倍速で再生できません。
- 分類表示の「ニュース」には、最新ニュースで録画したニュース番組のみ表示します。

操作について

■ 番組を選ぶには
　［▲、▼］ボタンを押す
■ 分類を選ぶには
　［◀、▶］ボタンを押す
■ 番組を再生するには
　［決定］ボタンを押す、または［再生／１．３倍速］ボタンを押す
■ 複数の番組を選ぶには
　［青］ボタンを押す
- まとめ番組を作ったり、まとめて消去したりするために、複数の番組を選べます。
  1. 番組を選び、［青］ボタンを押す（チェックマークが表示されます）
     もう一度押すと未選択になります。（チェックマークが非表示になります）
  2. 手順１を繰り返す

■ 録画した番組の中から、見たいシーンや見どころを表示するには（シーン／見どころ一覧）
　［赤］ボタンを押す
- 本機をインターネットに接続してください。
- シーン／見どころ一覧から再生するには、下記ホームページで会員登録を行ってください。
  http://r.me-mora.jp/

■ チャプター一覧を表示するには
　［緑］ボタンを押す
■ 選んだ番組を削除するには
　［黄］ボタンを押す
■ サブメニューを表示するには
　［サブメニュー］ボタンを押す
■ 番組の情報を表示するには
　［データ］ボタンを押す

お知らせ
- シーン／見どころ一覧でのシーン情報は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。（2014年３月現在）
  対応番組についてはミモーラのホームページをご覧ください。
  http://me-mora.jp/
- シーン情報のない番組ではシーン／見どころ一覧は表示できません。
- シーン／見どころ一覧では、番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。
- シーン／見どころ一覧は録画してからすぐに表示されません。表示される時間についてはミモーラのホームページをご覧ください。
- 「録画一覧」画面で［★（マイ）］ボタンを押すと、ユーザーを選択してお気に入りに登録できます。（もう一度操作すると、お気に入りを解除します。）
  - お気に入りに登録した録画番組は、「録画一覧」画面でユーザーごとに分類して表示します。

「まとめ」番組について

「まとめ」アイコンの付いた番組はまとめ番組です。複数の番組が１つのグループにまとめられているので、番組を選んで再生できます。

■ 「まとめ」番組を再生するには

1. 「録画一覧」画面で「まとめ」番組を選び、［決定］ボタンを押す
- ● 「まとめ」番組に含まれる番組を一覧に表示します。

2. 再生する番組を選び、［決定］ボタンを押す

■ 「まとめ」番組から番組を選び、除外するには

1. 「まとめ」番組内の番組を一覧で表示しているときに、番組を選ぶ（［青］ボタンを押すと複数の番組を選べます）

2. ［サブメニュー］ボタンを押して「まとめ番組から除外」を選び、［決定］ボタンを押す

お知らせ

- ● 「毎週予約設定」を「毎日」や「毎週（火）」などに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、「録画一覧」画面でまとめ番組として表示します。
- ● 録画一覧画面表示中に、［サブメニュー］ボタンを押すと、まとめ番組の作成や解除ができます。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生・編集する
チャプターを選んで再生する

「チャプター一覧」画面で場面を選んで再生する

① 「録画一覧」画面表示中に［緑］ボタンを押す
② 「チャプター一覧」画面で再生したい場面を選び、［決定］ボタンを押す
- 再生が始まります。

お知らせ
- まとめ番組ではチャプターを選べません。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生・編集する
再生中に設定できる機能

録画番組再生中に、字幕言語や音声などを変更する

① ［サブメニュー］ボタンを押す
- 関連する機能を表示します。

② 項目を選び、［決定］ボタンを押す
- 選んだ機能の画面に変わります。

■ 録画番組再生中に関連する設定項目について

「字幕言語」：
［字幕］ボタンを押して「字幕オン」にしたときに表示する字幕の言語を選びます。（録画番組により選べる言語は異なります）

「音声切換」：
複数の音声信号が記録された録画番組を再生しているとき、出力する音声信号を切り換えます。（音声信号の表示は録画番組により異なります）

「二重音声」：
二重音声信号（「主＋副」音声など）が記録されている録画番組を再生しているとき、出力する音声を選びます。（音声の表示は録画番組により異なります）

「視聴制限一時解除」：
制限解除のための暗証番号の登録または入力画面を表示します。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生・編集する
録画一覧画面表示中に設定できる機能

録画一覧画面表示中に、関連する機能を呼び出す

① ［サブメニュー］ボタンを押す
- 関連する機能を表示します。

② 項目を選び、［決定］ボタンを押す
- 選んだ機能の画面に変わります。

■ 録画一覧画面表示中に関連する設定項目について

「まとめ番組の作成」：

まとめ番組を作成するには以下の手順で操作します。

1. 「録画一覧」画面で番組を選び、［青］ボタンを押す（チェックマークが表示されます。もう一度押すと未選択になります）
2. 手順１を繰り返して、まとめたい番組を選ぶ
3. ［サブメニュー］ボタンを押して「まとめ番組の作成」を選び、［決定］ボタンを押す

- まとめ番組の番組名は、まとめ番組内の最初の番組名が付きます。

「まとめ番組の解除」：

まとめ番組を解除するには以下の手順で操作します。

1. 「録画一覧」画面でまとめ番組を選び、［青］ボタンを押す（複数の番組を選べます）
2. ［サブメニュー］ボタンを押して「まとめ番組の解除」を選び、［決定］ボタンを押す

「ＵＳＢ　ＨＤＤ選択」：

「ＳＤカード／ＵＳＢ機器／ファイル共有サーバー選択」画面を表示します。
「ＳＤカード／ＵＳＢ機器／ファイル共有サーバー選択」画面では、表示する機器を変えます。

「コンテンツ選択」：

表示の対象とするコンテンツ（録画番組、写真、ビデオ、音楽）を変えます。

「視聴制限一時解除」：

制限解除のための暗証番号登録または入力画面を表示します。

「番組名編集」：

番組名を編集するには以下の手順で操作します。

1. 「録画一覧」画面で番組名を変更したい番組を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
2. 「番組名編集」を選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面に表示されている内容に従い、入力する

- 番組名を入力しているときに［戻る］ボタンを押すと、番組名を変更しないで「録画一覧」画面に戻ります。
- 「録画一覧」画面にチェックマークが 1 つでも表示されているとき、番組名を変更できません。
- 以下の番組については、番組名を変更できません。
  - プロテクト設定された番組
  - 録画中の番組
  - まとめ番組
    （まとめ番組に含まれる番組の番組名は変更できます）
- 文字入力については、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生・編集する
録画した番組を消去する

まず、ご確認ください

- 本機で録画したＵＳＢハードディスクが接続されていることを確認してください。
  電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- ＵＳＢハードディスクは本機に登録されている状態になっていますか？
  （［メニュー］ボタン →「機器設定」→「ＵＳＢ機器一覧」画面で確認できます）

録画一覧から録画した番組を選んで消去する

ＵＳＢハードディスクの残量が不足したときに、不要な番組を選んで消去します。

① ［録画一覧］ボタンを押す
- 「録画一覧」画面を表示します。

② 消去したい録画番組を選び、［黄］ボタンを押す
③ 番組消去の確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

お知らせ
- ［青］ボタンを押して複数の番組を選び、消去することもできます。
- プロテクト設定された番組は消去できません。プロテクト設定を解除すると消去できます。

外部機器をつないで見る、聴く
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生・編集する
録画した番組をプロテクトする

まず、ご確認ください

- 本機で録画したＵＳＢハードディスクが接続されていることを確認してください。
  電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- ＵＳＢハードディスクは本機に登録されている状態になっていますか？
  （［メニュー］ボタン →「機器設定」→「ＵＳＢ機器一覧」画面で確認できます）

録画した番組のプロテクト設定を変更する

ＵＳＢハードディスクの録画番組にプロテクト設定できます。

① ［録画一覧］ボタンを押す
- 「録画一覧」画面を表示します。

② プロテクト設定したい録画番組を選び、［サブメニュー］ボタンを押す

③ 「プロテクト設定変更」を選び、［決定］ボタンを押す
- プロテクトが設定され、「録画一覧」画面に戻ります。
- プロテクトを設定した番組には「 」が付きます。

お知らせ
- プロテクト設定された番組は消去できません。プロテクト解除された番組は消去できます。
- ［青］ボタンを押して複数の番組を選び、プロテクト設定を変更することもできます。プロテクト設定された番組とされていない番組を選んだ場合は、「プロテクト設定」画面を表示します。
  プロテクト設定を変更するには以下の手順で操作します。
  1. 「プロテクト設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  2. 「すべてプロテクトする」または「すべてプロテクトしない」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「プロテクト設定変更」を選び、［決定］ボタンを押す
- ＵＳＢハードディスクを録画・再生用として本機に登録するとフォーマットされ、プロテクト設定された番組もすべて消去されます。

外部機器をつないで見る、聴く
外部機器の入力切換をする
外部機器の入力画面に切り換える

まず、ご確認ください

● ＤＶＤプレーヤーやビデオデッキなどが接続されていることを確認してください。

外部機器の入力画面に切り換える

ＤＶＤプレーヤーやビデオデッキなど、本機に接続した機器の映像を見るときに、入力画面を切り換えます。

① ［入力切換］ボタンを押して、機器を接続した入力端子を選ぶ
 ● 押すたびに入力が切り換わります。
② ［決定］ボタンを押す
 ● 数字ボタンを押して、直接選ぶこともできます。
③ 接続しているＤＶＤプレーヤーやビデオデッキを操作する

お知らせ
● 本体の［入力切換／決定／メニュー長押し］ボタンを押したときは、地上Ｄ→ＢＳ→ＣＳ１→ＣＳ２と切り換わった後、ＨＤＭＩ１→ＨＤＭＩ２→ＨＤＭＩ３→ＨＤＭＩ４→DisplayPort→ビデオ／Ｄ端子…の順に切り換わります。
● ビデオ入力とＤ端子の両方に機器を接続すると、Ｄ端子の画像が映ります。
● 「機器設定」→「表示の設定」の「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」を設定することによって、［入力切換］ボタンを押したときの表示を、接続した機器に合わせて書き換えたり、本機に接続している機器の入力のみ選べるようにできます。

外部機器をつないで見る、聴く
外部機器の入力切換をする
外部機器の入力表示や外部入力スキップの設定をする

入力切換の表示を選ぶ

入力端子に接続した機器に合わせて［入力切換］ボタンを押したときの表示を変えることができます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「表示の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 機器を接続した入力端子を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 機器に合わせた表示に設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定できる表示について
- ● 以下の表示から選ぶことができます。
  「ＨＤＭＩ１」、「ＨＤＭＩ２」、「ＨＤＭＩ３」、「ＨＤＭＩ４」または
  「ビデオ／Ｄ端子」、「使用しない（スキップ）」、「ディーガ」、「ブルーレイ」、
  「ＤＶＤ」、「レコーダー」、「ゲーム」、「ＣＡＴＶ」、「チューナー」、
  「表示なし」
  - ・ DisplayPort端子の場合は、以下の表示から選ぶことができます。
    「DisplayPort」、「使用しない（スキップ）」、「ＰＣ」、「表示なし」

接続のない外部入力をスキップする

［入力切換］ボタンを押したとき、接続のない外部入力を飛ばす（入力スキップ）設定ができます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「表示の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ スキップしたい入力端子を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「使用しない（スキップ）」を選び、［決定］ボタンを押す
- ● 「使用しない（スキップ）」にすると、［入力切換］ボタンを押したとき、選択した外部入力には切り換わりません。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の設定をする
ビエラリンク

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定について

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を自動的に連動させて、本機のリモコン１つで簡単に操作できる機能を設定します。

● すべての操作ができるものではありません。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を設定する

ビエラリンク対応機器を本機から制御するためにはビエラリンク（ＨＤＭＩ）制御を「オン」に設定してください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ビエラリンク」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」を選び、［決定］ボタンを押す
  ● 「オフ」に設定するとビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を本機から制御できません。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
● ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使うには、接続した機器側の設定も必要です。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の設定をする
電源オン連動

電源オン連動機能を設定する

本機の電源が「切」のとき、ディーガやシアターの操作で本機の電源を自動的に「入」にします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「電源オン連動」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「オフ」に設定するとディーガやシアターの操作に連動して本機の電源は自動的に「入」になりません。

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 電源オン連動を「オン」に設定中は、リモコンで本機の電源を「切」にすると、電源オン連動機能が待機状態であることを示すために、本体の電源ランプが橙色になります。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の設定をする
電源オフ連動

電源オフ連動機能を設定する

本機の電源を「切」にしたとき、ディーガやシアターの電源も「切」にします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「電源オフ連動」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「オフ」に設定すると本機の電源「切」に連動してディーガやシアターの電源は自動的に「切」になりません。

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 電源オフ連動を「オン」に設定中、接続機器の状態（録画中など）によっては、電源が「切」にならない場合があります。

ＥＣＯスタンバイ

ＥＣＯスタンバイ機能を設定する

本機の電源を「切」にしたとき、連動して接続機器の消費電力を最小モードに切り換えます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＥＣＯスタンバイ」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「オフ」に設定すると本機の電源を「切」にしたとき、連動して接続機器の消費電力が自動的に最小になりません。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 「ＥＣＯスタンバイ」は、本機とビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．４以上に対応の機器を接続したときに使える機能です。
- 「エコナビ」で「おすすめ設定」を選び、［決定］ボタンを押すと、連動して「ＥＣＯスタンバイ」が自動的に「オン」に設定されます。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の設定をする
こまめにオフ

こまめにオフ機能を設定する

使っていない機器の電源を個別に自動で「切」にする設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「こまめにオフ」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」または「オフ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「オフ」に設定するとＨＤＭＩ以外に入力を切り換えたときや、音声出力をシアターからテレビに切り換えたときなど、使わなくなったビエラリンク対応機器の電源を個別に自動で「切」になりません。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- こまめにオフは以下の機器に対応しています。
  - ディーガ※
  - シアター※
  - ＣＡＴＶデジタルＳＴＢ※
  - スカパー！プレミアムサービスＤＶＲ

※ ○印のバージョンのビエラリンクに対応しています。

対応機器	ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３以上	ビエラリンクＶｅｒ．２	左記以前のビエラリンクバージョン
ディーガ	○	○	○
シアター	○	○	×
ＣＡＴＶデジタルＳＴＢ	○	×	×

（2014年３月現在）

- 「エコナビ」で「おすすめ設定」を選び、［決定］ボタンを押すと、連動して「こまめにオフ」が自動的に「オン」に設定されます。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の設定をする
ケーブルテレビ電源オン連動

ケーブルテレビ電源オン連動機能を設定する

本機の電源を「入」にしたとき、ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの電源も「入」にします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ケーブルテレビの電源オン連動」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「オフ」に設定すると本機の電源を「入」にしたとき、連動してＣＡＴＶデジタルＳＴＢの電源は自動的に「入」になりません。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- ケーブルテレビで視聴される場合におすすめします。
- スカパー！プレミアムサービスＤＶＲとは連動できません。

ディーガの操作機能を設定する

ディーガの入力に切り換えているときに、本機のリモコンでディーガ操作に有効なボタンを追加できます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ディーガの操作」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「拡大」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「通常」に設定するとビエラリンク（ＨＤＭＩ）接続のディーガ視聴中に使えるボタンを追加しません。

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 追加されるボタンについて
- 「ディーガの操作」を「拡大」に設定時は、下記のボタンがディーガ操作に有効なボタンとして追加されます。
  - ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．４以上の場合（接続するディーガの機能により操作できないボタンがあります）
    ［チャンネル］、［１］～［１２］、［地上］、［ＢＳ］、［ＣＳ］、［番組表］、［音声切換］、［データ］のボタンが追加されます。
  - ビエラリンクＶｅｒ．２、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３の場合
    ［チャンネル］、［番組表］のボタンが追加されます。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の設定をする
電源オン／オフ連動テスト

ビエラリンクを使ってディーガの電源がオン／オフできるか確認する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「テスト（ディーガ電源）」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オン」または「オフ」を選び、［決定］ボタンを押す

- 「オン」または「オフ」に連動してディーガの電源が「入」または「切」すれば正常です。

- 確認したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ

- ディーガの電源が「入」または「切」しない場合は、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の接続をご確認ください。

バージョン確認

バージョンを確認する

本機のビエラリンク（ＨＤＭＩ）のバージョン情報を確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ヘルプ」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＩＤ表示」を選び、［決定］ボタンを押す

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンクで「見る」機能を使う
ＨＤＭＩ接続のディーガを操作する

まず、ご確認ください

● ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のディーガが接続されていることを確認してください。
※ ４Ｋ出力に対応したディーガを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。
● ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定は正しく設定されていますか？
（［メニュー］ボタン →「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」画面で確認できます）

ディーガの機能を本機のリモコンで操作する

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のディーガを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

● すべての操作ができるものではありません。

① ［ディーガ操作］ボタンを押す
● ディーガの操作画面に切り換わります。
② 接続したディーガに応じて、メニューを操作する
● ディーガの詳しい操作方法については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

● 本機の操作に戻るには［元の画面］ボタンを押す

操作可能なボタンについて

本機のリモコンボタンでディーガを操作できます。

● 以下のリモコンボタンで直接ディーガを操作できます。
［青］、［赤］、［緑］、［黄］、［▲、▼、◀、▶］、［決定］、
［サブメニュー］、［戻る］ボタン

■ ディーガの再生に使えるリモコンのボタン
● ［再生／１．３倍速］ボタン
再生を開始します。
• 再生中に３秒以上押すと１．３倍速で再生します。もう一度［再生／１．３倍速］ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
● ［一時停止］ボタン
再生中に押すと一時停止します。
• もう一度押す、または［再生／１．３倍速］ボタンを押すと再生を再開します。
● ［停止］ボタン
再生を停止します。

■ 録画番組の再生中や一時停止中にリモコンのボタンで以下の操作ができます。
- ［早戻し／早送り］ボタン
  再生中に押すと早戻し／早送りをします。
  一時停止中に押すとスロー再生します。
- ［スキップ］ボタン
  再生中に押すとスキップします。
- 一時停止中に［◀、▶］ボタン
  コマ送り／コマ戻しします。
- 操作については、ディーガの取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ビエラリンク接続のディーガを操作しているときは、本機のリモコンで本機の録画機能の操作はできません。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）制御の「ディーガの操作」で「拡大」を選ぶと、操作可能なボタンが追加されます。（ビエラリンクＶｅｒ．４以上とビエラリンクＶｅｒ．２またはＶｅｒ．３では追加されるボタンが異なります）
  - ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．４以上の場合（接続するディーガの機能により操作できないボタンがあります）
    ［チャンネル］、［１］～［１２］、［地上］、［ＢＳ］、［ＣＳ］、［番組表］、［音声切換］、［データ］のボタンが追加されます。
  - ビエラリンクＶｅｒ．２、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３の場合
    ［チャンネル］、［番組表］のボタンが追加されます。

自動でディーガ画面に切り換える

次の操作をしたとき、自動的に本機の電源が「入」になり、ディーガの画面に切り換わります。

- ディーガを操作して、再生したとき。
- ディーガのリモコンを操作して、ディーガの操作画面が表示状態になったとき。
  - 上記操作で切り換わらないときは、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）制御が「オン」になっていることを確認してください。

お知らせ
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）でＤＶＤを見ているときに、手動でディーガの電源を「切」にしても、本機の電源は「入」のままです。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンクで「見る」機能を使う
ケーブルテレビのＳＴＢを操作する

まず、ご確認ください

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のＣＡＴＶデジタルＳＴＢが接続されていることを確認してください。
  ※ ４Ｋ出力に対応したＣＡＴＶデジタルＳＴＢを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定は正しく設定されていますか？
  （［メニュー］ボタン →「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」画面で確認できます）

※ 本説明書ではＣＡＴＶデジタルセットトップボックス（ケーブルテレビの受信機）をＣＡＴＶデジタルＳＴＢと記載します。

ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの機能を本機のリモコンで操作する

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のＣＡＴＶデジタルＳＴＢを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

- すべての操作ができるものではありません。

① ［ビエラリンク］ボタンを押す
② 「機器を操作する」で「ケーブルテレビ」を選び、［決定］ボタンを押す
  - ケーブルテレビの画面になります。

- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢ側のメニュー画面を表示するには、ケーブルテレビの画面でもう一度上記の操作を行ってください。
  - ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの画面のとき、ビエラリンクメニューから「ケーブルテレビ」を選んでも表示します。
  - ＳＴＢの詳しい操作方法については、ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの説明書をご覧ください。

操作可能なボタンについて

本機のリモコンボタンでＣＡＴＶデジタルＳＴＢを操作できます。
操作可能なボタンは以下の通りです。

■ 本機とＣＡＴＶデジタルＳＴＢで働きが同じリモコンボタン
［カーソル／決定］、［青］、［赤］、［緑］、［黄］、［番組表］、
［サブメニュー］、［戻る］、［地上］、［ＢＳ］、［１］～［１２］、
［チャンネル］、［字幕］、［音声切換］、［データ］ボタン

■ 本機とＣＡＴＶデジタルＳＴＢで働きが異なるリモコンボタン
- ［ＣＳ］ボタン
  ＣＡＴＶデジタル放送に切り換わります。
- ［元の画面］ボタン
  ケーブルテレビ放送の画面に戻ります。

ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの操作から本機の操作に戻す

① ［ビエラリンク］ボタンを押す
② 「テレビに戻る」を選び、［決定］ボタンを押す
- テレビ画面に戻る

- ［入力切換］ボタンで「テレビ」を選んでもテレビ画面に戻ります。（［元の画面］ボタンを押してもテレビ画面には戻りません）

お知らせ
- 本機とビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３以上に対応のＣＡＴＶデジタルＳＴＢをＨＤＭＩケーブルで接続すると、ビエラリンクメニューの「機器を操作する」に「ケーブルテレビ」を表示します。
- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢを操作中に［元の画面］ボタンを押すとケーブルテレビの画面に戻ります。
- 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、［入力切換］ボタンを押してＳＴＢを接続しているＨＤＭＩ入力に切り換えてください。
- 操作できるＣＡＴＶデジタルＳＴＢは１台のみです。
- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢのバージョンアップが必要な場合があります。バージョンアップについては、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンクで「見る」機能を使う
スカパー！プレミアムサービスＤＶＲを操作する

まず、ご確認ください

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のスカパー！プレミアムサービスＤＶＲが接続されていることを確認してください。
  ※ ４Ｋ出力に対応したスカパー！プレミアムサービスＤＶＲを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定は正しく設定されていますか？
  （［メニュー］ボタン →「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」画面で確認できます）

スカパー！プレミアムサービスＤＶＲの機能を本機のリモコンで操作する

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のスカパー！プレミアムサービスＤＶＲを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

- すべての操作ができるものではありません。

① ［ビエラリンク］ボタンを押す
② 「機器を操作する」で「スカパー！」を選び、［決定］ボタンを押す
- スカパー！プレミアムサービスの画面になります。

- スカパー！プレミアムサービスＤＶＲ側のメニュー画面を表示するには、スカパー！プレミアムサービスの画面でもう一度上記の操作を行ってください。
  - スカパー！プレミアムサービスの画面のとき、ビエラリンクメニューから「スカパー！」を選んでも表示します。
  - スカパー！プレミアムサービスＤＶＲの詳しい操作方法については、スカパー！プレミアムサービスＤＶＲの説明書をご覧ください。

- 本機の操作に戻るには［元の画面］ボタンを押す

操作可能なボタンについて

本機のリモコンボタンでスカパー！プレミアムサービスＤＶＲを操作できます。
操作可能なボタンは以下の通りです。

■ 本機とスカパー！プレミアムサービスＤＶＲで働きが同じリモコンボタン
［カーソル／決定］、［青］、［赤］、［緑］、［黄］、［番組表］、
［サブメニュー］、［戻る］、［１］～［１２］、［チャンネル］、
［字幕］、［音声切換］、［データ］ボタン

■ 本機とスカパー！プレミアムサービスＤＶＲで働きが異なるリモコンボタン
- ［元の画面］ボタン
  テレビの画面に戻ります。

お知らせ

- 本機とスカパー！プレミアムサービスＤＶＲをＨＤＭＩケーブルで接続すると、ビエラリンクメニューの「機器を操作する」に「スカパー！」を表示します。
- スカパー！プレミアムサービスＤＶＲを操作中に［元の画面］ボタンを押すとテレビ画面に戻ります。
- 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、［入力切換］ボタンを押してスカパー！プレミアムサービスＤＶＲを接続しているＨＤＭＩ入力に切り換えてください。
- 操作できるスカパー！プレミアムサービスＤＶＲは１台のみです。

外部機器をつないで見る、聴く
ビエラリンクで「聴く」機能を使う
ＨＤＭＩ接続のシアターを操作する

まず、ご確認ください

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のシアターが接続されていることを確認してください。
  ※ ４Ｋ出力に対応したシアターを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続されていることを確認してください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定は正しく設定されていますか？
  （［メニュー］ボタン →「機器設定」→「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」画面で確認できます）

シアターの機能を本機のリモコンで操作する

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のシアターを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

- すべての操作ができるものではありません。

① ［ビエラリンク］ボタンを押す
② 「音声を切り換える」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「シアター」を選び、［決定］ボタンを押す
  - 本機の音声が消え、シアターの電源が入ります。

お知らせ
- シアターに接続したディーガなどの機器の映像を視聴時、音声をシアターから出している場合は、本機のヘッドホン／イヤホン接続端子から音声を出力しません。
- 本機に接続したヘッドホン／イヤホンで音声を聴く場合は、シアターに音声を出力している機器を直接、本機にＨＤＭＩケーブルで接続してください。

シアターの音量を本機のリモコンで調整する

- ［音量］ボタンを押す
  - 押すと画面の下にシアター音量を表示します。

■ 音を消すには
　［消音］ボタンを押す（もう一度押すと解除します）

お知らせ
- シアター側で音量調整したときは、画面にシアター音量は表示されません。
- シアターから音声を出力しているとき、ヘッドホン／イヤホン接続端子からも音声が出力されます。ただし、外部機器から出力された音声が直接シアターに入力されている場合は、ヘッドホン／イヤホン接続端子から音声は出力されません。

サウンドを切り換える

シアターサウンドを楽しむときに設定します。
「ビエラリンク」→「音声を切り換える」で「シアター」を選ぶと設定できます。

① ［ビエラリンク］ボタンを押す
② 「シアターサウンドを切り換える」を選び、設定する

■ 設定項目について

「オート」：
　番組に応じた最適なサウンドに自動的に切り換えます。
「スタンダード」：
　全音域をバランスよくした音に調整します。
「スタジアム」：
　広がり感を重視した音に調整します。
「ミュージック」：
　メリハリ感を強調した音に調整します。
「シネマ」：
　映画の視聴に適した音に調整します。
「ニュース」：
　人の声を聴きやすくした音に調整します。

- 本機で選んだサウンドに応じ、シアターの音場効果が切り換わります。
- シアターがビエラリンクＶｅｒ．２に対応している場合は「オート」を除く５つ、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３以上に対応している場合は「オート」を含めた６つのサウンドに切り換えられます。
- メディアプレーヤーのＢＧＭ設定を「オフ」にして、写真を見ているときはサウンドは切り換わりません。

テレビの音声に戻すには

① ［ビエラリンク］ボタンを押す
② 「音声を切り換える」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「テレビ」を選び、［決定］ボタンを押す

外部機器をつないで見る、聴く
ＨＤＭＩ接続の機器を操作する
デジタルビデオカメラを操作する

デジタルビデオカメラの画面を本機のリモコンで操作する

- ＨＤＭＩ２、３、または４端子に接続したデジタルビデオカメラの電源を入れる
  - 本機の電源が入り、デジタルビデオカメラの画面に切り換わります。

- 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、［入力切換］ボタンを押してデジタルビデオカメラを接続しているＨＤＭＩ入力に切り換えてください。
- デジタルビデオカメラの詳しい操作方法については、デジタルビデオカメラの説明書をご覧ください。

お知らせ
- デジタルビデオカメラを操作中、一時的にテレビ放送などに切り換えた場合、ビデオカメラの電源が入っていればビエラリンクメニューから「ビデオカメラ」を選び、［決定］ボタンを押すと操作できます。
- ４Ｋ出力に対応したデジタルビデオカメラを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。

外部機器をつないで見る、聴く
ＨＤＭＩ接続の機器を操作する
ルミックスを操作する

ルミックスの画面を本機のリモコンで操作する

● ＨＤＭＩ２、３、または４端子に接続したルミックス（当社製デジタルカメラ）の電源を入れる
  ● 本機の電源が入り、ルミックスの画面に切り換わります。

● 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、［入力切換］ボタンを押して
ルミックスを接続しているＨＤＭＩ入力に切り換えてください。
● ルミックスの詳しい操作方法については、ルミックスの説明書をご覧ください。

お知らせ
● ルミックスを操作中、一時的にテレビ放送などに切り換えた場合、ルミックスの電源が入っていればビエラリンクメニューから「ルミックス」を選び、［決定］ボタンを押すと操作できます。
● ４Ｋ出力に対応したルミックスを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、
ＨＤＭＩ４端子に接続してください。

デジタルカメラ（他社製）を操作する

デジタルカメラ（他社製）の画面を本機のリモコンで操作する

- ＨＤＭＩ２、３、または４端子に接続したデジタルカメラ（他社製）の電源を入れる
  - 本機の電源が入り、デジタルカメラ（他社製）の画面に切り換わります。

- 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、［入力切換］ボタンを押して デジタルカメラ（他社製）を接続しているＨＤＭＩ入力に切り換えてください。
- デジタルカメラの詳しい操作方法については、デジタルカメラの説明書をご覧ください。

お知らせ
- デジタルカメラ（他社製）を操作中、一時的にテレビ放送などに切り換えた場合、デジタルカメラの電源が入っていればビエラリンクメニューから「デジタルカメラ」を選び、［決定］ボタンを押すと操作できます。
- ４Ｋ出力に対応したデジタルカメラ（他社製）を接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。

外部機器をつないで見る、聴く
ＨＤＭＩ接続の機器を操作する
プレーヤーを操作する

プレーヤーの画面を本機のリモコンで操作する

- ＨＤＭＩ２、３、または４端子に接続したブルーレイディスクプレーヤーや
ポータブルプレーヤーの電源を入れる
  - 本機の電源が入り、プレーヤーの画面に切り換わります。

- 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、［入力切換］ボタンを押して
ブルーレイディスクプレーヤーやポータブルプレーヤーを接続しているＨＤＭＩ入力に切り換えてください。
- ブルーレイディスクプレーヤーやポータブルプレーヤーの詳しい操作方法については、
プレーヤーの説明書をご覧ください。

お知らせ
- プレーヤーを操作中、一時的にテレビ放送などに切り換えた場合、プレーヤーの電源が入っていればビエラリンクメニューから「プレーヤー」を選び、［決定］ボタンを押すと操作できます。
- ４Ｋ出力に対応したプレーヤーを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、
ＨＤＭＩ４端子に接続してください。

機器をペアリング（登録）する

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を本機にペアリング（登録）します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ機器の電源を「入」にする
- 機器によっては、あらかじめ「ペアリング」モードに設定する必要があります。
ペアリング設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

④ 「デバイス」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 登録機器一覧画面から登録したい機器を選び、画面に従って登録する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 本機に対応していないＢｌｕｅｔｏｏｔｈ機器はペアリング（登録）できません。
- ペアリング（登録）がうまくできないときは、本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部にＢｌｕｅｔｏｏｔｈ機器を近づけて、再度ペアリング（登録）してください。
本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部については、➡ 取扱説明書をご覧ください。
- ペアリング（登録）や、使用できる距離は、使用環境や接続機器によって異なります。
- 本機はスピーカーなどのオーディオ機器には対応していません。
- Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ機器の電池残量が少ない場合や、通信状態がよくない場合に、正しくペアリング（登録）できないことがあります。
- 登録機器一覧画面には音声タッチパッドリモコンや３Ｄグラス（別売品）は表示されません。

ヘッドホンやイヤホンを接続する

- 側面端子部にあるヘッドホン／イヤホン接続端子にヘッドホンやイヤホンを接続する
  - 接続方法については、➡📖取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- 本機に接続可能なヘッドホン／イヤホンはM３プラグですので、ご購入時に必ず確認してください。
- 本機にヘッドホン／イヤホンを接続しているとき、スピーカーからも音声を出す設定ができます。
- ２画面時に、ヘッドホン／イヤホンから聴こえる音声を「右画面」または「左画面」に設定できます。

２画面時に右画面の音声をヘッドホンやイヤホンから出力するには

① ２画面時に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「イヤホンから音を出す」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「右画面」を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［戻る］ボタンを押す

ＨＤＭＩ接続した機器の映像に関する設定をする

ＤＶＩ対応機器などＲＧＢ出力機器を接続した場合、機器に合わせて設定する

［入力切換］ボタンを押してＨＤＭＩ入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「オプション機能」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＨＤＭＩ　ＲＧＢレンジ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 機器を接続したＨＤＭＩ端子を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オート」：
ＨＤＭＩの識別情報によりＲＧＢ入力信号のレンジを自動的に切り換えるときに設定する。
「エンハンス」：
映像の黒い部分がつぶれて見づらいときに設定する。
「スタンダード」：
標準的な出力映像を表示するときに設定する。

ＨＤＭＩ入力された映像の画質を調整する

［入力切換］ボタンを押してＨＤＭＩ入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「オプション機能」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＨＤＭＩ画質連動設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 機器を接続したＨＤＭＩ端子を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「グラフィック固定」：
番組表などの文字が見やすい画質に調整するときに設定する。
「写真固定」：
写真に適した画質に調整するときに設定する。
「オート」：
ＨＤＭＩ入力に合わせて自動的に画質を調整するときに設定する。
「オフ」：
自動的に画質調整をしないときに設定する。

画質連携するコンテンツを選択する

オート設定時に画質連携するコンテンツを選択します。
［入力切換］ボタンを押してＨＤＭＩ入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「オプション機能」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＨＤＭＩ画質連動設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オート連動設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 連携するコンテンツを選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 「有効」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「有効」にすると、オート設定時にＨＤＭＩコンテンツ情報を基に画質連携します。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 本機にビエラリンクＶｅｒ．４以前の機器を接続しているときは、「ＨＤＭＩ画質連動設定」は動作しません。
- ＨＤＭＩケーブルは、ＨＤＭＩロゴのある「Ｈｉｇｈ Ｓｐｅｅｄ ＨＤＭＩケーブル」をご利用ください。

ＤＶＩ対応機器と接続したときに音声入力の設定をする

［入力切換］ボタンを押してＨＤＭＩ入力に切り換えてください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＨＤＭＩ音声入力設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 機器を接続したＨＤＭＩ端子を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「デジタル」：
ＨＤＭＩ対応機器を接続するときに設定する。
「アナログ」：
ＤＶＩ対応機器を接続するときに設定する。

お知らせ
● 対応している音声信号の種類
リニアＰＣＭ、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
● 対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）、
2160p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）※
※ ＨＤＭＩ４端子のみ対応しています。
● 一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
● アナログ音声をお使いになる場合は、ＨＤＭＩ端子とビデオ入力の音声入力端子に接続が必要です。

ＨＤＭＩ接続したＡＲＣ対応機器の音声出力を設定する

ＡＲＣ対応機器を接続したときに音声出力の設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＡＲＣ出力」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 出力先の端子を選び、設定する
「ＨＤＭＩ１」または「ＨＤＭＩ４」端子から選びます。
● ４Ｋ出力に対応したシアターを接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続し、出力を「ＨＤＭＩ４」に切り換えてください。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

デジタル音声出力の設定をする

デジタル音声入力（光）端子のあるオーディオ機器を接続したときに音声出力の設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「デジタル音声出力」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「オート」：
放送が３ｃｈ以上の音声フォーマットのときは自動的に「ＡＡＣ」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタルフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーデジタル」を出力します。

「ＰＣＭ」：
オーディオ機器がＡＡＣフォーマットやドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき、常に「ＰＣＭ」を出力します。

「ビットストリーム」：
放送がＡＡＣフォーマット時は常に「ＡＡＣ」を出力します。ドルビーデジタルフォーマット時は常に「ドルビーデジタル」を出力します。ＡＡＣフォーマット・ドルビーデジタルフォーマット以外のときは「ＰＣＭ」を出力します。

お知らせ

- 「ビットストリーム」に設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力（光）端子から出力されません。「ＰＣＭ」に設定してご使用ください。
- ビデオ入力端子、Ｄ端子に接続した機器を視聴中は設定とは関係なく、常に「ＰＣＭ」出力します。
- ＡＡＣ対応のオーディオ機器を接続する場合、「ＰＣＭ」と「ＡＡＣ」の入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- デジタル音声出力（光）端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- ＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力時のＤＶＤオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

録画する
見ている番組を録画する
見ている番組をＵＳＢハードディスクに録画する

まず、ご確認ください

- ＵＳＢハードディスクが接続されていることを確認してください。
  - 接続方法については、取扱説明書をご覧ください。
- ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- 本機で録画するＵＳＢハードディスクは本機に登録し、録画用に設定する必要があります。接続時に登録のメッセージが表示された場合は、表示に従って本機に登録・設定してください。

  （登録するとＵＳＢハードディスクをフォーマットし、すべてのデータを消去します）
  - 本機に登録できるのは、容量が１６０ GB以上のＵＳＢハードディスクです。
- ＵＳＢハードディスクを接続して本機に登録していない場合は、「機器設定」→「ＵＳＢ機器一覧」で本機に登録してください。

見ている番組をＵＳＢハードディスクに録画する

テレビ放送を見ているときに操作します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「録画設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「録画モード設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 録画モードを設定し、［元の画面］ボタンを押す
⑤ ［録画］ボタンを押す
- 録画が始まります

- 録画は３時間後、または番組終了後に自動的に停止します。どちらで停止するか事前に設定できます。（工場出荷時は「３時間録画」に設定）

■ 録画モードについて
- 本機で見ている番組を、ＵＳＢハードディスクに録画するときに設定します。
- 「標準」、「長時間１」、「長時間２」から選びます。
  - 「標準」の録画モードは、放送そのままの画質で記録します。
  - 「長時間１」、「長時間２」の録画モードは、放送データを圧縮（H.264エンコード）して、長時間記録します。（画質は「長時間１」「長時間２」の順で「標準」より劣化します。）
- 本機の電源を「切」「入」しても、設定した録画モードは保持されます。
- 録画予約時の録画モードは「詳細設定」画面などで設定してください。
- 録画時間の目安については、取扱説明書をご覧ください。

録画を途中で停止するには

① ［停止］ボタンを押す
② 停止する番組を選び、［決定］ボタンを押す
③ 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

お知らせ

- 本機はＵＳＢハードディスクに録画しながら、［再生／１．３倍速］ボタンで視聴できます。ただし、再生している映像に影響がでる場合があります。
- 録画中は本体の電源を「切」にしないでください。
- ラジオ放送の番組は録画できません。
- ＵＳＢハードディスクに２番組を同時に録画中は、「テレビのホーム」や「２画面で探す」で表示される裏番組の映像が番組内容に切り換わります。
  １番組を録画中の場合でも、番組によっては番組内容が表示される場合があります。

録画する
見ている番組を録画する
録画ボタンでの録画時間を設定する

録画ボタン設定を切り換える

ＵＳＢハードディスクに見ている番組を録画する時間を設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「録画設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「録画ボタン設定」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 録画ボタン設定について
「番組終了」：
　番組終了まで録画します。
「３時間録画」：
　録画開始から３時間録画します。

まず、ご確認ください

- ＵＳＢハードディスクやビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の録画機器との接続や設定はお済みですか？
  - 接続方法については、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。
- ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の録画機器は録画可能な状態になっていますか？
- 本機で録画するＵＳＢハードディスクは本機に登録し、録画用に設定する必要があります。接続時に登録のメッセージが表示された場合は、表示に従って本機に登録・設定してください。
  （登録するとＵＳＢハードディスクをフォーマットし、すべてのデータを消去します）
  - 本機に登録できるのは、容量が１６０ GB以上のＵＳＢハードディスクです。
- ＵＳＢハードディスクを接続して本機に登録していない場合は、「機器設定」→「ＵＳＢ機器一覧」で本機に登録してください。
- 視聴制限、録画予約の重複などについては、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の録画機器側の設定に依存します。設定については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 録画の状態は、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の録画機器側で確認してください。
- 外部入力からの映像（番組）は録画できません。

番組を探して録画予約する

① 番組表や検索結果などから録画予約したい番組を選び、［決定］ボタンを押す
② 番組内容を確認し、「録画予約」を選んで［決定］ボタンを押す
③ 「録画機器」が録画対象の機器になっていることを確認し、「予約する」を選んで［決定］ボタンを押す

- 予約が完了すると、最大約１０秒間、メッセージを表示します。
  - お気に入り登録の確認画面が表示された場合は、表示内容に従って操作してください。
- 録画機器が「ＵＳＢ　ＨＤＤ」のとき、予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。「はい」を選び、［決定］ボタンを押すと「予約重複確認」画面を表示します。削除／取り消したい番組を選び、［黄］ボタンを押して重複を解除してください。

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 複数の録画機器を接続している場合は以下の手順で録画機器を選んでください

① 「録画予約設定」画面で「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
② 「録画機器」で録画機器を選び、設定する

- ［戻る］ボタンを押すと、「録画予約設定」画面に戻ります。

お知らせ

- 地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送の番組を録画予約できます。
- 録画予約したい番組を選んで［録画］ボタンを押すと、予約が完了します。
- ［アプリ］ボタンを押して「予約一覧」を選び、［決定］ボタンを押すと、予約状況などが確認できます。

■ ディーガに録画する場合

- タイマー予約すると本機から録画機器に予約情報が送られ録画機器がタイマー予約状態になります。
  - 番組情報に基づいて９日以上先の録画予約をした場合は、放送の６日前頃に、予約情報が本機より録画機器に送信されます。
- 確認画面（またはエラー画面）が出た場合には、表示内容を確認し、操作してください。

■ ＵＳＢハードディスクに録画する場合

- 予約完了すると、番組表に予約マークを表示します。
- 録画予約を取り消したいときは「予約一覧」画面で録画予約した番組を選んで［黄］ボタンを押し、確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押してください。
- 録画中の番組を停止したいときは［停止］ボタンを押して停止する番組を選んでから確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押してください。
- 録画予約中や録画中は本体の電源を「切」にしないでください。
- 最大６４件の録画予約ができます。
- 「詳細設定」画面で「録画機器」などを変更できます。
- ＵＳＢハードディスクに録画できる最大番組数は３０００です。
- ラジオ放送の番組は録画できません。

録画する
録画予約をする
番組を毎週予約する

番組を探して毎週予約する

番組を一度、「毎週予約する」に設定すると、次回以降の放送は番組開始時刻や番組タイトル、チャンネルなどから番組を検索し自動的に予約設定します。（番組表データの、放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索します。）

① 番組表や検索結果などから録画予約したい番組を選び、［決定］ボタンを押す
② 番組内容を確認し、「録画予約」を選んで［決定］ボタンを押す
③ 「録画機器」が録画対象の機器になっていることを確認し、「毎週予約する」を選んで［決定］ボタンを押す

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 複数の録画機器を接続している場合は以下の手順で録画機器を選んでください

① 「録画予約設定」画面で「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
② 「録画機器」で録画機器を選び、設定する

● ［戻る］ボタンを押すと、「録画予約設定」画面に戻ります。

お知らせ
- 地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送の番組を録画予約できます。
- ［アプリ］ボタンを押して「予約一覧」を選び、［決定］ボタンを押すと、予約状況などが確認できます。

■ 予約時の注意点
- 本機をご使用にならないときは、リモコンで電源を「切」にしてください。（本体の電源を「切」にすると録画予約が実行されません）
- 番組名が前回と大きく異なる場合や、次回の放送時間が３時間以上前後した場合は、次回の放送を検索できないことがあります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。
- １つの「毎週予約する」からは、１日に１回だけ同じ時間帯の番組が予約設定されます。（同じ番組が１日に複数回放送される場合でも、１回だけ予約設定します）
- 録画機器の状態により、次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。（起動／終了処理中など）
- 次回の予約が設定されるまで、最大１日かかる場合があります。
- 「毎週予約設定」を「毎日」や「毎週（火）」などに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、「録画一覧」画面でまとめ番組として表示します。
- 毎週予約で最終回の番組を録画した場合は、「録画一覧」画面で最終回の番組を録画したお知らせと、予約一覧から削除することをおすすめするメッセージを表示します。不要になった予約は削除してください。

録画する
録画予約をする
予約の詳細設定をする

予約の詳細設定をする

① 「録画予約設定」画面から「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
- 録画機器が「ＵＳＢ　ＨＤＤ」のときは、「録画予約設定」画面上部に「録画可能時間」を表示します。
- すでに予約設定されている番組を変更するときは、「番組内容」画面の「設定変更」を選び、［決定］ボタンを押します。

② 各項目を設定する（録画機器によっては選べない項目があります）

③ 「詳細設定」画面で「予約する」を選び、［決定］ボタンを押す
- 予約が完了すると、最大約１０秒間、メッセージを表示します。
  - お気に入り登録の確認画面が表示された場合は、表示内容に従って操作してください。
- 「毎週予約する」を選び、［決定］ボタンを押しても、詳細設定内容は反映されます。
- すでに予約されている番組を変更したときは、「修正する」を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 詳細設定について

「予約方式」：

「録画」を選ぶと、録画予約に設定します。

「見るだけ」を選ぶと、見るだけ予約に設定します。
- 「見るだけ」を選んだときは、「録画機器」や「録画モード」、「その他の設定」は設定できません。

「録画機器」：

「ディーガ（ビエラリンク）」を選ぶと、「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）」に録画予約します。
- 番組情報に基づいて９日以上先の録画予約をした場合は、放送の６日前頃に、予約情報が本機より録画機器に送信されます。
- レコーダーで複数の録画予約をする場合、番組の間隔が１分未満のときは、１つの番組として録画されることがあります。

「ディーガ」※を選ぶと、「お部屋ジャンプリンクに対応したディーガ」に録画予約します。
- 予約した番組はディーガのチューナーで受信して録画されます。（本機のＬＡＮ端子から、予約した番組の映像や音声は出力しません）
- 有料番組や視聴制限、録画予約の重複についてはディーガ側の設定に依存します。設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

※ 表示される機器名はディーガで設定します。

「ＵＳＢ　ＨＤＤ」を選ぶと、「本機に接続したＵＳＢハードディスク」に録画予約します。
- 本機にＵＳＢハードディスクを登録し、録画用に設定する必要があります。

「録画モード」：

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のディーガへ録画予約するとき

- 録画モードの指定はできません。ディーガ側で決められた録画モードで録画予約されます。

お部屋ジャンプリンクに対応したディーガなどへ録画予約するとき

- 録画モードを選んでください。
  （ただし、選べる録画モードは接続した録画機器により変わります）
  - 録画機器の取扱説明書をご覧の上、録画機器で対応している録画モードを設定してください。

ＵＳＢハードディスクへ録画予約するとき

- 「標準」「長時間１」「長時間２」から選びます。

「毎週予約設定」：

［決定］ボタンを押して、毎週予約の曜日指定を設定します。

- 曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
- 毎週予約を設定しない場合は「しない」に設定してください。

「お気に入り登録確認」：

「する」に設定すると、予約設定後にお気に入り登録をするための確認画面を表示します。確認画面で「はい」を選び［決定］ボタンを押すと、ユーザーを選択してお気に入りに登録できます。

お気に入り登録の確認画面を表示しない場合は「しない」に設定してください。

「時間指定予約へ」：

時間指定予約をするための確認画面を表示します。「はい」を選び、［決定］ボタンを押すと「時間指定予約」画面を表示します。

お知らせ

- 「毎週予約設定」を「毎日」や「毎週（火）」などに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、「録画一覧」画面でまとめ番組として表示します。
- 「録画機器」を「ＵＳＢ　ＨＤＤ」以外に設定しているときは、「毎週予約設定」で曜日ごとの指定はできません。
- 「毎週予約設定」を曜日ごとに設定しているときは、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）やお部屋ジャンプリンクに録画予約を送信できません。
- ディーガを接続して「録画機器」を“ディーガ（ビエラリンク）”に設定したときは、「予約方式」、「録画モード」および「その他の設定」は選べません。
- 「見るだけ予約」のときは、「その他の設定」は選べません。

日時を指定して録画予約する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「タイマー設定」→「時間指定予約」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「時間指定予約」画面の各項目を選び、設定する
- 「時間指定予約」は最大１年先までの予約や毎日、毎週などの繰り返しの予約ができます。

④ 「予約する」を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「予約方式」：
「録画」にする
「放送種別／チャンネル」：
［決定］ボタンを押して、録画したい放送／チャンネルを設定する
「曜日／日」：
録画する日付を設定する
「毎週予約設定」：
［決定］ボタンを押して、毎週予約の曜日指定を設定する
- 曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。

「開始時刻」：
録画したい番組の開始時刻を設定する
「終了時刻」：
録画したい番組の終了時刻を設定する
「録画機器」：
録画機器の種類を設定する
「録画モード」：
録画モードを選ぶ
- ＵＳＢハードディスクにデジタル放送を録画するときに設定します。
「標準」、「長時間１」、「長時間２」から選びます。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のディーガのときは「−−」と表示します。

「お気に入り登録確認」：
「する」に設定すると、予約設定後にお気に入り登録をするための確認画面を表示します。確認画面で「はい」を選び［決定］ボタンを押すと、ユーザーを選択してお気に入りに登録できます。
お気に入り登録の確認画面を表示しない場合は「しない」に設定してください。

お知らせ
- 「毎週予約設定」を「毎日」や「毎週（火）」などに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、「録画一覧」画面でまとめ番組として表示します。
- 確認画面またはエラー画面が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

録画番組のプロテクトを設定する

① 「詳細設定」画面や「時間指定予約」画面から「その他の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
② 「録画番組のプロテクト」で「する」を選ぶ
③ 設定したら［戻る］ボタンを押す
④ 「予約する」を選び、［決定］ボタンを押す
- ● 予約が完了すると最大約１０秒間、メッセージを表示します。
  - お気に入り登録の確認画面が表示された場合は、表示内容に従って操作してください。
- ● すでに予約されている番組を変更したときは、「修正する」を選び、［決定］ボタンを押す

■ 録画番組のプロテクトについて
「する」に設定すると、ＵＳＢハードディスクに録画予約する番組のプロテクトを設定します。
録画番組のプロテクトを設定しないときは「しない」に設定してください。

お知らせ
- ● ディーガを接続して「録画機器」を“ディーガ（ビエラリンク）”に設定したときは、「予約方式」、「録画モード」および「その他の設定」は選べません。
- ● ディーガをネットワークに接続してお部屋ジャンプリンクで録画予約するときは、「その他の設定」は選べません。
- ● 「見るだけ予約」のときは、「その他の設定」は選べません。

オートチャプターの設定を切り換える

デジタル放送の録画時、自動で番組にチャプターマークを付ける設定ができます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「録画設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「オートチャプター」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ オートチャプターについて

- 「オン」（工場出荷時）に設定すると、デジタル放送の録画時に自動的にチャプターマークを作成します。
  チャプターマークを作成しないときは「オフ」に設定してください。

録画する
録画予約をする
録画予約で利用できるアプリやサービス

録画予約で利用できるアプリやサービスについて

本機ではアプリ一覧で以下のアプリやサービスを利用することができます。
※ 利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更となる場合があります。

■ 最新ニュース
- 地上デジタル放送で指定したチャンネルのニュース番組を、自動でＵＳＢハードディスクに録画予約することができます。
- 録画したニュースは、「最新ニュース」や「ニューストピックス」で見ることができます。

■ ニューストピックス
- 「最新ニュース」を利用して録画したニュース番組の中から、話題のニュースに該当するシーンを一覧で表示することができます。
- 本機をインターネットに接続する必要があります。
ネットワークへの接続と設定については「ネットワーク」→「ネットワークに接続する」または「ネットワーク」→「ネットワークを利用するための接続設定をする」の「ネットワーク設定をする」をご覧ください。
- 「ニューストピックス」をご利用になるには、下記ホームページで会員登録を行ってください。
http://r.me-mora.jp/

■ フリーワード録画
- フリーワードを登録して、番組情報から該当する番組を自動で検索して録画予約することができます。
また、検索する放送の種類を設定したり、録画した番組を設定期間後に自動で消去することもできます。

最新ニュースを利用する

① ［アプリ］ボタンを押してアプリ一覧画面を表示する
② 「最新ニュース」を選び、［決定］ボタンを押す
- 以降は画面の表示に従って操作してください。

- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 放送時間が１５分未満のニュース番組は録画予約しません。
- 録画したニュース番組は４８時間後に、自動で消去します。
  - リモコンで電源を「切」にし、録画などの動作を行っていない場合に消去します。
  - ４８時間経過前のニュース番組でもＵＳＢハードディスクの残量が少なくなると、消去する場合があります。
- 「録画一覧」画面からも録画したニュース番組を再生することができます。
  - 「録画一覧」画面では「ニュース番組」として、まとめ表示します。
  - 「まとめ番組の作成」や「まとめ番組の解除」、「プロテクト設定」、「番組名編集」はできません。
- 予約が重なった場合は、番組表などからの録画を優先するためニュース番組を録画できません。

ニューストピックスを利用する

① ［アプリ］ボタンを押してアプリ一覧画面を表示する
② 「ニューストピックス」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 見たいシーンを選び、［決定］ボタンを押す
- 以降は画面の表示に従って操作してください。

● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。
（2014年３月現在）
- シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ミモーラのホームページをご覧ください。
http://me-mora.jp/

録画する
録画予約をする
フリーワード録画

フリーワード録画を利用する

① ［アプリ］ボタンを押してアプリ一覧画面を表示する
② 「フリーワード録画」を選び、［決定］ボタンを押す
- 以降は画面の表示に従って操作してください。

● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 「録画一覧」画面からフリーワード録画した番組を再生することができます。
  - 「録画一覧」画面ではフリーワードごとに、まとめ表示します。
  - ユーザーを登録したフリーワード録画番組は、「録画一覧」画面でユーザーごとに分類して表示します。
  - 「まとめ番組の作成」や「まとめ番組の解除」、「番組名編集」はできません。
- 「予約一覧」画面では、フリーワードごとに、まとめ表示します。
- 予約が重なった場合は、番組表などからの録画を優先するためフリーワードで検索した番組を録画できません。

録画する
予約一覧画面から操作する
予約の確認をする

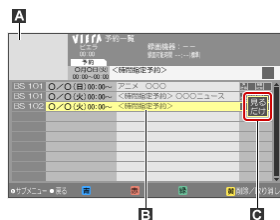
「予約一覧」画面から予約の確認をする

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「予約一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「予約一覧」の画面を表示します。

- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 「予約一覧」画面で［★（マイ）］ボタンを押すと、ユーザーを選択してお気に入りに登録できます。（もう一度操作すると、お気に入りを解除します。）
  - お気に入りに登録して録画した番組は、「録画一覧」画面でユーザーごとに分類して表示します。

画面の見かた

予約された番組や予約履歴の一覧を表示します。
- 予約番組の変更や削除をしたり、予約履歴の削除ができます。

A 直前に見ていた番組
B 予約番組
C 予約の状態をアイコン表示

- ［黄］ボタンを押すと予約番組を削除／取り消します。

■ 予約の状態を表すアイコンについて（表示例）

● 「予約一覧」画面で表示されます。

予約一覧のアイコン	説明
録画　ＨＤＭＩ 録画　ＵＳＢ　ＨＤＤ	録画予約した番組（録画機器、方式）
予約実行切	録画予約を「実行切」にした番組
お部屋ジャンプリンク	お部屋ジャンプリンク機器で録画予約した番組
検索中	毎週予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき
見るだけ	見るだけ予約した番組
済	予約時間が終了した番組
済　送信	ビエラリンク（ＨＤＭＩ）などによるタイマー予約を録画機器に送信した番組
済　取消	お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたとき
済　おしらせ	予約実行の中止、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機能が正しく動作していないとき
月～金 月～土 毎日 毎週 曜日指定	毎日、毎週、曜日指定での予約
重複	予約時間が重なっていたときの、優先度が低い予約
シリーズ終了	毎週予約で最終回の番組を録画したとき
警告	この予約は実行されません（受信チャンネルが変更になったとき）
注目番組	放送局おすすめの番組
先取	９日以上先の番組
標準 長時間１ 長時間２	ＵＳＢ　ＨＤＤへの録画モード

お知らせ

● 実行前の予約した番組（お客様の操作）と自動予約の番組（最新ニュースなど）、実行済みの予約（履歴）をそれぞれ６４件まで表示します。
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）での予約は録画機器側で確認してください。（変更や予約削除は録画機器側で操作します）

● 「最新ニュース」などのアプリで予約した番組の場合、異なるアイコンを表示することがあります。

履歴を削除するには

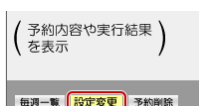
実行済みの予約（履歴）を一括で削除します。

① 予約一覧を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「全履歴削除」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

録画する
予約一覧画面から操作する
予約の変更をする

予約の設定を変更する

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「予約一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 設定を変更したい予約番組を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「予約内容」画面で「設定変更」を選び、［決定］ボタンを押す
例：実行前の予約を選んだとき

（予約内容や実行結果を表示）
毎週一覧　設定変更　予約削除

お知らせ
■ 実行前の予約は
- ● 「設定変更」または「予約削除」を選び、［決定］ボタンを押すと、予約の変更や予約削除ができます。（設定を変更する場合は内容を修正して、「修正する」を選び、［決定］ボタンを押すと、変更内容が確定します）
  - 「設定変更」画面で「詳細設定」を選び、予約の詳細設定を変更したり、「毎週予約に変更する」を選び、毎週予約に変更することもできます。
  - 予約重複のメッセージを表示したとき「はい」を選び、［決定］ボタンを押すと「予約重複確認」画面で、重複した予約番組を削除できます。

■ 実行中の予約は
「取り消し」を選び、［決定］ボタンを押すと録画を停止します。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）やお部屋ジャンプリンクで予約した場合は、本機から予約情報の削除や変更はできません。本機からディーガに送信された予約情報の削除や変更はディーガで操作してください。

■ 実行済みの予約は
「履歴削除」を選び、［決定］ボタンを押すと、履歴を削除できます。
- 「予約一覧」画面で［黄］ボタンを押して、履歴を削除することもできます。
- 「送信済」アイコン（録画機器に予約情報を送信済み）が表示されている予約番組は、本機からの削除や変更はできません。録画機器側で行ってください。

● 毎週予約を設定した番組の予約を削除すると、次回以降の予約もすべて削除します。（「予約削除確認」画面は表示しません）

毎週予約の予約状況を確認・変更する

「毎週予約設定」を「毎日」や「毎週（火）」など曜日を設定した予約番組の次回以降の予約状況や重複を確認したり、一時的に予約の実行を止めることができます。

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「予約一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 設定を確認したい毎週予約の番組を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「予約内容」画面で「毎週一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「毎週一覧」の画面を表示し、次回以降の予約状況が確認できます。（最大 8 日間の予約を表示します）

■ 次回以降の予約実行を止める

① 「毎週一覧」画面で実行を止める予約番組を選び、［決定］ボタンを押す
② 「予約実行」を選び、「切」に設定する
- 予約実行を「切」に設定すると、「予約一覧」画面に「予約実行切」を表示します。

- ［戻る］ボタンを押すと、「予約一覧」画面に戻ります。

■ 予約の重複を確認／削除する

① 「毎週一覧」画面で重複している予約番組を選び、［決定］ボタンを押す
② 「重複確認」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「予約重複確認」画面を表示します。

③ 削除／取り消したい予約番組を選び、［黄］ボタンを押す

- ［戻る］ボタンを押すと、「予約一覧」画面に戻ります。

お知らせ
- 実行中の予約は「予約実行切」に設定できません。

録画する
予約一覧画面から操作する
予約の取り消しをする

予約番組を削除する

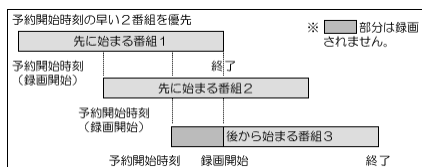
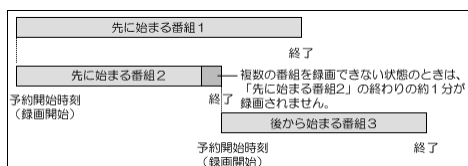
① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「予約一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 予約を削除したい番組を選び、［黄］ボタンを押す
④ 「予約削除確認」画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

お知らせ

- 実行済みの予約（履歴）を選び、［黄］ボタンを押すと、予約一覧から削除されます。
- 実行済みの予約（履歴）を一括で削除する場合は［サブメニュー］ボタンを押した後、「全履歴削除」を選びます。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）やお部屋ジャンプリンクで予約した場合は、本機から予約情報の削除や変更はできません。本機からディーガに送信された予約情報の削除や変更はディーガで操作してください。
- 毎週予約を設定した番組の予約を削除すると、次回以降の予約もすべて削除します。

予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時刻がほかの予約した番組と重なり同時に録画できない場合は、本機内部で優先順位を付けて、自動的に予約動作を行います。

例：２番組録画中に予約が重複した場合

例：２番組録画中に「先に始まる番組２」の終了時刻と、「後から始まる番組３」の開始時刻が同じ場合

お知らせ

● 上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。

２番組の同時録画について

本機は番組を視聴しながら、別の番組を最大２番組まで同時にＵＳＢハードディスクに録画できます。（２画面のとき、右画面の選局をしようとすると、録画を停止するか確認する画面を表示します）

録画する
録画／予約の機能や動作について
録画モードと録画可能時間について

録画モードと録画可能時間について（記録する内容により変化します）

- 本機で見ている番組を、ＵＳＢハードディスクに録画するときに設定します。「標準」、「長時間１」、「長時間２」から選びます。
  - 「標準」の録画モードは、放送そのままの画質で記録します。
  - 「長時間１」、「長時間２」の録画モードは、放送データを圧縮（H.264エンコード）して、長時間記録します。（画質は「長時間１」「長時間２」の順で「標準」より劣化します。）
- ＵＳＢハードディスクに録画する場合、録画可能時間は「録画予約設定」画面などで確認できます。
- 「標準」の録画時間は転送レートにより異なります。
- 録画可能時間は理論値で計算しているため、実際と異なる場合があります。番組の内容やＵＳＢハードディスクの状態によっては録画可能時間が短くなることがあります。残量に余裕がある状態で録画してください。
- 録画時間の目安については、➡ 取扱説明書をご覧ください。

録画する
録画／予約の機能や動作について
録画の優先順位と注意事項について

録画の優先順位について

高：録画予約
低：［録画］ボタンによる録画

録画についての注意事項

■ 視聴制限時について
年齢制限時は、「制限項目設定」で設定した暗証番号の入力が必要です。

■ 録画予約後の電源について
本体の電源を「切」にしないでください。電源はリモコンで「切」にしてください。

録画する
番組録画中の画面表示について
画面の表示例

画面の表示例

ＵＳＢハードディスクに録画している番組の情報を表示します。

● ［画面表示］ボタンを押す

● 画面表示を消すには［画面表示］ボタンを数回押す

A 録画中の表示について

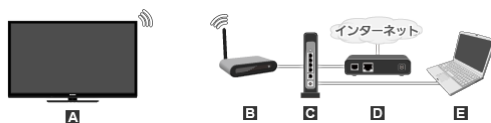
- 表示される番組をＵＳＢハードディスクに録画しています。放送の種類とチャンネル番号を表示します。

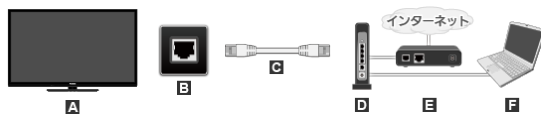
ネットワーク
ネットワークに接続する
内蔵無線ＬＡＮまたは有線ＬＡＮ（ＬＡＮストレートケーブル）で接続する

インターネットへの接続をする

インターネットへの接続は、プロバイダーや回線業者との契約内容に基づいて接続してください。

- 接続方法については、 取扱説明書をご覧ください。

■ 無線ＬＡＮで接続する

A ＴＶ
B 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）
C ハブ／ブロードバンドルーター
D ＦＴＴＨ回線終端装置／ケーブルモデム／ＡＤＳＬモデム
E パソコン

■ 有線ＬＡＮ（ＬＡＮストレートケーブル）で接続する

A ＴＶ
B ＬＡＮ端子
C ＬＡＮストレートケーブル
D ハブ／ブロードバンドルーター
E ＦＴＴＨ回線終端装置／ケーブルモデム／ＡＤＳＬモデム
F パソコン

ネットワーク機器の接続をする

- 本機にハブまたはブロードバンドルーターを接続し、各ネットワーク機器を接続してください。
- 接続方法については、 取扱説明書をご覧ください。また、ネットワーク機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

お知らせ

- インターネットへ接続する場合は、パソコンでの設定が必要になることがあります。
- 無線ＬＡＮとＬＡＮストレートケーブルの両方またはどちらかで接続することができます。接続後は本機で設定が必要です。
  初めてネットワークを設定する場合は、本機の「ネットワーク設定」→「ネットワーク接続」→「かんたん設定」で設定してください。接続を変更したい場合は、「ネットワーク接続」→「詳細設定」から変更できます。

ネットワーク設定をする

- 本機が備えるネットワーク機能の利用を可能にするために、画面の表示内容に従って設定します。
- 通信によるＧガイド受信は自動的に「オン」に設定されます。

■ ＬＡＮケーブルやアクセスポイントなどのネットワーク接続環境が揃っていることを確認し、以下の手順で設定してください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「かんたん設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 画面の表示内容に従って設定する
⑥ 設定したら「終了」を選び、［決定］ボタンを押す

- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

無線ＬＡＮの設定をする

ＷＰＳ（プッシュボタン）やＷＰＳ（ＰＩＮコード）などの接続方法を選んで、無線ＬＡＮの設定をします。

まず、ご確認ください

- 市販の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要です。
- 本機とアクセスポイント間の無線方式は、１１ｎ（５ GHz）を推奨します。
  １１ｎ（２．４ GHz）、１１ａ、１１ｂ、１１ｇでも通信できますが映像が途切れたり、接続が切れることがあります。
- アクセスポイント側の無線方式を切り換えると、無線ＬＡＮで接続できていた機器（パソコンなど）が接続できなくなることがあります。

接続方法で無線ＬＡＮを選び、アクセスポイントを設定する

本機を無線ＬＡＮでネットワークに接続するために設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「無線ＬＡＮ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 表示するメッセージを確認し、次へ進む。

⑥ アクセスポイントを選んで［決定］ボタンを押す
⑦ 画面の表示内容に従って設定する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 接続方法について

- 本機はほかに以下の接続方法に対応しています。
  ご使用のアクセスポイントに合わせて選んでください。

「再検索」：［黄］ボタン
　検索された中からアクセスポイントを選び、画面に従って設定します。
「マニュアル」：［緑］ボタン
　接続するアクセスポイントに合わせてＳＳＩＤ、認証方式、暗号化方式などを手動で設定します。
- １１ｎ（５ GHz）で接続する場合、無線ＬＡＮとの暗号化方式は「ＡＥＳ」を選んでください。

「ＷＰＳ（ＰＩＮコード）」：［赤］ボタン
　本機に表示されたＰＩＮコードを選択したアクセスポイントに設定します。
　（アクセスポイントの設定は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください）
「ＷＰＳ（プッシュボタン）」：［青］ボタン
　Ｗｉ－Ｆｉアライアンスが認証する無線簡単設定です。アクセスポイントのボタンを押すことでアクセスポイントと接続できます。

お知らせ

- 無線設定を行った後、再度設定を行うと現在の無線設定と接続状態を表示します。設定内容を変更するには「いいえ」を選択し、画面の表示内容に従って設定してください。
- 無線ＬＡＮのセキュリティー設定をオープン（暗号なし）に設定している場合、以下のような制限が発生します。
  - お部屋ジャンプリンクに対応したディーガの映像を見るときに再生できない映像があります。
  - ＵＳＢハードディスクから無線ＬＡＮを経由してのダビングができません。
  - サーバー機能やメディアアクセス機能を使用できません。
  - セキュリティー設定については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

ネットワークアドレスを自動で取得する

ＩＰアドレスなどを自動的に取得（設定）する

ネットワークに接続するとアクトビラやくらし機器などが使用できます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「有線（ＬＡＮケーブル）」または「無線ＬＡＮ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「無線ＬＡＮ」を選んだときは、画面の表示内容に従って設定し、「ＩＰアドレス／ＤＮＳ設定」画面にします。

⑥ ＤＨＣＰでＩＰ自動取得が使えるときは
「ＩＰアドレス自動取得」を選び、［決定］ボタンを押す
⑦ 「する」を選び、［決定］ボタンを押す
- 取得したアドレスを表示します。

- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 「ＩＰアドレス自動取得」を「する」に設定すると、「ＤＮＳ－ＩＰ自動取得」の設定も連動して「する」に設定され、取得したアドレスを表示します。
ＤＮＳ－ＩＰアドレスを手動で入力したいときは、「ＤＮＳ－ＩＰ自動取得」の設定を「しない」に設定すると入力できます。

ＩＰアドレスなどを手動で設定する

ＩＰアドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを手動で設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「有線（ＬＡＮケーブル）」または「無線ＬＡＮ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「無線ＬＡＮ」を選んだときは、画面の表示内容に従って設定し、「ＩＰアドレス／ＤＮＳ設定」画面にします。

⑥ 「ＩＰアドレス自動取得」を選び、［決定］ボタンを押す
⑦ 「しない」を選び、［決定］ボタンを押す
⑧ ブロードバンドルーターまたはアクセスポイントの仕様を確認し、「ＩＰアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、入力する
- 入力の修正は［黄］ボタンで削除後に入力してください。
- アドレスやマスクの各セルは、０～２５５の範囲内の数字を入力してください。
- 設定後は「ネットワーク状態確認」をすると有効になります。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

ＤＮＳアドレスを手動で設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「有線（ＬＡＮケーブル）」または「無線ＬＡＮ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「無線ＬＡＮ」を選んだときは、画面の表示内容に従って設定し、「ＩＰアドレス／ＤＮＳ設定」画面にします。

⑥ 「ＤＮＳ－ＩＰ自動取得」を選び、［決定］ボタンを押す
⑦ 「しない」を選び、［決定］ボタンを押す
⑧ 「ＤＮＳ」を選び、プロバイダーから指定されたＩＰアドレスを入力する
- 入力の修正は［黄］ボタンで削除後に入力してください。
- アドレスやマスクの各セルは、０～２５５の範囲内の数字を入力してください。
- 設定後は「ネットワーク状態確認」をすると有効になります。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

プロキシサーバーの設定をする

プロバイダーから指定があるときに設定します。
アクトビラやインターネットなどを使用するために設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「有線（ＬＡＮケーブル）」または「無線ＬＡＮ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「無線ＬＡＮ」を選んだときは、画面の表示内容に従って設定し、「ＩＰアドレス／ＤＮＳ設定」画面にします。

⑥ 「プロキシサーバー設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑦ 「プロキシアドレス」を選び、［決定］ボタンを押す
⑧ 画面に表示される内容に従って入力する
⑨ 「プロキシポート番号」を選び、ポート番号を入力する

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。
- プロキシサーバー設定をすると、アクトビラの動画コンテンツが視聴できない場合があります。
- プロキシアドレス
  本機の代わりに目的のサーバーに接続し、本機にデータを送る中継サーバーのアドレス。プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。
  （例：proxy.○○○.ne.jp）
- プロキシポート番号
  プロキシアドレスと共にプロバイダーから指定される番号。（例：8000）

ネットワークの接続状況を確認する

ＩＰアドレスやＤＮＳが正しく設定されているか、インターネットに接続できるかを確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク状態」を選び、［決定］ボタンを押す

- 確認したら「終了」を選び、［決定］ボタンを押す
- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ テスト結果の表示について
以下の項目についてチェックが行われ、チェックマークを付けることで結果を表示します。

- 接続方法が有線（ＬＡＮ）または無線ＬＡＮの場合：
  1. テレビ、ルーター（ゲートウェイ）間の接続
  2. ルーター（ゲートウェイ）、インターネット間の接続
  - １、２の項目すべてにチェックマークが表示される場合、ＬＡＮで接続した機器だけでなく、アクトビラやネットで使い方ガイドなどインターネットのサービスがご利用いただけます。
  - 接続できないときは、「ヘルプ」を選んで［決定］ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。
- 接続方法が無線親機設定の場合：
  1. 無線親機として動作していること
- テレビ、ＤＬＮＡ機器間またはテレビ、ルーター（ゲートウェイ）間の接続にチェックマークが表示される場合、お部屋ジャンプリンク機器やくらし機器などＬＡＮで接続した機器と通信できます。

本機のネットワーク状態を確認する

本機の接続方法や取得したＩＰアドレス、ＭＡＣアドレスなどのネットワーク状態を確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク状態」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細情報」を選び、［決定］ボタンを押す

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

本機にＴＶリモートの設定をする

ＴＶリモートの設定をすると以下のようなことができます。
- スマートフォンやタブレット端末などを本機のリモコンとして使用できます。
- スマートフォンやタブレット端末などのコンテンツを本機に転送したり、本機に転送したコンテンツを他のスマートフォンやタブレット端末などにダウンロードして共有できます。
- ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＴＶリモート設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ＴＶリモート設定」画面から各項目を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「ＴＶリモート機能」：
　「オン」にすると、ネットワークリモコンで本機を操作できます。
「リモート電源オン機能」：
　「オン」にすると、ネットワークリモコンで本機の電源を「入」にできます。
　（本体の電源を「切」にしないでリモコンで「切」にしている必要があります）
「転送機能」：
　「いつでも有効」にすると、リモコンで本機の電源を「切」にしても、ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。
「コンテンツアップロード先」：
　スマートフォンなどからコンテンツをアップロードする機器を設定します。
　（設定できる機器は本機に接続している機器です）

お知らせ
- ＴＶリモートで操作するには、本機の操作ができるスマートフォンやタブレット端末などの機器にＴＶ　Ｒｅｍｏｔｅ　２をインストールし、本機が接続されているネットワークに無線ＬＡＮで接続する必要があります。
  - ＴＶリモートについては、「取扱説明書」をご覧ください。
- スマートフォンなどの機器をネットワークリモコンとして使用するには、機器側での設定も必要になる場合があります。
- ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴中に、本機で４Ｋ映像コンテンツを再生すると、メッセージを表示してスマートフォンやタブレット端末などでの視聴を停止します。（外部入力からの４Ｋ映像は除く）
- 本機で４Ｋ映像コンテンツ再生中は、ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴できません。（外部入力からの４Ｋ映像は除く）

ひかりＴＶを利用するための基本登録の設定をする

ひかりＴＶを視聴するにはＩＰｖ６に対応した環境が必要です。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ひかりＴＶ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「基本登録」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 事業者を選び、［決定］ボタンを押す

- ひかりＴＶのお申し込み後に回線業者や提携プロバイダーから送付される書類をご用意いただき、画面の表示内容に従って設定してください。
- 設定後、視聴するには［アプリ］ボタンを押して「ひかりＴＶ」を選び、［決定］ボタンを押してください。

お知らせ
- 引っ越しなどによって、契約する光回線が変更された場合に再度設定する必要が発生することがあります。

ひかりＴＶのチャンネル設定をする

どのチャンネルを視聴するか設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」→「ひかりＴＶ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「チャンネル設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 設定方法を選び、［決定］ボタンを押す

■ 設定項目について

「スキャン」：
チャンネル情報が取得できていないときに取得します。また、新たに開始されたチャンネルを自動的に追加します。
「マニュアル」：
［１］～［１２］ボタンに割り当てるチャンネルを設定します。

ＩＰｖ６情報を確認する

本機が自動的に取得したＩＰｖ６情報を確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク状態」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細情報」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ ［▼］ボタンを押す
  ● 取得したＩＰｖ６の情報を表示します。

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
● ひかりＴＶを視聴する場合はＩＰｖ６に対応した環境が必要です。ＩＰｖ６情報が表示されない場合は契約しているプロバイダーなどにお問い合わせください。

ネットワーク
ネットワークを利用するための接続設定をする
本機を無線親機に設定する

本機を無線親機に設定し、宅内の各機器（無線子機）と接続する設定をします。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がなくても本機の近くに設置した無線ＬＡＮ対応のディーガやスマートフォンなどと接続し、お部屋ジャンプリンクやくらし機器の機能を使うことができます。
  また、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器と接続して、コンテンツ（写真やビデオ映像、音楽）を共有することができます。
- お客様の環境によっては、無線が届きにくい場合など、無線アクセスポイントの設置が必要となることがあります。

お知らせ
- 無線ブロードバンドルーターを利用したインターネット環境がある場合には、本機とルーターを無線ＬＡＮ接続することを推奨します。
- 本機を無線親機に設定すると本機はインターネットに接続できません。

本機を無線親機に設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「無線親機設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 画面の表示に従って、無線子機と接続する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

インターネットに接続して利用できるアプリやサービスについて

- ご利用になるにはブロードバンド環境に対応したネットワークへの接続と設定が必要です。設定については「ネットワークを利用するための接続設定をする」の「ネットワーク設定をする」をご覧ください。
- 動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（ＦＴＴＨ）などの高速回線との接続をおすすめします。（ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、映像が乱れたり、映らないなどの場合があります）

本機ではアプリ一覧で以下のアプリやサービスを利用することができます。
※ 利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更となる場合があります。

■ アクトビラ
- アクトビラを利用するとインターネットを通じて、便利で役立つ情報サービスを受けることができます。

■ もっとＴＶ
- もっとＴＶサービスは、放送局が公式に提供する映像を、インターネットを通じて配信するサービスです。

■ Ｗｅｂブラウザ
- Ｗｅｂページの閲覧ができます。

■ ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶ
- ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶを利用するとインターネットを通じて、映画やアニメなどの動画を本機で購入して視聴できます。

■ YouTube
- YouTubeはYouTube社が運営・管理している動画共有サービスです。
（2014年３月現在）

■ ひかりＴＶ
- 光回線（ＮＴＴ東日本またはＮＴＴ西日本のフレッツ回線）をご利用の場合に、多チャンネル放送やビデオなどを有料で視聴できます。

■ Ｓｋｙｐｅ
- Ｓｋｙｐｅはインターネットを通じてビデオ通話や音声通話を利用する電話サービスです。

アクトビラを利用する

アクトビラでは、テレビ向けのコンテンツが楽しめます。

① ［アクトビラ］ボタンを押す
② 画面の表示に従って操作する

● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ アクトビラブラウザ仕様について

項目	内容
記述言語	ＨＴＭＬ４．０準拠
スタイルシート規格	ＣＳＳ１／ＣＳＳ２（Ｓｕｂｓｅｔ）
動作記述言語	Ｊａｖａｓｃｒｉｐｔ１．５／ＥＣＭＡＳｃｒｉｐｔ（ＥＣＭＡ－２６２）
セキュア通信	ＳＳＬ２．０／ＳＳＬ３．０／ＴＬＳ１．０
Ｃｏｏｋｉｅ	バージョン０
モノメディア（写真）	ＪＰＥＧ、ＰＮＧ、ＧＩＦ
音声	MS-Windows標準WAVE形式、 MPEG2-AAC(ARIB STD-B14第３編準拠)、 受信機内蔵音
プラグイン	なし
文字入力	携帯電話（リモコン）方式
画面解像度	９６０×５４０
カラーモデル	フルカラー

もっとＴＶを利用する

① ［もっとＴＶ　ＶＯＤ］ボタンを押す
- もっとＴＶの画面を表示します。

② 見たい項目を選び、［決定］ボタンを押す
- 以降は画面の表示に従って操作してください。

- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- もっとＴＶの番組はＵＳＢハードディスクに録画やダウンロードはできません。

Ｗｅｂブラウザを利用する

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「Ｗｅｂブラウザ」を選び、［決定］ボタンを押す

● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

ネットワーク
インターネットを利用する
ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶ

ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶを利用する

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶ」を選び、［決定］ボタンを押す

● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

YouTubeを利用する

本機はYouTubeにアップロードされている動画を表示することができます。

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「YouTube」を選び、［決定］ボタンを押す

● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

ネットワーク
インターネットを利用する
ひかりＴＶ

ひかりＴＶを利用する

- ご利用になるには、ひかりＴＶへのお申し込みが必要です。
  サービス内容やお申し込みについては、ひかりＴＶのホームページなどでご確認ください。
- 事前に「ひかりＴＶ設定」が必要です。
  設定については「ネットワークを利用するための接続設定をする」の「ひかりＴＶの設定をする」をご覧ください。

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「ひかりＴＶ」を選ぶ
- ひかりＴＶの画面を表示し、以下の項目を選べます。
  「ホーム」：
  　ひかりＴＶのホーム画面を表示します。
  「テレビ」：
  　ひかりＴＶで配信されている、テレビ番組を視聴できます。

- ひかりＴＶの視聴を終了するときは、［元の画面］ボタンを押す

■ 視聴中の操作ボタンについて
- ひかりＴＶの視聴時には、以下のボタンを使用できます。
  通常の放送と同等の機能があります。
  ［画面表示］、［入力切換］、［青］、［赤］、［緑］、［黄］、［番組表］、［戻る］、［▲、▼、◀、▶］、［１］～［１２］、［チャンネル］、［音量］、［消音］、［音声切換］、［字幕］
- ［サブメニュー］ボタン
  - 「ビデオ」サービス視聴時
    再生操作パネルを表示します。
  - 「テレビ」サービス視聴時
    サブメニューを表示します。
    「ひかりＴＶホーム起動」を選んで決定するとホーム画面を表示します。その他の項目については通常の放送と同等の機能です。
- ［アプリ］ボタン
  ひかりＴＶを終了してアプリ一覧画面を表示します。
- ［元の画面］ボタン
  ひかりＴＶを終了して通常の放送に戻ります。

お知らせ
- ひかりＴＶの番組には、視聴年齢制限の定められている番組やチャンネルがあります。必要な場合は「機器設定」の「制限項目設定」で「視聴可能年齢」を変更してください。
- ひかりＴＶの番組は、ＵＳＢハードディスクに録画できません。
- ひかりＴＶの番組は、見るだけ予約できません。
- 地上デジタル放送やＢＳデジタル放送の再送信サービスには対応していません。

Ｓｋｙｐｅを利用する

- 本機の内蔵カメラで、インターネットを通じてビデオ通話や音声通話を利用できます。

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「Ｓｋｙｐｅ」を選び、［決定］ボタンを押す

- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- Ｓｋｙｐｅで通話中に録画モードが「長時間１」または「長時間２」で予約した２番組の録画予約が始まると、プレビューを終了する場合があります。（通話は継続します）

ネットワーク
お部屋ジャンプリンクを使う
お部屋ジャンプリンクとは

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）とは

- 本機とお部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）に対応したディーガをＬＡＮで接続・設定すると、本機のリモコンで以下の操作ができます。
  - ディーガのハードディスクに録画予約
  - ディーガのハードディスクに記録された映像（アクトビラからダウンロードした番組を含む）や写真の再生
    (ディーガのハードディスクに保存された音楽の再生はできません)
  - ディーガで受信しているデジタル放送の視聴
- ディーガの設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
- お部屋ジャンプリンクについては、取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- ４Ｋ映像は、お部屋ジャンプリンクで正しく再生できない場合があります。

お部屋ジャンプリンクサーバー機能について

- お部屋ジャンプリンクサーバー機能は、ＤＬＮＡのＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）機能に相当します。本機で視聴中の番組や本機に接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組などを、ＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）機能やＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信します。
- お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツなどについては、
  取扱説明書をご覧ください。
- 本機のお部屋ジャンプリンクサーバー機能を使用する場合は、「お部屋ジャンプリンク設定」を設定してください。

本機の名称を変更する

ネットワークで連携する機器に表示される本機の名称を、わかりやすくするために変更できます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「本機の名称変更」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「本機の名称変更」画面を表示します。

④ 画面に表示される内容に従って本機の名称を入力する

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

ネットワーク
お部屋ジャンプリンクを使う
ＤＭＲの機能を設定する

DMRの機能を設定する

ＤＬＮＡのＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）として本機を使用する場合に設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＴＶリモート設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ＴＶリモート機能」を選び、「オン」に設定する

● 設定したら［戻る］ボタンを押す
● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「ＴＶリモート機能」：
「オン」に設定すると、ＤＭＣ（デジタルメディアコントローラー）の操作によって、ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）から送信されたコンテンツを表示できます。また、ＤＭＣ（デジタルメディアコントローラー）の操作によって、音量を変更できます。

お知らせ
● ＤＭＣとＤＭＳが同じパソコンのときでもＤＭＲ機能を利用できます。
● ＤＭＲ機能を利用する場合は、本機の電源をあらかじめ「入」にしてください。
● ＤＭＣとして動作確認済みの機器はWindows(R) 7、Windows(R) 8のパソコンです。（2014年３月現在）

DMR機能で再生できるコンテンツ

■ 写真（画像）のフォーマット
● ＪＰＥＧ形式
サブサンプリング：４：４：４、４：２：２、４：２：０
表示画素数：最小8×8画素～最大30719×17279画素
• ＤＣＦおよびＥｘｉｆ規格に準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したファイルが再生できます。
• ＪＰＥＧ以外の形式（ＢＭＰ形式、ＧＩＦ形式、ＴＩＦＦ形式など）、プログレッシブＪＰＥＧ形式やＪＰＥＧ２０００形式の写真は再生できません。

■ 動画（ビデオ映像）のフォーマット
● ＳＤ－Ｖｉｄｅｏ 形式
ビデオコーデック　：MPEG1、MPEG2
オーディオコーデック：Dolby Digital、MPEG Audio
• SD-Video規格Ver. 1.31（Entertainment Profile形式）で記録された動画を再生できます。

- ＡＶＣＨＤ 形式
  ビデオコーデック　　：H.264
  オーディオコーデック：Dolby Digital
  - 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画（AVCHDのVer. 2.0に対応したAVCHD 3DやAVCHD Progressive、AVCHD）を再生できます。
- ＭＰ４形式
  ビデオコーデック　　：H.264、MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio、MP3
  - 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画が再生できます。
- ＭＫＶ 形式
  ビデオコーデック　　：H.264、MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio、MP3、Vorbis
  - 動画ファイルと同じフォルダ内に保存した同名の字幕ファイル（MicroDVD、SubRip、TMPlayer）を表示できます。
- ＦＬＶ 形式
  ビデオコーデック　　：H.264
  オーディオコーデック：AAC、MP3
- ３ＧＰＰ 形式
  ビデオコーデック　　：H.264
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC
- ＰＳ 形式
  ビデオコーデック　　：MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：Dolby Digital、LPCM、MPEG Audio
- ＴＳ 形式
  ビデオコーデック　　：H.264、MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio

■ 音楽のフォーマット
- ＭＰ３ 形式
- Ｍ４Ａ形式（ＡＡＣ、Ａｐｐｌｅ　Ｌｏｓｓｌｅｓｓ）
  - 著作権保護技術により保護されたファイルは再生できません。
- ＦＬＡＣ 形式
- ＷＡＶ 形式（ＬＰＣＭ）

お知らせ

- すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- すべてのファイルの再生品質を保証するものではありません。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。
- 再生可能なファイル形式以外のファイル形式のファイルを再生することはできません。
- 再生可能なファイル形式であっても、ご使用の編集ソフト、ファイルの仕様やコーデックによっては、再生できない場合があります。
- 本機が対応していないファイル形式の動画、静止画なども一覧に表示されます。このため、サーバー側の設定で公開するファイルを再生可能なファイル形式のみにすると便利です。
- サーバー機器によっては、ファイルを配信する際にファイル形式を変換（トランスコード）して配信する機器があります。この場合には変換後のファイル形式が本機の再生可能なファイル形式と同じである必要があります。ファイル形式を変換するか、変換後のファイル形式が何になるかについては、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。また、ファイル形式を変換して配信するサーバー機器との動作を保証するものではありません。
- 動画、静止画などの再生および表示などはサーバーの状態によっては行えない場合があります。また、本機が対応していないファイル形式の動画、静止画などの再生および表示は行えません。
- ＴＳ形式／ＰＳ形式の映像としてはディーガやパソコンなどで録画したデジタル放送や地上アナログ放送の番組などがあります。
- 地上デジタル／ＢＳデジタル放送などを録画したものの再生には、ＤＴＣＰ－ＩＰ機能に対応したサーバー機器が必要になります。サーバー機器にＤＴＣＰ－ＩＰがあるかどうかは、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

お部屋ジャンプリンクサーバー機能を設定する

ＤＬＮＡのＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）として、本機から視聴中の番組や接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組などを配信する場合に設定します。

● お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツなどについては、
取扱説明書をご覧ください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」→「お部屋ジャンプリンク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「サーバー機能」を選び、［オン］に設定する
④ ［戻る］ボタンを押した後、各項目を選び、設定する

● 設定したら［戻る］ボタンを押す
● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「サーバー機能」：
「オン」に設定すると、視聴中の番組や接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組などを、ＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）機能やＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信します。

「接続許可方法」：
「自動」に設定すると、本機に接続できるすべての機器に配信を許可します。「手動」に設定すると、「接続機器一覧」で指定した機器だけを許可します。

「接続機器一覧」：
本機に接続できる機器の一覧を表示します。（最大１６台）
「接続許可方法」を「手動」に設定した場合は、一覧から機器を選んで［決定］ボタンを押すことによって、「許可」の有無を切り換えられます。

お知らせ

- サーバー機能で配信するときは、本体の電源を「切」にしないでリモコンで「切」にしてください。また、配信するときはＵＳＢハードディスクを取り外さないでください。
- 「サーバー機能」が「オン」に設定されている場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。
- 配信の実行中に［画面表示］ボタンを押して、配信状態を確認できます。
- 暗号化設定していない無線ＬＡＮでは、サーバー機能を使用できません。
- ２台以上の機器に同時に配信できません。
- 本機で受信している放送をお部屋ジャンプリンク対応の当社製テレビに転送して視聴する場合、「チューナ」を選んでください。
- サーバー機能による配信中、以下の機能は実行されません。
  - メディアアクセス機能を利用して、外出先から放送番組や録画番組を視聴する
  - 配信中のコンテンツを「録画一覧」画面で削除する
- サーバー機能による配信中、以下の機能を使用すると配信が停止する場合があります。
  - ひかりＴＶの視聴
  - 録画
  - Ｓｋｙｐｅ
  - マイチャンネル
  - ダビング
  - ソフトウェアの更新（インターネット経由、放送ダウンロード）

ネットワーク
お部屋ジャンプリンクを使う
お部屋ジャンプリンクでディーガやビエラを操作する

お部屋ジャンプリンク画面でディーガや本機以外のビエラを選ぶ

お部屋ジャンプリンクに対応したディーガや本機以外のビエラをＬＡＮで接続、設定すると、離れたお部屋から操作できます。

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「お部屋ジャンプリンク」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「お部屋ジャンプリンク」画面で、操作するディーガまたは本機以外のビエラを選び、［決定］ボタンを押す
- ディーガまたはビエラの操作画面に切り換わります。

ディーガや本機以外のビエラの映像を選んで再生する

ディーガや本機以外のビエラに保存されている番組や写真、ディーガやビエラで受信している番組を視聴します。

■ 例：ディーガ（ＤＭＲ－ＢＺＴ８１０）で番組を再生する
- 「ビデオを見る」を選び、［決定］ボタンを押す
  - 操作はディーガまたはビエラの取扱説明書をご覧ください。

- 本機の操作に戻るには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ

- 画面に表示されるディーガや本機以外のビエラの名前は、ディーガまたはビエラで設定できます。設定については、ディーガまたはビエラの取扱説明書をご覧ください。
- 「お部屋ジャンプリンク」画面で［データ］ボタンを押すと、メーカーやＭＡＣアドレスなどの詳しい情報を表示します。
- ディーガのハードディスクに記録した以下のコンテンツを再生できます。
（無線ＬＡＮを暗号化設定していないときは、再生できないものがあります）
    - デジタル放送とアナログ放送の番組
    - アクトビラからダウンロードした番組
    - スカパー！プレミアムサービスＤＶＲからダビングした番組
    - デジタルビデオカメラやデジタルカメラからダビングした映像または写真
- ビエラのハードディスクに記録した以下のコンテンツを再生できます。
    - デジタル放送とアナログ放送の番組
- ディーガやビエラで受信している地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送を視聴できます。
    - 対応するディーガやビエラについては、以下のホームページをご覧ください。
（2014年３月現在）
http://panasonic.jp/support/　を開き、「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。
- 映像を見ているときに［サブメニュー］ボタンを押すと、再生操作パネルを表示します。
- 接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
- 本機では最小8×8画素～最大30719×17279画素までの写真データの表示を確認しています。（2014年３月現在）

ネットワーク
お部屋ジャンプリンクを使う
対応ディーガや対応ビエラでできること

「お部屋ジャンプリンク」機能を使って、本機のリモコンで以下の操作ができます。

対応ディーガでできる操作について

「お部屋ジャンプリンク」画面で対応機器を選び、設定してください。

- ディーガのハードディスクに録画予約
- ディーガのハードディスクに記録された映像（アクトビラからダウンロードした番組を含む）や写真の再生
  （ディーガのハードディスクに保存された音楽の再生はできません）
- ディーガで受信しているデジタル放送の視聴

本機でお部屋ジャンプリンクに対応したディーガに録画された映像を見るには、ディーガ側で登録が必要になる機種があります。
機種によってできる操作が異なります。設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

対応ビエラでできる操作について

「お部屋ジャンプリンク」画面で対応機器を選び、設定してください。

- ビエラのハードディスクに記録された録画番組の再生

本機でお部屋ジャンプリンクに対応したビエラに録画された番組を見るには、番組を録画したビエラ側で設定が必要になる場合があります。
設定については、番組を録画したビエラの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク
お部屋ジャンプリンクを使う
ネットワークにあるコンテンツを再生する

お部屋ジャンプリンク画面でサーバー機器を選ぶ

対応するサーバー機器をＬＡＮで接続、設定すると、離れたお部屋からコンテンツを再生できます。

● すべてのサーバー機器での再生を保証するものではありません。
● すべてのコンテンツの再生を保証するものではありません。また、すべてのコンテンツの再生品質を保証するものではありません。

① ［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面を表示する
② 「お部屋ジャンプリンク」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「お部屋ジャンプリンク」画面で、サーバー機器を選び、［決定］ボタンを押す
④ サーバー機器に応じて、コンテンツの種類やフォルダなどを選び、［決定］ボタンを押す
　● 再生が開始されます。

　● ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器のコンテンツを再生する場合と同等の再生画面を表示しますが、一部操作が制限されることがあります。

● 本機の操作に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 対応するサーバー機器について
ＤＬＮＡで決められたＤＭＳ機能を持つサーバー機器に格納したコンテンツ（写真やビデオなど）を本機で再生できます。
　● ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）
　保存しているコンテンツをＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）機能や
　ＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信します。
　ＤＶＤレコーダーなどの市販品があります。

■ サーバー機器の注意点について
　● サーバー機器の状態によってはコンテンツを再生できない場合があります。また、本機が対応していないファイル形式の写真、ビデオなどの再生および表示は行えません。再生可能なファイル形式であってもファイルによっては再生できない場合があります。
　● 本機への配信を許可するよう、サーバー機器の設定が必要なことがあります。詳細については、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
　● 地上デジタル／ＢＳデジタル放送などを録画したものの再生には、ＤＴＣＰ－ＩＰ機能に対応したサーバー機器が必要になります。サーバー機器にＤＴＣＰ－ＩＰ機能があるかどうかは、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
　● プログレッシブＪＰＥＧやＪＰＥＧ２０００は再生できません。
　● ＢＭＰファイルやＧＩＦファイルなどは再生できません。

お知らせ

- 「お部屋ジャンプリンク」画面で［データ］ボタンを押すと、メーカーやＭＡＣアドレスなどの詳しい情報を表示します。
- 接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- ４Ｋ映像は、お部屋ジャンプリンクで正しく再生できない場合があります。
- 接続したサーバー機器の種類によっては、再生画面の操作説明と実際の動作が異なることがあります。

ネットワーク
お部屋ジャンプリンクを使う
サーバー配信中の画面表示について

サーバー配信中の画面表示について

お部屋ジャンプリンクサーバー機能によって本機から配信を実行しているときに表示します。

● ［画面表示］ボタンを押す

A 配信中の表示

- お部屋ジャンプリンクサーバー機能による録画番組の配信を本機から実行しているときに表示します。

● 画面表示を消すには［画面表示］ボタンを数回押す

お知らせ
- 画面表示は数秒で、放送とチャンネル番号などの小さな表示になります。

ネットワーク
外出先や家の中で録画番組などを視聴する
メディアアクセス機能について

メディアアクセス機能とは

メディアアクセス機能を設定すると、外出先や家の中で現在放送中の番組や本機に接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組を、スマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。
ご利用になるには、対応サービスへの会員登録とスマートフォンやタブレット端末などの機器にＭｅｄｉａ Ａｃｃｅｓｓをインストールし、本機をインターネットに接続する必要があります。また、スマートフォンやタブレット端末などを、本機が接続されているネットワークに無線ＬＡＮで接続し、ペアリング（登録）する必要があります。

- ネットワークへの接続と設定については「ネットワークに接続する」または「ネットワークを利用するための接続設定をする」の「ネットワーク設定をする」をご覧ください。
- 会員登録およびサービス内容、動作環境やペアリング（登録）などについては、以下のホームページをご覧ください。
  （2014年６月現在）
  http://panasonic.jp/support/av/m_access/

お知らせ
- 本機にはスマートフォンやタブレット端末などの機器を６台までペアリング（登録）可能ですが、２台以上の機器で同時に利用できません。

メディアアクセス機能を設定する

メディアアクセス機能を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「メディアアクセス設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「メディアアクセス機能」を選び、「オン」に設定する
- スマートフォンやタブレット端末などの操作については、以下のホームページをご覧ください。（2014年６月現在）
http://panasonic.jp/support/av/m_access/

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- メディアアクセス機能を利用する場合は、本体の電源を「切」にしないでリモコンで「切」にしてください。また、録画番組を視聴中はＵＳＢハードディスクを取り外さないでください。
- 「メディアアクセス機能」が「オン」に設定されている場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。
- 暗号化設定していない無線ＬＡＮでは、メディアアクセス機能を使用できません。
- 放送局や録画番組、ネットワークの状態によっては視聴できない、または正しく再生できない場合があります。
- メディアアクセス機能を利用中、以下の機能は実行されません。
  - お部屋ジャンプリンクサーバー機能を利用して、放送番組や録画番組を配信する
  - 視聴中の録画番組を「録画一覧」画面で削除する
- メディアアクセス機能を利用中、以下の機能を使用すると視聴が停止する場合があります。
  - ひかりＴＶの視聴
  - 録画
  - Ｓｋｙｐｅ
  - マイチャンネル
  - ダビング
  - ソフトウェアの更新（インターネット経由、放送ダウンロード）

ダビングする前にご確認ください

まず、ご確認ください

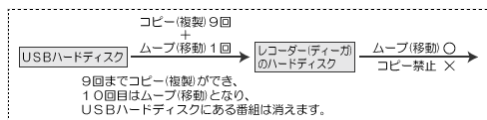
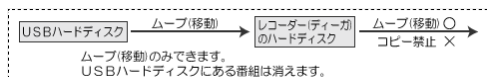
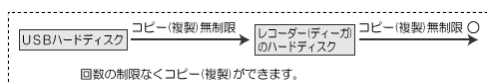
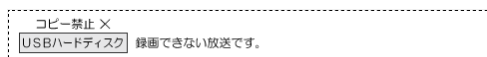
- 本機に接続したＵＳＢハードディスクの録画番組を、ＬＡＮで接続したダビング対応のディーガのハードディスクにダビングできます。
- ダビング対応のディーガが、ハブやルーターを経由して本機と接続されていますか？
  接続後はネットワーク設定をしてください。（アクトビラなどを視聴されている場合は、ネットワーク設定は必要ありません）
- ダビング対応のディーガをハブやルーターを使わずに本機に直接接続する場合は、ＬＡＮクロスケーブルをご使用ください。
- ディーガで設定や登録が必要になることがあります。ディーガの設定や登録については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
- 本機はディーガ以外のダビング対応機器にもダビングできます。

ダビングに対応するディーガなどについて

- ダビングに対応するディーガについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/bd/　を開く。
  「動作確認情報」→ディーガの各機種内の「ＤＬＮＡダビング動作確認機器一覧表」
- 「長時間１」または「長時間２」の録画モードで録画した番組をディーガにダビングした場合、ディーガ側で編集ができないことがあります。
- ダビングに対応するディーガ以外の機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html

コピー制限について

本機はダビング１０に対応しています。
本機で録画したデジタル放送をディーガのハードディスクへダビングする場合、各番組に加えられたコピー制御信号（個数制限コピー可能・１回だけ録画可能・コピー可能・コピー不可）によって、次のように動作します。

- 個数制限コピー可能（例：ダビング１０）

- １回だけ録画可能

- コピー可能

- コピー不可

ＵＳＢハードディスクに録画した番組をディーガなどへダビングする

● ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。

① ［録画一覧］ボタンを押す
  ● 「録画一覧」画面を表示します。
② ダビングする録画番組を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
③ 「ダビング」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ダビング機器」を選び、機器を設定する
  ● ディーガの場合、「ダビング機器」はディーガ側で設定した名称を表示します。（最大４８台表示します）
⑤ 「ダビング」画面の内容を確認した後、「ダビング開始」を選び、［決定］ボタンを押す
  ● ダビング開始メッセージを約５秒間表示後、見ていた画面に戻ります。

● ダビングを中止するには、本機でテレビ放送視聴中に［停止］ボタンを押し、確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

ダビングするときの注意点について

■ ダビング中
  ● 本体の電源を「切」にしないでください。電源を切りたい場合は、リモコンで電源を「切」にしてください。
  ● 進捗は、［画面表示］ボタンで確認できます。
  ● くらし機器からの通知表示サイズを「全画面」に設定してダビング中に、本機に接続のくらし機器から通知があるとダビング中止確認画面を表示します。「はい」を選び、［決定］ボタンを押すとダビングを中止します。

お知らせ
● ダビング速度について
  • 480i、480pの番組は等倍速より早くなる場合があります。
  • ネットワークの接続状態により変わります。
● 本機で作成されたチャプターは番組と同時にダビングされます。（ただし、先頭から１００個まで）
● ディーガへダビングする場合、７時間５０分以上の番組は７時間５０分ごとに分割してダビングされます。
● 時間指定予約などの長時間録画された番組が480i、480pや720p、1080iで混在している場合は、480i、480pや720p、1080iに分割してダビングされます。
● 本機でプロテクトされた番組はプロテクトを解除してからダビングしてください。
● ディーガなどから、本機に接続したＵＳＢハードディスクにはダビングできません。
● 複数の番組やまとめ番組を選んでダビングすることはできません。

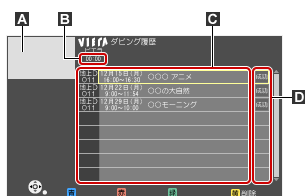
ダビング履歴を確認する

本機でＬＡＮ接続のダビング対応ディーガなどにダビングした履歴を確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「録画設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ダビング履歴」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「ダビング履歴」画面を表示します。

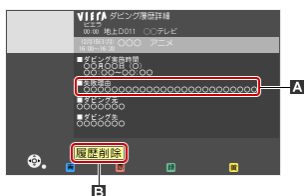
- 確認したら［元の画面］ボタンを押す

ダビング履歴画面の見かた

「ダビング履歴」画面では、実行したダビングの概要を表示します。

A 直前に見ていた番組
B 現在時刻
C ダビングした番組の放送、チャンネル番号、録画日、開始／終了時刻、番組タイトルを表示します。
- ダビングした番組を選び、［決定］ボタンを押すとダビング履歴の詳細情報を表示します。
- ダビングを実行した順番に表示します。

D ダビングの「成功」「失敗」を表示します。

ダビング履歴詳細画面の見かた

「ダビング履歴詳細」画面では、実行したダビングの詳細を表示します。

A ダビングの失敗理由を表示します。（失敗のときに表示）
B 「履歴削除」を選んで［決定］ボタンを押し、確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押すと履歴を削除します。

ネットワーク
ドアホンやカメラなどのくらし機器を使う
くらし機器について

くらし機器からの映像を本機でご覧になれます

くらし機器通知機能に対応しているネットワーク機器を接続、設定すると、くらし機器（当社製テレビドアホン（別売品）や当社製センサーカメラ（別売品））などからの通知や画像を本機でご覧になれます。

- 長時間連続で、くらし機器からの映像を再生した場合は、ネットワークの状態などによって途中で画像表示が停止する場合があります。
- くらし機器の接続については、取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- 本機に登録できるくらし機器は、最大で、センサーカメラ 8 台までと、ドアホン 2 台、ライフィニティ機器 1 台まで確認しています。（2014年 3 月現在）

くらし機器設定をする

くらし機器を使うときに設定する

接続したくらし機器からの通知や画像を表示するための設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「くらし機器」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「使用する」を選び、［決定］ボタンを押す
- くらし機器の状態によってメッセージを表示します。

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- くらし機器を「使用する」にすると各項目の設定ができます。

くらし機器映像の自動表示を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」→「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「くらし機器映像の自動表示」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「する」を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「する」：
くらし機器から呼び出し時、画像を自動で表示します。
「しない」：
画像を表示する前にメッセージを表示します。

くらし機器からの通知表示サイズを設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」→「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「通知時の表示サイズ」を選び、設定する

● 設定したら［戻る］ボタンを押す
● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「子画面」：
　くらし機器からの画像や映像を画面の右下に表示します。
「全画面」：
　画像や映像を表示するときは画面全体に拡大して表示します。

ドアホンやセンサーからの通知表示を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」→「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「通知表示設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 項目を選び、設定する

● 設定したら［戻る］ボタンを押す
● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「ドアホン来客通知」：
　「表示する」に設定すると、ドアホンからの通知を表示します。
　通知を表示しないときは「表示しない」に設定します。
「センサー検知通知」：
　「表示する」に設定すると、センサーカメラからの通知を表示します。
　通知を表示しないときは「表示しない」に設定します。

くらし機器を登録する

機器を登録するときは、登録したい機器を登録モードに切り換えてください。登録モードへの切り換えかたは、登録したい機器の取扱説明書をご覧ください。

- 登録モードに切り換えた後、約 5 分以内に以下の操作を行ってください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「くらし機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「くらし機器一覧」画面を表示します。

⑤ ［緑］ボタンを押して、確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ 登録済みのくらし機器を削除するには
- 「くらし機器一覧」画面から、削除したいくらし機器を選び、［黄］ボタンを押す

お知らせ
- 本機にこれ以上登録できないときは、［緑］ボタンを押してもくらし機器の新規登録画面は表示されません。
- 登録が完了すると、登録が完了した機器名と型番を表示します。
- くらし安心ホームパネルに接続している機器は、本機にくらし安心ホームパネルを登録すれば登録しなくても使うことができます。

くらし機器の詳細情報を表示する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「くらし機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 機器を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 表示されたパネルから確認したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

● 確認したら［戻る］ボタンを押す
● 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ パネルの項目について

「接続テスト」：

選んだくらし機器が使用できるか確認します。

「詳細情報表示」：

くらし機器の機器名や型番を表示します。

「機器のページ表示」：

くらし機器から送られてくる情報ページを表示します。表示内容については、選んだくらし機器の取扱説明書をご覧ください。

ビエラリンクメニューにくらし機器を表示する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「くらし機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ ［赤］ボタンを押して「ビエラリンク設定」を選ぶ
⑥ ［緑］ボタンを押して、機器を選び、［決定］ボタンを押す
- ビエラリンクメニューに追加されます。

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 登録された機器を入れ換えたいときは手順⑥で［緑］ボタンを押した後、機器を選び、［決定］ボタンを押します。
- 登録した機器を削除するときは手順⑥で削除したい機器を選び、［黄］ボタンを押します。
- ビエラリンクメニューには、１２台まで登録できます。
- テレビドアホンを当社製ドアホン用ＰＬＣアダプターパックＶＬ－ＳＰ８８０で接続した場合は本設定ができない場合があります。

ネットワーク
外出先から録画予約などを行う
ディモーラの設定

はじめに

外出先のパソコンなどから、本機に接続している録画用に登録したＵＳＢハードディスクに録画予約や録画番組の削除などの操作ができます。ご利用になるには、パソコンから下記ホームページで会員登録を行ってください。
http://dimora.jp/
会員登録するには、本機をインターネットに接続する必要があります。

ディモーラの登録をするには

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ディモーラの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ディモーラ機能」を選んで［決定］ボタンを押し、「入」に設定する
⑤ メッセージを確認し、［決定］ボタンを押す
⑥ 「機器ＩＤ確認」を選んで［決定］ボタンを押し、機器ＩＤを確認する
（ディモーラのホームページで機器ＩＤなどを入力する必要があります）
⑦ ［元の画面］ボタンを押して「ディモーラの設定」画面を閉じる
⑧ ディモーラのホームページで機器ＩＤなどを入力し、会員登録をする
● ディモーラの機能を使うことができるようになります。

■ 設定項目について
「ディモーラ機能」：
「入」に設定すると、ディモーラ機能を使うことができるようになります。
「機器ＩＤ確認」：
ディモーラ機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から本機を操作するとき、機器を特定するための番号を表示します。

ディモーラの設定をする

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ディモーラの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ ディモーラの設定画面から設定したい項目選び、項目ごとに設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「ディモーラからの番組消去」：

「入」に設定すると、ディモーラ機能を使って外出先から録画番組を消去できます。

「機器パスワード初期化」：

ネットワーク経由で本機を操作する際に使用する機器パスワードの初期化を行います。

「機器登録解除」：

機器登録や会員登録を解除する画面を表示します。（本機をインターネットに接続してください）

お知らせ

● ディモーラ機能を使う場合、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。

ネットワーク
ファイル共有サーバー機能を使う
ファイル共有サーバー機能とは

ファイル共有サーバー機能とは

- パソコンに保存しているコンテンツを本機に接続したＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカードに転送し、写真やビデオ映像、音楽を本機で再生できます。
  - 本機のファイル共有サーバー機能を使用する場合は、「ファイル共有サーバー機能」を「オン」に設定してください。
  - 転送可能なＵＳＢハードディスク
    本機に録画用または再生用として登録済みのＵＳＢハードディスク
  - 動作確認済みのパソコンＯＳ
    Windows(R)７，Windows(R)８，OS Ｘ１０．８(Mountain Lion)（2014年３月現在）
    ※ 動作確認済み対応ＯＳは、すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。対応ＯＳ以外やＯＳのアップグレード環境、お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- ご利用になるには本機とパソコンをＬＡＮで接続し、ネットワークへの接続と設定が必要です。
  - ネットワーク接続と設定については以下をご覧ください。
    「ネットワーク」→「ネットワークに接続する」または「ネットワークを利用するための接続設定をする」
  - ネットワークで接続したパソコンに表示される本機の名称を変更するときは、以下をご覧ください。
    「ネットワーク」→「お部屋ジャンプリンクを使う」→「本機の名称を変更する」
- 写真やビデオ映像、音楽の視聴方法や視聴できるコンテンツなどについては、「メディアプレーヤー」をご覧ください。

お知らせ
- ＵＳＢハードディスクは本機専用としてご使用ください。
- ＵＳＢハードディスクを本機に登録した状態で転送したコンテンツは、登録を削除した場合でも視聴できます。
- ＵＳＢハードディスクを本機に登録する場合、ＵＳＢハードディスクのフォーマットを行い、ＵＳＢハードディスク内のすべてのデータを消去しますので、ご注意ください。
- ＵＳＢハードディスクをお使いになるときは、以下をご覧ください。
  「外部機器をつないで見る、聴く」→「ＵＳＢハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する」

ファイル共有サーバー機能を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ファイル共有設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ファイル共有サーバー機能」を選び、「オン」に設定する
- コンテンツの転送などパソコンでの操作が必要です。
  操作については、以下のホームページをご覧ください。
  （2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/tv/network/netfs/index.html

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

- 視聴できるコンテンツなどについては、以下をご覧ください。
  「メディアプレーヤー」→「メディアプレーヤーを使うための準備」→「メディアプレーヤーとは」

お知らせ
- ファイル共有サーバー機能でコンテンツを転送中は、本体の電源を「切」にしないでください。電源を切りたい場合は、リモコンで電源を「切」にしてください。
  また、転送中はＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカードを取り外さないでください。転送したコンテンツなどが消えたり、故障の原因となります。
- 「ファイル共有サーバー機能」が「オン」の場合は、以下のときにリモコンで本機の電源を「切」にしても、ファイル共有サーバー機能が利用できます。
  - 「お部屋ジャンプリンク設定」→「サーバー機能」が「オン」に設定中
  - 「ＴＶリモート設定」→「リモート電源オン機能」が「オン」に設定中
  - 「ＴＶリモート設定」→「転送機能」が「いつでも有効」に設定中
  - 「ディモーラの設定」→「ディモーラ機能」が「入」に設定中
  - 「設置設定」→「クイックスタート」が「入」に設定中で、電源「切」にして２４時間以内のとき

ファイル共有機能とは

- ファイル共有サーバー機能に対応したネットワーク機器（パソコンなど）に保存しているコンテンツ（写真やビデオ映像、音楽）を本機のメディアプレーヤーで再生できます。
  - 「ネットワーク機器一覧」でネットワーク機器を本機に接続するためのユーザー名やパスワードなどを設定することができます。
  - 動作確認済みのパソコンＯＳ
    Windows(R) 7, Windows(R) 8, Windows(R) 8．1（2014年３月現在）
    ※ 動作確認済み対応ＯＳは、すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。対応ＯＳ以外やＯＳのアップグレード環境、お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
  - パソコンＯＳや対応するネットワーク機器などについては、以下の手順でメニュー画面に表示するホームページをご覧ください。
    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 「ネットワーク設定」→「ファイル共有設定」を選び、［決定］ボタンを押す
- ご利用になるには本機とネットワーク機器をＬＡＮで接続し、ネットワークへの接続と設定が必要です。
  - ネットワークへの接続と設定については以下をご覧ください。
    「ネットワーク」→「ネットワークに接続する」または「ネットワークを利用するための接続設定をする」
  - 接続したネットワーク機器でファイル共有サーバー機能の設定が必要です。設定については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 写真やビデオ映像、音楽の視聴方法や視聴できるコンテンツなどについては、「メディアプレーヤー」をご覧ください。

ネットワーク機器を設定する

ネットワーク機器を本機に接続するためのユーザー名やパスワードなどを設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ファイル共有設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「ネットワーク機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「ネットワーク機器一覧」画面を表示します。

⑤ 設定するネットワーク機器を選び、［決定］ボタンを押す
- 「ネットワーク機器設定」画面を表示します。
- 新しく機器を登録する場合は「新規登録」を選び、設定します。

⑥ 各項目を設定した後［登録］を選び、［決定］ボタンを押す

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- 終了するには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「サーバー名」：
　サーバーのパソコン名などを入力します
「共有フォルダ名」：
　共有フォルダ名を入力します。
「ユーザー名」：
　接続時に必要なユーザー名を入力します。
「パスワード」：
　接続時に必要なパスワードを入力します。
- 「サーバー名」と「共有フォルダ名」は新しく機器を登録する場合に設定します。設定については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 登録済みのネットワーク機器を削除するには

1. 「ネットワーク機器一覧」画面で削除したいネットワーク機器を選び、［決定］ボタンを押す
2. 「ネットワーク機器設定」画面で「消去」を選び、［決定］ボタンを押す
3. 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

お知らせ
- 本機に登録できるネットワーク機器は、最大で１６台です。

ネットワーク
インターネットを通じて、当社製機器の使いかたを見る
ネットで使い方ガイドを見る

ネットで使い方ガイドを見る

インターネットを通じて、当社製の機器の使いかたをご覧いただけます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ヘルプ」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ネットで使い方ガイド」を選び、［決定］ボタンを押す

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の接続機器やＳＤメモリーカードから機器の品番情報などを取得し、それに基づいてインターネットから機器の使いかたなどのお役立ち情報がご覧になれます。
  - ご覧になれる情報は当社製の機器に限ります。
  - すべての関連商品が対象ではありません。
- ご覧になるには、ブロードバンド環境が必要です。

（2014年３月現在）

メディアプレーヤー
メディアプレーヤーを使うための準備
メディアプレーヤーとは

メディアプレーヤーとは

- 写真やビデオなどの異なるコンテンツを、同じような操作でご覧いただくための再生機能です。
- ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器などに保存しているコンテンツも同じ操作で再生できます。

本機で再生できるコンテンツ

ＳＤメモリーカードやＵＳＢまたはネットワーク機器に記録されている以下のコンテンツを本機で再生できます。

■ 写真（画像）のフォーマット

- ＪＰＥＧ形式
  サブサンプリング：４：４：４、４：２：２、４：２：０
  表示画素数：最小8×8画素～最大30719×17279画素
  - ＤＣＦおよびＥｘｉｆ規格に準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したファイルが再生できます。
  - ＪＰＥＧ以外の形式（ＢＭＰ形式、ＧＩＦ形式、ＴＩＦＦ形式など）、プログレッシブＪＰＥＧ形式やＪＰＥＧ２０００形式の写真は再生できません。

■ 動画（ビデオ映像）のフォーマット

- ＳＤ－Ｖｉｄｅｏ 形式
  ビデオコーデック　　：MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：Dolby Digital、MPEG Audio
  - SD-Video規格Ver. 1.31（Entertainment Profile形式）で記録された動画を再生できます。
- ＡＶＣＨＤ 形式
  ビデオコーデック　　：H.264
  オーディオコーデック：Dolby Digital
  - 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画（AVCHDのVer. 2.0に対応したAVCHD 3DやAVCHD Progressive、AVCHD）を再生できます。
- ＭＰ４形式
  ビデオコーデック　　：H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio、MP3
  - 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画が再生できます。
- ＭＫＶ 形式
  ビデオコーデック　　：H.264、MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio、MP3、Vorbis
  - 動画ファイルと同じフォルダ内に保存した同名の字幕ファイル（MicroDVD、SubRip、TMPlayer）を表示できます。

- ＦＬＶ 形式
  ビデオコーデック　　 ：H.264
  オーディオコーデック：AAC、MP3
- ３ＧＰＰ 形式
  ビデオコーデック　　 ：H.264
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC
- ＰＳ 形式
  ビデオコーデック　　 ：H.264、MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、LPCM、MPEG Audio、MP3
- ＴＳ 形式
  ビデオコーデック　　 ：H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2
  オーディオコーデック：AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG-Audio、MP3

■ 音楽のフォーマット

- ＭＰ３ 形式
- Ｍ４Ａ形式（ＡＡＣ、Ａｐｐｌｅ　Ｌｏｓｓｌｅｓｓ）
  - 著作権保護技術により保護されたファイルは再生できません。
- ＦＬＡＣ 形式
- ＷＡＶ 形式（ＬＰＣＭ）

お知らせ

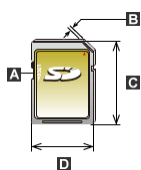
- すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- すべてのファイルの再生品質を保証するものではありません。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。
- 再生可能なファイル形式以外のファイルを再生することはできません。
- 再生可能なファイル形式であっても、ご使用の編集ソフト、ファイルの仕様やコーデックによっては、再生できない場合があります。

メディアプレーヤー
メディアプレーヤーを使うための準備
ＳＤカードを入れる

ＳＤメモリーカードを本機に入れる／取り出す

A 入れるとき
ラベル側を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込みます。
B ラベル面
C 取り出すとき
カード底面の真ん中を押します。

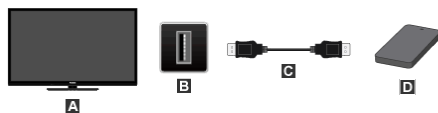
ＳＤメモリーカードに関するご注意

- ｍｉｎｉＳＤメモリーカードやｍｉｃｒｏＳＤメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
- ＳＤメモリーカードの動作中（再生中など）に、本体の電源を切ったり、ＳＤメモリーカードを抜いたり、振動や衝撃、静電気を与えると、保存した静止画などが消えたり、故障の原因となります。
- 規格外のＳＤメモリーカード、ＳＤメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

A 書き込み禁止（ＬＯＣＫ）スイッチ
スイッチを「ＬＯＣＫ」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。
B 厚さ：２．１㎜
C ３２㎜
D ２４㎜

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーを使うための準備

ＵＳＢ機器を接続する

ＵＳＢハードディスクの接続例

A ＴＶ
B ＵＳＢ端子
C ＵＳＢケーブル
D ＵＳＢハードディスク

- スーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）対応のＵＳＢハードディスクを接続するときは、スーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）に対応したＵＳＢケーブルをご使用ください。

お知らせ
- 本機で動作確認済みのＵＳＢハードディスクについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2014年３月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/
「動作確認情報」→『液晶テレビ（ビエラ）』→『「ＴＨ－○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

■ ＵＳＢ端子に関するご注意
- ＵＳＢハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
- ＵＳＢ端子から機器を外すときは、メニュー操作で機器を取り外せる状態にするか、本体の電源を「切」にしてから行ってください。
- ＵＳＢ３端子はスーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）に対応しています。（ＵＳＢ１、２端子はスーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）に対応していません）

■ ＵＳＢハードディスクの接続に関するご注意
- ＵＳＢハブを使って複数のＵＳＢハードディスクを同時に接続することはできません。（本機に登録できるＵＳＢハードディスクは８台ですが、一度に使用できるＵＳＢハードディスクは１台です）
- ＵＳＢハードディスクの動作中（再生・録画中など）に、本体の電源を切ったり、ＵＳＢケーブルを抜いたり、振動や衝撃（移動、回転など）、静電気を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。ＵＳＢハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 当社は他社起因によるところの操作と性能を保証しません。
また当社はそのような他社との組み合わせによってあるいは他社の操作や性能に起因するいかなる責任あるいは損害賠償をいたしかねます。

写真（画像）・動画（ビデオ映像）・音楽を再生するときは

- 録画用として登録しないで、そのままご使用ください。登録すると本機専用にフォーマットされるため、保存されている写真（画像）や動画（ビデオ映像）、音楽などすべてのデータが削除されます。
- ファイル共有サーバー機能を使うとパソコンに保存しているコンテンツを、本機に接続したＵＳＢハードディスクに転送し、写真（画像）や動画（ビデオ映像）、音楽を本機で再生できます。
  ファイル共有サーバー機能については「ネットワーク」の「ファイル共有サーバー機能を使う」をご覧ください。

お知らせ

- 番組を録画中のＵＳＢハードディスクに保存している写真（画像）を再生する場合、表示に時間がかかることがあります。

ネットワーク機器を接続する

ファイル共有機能に対応したネットワーク機器に保存しているコンテンツを再生する場合は、本機とネットワーク機器をＬＡＮで接続し、ネットワークへの接続と設定が必要です。

- ネットワークへの接続と設定については以下をご覧ください。
  「ネットワーク」→「ネットワークに接続する」または「ネットワークを利用するための接続設定をする」
- 接続したネットワーク機器でファイル共有サーバー機能の設定が必要です。設定については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- ファイル共有機能に対応したネットワーク機器を本機に接続するためのユーザー名やパスワードなどを設定することができます。設定については、「ネットワーク」→「ファイル共有機能を使う」の「ネットワーク機器を設定する」をご覧ください。

お知らせ

- 接続したネットワーク機器やネットワークの状態によっては、正しく再生できない場合があります。

メディアプレーヤー
写真を表示する
複数の写真を一覧表示で見る

「写真一覧」画面で複数の写真をまとめて見る

① ［アプリ］ボタンを押し、「メディアプレーヤー」を選び、［決定］ボタンを押す
② 複数の機器を接続している場合は
表示したい写真を保存している機器を選び、［決定］ボタンを押す
- ネットワーク機器（「」を表示）に初めて接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。

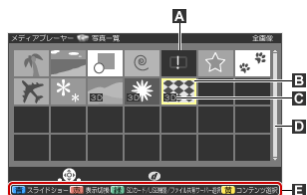
③ 「写真一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「写真一覧」画面を表示します。

■ 接続しているＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を取り外すときは

① ［元の画面］ボタンを押す
- 「写真一覧」画面から、テレビ画面に戻ります。

② ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を本機から取り外す

「写真一覧」画面の見かた

● 表示中はＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を取り外したり、電源を切らないでください。

A エラー表示（読み込めない写真など）
B ［▲、▼、◀、▶］ボタンで画像を選択し、［決定］ボタンを押すとシングル表示
C ３Ｄ写真のときに表示
D スクロールバー
- 次ページにも写真があるときは［▲、▼］ボタンで移動

E 操作について
- スライドショーの設定を変えるには
  ［青］ボタンを押す
- 表示形式を分類して表示するには
  ［赤］ボタンを押して表示したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
- 再生する機器を変えるには
  ［緑］ボタンを押す
- 再生するコンテンツ（録画番組、写真、ビデオ、音楽）を変えるには
  ［黄］ボタンを押す

■ その他の操作について
- 一覧に表示される枚数を変えるには
  ［サブメニュー］ボタンを押し、「表示枚数切換」を選び、［決定］ボタンを押す
  ２８枚と６０枚が切り換わる。
- 写真やフォルダの情報を表示するには
  ［データ］ボタンを押す

お知らせ
- 写真一覧を表示中は映像調整のメニューで設定できない項目があります。画質を調整する場合はシングル表示にしてください。
- パソコンなどで編集した写真データは、正しく再生できない場合があります。
- 本機では最小8×8画素～最大30719×17279画素までの写真データの表示に対応しています。（2014年３月現在）

メディアプレーヤー
写真を表示する
写真を分類して一覧表示で見る

日付別に分類表示する

① 「写真一覧」画面で［赤］ボタンを押す
- 「表示切換」画面を表示します。
- 「月別」、「フォルダ別」画面で［赤］ボタンを押しても、「表示切換」画面になります。

② 「日付別」を選び、［決定］ボタンを押す

■ 画面の見かた

A 撮影年月日
（撮影年月日が不明の写真は「日付不明」のグループに分類します。）
B 操作については下記をご覧ください。

- 日付別に分類されたグループを選び、［決定］ボタンを押すと、グループ内の写真を一覧（写真一覧［日付別］）表示します。

月別に分類表示する

① 「写真一覧」画面で［赤］ボタンを押す
- 「表示切換」画面を表示します。
- 「日付別」、「フォルダ別」画面で［赤］ボタンを押しても、「表示切換」画面になります。

② 「月別」を選び、［決定］ボタンを押す

■ 画面の見かた

A 撮影年月
（撮影年月日が不明の写真は「日付不明」のグループに分類します。）
B 操作については下記をご覧ください。

- 月別に分類されたグループを選び、［決定］ボタンを押すと、グループ内の写真を一覧（写真一覧［月別］）表示します。

フォルダ別に分類表示する

① 「写真一覧」画面で［赤］ボタンを押す
- 「表示切換」画面を表示します。
- 「日付別」、「月別」画面で［赤］ボタンを押しても、「表示切換」画面になります。

② 「フォルダ別」を選び、［決定］ボタンを押す

■ 画面の見かた

A パス名
B フォルダ名
C 操作については下記をご覧ください。

- フォルダを選び、［決定］ボタンを押すと、フォルダ内の写真を一覧（写真一覧［フォルダ別］）表示します。

操作について

- スライドショーの設定を変えるには
  ［青］ボタンを押す
- 表示形式を分類して表示するには
  ［赤］ボタンを押して表示したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
- 再生する機器を変えるには
  ［緑］ボタンを押す
- 再生するコンテンツ（録画番組、写真、ビデオ、音楽）を変えるには
  ［黄］ボタンを押す
- 写真やフォルダの情報を表示するには
  ［データ］ボタンを押す

メディアプレーヤー
写真を表示する
写真を１枚ずつ見る

写真をシングル表示させて１枚ずつ見る

● 「写真一覧」画面で画像を選び、［決定］ボタンを押す、または「スライドショー」画面で［決定］ボタンを押す

■ 画面の見かた

A ３Ｄの写真のとき表示します
B 再生状態など
C 2D ：写真を２Ｄで表示しているとき
3D ：写真を３Ｄで表示しているとき（３Ｄに変換しているときを含む）
D 操作ガイド部

● ［画面表示］ボタンを押すと表示します（約５秒間表示）
もう一度押すと表示を消します。

■ 操作について

● シングル表示からスライドショー（再生）にするには
［決定］ボタンを押す
● 画像を切り換えるには
［◀、▶］ボタンを押す
● 写真一覧にする（シングル表示を終了する）には
［▼］ボタンまたは［戻る］ボタンを押す
● 画像を回転させるには
［黄］ボタンを押す（押すごとに９０°ずつ右回りに回転）
● サブメニューを表示するには
［サブメニュー］ボタンを押す

お知らせ

- 表示される写真の大きさは、写真の解像度により異なります。
（常に画面いっぱいに表示されるわけではありません）
- 「プロ写真」を設定することにより、あざやかで深みのある色あいにできます。
- 「３Ｄ切換」画面で設定することにより、３Ｄの写真を３Ｄで表示したり、２Ｄの写真を３Ｄに変換して表示できます。
- ２番組同時録画中の３Ｄ写真の再生について

録画モード	標準	長時間１	長時間２
標準	○	○	○
長時間１	○	×	×
長時間２	○	×	×

○：再生できます。
×：再生できません。

写真を連続して見る（スライドショー）

● 「写真一覧」画面で［青］ボタンを押し、「スライドショー開始」を選び、［決定］ボタンを押す、または「シングル表示」のときに［決定］ボタンを押す

■ 画面の見かた

A ３Ｄの写真のとき表示します
B 再生状態など
C 2D ：写真を２Ｄで表示しているとき
3D ：写真を３Ｄで表示しているとき（３Ｄに変換しているときを含む）
D 操作ガイド部

● ［画面表示］ボタンを押すと表示します（約５秒間表示）
もう一度押すと表示を消します。

■ 操作について
● スライドショーからシングル表示にする（一時停止にする）には
［決定］ボタンを押す
● 画像を切り換えるには
［◀、▶］ボタンを押す
● 写真一覧にする（スライドショーを終了する）には
［▼］ボタンまたは［戻る］ボタンを押す
● サブメニューを表示するには
［サブメニュー］ボタンを押す

お知らせ

- 表示される写真の大きさは、写真の解像度により異なります。
  （常に画面いっぱいに表示されるわけではありません）
- 「プロ写真」を設定することにより、あざやかで深みのある色あいにできます。
- 「３Ｄ切換」画面で設定することにより、３Ｄの写真を３Ｄで表示したり、２Ｄの写真を３Ｄに変換して表示できます。
- ２番組同時録画中の３Ｄ写真の再生について

録画モード	標準	長時間１	長時間２
標準	○	○	○
長時間１	○	×	×
長時間２	○	×	×

○：再生できます。
×：再生できません。

リモコンの操作ボタンについて

- ［再生／１．３倍速］ボタン
  シングル表示中に押すとスライドショー（再生）を開始します。
- ［一時停止］ボタン
  スライドショー（再生）中に押すとシングル表示（一時停止）します。
  - もう一度押す、または［再生／１．３倍速］ボタンを押すとスライドショー（再生）が再開されます。
- ［停止］ボタン
  「写真一覧」画面に戻ります。
- ［早戻し／早送り］または［スキップ］ボタン
  スライドショー（再生）中に押すと次または前の画像に切り換わります。
  - 押した回数だけ前後の写真に飛び越して再生します。

メディアプレーヤー
写真を表示する
スライドショーの表示方法やＢＧＭなどの設定をする

スライドショーの表示間隔や表示方法、ＢＧＭ（バックグラウンド・ミュージック）などの設定をする

① 「写真一覧」画面で［青］（スライドショー）ボタンを押す
※ シングル表示またはスライドショーのときは、［サブメニュー］ボタンを押して、「スライドショー設定」を選びます。
② 設定したい項目を選び、設定する

● 設定したら［戻る］ボタンを押す

■ 設定項目について
「スライドショー開始」：
スライドショーを開始します。
一覧画面から［青］ボタンを押して「スライドショー設定」画面を表示したときだけ利用できます。
「カラーエフェクト」：
写真を表示する画面の色を選びます。
「セピア」、「グレースケール」から選びます。
「オフ」を選ぶと通常の色になります。
「オートメイクアップ」：
「オン」にすると写真から自動的に顔を検出し、明るさとコントラストを向上させます。
「表示モード」：
写真を拡大して表示できます。
「ズーム」にすると写真を拡大してみることができます。「ノーマル」を選ぶと通常の表示方法になります。
「表示間隔」：
写真を切り換える間隔が設定できます。
「短い」を選ぶと間隔が短くなります。「長い」を選ぶと間隔が長くなります。
※ 写真サイズによっては、表示間隔に差が出ることがあります。また、写真サイズが大きいときは、表示間隔が長くなります。
「リピート」：
「オン」にすると、すべての写真を順番に繰り返し見ることができます。
※ 分類表示をしているときは、分類内の写真を繰り返し表示します。
「ＢＧＭ」：
ＢＧＭ画面を表示します。ＢＧＭ画面では、写真の表示中に再生するＢＧＭ（バックグラウンド・ミュージック）をお好みに合わせて選べます。
「ＢＧＭ１」～「ＢＧＭ５」を選ぶと、本機に内蔵されているデータを再生します。
「ユーザー」を選ぶと、写真が保存されている機器から選んで音楽を再生します。
● 音楽を選ぶには
1. フォルダやファイルを選ぶ
2. 「ＢＧＭ設定」でフォルダ全部の音楽を再生する場合は「フォルダ」を、１曲のみ再生する場合は「ファイル」を選ぶ

「オート」を選ぶと、写真が保存されている機器から音楽を自動的に再生します。
「オフ」を選ぶと、ＢＧＭを再生しません。

お知らせ

- スライドショー設定をする画面や設定によっては、表示しない項目や操作できない項目があります。

同じ被写体を左右にずらして撮影した２枚の写真を選び、３Ｄ写真を作成する

① 「写真一覧」画面で［サブメニュー］ボタンを押し、「マルチショット３Ｄ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「マルチショット３Ｄ」画面を表示します。

② 左目用の写真を選び、［青］ボタンを押す
- 選んだ写真に「Ｌ」アイコンが付きます。

③ 右目用の写真を選び、［青］ボタンを押す
- 選んだ写真に「Ｒ」アイコンが付きます。

④ ［決定］ボタンを押す
- ３Ｄ写真を表示します。３Ｄグラスを装着すると、立体感のある写真をご覧いただけます。

お知らせ
- 日付別、月別、フォルダ別の「写真一覧」画面のとき、「マルチショット３Ｄ」画面は表示できません。
- 左目用として選んだ写真と日付や画素数が同じ写真を、右目用として選べます。日付や画素数は「写真一覧」画面で選んでいるときに［データ］ボタンを押すと確認できます。
- ３Ｄの写真は右目用、左目用として選べません。
- 「Ｌ」アイコンや「Ｒ」アイコンの付いた写真を選び［青］ボタンを押すと、選択を解除できます。
- 全く異なる被写体を撮影した写真を選ぶと、［決定］ボタンを押しても３Ｄ写真は作成されません。
- 選んだ写真の状態によっては［決定］ボタンを押すと、３Ｄ写真を作成するか確認する画面を表示することがあります。作成する場合は「はい」を選び、［決定］ボタンを押してください。
- 右目用の写真と左目用の写真は正しく選んでください。

本機で作成した３Ｄ写真をＳＤメモリーカードに保存する

① 作成した３Ｄ写真を表示しているときに［決定］ボタンを押す

② 選択画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す
- 保存した後、「マルチショット３Ｄ」画面を表示します。

- 「マルチショット３Ｄ」画面で［戻る］ボタンを押すと、「写真一覧」画面に戻ります。
  - 保存した３Ｄ写真は「写真一覧」画面から選んで見ることができます。

お知らせ

- ３Ｄ写真を作成する元の２枚の写真と同じＳＤメモリーカードに保存されます。異なるＳＤメモリーカードには保存できません。また、ＵＳＢまたはネットワーク機器の写真で３Ｄ写真を作成した場合は保存できません。
- ３Ｄ写真を作成する元の２枚の写真は消去されません。
- 残容量が少ないなど、機器の状態によっては作成した３Ｄ写真を保存できないことがあります。
- 本機では、保存した３Ｄ写真を選んで消去できません。

メディアプレーヤー
ビデオ映像を再生する
ビデオ一覧（まとめ表示）から選んで再生する

まとめ表示から選んで再生する

① ［アプリ］ボタンを押し、「メディアプレーヤー」を選び、［決定］ボタンを押す
② 複数の機器を接続している場合は
再生したいビデオ映像を保存している機器を選び、［決定］ボタンを押す
- ネットワーク機器（「🔒」を表示）に初めて接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。

③ 「ビデオ一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「ビデオ一覧（まとめ表示）」画面を表示します。

④ 再生したい映像を選び、［青］ボタンを押す
- 再生が始まります。

- 映像を選んで［決定］ボタンを押すと、「ビデオ一覧（シーン表示）」画面を表示します。
- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 接続しているＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を取り外すときは
① ［元の画面］ボタンを押す
- 「ビデオ一覧」画面から、テレビ画面に戻ります。

② ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を本機から取り外す

「ビデオ一覧（まとめ表示）」画面の見かた

A パス名
B ［▲、▼、◀、▶］ボタンで選択して決定すると「ビデオ一覧（シーン表示）」画面を表示
C ３Ｄのビデオのときに表示
D スクロールバー
次ページにもビデオがあるときは［▲、▼］ボタンで移動
E 操作について

- 選択している動画を再生するには
  ［青］ボタンを押す
  - ＳＤ－Ｖｉｄｅｏ形式、ＡＶＣＨＤ形式の映像のとき、選んだシーンを連続して再生します。
    ＭＰ４形式などの映像のとき、選んだ映像の先頭のシーンのみ再生します。
- 再生する機器を変えるには
  ［緑］ボタンを押す
- 再生するコンテンツ（録画番組、写真、ビデオ、音楽）を変えるには
  ［黄］ボタンを押す
- サブメニューを表示するには
  ［サブメニュー］ボタンを押す
- まとめの情報を表示するには
  ［データ］ボタンを押す

お知らせ

- ＳＤメモリーカードやＵＳＢまたはネットワーク機器のビデオ再生時は、デジタル音声出力で設定された音声を、デジタル音声出力（光）端子から出力します。デジタル音声出力の音声を聴くには、「音声調整」の「デジタル音声出力」で設定します。
- 最大転送速度が、１０ MB／秒に満たないＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器に記録している場合、本機で正しく再生できない場合があります。
- フォルダ名やファイル名を変更しないでください。パソコンで編集したビデオデータは意図通りに再生できないことがあります。
- ４Ｋ映像コンテンツ再生中に録画モードが「長時間１」または「長時間２」で予約した番組の録画予約が始まると、メッセージを表示して再生を停止します。
- 録画モードが「長時間１」または「長時間２」で番組を録画中は、４Ｋ映像コンテンツを再生できません。
- ２番組同時録画中の３Ｄビデオ映像の再生について

録画モード	標準	長時間１	長時間２
標準	○	○	○
長時間１	○	×	×
長時間２	○	×	×

○：再生できます。
×：再生できません。

メディアプレーヤー
ビデオ映像を再生する
ビデオ一覧（シーン表示）から選んで再生する

シーン表示から選んで再生する

ＳＤメモリーカードやＵＳＢまたはネットワーク機器に保存されているビデオ映像を「シーン」と呼びます。

① 「ビデオ一覧（まとめ表示）」画面でビデオ映像を選び、［決定］ボタンを押す
- ● 「ビデオ一覧（シーン表示）」画面を表示します。

② 記録されたシーンの中から再生したいシーンを選び、［決定］ボタンを押す
- ● 再生が始まります。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

「ビデオ一覧（シーン表示）」画面の見かた

A タイトル名
B ファイル名
C ［▲、▼、◀、▶］ボタンでシーンを選択、［決定］ボタンを押すと再生
D ３Ｄのシーンのときに表示
E スクロールバー
次ページにもビデオがあるときは［▲、▼］ボタンで移動
F 操作について
- ● 選択しているシーンを再生するには
  ［青］ボタンを押す
  - • ＳＤ－Ｖｉｄｅｏ形式、ＡＶＣＨＤ形式の映像のとき、選んだシーンから後のシーンも連続して再生します。
- ● 再生する機器を変えるには
  ［緑］ボタンを押す
- ● 再生するコンテンツ（録画番組、写真、ビデオ、音楽）を変えるには
  ［黄］ボタンを押す
- ● サブメニューを表示するには
  ［サブメニュー］ボタンを押す
- ● シーンの情報を表示するには
  ［データ］ボタンを押す

お知らせ

- 前回、再生を途中で停止したシーンを再生する場合、停止した場面から再生するか、先頭から再生するか選び、［決定］ボタンを押すと再生が始まります。
- ４Ｋ映像コンテンツ再生中に録画モードが「長時間１」または「長時間２」で予約した番組の録画予約が始まると、メッセージを表示して再生を停止します。
- 録画モードが「長時間１」または「長時間２」で番組を録画中は、４Ｋ映像コンテンツを再生できません。
- ２番組同時録画中の３Ｄビデオ映像の再生について

録画モード	標準	長時間１	長時間２
標準	○	○	○
長時間１	○	×	×
長時間２	○	×	×

○：再生できます。
×：再生できません。

メディアプレーヤー
ビデオ映像を再生する
ビデオ映像再生の操作方法や再生画面の見かた

再生画面の見かた

A 選択している機器の表示（ＳＤ／ＵＳＢなど）
B 録画日時／ファイル名
C 音声が再生できないファイルのときに表示
D 再生状態
E プログレスバー
F ３Ｄビデオのとき表示します
G 録画時間
H 2D ：ビデオ映像を２Ｄで表示しているとき
3D ：ビデオ映像を３Ｄで表示しているとき（３Ｄに変換しているときを含む）
I ［画面表示］ボタンを押すと表示します（約５秒間表示）
もう一度押すと表示を消します。

再生状態について

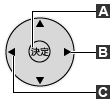
● 再生状態の表示は以下の通りです。

▶ ：再生中
❚❚ ：一時停止中
▶▶ • • • • • ：早送り中（５段階）
• • • • • ◀◀ ：早戻し中（５段階）

タイムシークバーについて

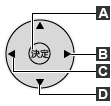
ビデオ映像の再生中に［決定］ボタンを押して一時停止にすると、タイムシークバーを表示します。タイムシークバーを使用すると見たい場面に移動しやすくなります。

A カウンター
B 録画時間

■ 操作について

A 再生：
タイムシークバーの表示を消して、ビデオを再生します。
B サーチ（早送り）：
１回押すたびに、カウンターを約１０秒進めます。０．５秒以上押すと、次のシークポイントに進みます。
C サーチ（早戻し）：
１回押すたびに、カウンターを約１０秒戻します。０．５秒以上押すと、前のシークポイントに戻ります。

- シークポイントは録画時間を１００分割したポイントです。

● タイムシークバーの表示を消すには
［戻る］ボタンを押す

リモコンの操作ボタンについて

A 再生：
一時停止中、早送り中、早戻し中に押す
一時停止：
再生中に押す
- タイムシークバーを表示します。（一時停止ができないビデオなどで表示されないことがあります。）

B サーチ（早送り）：
再生中、早戻し中に押す
- 押すたびに早送り速度が速くなります。（5 段階）
- ［決定］ボタンを押すと通常の再生になります。

C サーチ（早戻し）：
再生中、早送り中に押す
- 押すたびに早戻し速度が速くなります。（5 段階）
- ［決定］ボタンを押すと通常の再生になります。

D 終了：
「ビデオ一覧」画面に戻る。

- ［青］ボタン
再生中に押すと前のシーンにスキップします。
  - ファイルの先頭から 3 秒以内に押すと前のシーンに戻る。
  - ファイルの先頭から 3 秒以降に押すとそのシーンの先頭へ戻る。
- ［赤］ボタン
再生中に押すと次のシーンにスキップします。
- ［サブメニュー］ボタン
サブメニューを表示します。

■ リモコンの外部機器操作ボタンを使って以下の操作ができます。
- ［再生／1． 3 倍速］ボタン
再生を開始します。
- ［一時停止］ボタン
再生中に押すと一時停止します。
  - もう一度押す、または［再生／1． 3 倍速］ボタンを押すと再生を再開します。
- ［停止］ボタン
再生を停止します。
- ［早戻し／早送り］ボタン
再生中に押すと早戻し／早送りをします。
  - 押すたびに、速度が速くなります。（5 段階）
  - ［再生／1． 3 倍速］ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- ［スキップ］ボタン
再生中に押すとスキップします。
  - 押した回数だけ前後のシーンに飛び越して再生します。

ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

ビデオ映像の表示（画面モード）や音声、字幕の切換、リピートの設定をします。

① 再生中に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「ビデオ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 設定したい項目を選び、設定する

● 設定したら［戻る］ボタンを押す

■ ビデオ設定項目について

「音声切換」：

ビデオ映像に含まれる音声トラックを選ぶことができます。音声トラックには、コーデックとオーディオチャンネルを表示します。

● 音声トラックの表示例

音声１（Ｄｏｌｂｙ Ｄ　サラウンド）
音声２（Ｄｏｌｂｙ Ｄ　ステレオ）
音声３（ＡＡＣ　ステレオ）

- コーデックの表示例
  ＭＰＥＧ、Ｄｏｌｂｙ Ｄ、ＡＡＣ、ＭＰ３　など
- オーディオチャンネル表示例
  モノラル、ステレオ、二重音声、サラウンド　など

「二重音声」：

ファイルによって以下のように音声を設定できます。

主	主音声
副	副音声
主＋副	主音声＋副音声

● 設定できないファイルのときは「二重音声なし」と表示されます。

「字幕」：

ビデオ映像に含まれる字幕を選ぶことができます。

● 設定できないファイルのときは「字幕なし」と表示されます。

「リピート」：

「オン」にすると、「まとめ」の単位で繰り返し再生します。

■ 画面モードを切り換えるには

① 再生中に［画面モード］ボタンを押す

② 画面モードを選び、［決定］ボタンを押す

- 映像の拡大モードを以下のモードから選べます。

モード	説明
モード1	元の映像の横縦比を保ちながら、画面に収まる範囲で拡大します。
モード2	画面いっぱいに拡大します。元の映像の横縦比は保たれません。
オリジナル	元の映像の横縦比と大きさのまま表示します。 （720p×480pより小さい映像は、元の映像より拡大して表示します）

メディアプレーヤー
音楽を聴く
音楽一覧（フォルダ別）表示から選んで再生する

音楽一覧（フォルダ別）表示から選んで再生する

① ［アプリ］ボタンを押し、「メディアプレーヤー」を選び、［決定］ボタンを押す
② 複数の機器を接続している場合は
再生したい音楽を保存している機器を選び、［決定］ボタンを押す
- ネットワーク機器（「🔒」を表示）に初めて接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。

③ 「音楽一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「音楽一覧（フォルダ別）」画面を表示します。

④ 再生したいフォルダを選び、［青］ボタンを押す
- 再生が始まります。

- フォルダを選んで［決定］ボタンを押すと、「音楽一覧（ファイル別表示）」画面を表示します。
- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 接続しているＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を取り外すときは

① ［元の画面］ボタンを押す
- 「音楽一覧」画面から、テレビ画面に戻ります。

② ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を本機から取り外す

「音楽一覧（フォルダ別）」画面の見かた

A パス名
B ［▲、▼、◀、▶］ボタンで選択して決定すると「音楽一覧（ファイル別）」画面を表示
C スクロールバー
次ページにもフォルダがあるときは［▲、▼］ボタンで移動
D 操作について
- 選択しているフォルダを再生するには
［青］ボタンを押す
- 再生する機器を変えるには
［緑］ボタンを押す
- 再生するコンテンツ（録画番組、写真、ビデオ、音楽）を変えるには
［黄］ボタンを押す
- サブメニューを表示するには
［サブメニュー］ボタンを押す
- フォルダの情報を表示するには
［データ］ボタンを押す

お知らせ

- 最大転送速度が、１０ MB／秒に満たないＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器に記録している場合、本機で正しく再生できない場合があります。
- パソコンで編集した音楽データは意図通りに再生できないことがあります。

メディアプレーヤー
音楽を聴く
音楽一覧（ファイル別）表示から選んで再生する

音楽一覧（ファイル別）表示から選んで再生する

① 「音楽一覧（フォルダ別）」画面でフォルダを選び、［決定］ボタンを押す
- 「音楽一覧（ファイル別）」画面を表示します。

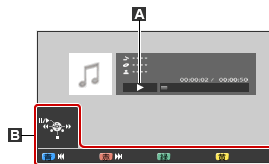
② 記録された音楽の中から再生したい音楽を選び、［決定］ボタンを押す
- 再生が始まります。

- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

「音楽一覧（ファイル別）」画面の見かた

A フォルダ名
B ファイル名
C ［▲、▼、◀、▶］ボタンでファイルを選択、［決定］ボタンを押すと再生
D スクロールバー
次ページにもファイルがあるときは［▲、▼］ボタンで移動
E 操作について
- 選択している音楽を再生するには
［青］または［決定］ボタンを押す
- 再生する機器を変えるには
［緑］ボタンを押す
- 再生するコンテンツ（録画番組、写真、ビデオ、音楽）を変えるには
［黄］ボタンを押す
- サブメニューを表示するには
［サブメニュー］ボタンを押す
- ファイルの情報を表示するには
［データ］ボタンを押す

メディアプレーヤー
音楽を聴く
音楽再生の操作方法や再生画面の見かた

音楽再生画面の見かた

A 再生状態
B ［画面表示］ボタンを押すと表示します（約 5 秒間表示）
もう一度押すと表示を消します。

再生状態について

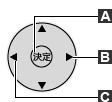
● 再生状態の表示は以下の通りです。

▶ ：再生中
II ：一時停止中
▶▶・・・・ ：早送り中（5 段階）
・・・・◀◀ ：早戻し中（5 段階）

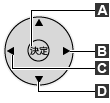
タイムシークバーについて

音楽の再生中に［決定］ボタンを押して一時停止にすると、タイムシークバーを表示します。タイムシークバーを使用すると聴きたい場所に移動しやすくなります。

A カウンター
B 録音時間

■ 操作について

A 再生：
タイムシークバーの表示を消して、音楽を再生します。
B サーチ（早送り）：
１回押すたびに、カウンターを約１０秒進めます。押したままにすると、連続して進みます。
C サーチ（早戻し）：
１回押すたびに、カウンターを約１０秒戻します。押したままにすると、連続して進みます。

● タイムシークバーの表示を消すには
［戻る］ボタンを押す

リモコンの操作ボタンについて

A 再生：
一時停止中、早送り中、早戻し中に押す
一時停止：
再生中に押す
- タイムシークバーを表示します。

B サーチ（早送り）：
再生中、早戻し中に押す
- 押すたびに早送り速度が速くなります。（5 段階）
- ［決定］ボタンを押すと通常の再生になります。

C サーチ（早戻し）：
再生中、早送り中に押す
- 押すたびに早戻し速度が速くなります。（5 段階）
- ［決定］ボタンを押すと通常の再生になります。

D 終了：
「音楽一覧」画面に戻る。

- ［青］ボタン
  再生中に押すと前の音楽にスキップします。
  - ファイルの先頭から 3 秒以内に押すと前の音楽に戻る。
  - ファイルの先頭から 3 秒以降に押すとその音楽の先頭へ戻る。
- ［赤］ボタン
  再生中に押すと次の音楽にスキップします。
- ［サブメニュー］ボタン
  サブメニューを表示します。

■ リモコンの外部機器操作ボタンを使って以下の操作ができます。
- ［再生／1． 3 倍速］ボタン
  再生を開始します。
- ［一時停止］ボタン
  再生中に押すと一時停止します。
  - もう一度押す、または［再生／1． 3 倍速］ボタンを押すと再生を再開します。
- ［停止］ボタン
  再生を停止します。
- ［早戻し／早送り］ボタン
  再生中に押すと早戻し／早送りをします。
  - 押すたびに、速度が速くなります。（5 段階）
  - ［再生／1． 3 倍速］ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- ［スキップ］ボタン
  再生中に押すとスキップします。
  - 押した回数だけ前後の音楽に飛び越して再生します。

繰り返し（リピート）を設定する

① ［サブメニュー］ボタンを押す
② 「音楽設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「リピート」を選び、設定する

● 設定したら［戻る］ボタンを押す

■ リピートについて
「オフ」：
　リピートしません。
「フォルダリピート」：
　フォルダ内の曲をリピートします。
「１曲リピート」：
　選んだ曲を１曲だけリピートします。

いろいろな機能を設定する
ユーザー設定をしていろいろな機能を使う
ユーザー設定について

ユーザー設定について

ユーザー設定すると、以下のような機能がユーザーごとに利用できます。

- お気に入りに登録し、ユーザーごとにおすすめ情報を表示する
  - ［（マイ）］ボタンを押すと、視聴中のテレビ番組やインターネットコンテンツなどをお気に入りに登録できます。
- お気に入りに登録し、ユーザーごとに録画番組を分類して表示する
  - ［（マイ）］ボタンを押すと、予約一覧や録画一覧などで選択中の番組をお気に入りに登録できます。
- インフォメーションバーを表示する※1
- 「マイチャンネル」を利用してお気に入り情報やおすすめのテレビやインターネットなどのコンテンツを表示する※2
  - 登録したお気に入り情報や視聴履歴などの情報を基に表示します。
- クラウドサービス（インターネット経由で提供されるさまざまなサービス）を利用する

※1 インフォメーションバーを表示するには設定が必要です。
設定については「インフォメーションバーを使う」の「インフォメーションバーの設定をする」をご覧ください。

※2 「マイチャンネル」はアプリの1つです。
利用するには、［アプリ］ボタンを押し、アプリ一覧画面から「マイチャンネル」を選び、［決定］ボタンを押します。

- 以降は画面の表示に従って操作してください。
- 終了するには［元の画面］ボタンを押します。
- 内蔵カメラの顔認識機能や音声タッチパッドリモコンのマイクで声認識機能を利用して、「マイチャンネル」を表示することもできます。

  1. 音声タッチパッドリモコンの［（音声操作）］ボタンを押す

  2. マイクに向かって「マイチャンネル」と発話する
  - 本機のリモコンとして設定したスマートフォンのマイクを使って操作することもできます。

お知らせ

- インターネットコンテンツやクラウドサービスなどを利用するには、本機をインターネットに接続する必要があります。
ネットワークへの接続と設定については「ネットワーク」→「ネットワークに接続する」または「ネットワーク」→「ネットワークを利用するための接続設定をする」の「ネットワーク設定をする」をご覧ください。
- クラウドサービスを利用するための利用規約を確認するには

  1. ［メニュー］ボタンを押して「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す

  2. 「マイホームクラウド設定」を選び、［決定］ボタンを押す

  3. 「利用規約」を選び、［決定］ボタンを押す
  - 「利用規約」を表示します。
  - 確認したら［元の画面］ボタンを押します。

ユーザー設定をする

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ユーザー設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「新規ユーザーの作成」を選び、［決定］ボタンを押す
- 登録済のユーザーを編集または削除する場合は、登録しているユーザーを選択します。

⑤ 画面の表示内容に従って項目ごとに設定する

- 設定したら［戻る］ボタンを押す
- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「名前」：
ユーザーの名前を入力します。
「アイコン」：
お好みのユーザーアイコンを選択します。
「あなたの音声データ」：
ユーザーの音声データを登録します。
「あなたの顔データ」：
ユーザーの顔データを登録します。
「声で呼び出すホーム」：
音声操作で表示するホーム画面を設定します。
「マイホームクラウドアカウント」：
マイホームクラウドサービスのアカウントを設定します。

■ 登録済みのユーザーを削除するには

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 「機器設定」→「ユーザー設定」を選び、［決定］ボタンを押す
3. 削除したいユーザーを選び、［決定］ボタンを押す
4. 「このユーザーを削除する」を選び、［決定］ボタンを押す
5. 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

いろいろな機能を設定する

音声操作機能を使って操作する

音声操作機能を使って操作する

音声操作とは

音声タッチパッドリモコンのマイクを使って、発話した言葉を認識し、以下のような操作をすることができます。

- チャンネルや音量を操作する
- インターネットに接続して検索する
- 登録したホーム画面に切り換える※１　など

スマートフォンなどを本機のリモコンとして設定して、音声で操作することもできます。（本機でＴＶリモートの設定が必要です※２）

- ● インターネットに接続して音声による検索などを行う場合は、ネットワークへの接続と設定が必要です。※２
  - プロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合、音声操作機能が使えないことがあります。音声操作機能を使うときはプロキシサーバー設定を行わずにインターネットに接続してください。（一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。お客様のインターネット接続環境については、プロバイダーにお問い合わせください）※２
- ● 音声による検索などを行う場合は、発話した言葉を音声データにしてインターネットを通じて音声認識サーバーに送信する必要があるため、利用規約に同意していただく必要があります。「利用規約」の画面が表示されたときは、画面の表示内容に従って操作してください。

※1 内蔵カメラの顔認識機能や音声タッチパッドリモコンのマイクで声認識機能を利用します。

※2 詳しくはビエラ操作ガイドの「ネットワーク」→「ネットワークを利用するための接続設定をする」をご覧ください。

音声操作の設定をする

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「音声操作の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「音声操作の設定」画面から設定したい項目を選び、項目ごとに設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 音声操作の設定について

「発話検出レベル」：

音声操作の発話検出レベルを「高」「標準」から選ぶ

- ● 「標準」で発話が検出されにくいときは、「高」に設定すると改善される場合があります。

「利用規約」：

音声操作の利用規約の画面を表示する

音声で操作する

① 音声タッチパッドリモコンの［ （音声操作）］ボタンを押す

② マイクに向かって発話する

③ 画面の表示内容に従って操作する

- マイクアイコン表示中に、［ （サブメニュー）］ボタンを押すと、音声による検索や操作をするための音声コマンドが表示されます。

お知らせ

- 音声操作機能が利用できるようになるとマイクアイコンが表示されます。
  マイクアイコン表示中は、一時的にテレビの音量は小さくなります。
- お使いになる人の声質や話しかた、周囲の環境や状況によっては正しく動作しないことがあります。
  - 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。
- 音声による検索などを行う場合は、本機をインターネットに接続し、ネットワークの設定をしてください。

いろいろな機能を設定する

内蔵カメラを使う

内蔵カメラを使う

内蔵カメラの顔認識機能と音声タッチパッドリモコンや本機のリモコンとして設定したスマートフォンの音声操作機能を利用して、ユーザーごとに設定したホーム画面に切り換えることができます。

- ユーザー設定で顔や音声認識データの登録と、ホーム画面の設定が必要です。ユーザー設定については「いろいろな機能を設定する」→「ユーザー設定をしていろいろな機能を使う」の「ユーザー設定をする」をご覧ください。

また、「Ｓｋｙｐｅ」などのアプリを使うと、インターネットを経由してビデオ通話や音声通話などができます。

- プライバシー・肖像権について
  カメラの利用については、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾う音声に対するプライバシーを含む）、肖像権などを考慮の上、行ってください。

内蔵カメラを使う

内蔵カメラを利用する機能やアプリを起動すると、内蔵カメラが自動的に立ち上がります。
アプリを終了すると、内蔵カメラは自動的に収納します。

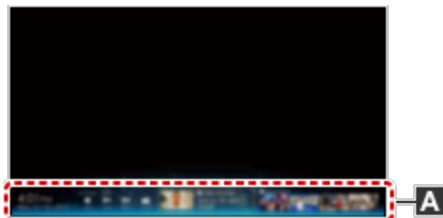
お知らせ

- 故障の原因になりますので、内蔵カメラは手で引き上げたり、戻したりしないでください。
- 「インフォメーションバー」を「オン」に設定すると、電源を「切」にしても内蔵カメラが自動的に収納しない場合があります。

インフォメーションバーについて

インフォメーションバーを設定すると、リモコンで電源を「切」にしているときに、人感センサーが感知すると、テレビ画面にさまざまな情報やサービスを表示します。
ユーザー設定で顔認識データを登録すると、内蔵カメラの顔認識機能を利用してユーザー特有の情報を表示します。
また、音声操作機能を使ってインフォメーションバーを操作することもできます。

- ユーザー設定については、「ユーザー設定をしていろいろな機能を使う」の「ユーザー設定をする」をご覧ください。
- 日時以外の情報を表示するには、ブロードバンド環境に対応したネットワークへの接続と設定が必要です。
  ネットワークへの接続と設定については「ネットワーク」→「ネットワークに接続する」または「ネットワーク」→「ネットワークを利用するための接続設定をする」の「ネットワーク設定をする」をご覧ください。
- 本機でインフォメーションバーを利用する場合は、「インフォメーションバー」を「オン」に設定してください。
  - 「インフォメーションバー」を「オン」に設定すると、内蔵カメラと内蔵マイクが有効になります。インフォメーションバー表示中は、音声操作可能な音声コマンドとマイクアイコンを表示します。

■ 表示例

A インフォメーションバー表示

インフォメーションバーの設定をする

インフォメーションバーの表示方法などをお好みに合わせて設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「インフォメーションバー設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「インフォメーションバー設定」画面から設定したい項目を選び、項目ごとに設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「インフォメーションバー」：

「オン」に設定すると、人感センサーが感知したときにインフォメーションバーを表示します。

インフォメーションバーを表示しない場合は「オフ」に設定してください。

「人感センサー感度」：

人感センサーの感度を「高」「低」から選びます。

● 感知されにくいときは、「高」に設定すると改善される場合があります。

「効果音音量」：

インフォメーションバーを表示したときの効果音音量を「大」「小」「オフ」から選びます。

人感センサーの感知範囲について

「人感センサー感度」を「高」に設定したときの感知範囲は以下の通りです。

感知距離　　：約 5 m以内（テレビ正面距離）
感知範囲　　：左右各　約 ３５°以内
　　　　　　　上　約 １５°以内
　　　　　　　下　約 ７．５°以内

お知らせ

- 周囲の温度と人体の温度差を感知するため、室温と体温の差が少ない場合や服装によって感知範囲は異なります。また、犬や猫などの動物、直射日光、エアコンやポットなどの熱源に対して、感知する場合があります。
- 上下左右方向の動きを感知しやすい特徴があり、前後方向や小さな動きに対しては感知しない場合があります。
- 人感センサーの前に物を置いたり、感知範囲内に鏡などの反射物があると正常に動作しない場合があります。

いろいろな機能を設定する
画面に関する設定や画質を調整する
映像モードから画質を選ぶ

番組などに合わせて映像モードを設定する

ご覧になる番組や外部入力の映像に合わせて、見やすい画質が選べます。

① 調整したい放送や外部入力の画面にする
② ［メニュー］ボタンを押す
③ 「映像調整」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「映像モード」を選び、設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 映像モードについて

「オート」：
視聴環境に応じて、明るさ、色温度、黒伸長などが自動調整されます。
「ダイナミック」：
明暗がはっきりしたメリハリのある映像。
「スタンダード」：
一般的なご家庭で使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。
「リビング」：
比較的明るいリビングに向いた映像。
「シネマ」：
映画視聴や、シアター環境に向いた映像。
「THX（暗）」：
THX社のディスプレイ規格に準拠したモードで、暗い部屋での視聴に適した映像。
「THX（明）」：
THX社のディスプレイ規格に準拠したモードで、明るい部屋での視聴に適した映像。
「シネマプロ」：
映画規格に準じた映像を、再現することを重視した映像。
「モニター」：
グラフィックイメージの再現性を重視した映像。
「ユーザー」：
お好みに合わせて調整できます。
「キャリブレーション」／「プロフェッショナル」：
ＩＳＦｃｃｃの規格に準拠したモードで、画質を詳細に調整したり調整した画質をロックすることができます。
● ＩＳＦｃｃｃに準拠した設定を行うと、「ISF（Day)」、「ISF（Night)」に名称が変わる場合があります。

● 映像モードは、以下の放送および入力信号ごとに設定できます。
  • デジタル放送、ＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力、ビデオ入力、Ｄ端子入力、写真再生、ビデオ再生、録画番組再生、インターネット（ビエラ操作ガイドと共用）
● 映像モードが「オート」のとき「明るさオート」は設定できません。
● 「モニター」はＨＤＭＩ入力またはDisplayPort入力以外は設定できません。
● 「THX（暗）」および「THX（明）」は、３Ｄ映像のときは設定できません。

お知らせ

- ４Ｋ映像を視聴しているときは、設定した画質がメニュー画面にも影響する場合があります。
- THXとは、THX社のディスプレイ規格に準拠したモードで、映画製作会社で使用する映像設定を再現しています。THX社のディスプレイ規格に準拠している映画は、ＤＶＤやブルーレイディスクにTHX ロゴが記載されています。なお、THXモードは静止画、インターネットの映像には設定できません。
- THX およびTHX ロゴは、いくつかの法域で登録されている、THX Ltd. の登録商標です。無断複写・転写を禁じます。

いろいろな機能を設定する
画面に関する設定や画質を調整する
映像モードの設定を調整する

映像モードをお好みに調整する

映像モードは、それぞれお好みに調整できます。

① 調整したい放送や外部入力の画面にする
② ［メニュー］ボタンを押す
③ 「映像調整」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 調整したい映像モードを選び、項目ごとに調整する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「バックライト」：
お好みに合わせて見やすい明るさに調整する
「ピクチャー」：
部屋の明るさに合わせた濃淡、明るさに調整する
「黒レベル」：
夜の場面や髪の毛などを見やすく調整する
「色の濃さ」：
お好みの濃さに調整する
「色あい」：
肌色などをきれいに調整する
「シャープネス」：
映像の輪郭を見やすく調整する
「色温度」：
お好みの色調に切り換えます。
「ビビッド」：
「オン」に設定すると、色をよりあざやかにできます。
入力した映像のまま表示するときは「オフ」に設定してください。
「カラーリマスター」：
色域を拡大して鮮やかにします。
「強」「弱」に設定すると、入力した映像の色域を拡大表示します。
入力した映像の色域をそのまま表示するときや色域選択を使用するときは、「オフ」に設定してください。
「プロ写真」：
写真の色あいを切り換えます
「強」「弱」に設定すると、写真をあざやかで深みのある色あいにします。
写真そのままの色あいにするときや色域選択を使用するときは「オフ」に設定してください。
「バックライトＡＩ」：
「強」「中」「弱」に設定すると、映像に応じて、バックライトを自動でコントロールします。
「弱」に設定すると、画面全体でコントロールし、「中」「強」に設定すると、エリアごとにコントロールします。
「バックライトＡＩ」の機能を使わないときは「オフ」に設定してください。

「レターボックス黒レベル」：

「暗」に設定すると、画面の上下に表示している黒い帯の黒レベルをより暗く表示します。

「明」に設定するとオリジナル映像をそのまま表示します。

「明るさオート」：

「オン」に設定すると、周囲の明るさに応じた見やすい画面にします。

「明るさオート」の機能を使わないときは「オフ」に設定してください。

- 「エコナビ」を「オン」にしたときは、連動して「明るさオート」が「オン」に設定されます。
- 「明るさオート」が「オン」のときは明るい場所や暗い場所でピクチャーを調整しても変化が少ない場合があります。

（工場出荷時は「オン」に設定）

「ＮＲ」：

映像のざらつき感を少なくするときは「オート」「強」「中」「弱」から選ぶ

映像をそのまま表示するときは「オフ」に設定してください。

「ＨＤオプティマイザー」：

ブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部のちらつき（ノイズ）を低減させるときは「オート」「強」「中」「弱」から選ぶ

そのまま表示するときは「オフ」に設定してください。

「リマスター超解像」：

見た目の解像度を上げ、鮮明な映像にするときは「オート」「強」「中」「弱」から選ぶ

映像をそのまま表示するときは「オフ」に設定してください。

「クリアフォント」：

２Ｄ映像のとき、輪郭が崩れたような文字をくっきり滑らかな文字にするには「オート」「強」「中」「弱」から選ぶ

そのまま表示するときは「オフ」に設定してください。

- ３Ｄ映像のときは設定できません。

「きらめき効果」：

２Ｄ映像のとき、きらめき感を強調し、透明感や光り輝く質感を表示するときは「強」「中」「弱」から選ぶ

映像をそのまま表示するときは「オフ」に設定してください。

- ３Ｄ映像のときは設定できません。

「Wスピード」：

動きの速い映像をよりなめらかに見たいとき、「強」「中」「弱」から選ぶ

映像が不自然なときは 「オフ」に設定してください。「ゲームモード」が「オン」のときは「オフ」に固定されます。

「画質調整ロック設定」：

映像モードが「キャリブレーション」または「プロフェッショナル」の場合は、調整した画質をロックすることができます。ロックするには以下の手順で操作します。

1. 「画質調整ロック設定」を選び、［決定］ボタンを押す
2. 画面の指示に従い、［１～１０］ボタンを押して暗証番号を４桁で入力する
   - 暗証番号を初めて入力するときは、番号を２回入力して登録します。
     - 番号は必ずメモをしておいてください。
3. 「画質調整のロック」を選び、「オン」に設定する
   - ロックを解除するときは「オフ」に設定してください。

- 暗証番号を変更するには以下の手順で操作します。
  1. 「暗証番号変更」を選び［決定］ボタンを押す
  2. ［１～１０］ボタンを押して新しい暗証番号を４桁で入力する
  3. 画面の指示に従って、もう一度同じ暗証番号を入力する

「画質設定コピー」：

映像モードが「シネマプロ」「モニター」「ユーザー」「キャリブレーション」「プロフェッショナル」の場合は、現在の画質設定を他の入力へコピーできます。コピーするには以下の手順で操作します。

1. 「画質設定コピー」を選び、［決定］ボタンを押す
2. 「コピー先の入力」を選び、コピー先を設定する
3. 「コピー開始」を選び、［決定］ボタンを押す
4. 「画質設定コピー」画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

「標準に戻す」：

工場出荷時の設定に戻す

お知らせ

- 調整値は、映像モードごとに記憶します。さらに、映像モードが「シネマプロ」「モニター」「ユーザー」「キャリブレーション」「プロフェッショナル」の場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。
- 調整値は、２Ｄ映像のときと３Ｄ映像のときのそれぞれについて記憶します。３Ｄで設定している場合は、「映像モード（３Ｄ）」を表示します。
- ４Ｋ映像を視聴しているときは、設定した画質がメニュー画面にも影響する場合があります。

より詳細に調整する

映像モードが「リビング」「シネマ」「シネマプロ」「モニター」「ユーザー」「キャリブレーション」「プロフェッショナル」のとき、より詳細に画像を調整できます。

① 調整したい放送や外部入力の画面にする
② ［メニュー］ボタンを押す
③ 「映像調整」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「画質の詳細設定」を選び、［決定］ボタンを押す

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 各項目について

「コントラストＡＩ」：
「オート」に設定すると、映像に応じてコントラストの自動調整を行い、メリハリのある映像にします。お好みに合わせて調整するときは、「カスタム」に設定し、「コントラストＡＩ設定」で調整してください。
「コントラストＡＩ」の機能を使わないときは「オフ」に設定してください。

「コントラストＡＩ設定」：
「コントラストＡＩ」が「カスタム」のとき、お好みに合わせて調整できます。
- 「明るさ補正」：
  暗い映像を明るく見やすく調整します。
- 「黒伸長」：
  中間より暗い部分の階調変化を調整します。
- 「白文字補正」：
  白い文字などの白さを強調します。
- 「標準に戻す」：
  工場出荷時の設定に戻します。

「色域選択」：
色域規格に従って画像の色を忠実に再現します。
「Native」：色域を最大値に拡大し、深い色で表示します。
「Rec. 709」：Rec. 709規格（ＨＤの標準）での色域を再現します。
「SMPTE-C」：SMPTE-C規格（ＳＤの標準）での色域を再現します。
「EBU」：EBU（欧州放送連合）規格での色域を再現します。
- 「色域選択」を使用するときは、「映像調整」→「カラーリマスター」を「オフ」に設定してください。

「ホワイトバランス調整」：
赤、緑、青の信号のホワイトバランスを調整します。明るい部分、暗い部分それぞれを調整します。
「詳細設定」を選ぶとより詳細なホワイトバランスを調整できます。

「カラーマネージメント調整」：
色相、彩度、明度を調整します。赤、緑、青の信号のそれぞれを調整します。
「詳細設定」を選ぶとより詳細な色相、彩度、明度を調整できます。

「ガンマ補正」：
中間輝度を調整します。数値が小さいほど中間輝度が明るくなります。
「詳細設定」を選ぶとより詳細な中間輝度を調整できます。

「標準に戻す」：
　　工場出荷時の設定に戻します。

お知らせ

● ４Ｋ映像を視聴しているときは、設定した画質がメニュー画面にも影響する場合があります。

オプション機能からお好みに合わせて調整する

映像をお好みに合わせて見やすくします。

① 調整したい放送や外部入力の画面にする
② ［メニュー］ボタンを押す
③ 「映像調整」→「オプション機能」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「オプション機能」画面から設定したい項目を選び、項目ごとに設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ オプション機能について

「ゲームモード」：

「オン」に設定すると、すばやい操作を要求されるゲームを楽しむ際に、描画の遅延を防ぎます。

- 「ゲームモード」はビデオ入力端子、Ｄ端子、ＨＤＭＩ端子またはDisplayPort端子から入力される映像にだけ有効です。
  設定は入力ごとに記憶されます。

「デジタルシネマリアリティ」：

「オート」または「オン」に設定すると、毎秒２４コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。
映像が不自然なときは「オフ」に設定してください。

- 「デジタルシネマリアリティ」は、１画面のとき、かつ480i、1080i信号の場合のみ設定できます。
- 「デジタルシネマリアリティ」の設定値は、以下の放送および入力信号ごとに記憶されます。
  - 地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送、ビデオ入力、Ｄ端子入力、ＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力、お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）、メディアプレーヤーでのビデオ再生など

「１０８０ｐピュアダイレクト」：

「オン」に設定すると、接続機器から入力された1080p ４：４：４の信号を、原画に忠実に表示します。

- 「１０８０ｐピュアダイレクト」の設定値はＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力ごとに記憶されます。
- 「１０８０ｐピュアダイレクト」はＨＤＭＩ端子、DisplayPort端子からの1080p信号に設定できます。（３Ｄ映像や２画面のときを除く）

「４Ｋピュアダイレクト」：

「オン」に設定すると、接続機器から入力された４Ｋ ４：４：４の信号を、原画に忠実に表示します。

- 「４Ｋピュアダイレクト」の設定値はＨＤＭＩ４入力、DisplayPort入力ごとに記憶されます。
- 「４Ｋピュアダイレクト」はＨＤＭＩ４端子、DisplayPort端子からの４Ｋ信号に設定できます。（３Ｄ映像や２画面のときを除く）

「１０８０ｐドットバイ４ドット」：

「オン」に設定すると、接続機器から入力された1080p信号のドットをパネルの解像度に合わせて忠実に再現し、くっきり表示します。

- 「１０８０ｐドットバイ４ドット」は、ＨＤＭＩ端子、DisplayPort端子からの1080p信号に設定できます。（３Ｄ映像や２画面のときを除く）
- 入力信号によっては、忠実に再現できない場合があります。

「３次元Ｙ／Ｃ分離」：

「オン」に設定すると、虹模様や、つぶ状のノイズを低減します。
ビデオなどの映像が不自然なときは「オフ」に設定してください。

- 「３次元Ｙ／Ｃ分離」は、デジタル映像、Ｄ端子入力、ＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力のときは設定できません。

画面表示や画質に関する設定を変更する（画面の設定）

画面の設定画面からお好みに合わせて調整する

映像をお好みに合わせて見やすくします。

① 調整したい放送や外部入力の画面にする
② ［メニュー］ボタンを押す
③ 「映像調整」→「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「画面の設定」画面から設定したい項目を選び、項目ごとに設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 画面の設定について

「画面モード」：
画面モードを変更します。

「オーバースキャン」：
１６：９映像の際に周囲を隠して表示します。１６：９映像の端まで表示する場合は「オフ」にします。

「水平表示領域」：
映像の両端にノイズ状のものが見える場合に画面の左右の幅を変更できます。

「垂直位置／サイズ」：
画面モードがジャスト／ズームのときの垂直（上下）の位置やサイズを微調整します。サイズはジャスト：３段階、ズーム：１５段階で調整できます。垂直位置の調整範囲は拡大状況により変わります。

「画面モード設定」：
画面モードが「オート」のとき、４：３映像をオリジナルのまま見るときは「ノーマル」に設定します。
画面モードが「オート」のとき、４：３映像を自動拡大して見るときは「ジャスト」に設定します。
● 「画面モード設定」は720pや1080i、1080p信号のときは働きません。

「ＩＤ－１検出」：
「オン」にすると、ビデオなどの映像に合わせて画面を自動拡大します。

画面モードの設定について

- コマーシャルや番組が変わると、画面サイズが変わり見にくくなることがあります。気になる場合は手動で画面モードを選んでください。
- このテレビは、各種の画面モード切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切換機能（ズームなど）を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の４：３の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- ３Ｄ映像を表示中、画面モードは「フル」で固定されます。

本機で表示できる映像信号の種類について

- 本機で表示できる主な映像信号は以下の通りです。
  480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）、
  2160p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）

  このうち720p、1080i、1080pはハイビジョン映像信号、2160pは４Ｋ映像信号です。
  - 数字は映像信号の有効走査線数
  - 英文字は走査線方式の略称を表しています。
    i：インターレース（飛び越し走査）
    p：プログレッシブ（順次走査）

映像信号の横縦比（アスペクト比）について

放送や映像ソフトによって次のような種類があります。

- 一部のデジタル放送など
- ハイビジョン放送
  ワイドクリアビジョン放送
  ビスタビジョンサイズⅠソフト（一部のデジタル放送）
- ビスタビジョンサイズⅡソフト
- シネマビジョンサイズソフト
- ４Ｋ映像信号
  - ４Ｋ　ＵＨＤ：3840×2160（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
  - ＤＣＩ　４Ｋ：4096×2160（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）

画面モードを選ぶ

４Ｋ映像やＰＣ入力のとき、「画面モード」で設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「画面モード」を選び、［決定］ボタンを押した後、画面モードを設定する

● ［画面モード］ボタンを押しても、画面モードを設定できます。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 本機の画面モードについて

「フル」：
上下左右の割合により、自動的に画面を縮小または拡大して画面いっぱいにする。
（オリジナル映像）（切り換えると・・・）

「ノーマル」：
オリジナル映像をそのまま表示。
（オリジナル映像）（切り換えると・・・）

● ＰＣ入力の場合のみ設定できます。

「水平フル」：
全体を縮小して左右方向の画面に合わせて、上下に黒帯のある映像にする。
（オリジナル映像）（切り換えると・・・）

● ４Ｋ映像（ＤＣＩ　４Ｋ）入力の場合のみ設定できます。

「垂直フル」：
上下方向の画面に合わせて、左右をカットした映像にする。
（オリジナル映像）（切り換えると・・・）

● ４Ｋ映像（ＤＣＩ　４Ｋ）入力の場合のみ設定できます。

お知らせ
● 画面モードは、４Ｋ映像入力（ＨＤＭＩ４入力、DisplayPort入力）ごとに、それぞれの信号別に記憶します。

４Ｋ映像やＰＣ入力以外のとき、「画面モード」で設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「画面モード」を選び、［決定］ボタンを押した後、画面モードを設定する

● ［画面モード］ボタンを押しても、画面モードを設定できます。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 本機の画面モードについて

「オート」：
放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに自動で切り換えます。
画面サイズが変わり見にくくなるときは、手動で画面モードを選んでください。

「フル」：
左右を拡大して画面いっぱいにする。
（オリジナル映像）　（切り換えると･･･）

「ジャスト」：
違和感の少ない映像に拡大する。
（オリジナル映像）　（切り換えると･･･）

- 拡大比率は、中央付近は小さく左右周辺は大きくなります。

「ノーマル」：
オリジナル映像をそのまま表示。
（オリジナル映像）　（切り換えると･･･）

「ズーム」：
全体を拡大する。
（オリジナル映像）　（切り換えると･･･）

お知らせ
● 画面モードは、放送や入力（デジタル放送、ビデオ入力、Ｄ端子入力、ＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力）ごとに、それぞれの信号別に記憶します。
● 映像の入力信号に、画面サイズの情報がある場合は、その情報に従って自動拡大します。（Ｄ４映像入力端子／ＩＤ－１検出）

いろいろな機能を設定する
画面に関する設定や画質を調整する
ハイビジョン映像でのサイドカットの設定をする

ハイビジョン映像でのサイドカットについて

ハイビジョン映像で両端に映像のない部分があるとき、帯部分を削除（サイドカット）して１６：９の画面に拡大表示します。

■ 両端に映像のない帯部分があるとき（４：３の映像）

「画面モード」
画面で設定すると　　例：サイドカットジャストの画面

■ ハイビジョン映像が画面いっぱいに表示されているとき（１６：９の映像）

そのままハイビジョン画面をお楽しみください

ハイビジョン映像のとき、サイドカット画面に設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「画面モード」を選び、［決定］ボタンを押した後、画面モードを「オート」に設定する

● ［画面モード］ボタンを押した後でも、画面モードを「オート」に設定できます。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ サイドカット時の映像について

（サイドカット前の
ノーマル時の映像）　　（自動的に･･･）

横縦比
４：３の映像　　左右を拡大し、違和感の少ない映像に拡大

上下に
黒帯のある映像　　黒帯の上下左右の割合により、自動的に画面を拡大

● ＨＤＭＩ入力やDisplayPort入力、Ｄ端子入力のサイドカット時は、２画面にするとサイドカットが解除されます。
● ひかりＴＶ、もっとＴＶのときはサイドカットできません。

ハイビジョン映像のとき、お好みのサイドカット画面を選ぶ

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「画面モード」を選び、［決定］ボタンを押した後、画面モードを設定する

● ［画面モード］ボタンを押しても、画面モードを設定できます。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ サイドカット時の画面モードについて

● サイドカットフル
左右を拡大して画面いっぱいにする。

（サイドカット前のノーマル時の映像）（切り換えると･･･）

● サイドカットジャスト
中央付近はあまり変えずに左右周辺は大きくし、違和感の少ない映像にする。

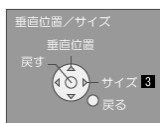
（サイドカット前のノーマル時の映像）（切り換えると･･･）

● サイドカットズーム
全体を拡大する。

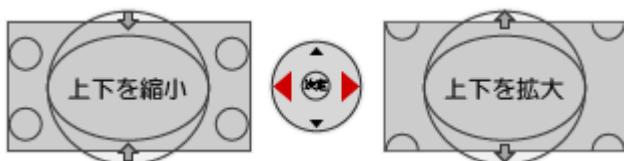
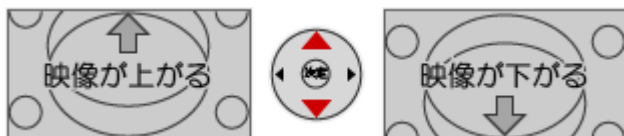
（サイドカット前のノーマル時の映像）（切り換えると･･･）

画面の垂直位置やサイズを調整する

画面モードが「ジャスト」、「ズーム」、「サイドカットジャスト」または「サイドカットズーム」のときに、画面の調整をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「垂直位置／サイズ」を選び 、［決定］ボタンを押す
④ 画面を見ながら調整する

- 設定値を標準に戻すときは［決定］ボタンを押し、確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す
- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 調整内容について
（ワイドクリアビジョンも調整できます）

- 画面の上下の幅を拡大、縮小する。（ジャスト：３段階 ズーム：１５段階）
- 画面外にはみ出た画像を見る。（調整範囲は拡大状況により変わります）

お知らせ
- 以下のときは調整できません。
  - ２画面や３Ｄ映像のとき
  - ひかりＴＶのとき
  - もっとＴＶのとき

画面の水平表示領域を調整する

調整したい画面モードのときに、画面の調整をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「映像調整」→「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「水平表示領域」を選び 、［決定］ボタンを押す
④ 画面を見ながら調整する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

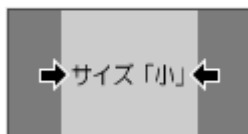
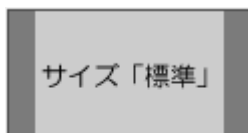
■ 調整内容について

● 画面モード「ノーマル」の調整

2 段階

サイズ「標準」

決定

サイズ「小」

- 左右が狭まる。
- 映像の両端にノイズ状のものが見えるとき、画面の左右の幅を狭める。

● 画面モード「オート」「フル」「ジャスト」「ズーム」「サイドカットフル」「サイドカットジャスト」「サイドカットズーム」の調整

2 段階

サイズ「標準」

決定

サイズ「小」

- 左右が拡大される。
- 映像の両端にノイズ状のものが見えるとき、画面の左右の幅を拡大する。（表示される範囲が小さくなります）

お知らせ

- 以下のときは調整できません。
  - 映像信号が 720p、1080i、1080p、2160p のとき（サイドカット時は除く）
  - ２画面や３Ｄ映像のとき
  - ひかりＴＶやもっとＴＶのとき

エコナビを設定する

視聴環境に応じて、本機の画面の明るさや画質を自動調整したり、接続している機器を制御して、消費電力を低減するために設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「エコナビ」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「おすすめ設定」を選び、［決定］ボタンを押す

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 「おすすめ設定」で変更される設定について

- ● 以下のように各項目を設定します。
  - 「省電力モード」：オン
    消費電力を抑えるために、画面の明るさを低減します。
  - 「明るさオート」：オン※
    周囲の明るさに応じた見やすい画面にします。
  - 「エコナビ表示」：オン
    エコナビで設定された機能が働いたときに、画面にメッセージなどを表示します。
  - 「ビエラリンク」：オン
    ビエラリンク（ＨＤＭＩ）制御機能を有効にします。
  - 「電源オフ連動」：オン
    本機の電源を「切」にしたとき、ディーガやシアターの電源も「切」にします。
  - 「ＥＣＯスタンバイ」：オン
    本機の電源を「切」にしたとき、連動して接続機器の消費電力を最小モードに切り換えます。
  - 「こまめにオフ」：オン
    使っていない機器の電源を個別に自動で「切」にする設定をします。
  - 「無操作自動オフ」：入
    約４時間以上、本機の操作をしないと、自動的に電源を切ります。
  - 「無信号自動オフ」：入
    約１０分間無信号状態が続くと自動的に電源を切ります。

  ※ 映像モードを「オート」に設定しているときは変更しません。
- ● 「標準に戻す」を選び、［決定］ボタンを押し、確認画面で「はい」を選び［決定］ボタンを押すと、各設定は工場出荷状態に戻ります。

省電力モードを設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「エコナビ」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「省電力モード」を選び、［決定］ボタンを押して設定する
- ● 「オン」に設定すると、消費電力を抑えるために、画面の明るさを低減します。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

エコナビ表示を設定する

エコナビで設定された機能が働いたときに、画面にメッセージなどを表示させることができます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「エコナビ」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「エコナビ表示」を選び、「オン」に設定する
- 「明るさオート」「こまめにオフ」「無信号自動オフ」で節電の効果が現れたとき、画面にメッセージなどを表示します。
- 「映像調整」での明るさの設定によっては、表示内容が変化することがあります。

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 「エコナビ表示」は「エコナビ」で「おすすめ設定」を選んで［決定］ボタンを押すと、設定できます。

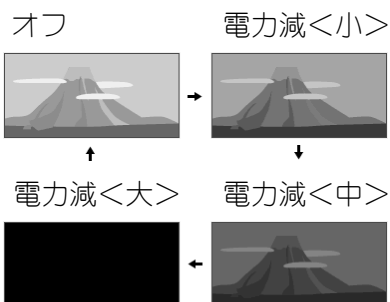
節電視聴の設定をする

画面表示を暗くすることにより、消費電力を削減します。

- ［節電視聴］ボタンを押す
  - ［節電視聴］ボタンを押すたびに切り換わります。

オフ　→　電力減＜小＞

↑　　　　↓

電力減＜大＞　←　電力減＜中＞

  - 画面左下に「最大電力　約○○%削減」と表示されます。電力減＜大＞のときは画面が消えます。

お知らせ

- 「電力減＜小＞」「電力減＜中＞」「電力減＜大＞」に設定すると、最大消費電力に対して削減する電力の割合を数秒間表示します。
- 「電力減＜大＞」に設定すると、画面表示が消えた状態になり、音声のみのモードになります。
- 「電力減＜大＞」に設定しているときに音量・消音操作以外の操作をすると、「オフ」に戻ります。
- 「電力減＜大＞」設定時に電源を「切」「入」した場合、画面表示は「オフ」の設定になります。

いろいろな機能を設定する
テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する
省エネ設定をする

無信号時に、自動的に電源を切る

無信号の状態で約１０分間本機の操作をしないとき、自動的に電源を切ります。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「タイマー設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「無信号自動オフ」を選び、「入」に設定する
- 電源が切れる３分前から、切れるまでの残り時間（３、２、１）のメッセージを表示します。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 無信号自動オフについて

「入」：
　無信号自動オフ機能が働きます。（工場出荷時は「入」に設定）
「切」：
　無信号自動オフ機能が働きません。

- メッセージなどを表示中は電源が「切」にならない場合があります。
- 「入」に設定して、２画面のときは左画面で約１０分間無信号が続くと電源オフになります。
- 「無信号自動オフ」が働いて電源が切れたときは、次回電源「入」時に「無信号自動オフが働きました」と、約１０秒間表示します。
- 「エコナビ」を「オン」にしたときは、連動して「無信号自動オフ」が「入」になります。
- 以下のときは無信号自動オフ機能は働きません。
  - ビデオがブルーバックのときや再生が終了した接続機器から映像信号が出力されているとき
  - くらし機器やアクトビラを表示しているとき
  - ビエラ操作ガイドやネットで使い方ガイドを表示しているとき

操作しないとき、自動的に電源を切る

約４時間以上、本機の操作をしないとき、自動的に電源を切ります。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「タイマー設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「無操作自動オフ」を選び、「入」に設定する

- 電源が切れる３分前から、切れるまでの残り時間（３、２、１）のメッセージを表示します。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 無操作自動オフについて

「入」：
　無操作自動オフ機能が働きます。
「切」：
　無操作自動オフ機能が働きません。

- 「無操作自動オフ」が働いて電源が切れたときは、次回電源「入」時に「無操作自動オフが働きました」と、約１０秒間表示します。
- 以下のときは無操作自動オフ機能は働きません。
  - くらし機器やアクトビラを表示しているとき
  - ビエラ操作ガイドやネットで使い方ガイドを表示しているとき

ＵＳＢハードディスクを休止状態にする

本機に接続したＵＳＢハードディスクを１０分以上操作（再生、録画、ダビングなど）しないとき、休止状態にします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「録画設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ＵＳＢ　ＨＤＤ機能待機」を選び、「オフ」に設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ ＵＳＢ　ＨＤＤ機能待機について

「オン」：
休止状態にしない。

「オフ」：
休止状態にする。（ＵＳＢハードディスクの消費電力を低減しますが、録画・再生・ダビングなどの準備にかかる時間が長くなります）

いろいろな機能を設定する
タイマーで電源を切る（オフタイマー）／入れる（オンタイマー）
オフタイマーを設定する

タイマーで電源を切る（オフタイマー）

自動的に電源を切りたい時間（３０分後、６０分後、９０分後）を選びます。

- ［オフタイマー］ボタンを押す
  - ［オフタイマー］ボタンを押すたびに切り換わります。
  - 電源が切れる3分前から、「3分後」、「2分後」、「1分後」と点滅表示します。
  - 電源が切れる３０秒前、２０秒前、１０秒前になると段階的に画面が暗くなり、音量が小さくなります。その間に本機を操作すると、画面と音量は元に戻ります。（オフタイマーは解除されません）
  - 「オフ」を選ぶと、オフタイマーは解除されます。

- オフタイマーの残り時間を知りたいときは［画面表示］ボタンを押す

タイマーで電源を入れる（オンタイマー）

タイマーで自動的に電源を入れることができます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「タイマー設定」→「オンタイマー」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 再度「オンタイマー」を選び、「入」に設定する
④ リモコンの［電源］ボタンで電源を切る

オンタイマーの設定を変更する

時刻や音量、放送とチャンネルなどを指定して電源を自動的に入れる設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「タイマー設定」→「オンタイマー」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 再度「オンタイマー」を選び、「切」に設定する
④ オンタイマーの各項目を設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「オンタイマー」：
「入」に設定すると、オンタイマー機能が働きます。
オンタイマー機能を使わないときや設定を変更する場合は「切」に設定してください。

「時刻」：
電源が入る時刻を設定します。

「音量」：
電源が入ったときの音量を設定します。

「放送／入力」：
「設定しない」「地上Ｄ」「ＢＳ」「ＣＳ１」「ＣＳ２」「すべての外部入力」から選ぶ。
● 電源を切る前まで見ていた放送または外部入力は「設定しない」に設定してください。

「チャンネル」：
電源が入ったときのチャンネルを設定します。
● 「１」～「１２」に設定されているチャンネル
● 「放送／入力」が「設定しない」「外部入力」のときは「----」を表示
● 「設定しない」は電源を切る前まで見ていたチャンネル

「チャンネル名」：
設定したチャンネルの放送局を自動的に表示します。

お知らせ

- オンタイマーの設定時刻になると電源が入り、自動的に６０分のオフタイマーが働いて、電源が切れます。続けてご覧になる場合は、電源が切れる前にオフタイマーを「オフ」にしてください。
- オンタイマーを「入」にすると、リモコンで電源を「切」にしたとき本機前面の電源ランプが橙色に点灯します。
- オンタイマーの設定時刻になると「オンタイマー」の設定は「切」になります。
- 本体の［電源］ボタンで電源を「切」にした場合は、オンタイマーは動作しません。
- オンタイマー機能をご利用になるには、デジタル放送用アンテナの接続と設定が必要です。

時刻読み上げ設定をする

時刻読み上げを設定する

オンタイマーで自動的に電源「入」した後、一定時間ごとに時刻を読み上げる設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「タイマー設定」→「オンタイマー」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「時刻読み上げ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 時刻読み上げ設定の各項目を設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「読み上げ」：
「する」に設定すると、自動的に電源「入」後３０分まで時刻を読み上げます。
時刻を読み上げないときは「しない」に設定してください。
「読み上げ間隔」：
「５分」「３分」「１分」から選ぶ。

自動的に電源「入」した後、時刻読み上げを中止する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「タイマー設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「時刻読み上げ中止」を選び、［決定］ボタンを押す

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

お好みの音声モードを選ぶ

ご覧になる番組などに合わせて、聴きやすい音声が選べます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「音声モード」を選び、設定する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 音声モードについて

「スタンダード」：
　全音域をバランスよくした音。
「ミュージック」：
　メリハリ感を強調した音。
「快聴」：
　人の声をより聴きやすくした音。（高齢の方におすすめ）
「ユーザー」：
　お好みに合わせて調整できます。

- 音声モードは、以下の放送および入力信号ごとに設定できます。
  - デジタル放送、ＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力、ビデオ入力、Ｄ端子入力、写真再生（静止画のＢＧＭ）、ビデオ再生、録画番組再生、インターネット（ビエラ操作ガイドと共用）

いろいろな機能を設定する
音声に関する設定や音質を調整する
音質を調整する

音声モードをお好みに調整する

音声モード（「スタンダード」「ミュージック」「快聴」「ユーザー」）を項目ごとに調整します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「音声モード」を選び、設定する
④ 音声調整画面から調整したい音声モードを選び、項目ごとに調整する

● テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「バス」：
　低音を調整します。
「トレブル」：
　高音を調整します。
「イコライザー」：
　イコライザーの調整をします。調整する場合は、音声モードを「ユーザー」に切り換えたあと、「イコライザー」画面で各周波数を選び、周波数レベルを設定します。
- 低音（150 Hz）から高音（12k Hz）まで８つの周波数のレベルをそれぞれ調整できます。声などを強調するには中音（1k Hz/2k Hz）のレベルを上げてください。
- 「標準に戻す」を選び［決定］ボタンを押し、確認画面で「はい」を選び［決定］ボタンを押すと、周波数レベルは工場出荷状態に戻ります。

「バランス」：
　左右の音量を調整します。
「サラウンド」：
　臨場感を楽しみたいときに設定します
- ＨＤＭＩ入力端子、DisplayPort入力端子、ビデオ入力端子、Ｄ端子に接続した機器を視聴する場合は「ワイド」を選ぶ
- デジタル放送の場合は「バーチャル３Ｄ」を選ぶ
- 音がひずむ場合は「オフ」に設定してください。

「低音強調」：
　低音を増強して響かせたいときは「オン」を選ぶ
　通常の使用のときは「オフ」に設定してください。
「デジタルリマスター」：
　「オン」に設定すると、圧縮時に失われた帯域の音を再現します。
　音声をそのまま視聴するときは「オフ」に設定してください。
「音量オート」：
　「オン」に設定すると、小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整し、音量変化を抑えます。

「音量補正」：
放送や入力信号を切り換えて音量が変化するときは、調整したい放送や外部入力の視聴状態にしてから音量を調整してください。
「壁寄せ設定」：
低音が反響するときや、低音を抑えて聴くときは「オン」を選ぶ
通常の使用のときは「オフ」に設定してください。
「標準に戻す」：
工場出荷時の設定に戻す

お知らせ

- ２画面のときはスピーカーで聴いている方の音を調整できます。
- デジタル音声出力（光）端子からの音声には働きません。
（「バーチャル３Ｄ」サラウンドを除く）
- 「バーチャル３Ｄ」サラウンドについて
  - 音に広がりを与える機能です。５．１ｃｈサラウンドの音声に対して、特に有効です。
  - 本機のスピーカーだけで広がり感を仮想的に再現します。
  - 本体正面中央の位置で視聴すると効果的です。
  - ヘッドホン／イヤホン接続端子や光出力（ＰＣＭ時）からの音声にも働きます。
- 「イコライザー」を調整しても、ヘッドホン／イヤホン接続端子から出力する音声には働きません。
- 「バス」、「トレブル」、「サラウンド」、「低音強調」、「デジタルリマスター」の調整値は、「音声モード」ごとに記憶します。
- 音量補正は、デジタル放送、ビデオ入力、Ｄ端子入力、メディアプレーヤーでの写真再生、メディアプレーヤーでのビデオ再生、録画番組再生、お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）、ＨＤＭＩ入力、DisplayPort入力、アクトビラ、ビエラ操作ガイドごとに記憶します。

いろいろな機能を設定する
音声に関する設定や音質を調整する
音声の同時出力やヘッドホン音量を設定する

スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える

ヘッドホン／イヤホンを挿入しているとき、本機スピーカーからも音声出力する設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を選び、「する」に設定する
- スピーカーとヘッドホン／イヤホンの両方から音声が出力されます。

- スピーカーの音量は［音量］ボタンで調整できます。
- ヘッドホン／イヤホンの音量は「ヘッドホン／イヤホン音量」で調整できます。
- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- ヘッドホン／イヤホンを挿入して「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「しない」に設定しているときは、リモコンの［音量］ボタンでも、ヘッドホン／イヤホンの音量調整ができます。
- ヘッドホン／イヤホンを挿入して「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「する」に設定しているときは、本体の［音量］ボタンで、ヘッドホン／イヤホンの音量調整ができます。
- リモコンや本体の［音量］ボタンで、ヘッドホン／イヤホンの音量を調整したときは、画面下に「ヘッドホン／イヤホン音量」を表示します。

ヘッドホン／イヤホンの音量を調整する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ヘッドホン／イヤホン音量」を選び、［決定］ボタンを押す
④ ［◀、▶］ボタンを押して、音量を調整する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- ヘッドホン／イヤホンで音声を聴いているときは、リモコンや本体の［音量］ボタンで音量調整できます。ただし、「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「する」に設定しているときは、リモコンの［音量］ボタンでの音量調整はできません。

いろいろな機能を設定する
音声に関する設定や音質を調整する
２画面時の音声出力先を設定する

２画面時のスピーカー音声出力を切り換える

２画面のときにスピーカーから聴こえる音声（右画面または左画面）を選びます。

① ２画面時に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「スピーカーから音を出す」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「左画面」または「右画面」を選び、［決定］ボタンを押す
- 設定した側の画面の音声がスピーカーから出ます。

● 設定したら［戻る］ボタンを押す

- 電源を「切」「入」したり、２画面から１画面にすると、設定は「左画面」に戻ります。
- 音声をスピーカーから出力している側の画面に ♪ を表示します。

お知らせ
- 「音声調整」→「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「しない」に設定しているときは、ヘッドホン／イヤホンを挿入すると２画面時にもスピーカーから音声は出ません。

２画面時のイヤホン音声出力を切り換える

２画面のときにヘッドホン／イヤホン接続端子から出力する音声（右画面または左画面）を選びます。

① ２画面時に［サブメニュー］ボタンを押す
② 「イヤホンから音を出す」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「左画面」または「右画面」を選び、［決定］ボタンを押す
- 設定した側の画面の音声をヘッドホン／イヤホン接続端子から出力します。

● 設定したら［戻る］ボタンを押す

いろいろな機能を設定する
音声に関する設定や音質を調整する
音声ガイドを使う

お知らせ
- ［メニュー］ボタンを３秒以上押しても「音声ガイドの設定」画面を表示できます。
- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

音声ガイド機能を設定する

番組表、番組内容、入力切換、録画予約設定の画面を操作したり、チャンネル選局したときなどやＷｅｂブラウザ上に表示される文章を音声読み上げするようにできます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「音声ガイドの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「音声ガイド機能」を選び、「オン」に設定する
  - 音声ガイドの読み上げが終わった後で［画面表示］ボタンを押すと、再度聴くことができます。

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 「音声ガイドの設定」画面を表示しているときは、「音声ガイド機能」を「オフ」に設定しても、選んでいる項目の設定内容を音声で読み上げます。
- 入力切換のときは、「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」で設定した名称を読み上げます。
- 「タイトル表示」が「オフ」のときは、チャンネル選局時の番組情報は読み上げません。番組情報を聴きたいときは［画面表示］ボタンを押してください。
- 番組情報などを読み上げているとき、本機を操作すると音声ガイドの読み上げが停止することがあります。
- 番組データが取得できていないとき、番組情報を読み上げないことがあります。
- ２画面のとき、音声ガイド機能は働きません。
- Ｗｅｂブラウザ以外のインターネットを利用中（ひかりＴＶ、もっとＴＶなど）のときは、音声ガイド機能は働きません。

音声ガイドの読み上げ音量を調整する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「音声ガイドの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「読み上げ音量」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 読み上げ音量について
「読み上げ音量」は「強」「中」「弱」に設定できます。

音声ガイドの読み上げ速度を調整する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「音声ガイドの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「読み上げ速度」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 読み上げ速度について
「読み上げ速度」は「高速」「標準」「低速」に設定できます。

Ｗｅｂブラウザ上の文章を読み上げる

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「音声ガイドの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「Ｗｅｂブラウザ」を選び、「オン」に設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

● Ｗｅｂブラウザを起動し、読み上げたい文章にカーソルを合わせると、１段落ごとに文章を読み上げます。

字幕や文字スーパーを表示する

デジタル放送の字幕や文字スーパーを表示する

放送があるときのみ表示が可能です。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「表示の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「字幕の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 字幕の設定の項目ごとに設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「字幕」：
　「オン」に設定すると、字幕を表示します
「字幕言語」：
　字幕で表示したい言語を選ぶ
「文字スーパー」：
　「オン」に設定すると、文字スーパーを表示します
「文字スーパー言語」：
　文字スーパーで表示したい言語を選ぶ

- ［字幕］ボタンを１回押しても、現在の状態を表示します。表示中に押すたびに、字幕の「オン」と「オフ」が切り換わります。
- 字幕「オン」でも、字幕のない番組や設定した言語の字幕がない場合、字幕は表示されません。文字スーパーが「オン」でも、文字スーパーのない番組や設定した言語の文字スーパーがない場合、文字スーパーは表示されません。
- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

いろいろな機能を設定する
字幕や表示などシステムに関する設定をする
チャンネルボタンでの選局対象を設定する

デジタル放送のとき、［チャンネル］ボタンで順送りできるチャンネルを選ぶ

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「その他の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「選局対象」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「設定チャンネル」：
　リモコンの［１］～［１２］ボタンに設定されているチャンネルと、チャンネル設定で設定したチャンネル。
「テレビ」：
　テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ。
「すべて」：
　現在放送されている、すべてのチャンネル。

番組のタイトル表示を設定する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「表示の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「タイトル表示」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「オン（大）」：
チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどの文字を大きく表示します。

「オン（標準）」：
チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどの文字を標準の大きさで表示します。

「オフ」：
タイトルを表示しません。（チャンネル番号は表示します）「オフ」に設定しても、［画面表示］ボタンを押したときは、タイトル表示します。

画面に時刻を表示する

画面の左下に時刻表示する設定をする

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「表示の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「時計表示」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オン」に設定すると、画面の左下に時刻を表示します。

お知らせ
- 放送中の番組と外部入力の映像にだけ表示されます。
- テレビ番組の映像に表示される時刻とは一致しないことがあります。
- 時計表示機能をご利用になるには、デジタル放送用アンテナの接続と設定が必要です。
- 以下のときは表示されません。
  - ２画面のとき
  - ひかりＴＶやもっとＴＶのとき
  - ホーム画面のとき

いろいろな機能を設定する
制限項目や暗証番号に関する設定をする
視聴できる年齢を制限する

制限項目設定とは･･･

- 視聴できる年齢を制限します。
- 制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。

お知らせ
- 初めて制限項目を設定するときは、暗証番号を登録します。

視聴できる年齢を制限する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「制限項目設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 画面の指示に従い、［１～１０］ボタンを押して暗証番号を４桁で入力する
- 暗証番号を初めて入力するときは、番号を２回入力して登録します。
  - 番号は必ずメモをしておいてください。

④ 「視聴可能年齢」を選び、設定する

- 制限を超える番組を選ぶと、暗証番号の入力画面になります

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 制限できる年齢について
制限できる年齢は、「４才」～「１９才」（１才単位）と「無制限」です。
（工場出荷時は「４才」です）
- 年齢制限を超える番組は番組表などで「.....」で表示します。

■ 暗証番号の入力画面について
設定した年齢を超える番組を選ぶと暗証番号の入力画面になります。

1. 暗証番号の入力画面を表示
2. ［１～１０］ボタンを押して、暗証番号を入力する
   - 入力を間違えた場合は［戻る］ボタンを押して、もう一度操作してください。
3. 番組が映る
   - 番組表から番組を選んだときは、番組内容を表示します。

- 暗証番号の入力画面で一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで番組を見ることができます。

アプリの使用を制限する

① ［アプリ］ボタンを押す
② アプリ一覧画面右上の を選び、［決定］ボタンを押す
③ 表示されるメニューで「アプリの使用制限」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 暗証番号を入力する
⑤ 使用を制限したいアプリを選び、［決定］ボタンを押す
- もう一度［決定］ボタンを押すと制限を解除します。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 暗証番号の入力画面について
使用制限したアプリを利用するときに、暗証番号の入力画面になります。
- ［１～１０］ボタンを押して、暗証番号を入力します。
- 入力を間違えた場合は［戻る］ボタンを押して、もう一度操作してください。

ホームページやブログなどの表示を制限する

お子様などに見せたくないホームページやブログなどの表示を制限する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「制限項目設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 画面の指示に従い、［１～１０］ボタンを押して暗証番号を４桁で入力する
④ 「フィルタリング設定」を選び、設定する
- 未設定の場合は、申し込み手続き（有料）が必要です。画面の指示に従って操作してください。
- 申し込み手続きにはネットワークの接続が必要です。

⑤ フィルタリング設定の各項目を選び、設定する

- 設定終了後は［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「フィルタリング機能」：
「オン」に設定すると、フィルタリング機能を使用します。
フィルタリング機能を一時的に使わないときは「オフ」に設定してください。
（フィルタリングサービスは解約されません）

「詳細設定」：
フィルタリング関連の設定、登録情報関連の設定（サービスの解約など）を行う画面を表示します。
画面の指示に従って操作してください。

■ お手続きのご案内画面について
- フィルタリングサービスのお申し込みがまだの場合や本機で「個人情報リセット」を行った場合は、お手続きのご案内画面を表示します。
- 「申し込み手続き」を選び、［決定］ボタンを押すと、フィルタリングサービスの申し込み手続き画面を表示します。画面の指示に従って操作してください。

お知らせ
- お申し込みの際に入力されたパスワードや表示されるＩＤについては、メモをしておくことをおすすめします。
- 本機で「個人情報リセット」を行った場合は、メモしたパスワードやＩＤを使って再設定のお手続きをしていただく必要があります。

暗証番号を変更する

登録済みの暗証番号を変更する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「制限項目設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 画面の指示に従い、［１～１０］ボタンを押して暗証番号を４桁で入力する
④ 「暗証番号変更」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ ［１～１０］ボタンを押して新しい暗証番号（４桁）を入力する
- 暗証番号は忘れずにメモしておいてください。

⑥ 画面の指示に従って、もう一度同じ暗証番号を入力する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

暗証番号を削除する

登録済みの暗証番号を取り消す

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「制限項目設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 画面上の指示に従い、［１～１０］ボタンを押して暗証番号を４桁で入力する
④ 「暗証番号削除」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「はい」を選び、［決定］ボタンを押す
- 視聴制限など制限項目が解除されます。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

かんたん設置設定をする

かんたん設置設定を行うと、テレビ番組を視聴するために必要な設定画面を表示します。

- 引っ越しなどで設定をやり直すときは、かんたん設置設定を行ってください。
- 事前にアンテナ線の接続を確認し、以下の手順で「かんたん設置設定」にした後、画面の表示内容に従って設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「かんたん設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 画面の表示内容に従って設定する

いろいろな機能を設定する
地域やチャンネルなど設置に関する設定をする
受信対象の放送を設定する

視聴する放送の種類（ＢＳ、ＣＳ）を設定する

視聴しない放送をリモコンの放送切換ボタンで、操作できないように設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「受信対象設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 操作しない放送（ＢＳまたはＣＳ）を選び、「使わない」を設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
● 「受信対象設定」の設定に関係なく、本体の［入力切換／決定／メニュー長押し］ボタンではＢＳとＣＳの操作ができます。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する（初期スキャン）

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「チャンネル設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「地上デジタル」を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 「初期スキャン」を選び、［決定］ボタンを押す
⑦ 「地域選択」を選び、［決定］ボタンを押す
⑧ お住まいの地域を選び、［決定］ボタンを押す
- 地上デジタル放送のチャンネル設定を行うために、お住まいの地域を設定する必要があります。

⑨ 「次へ」を選び、［決定］ボタンを押す
⑩ 「ＵＨＦ」または「全帯域」を選び、［決定］ボタンを押す
- 通常は「ＵＨＦ」を選んでください。
- 「全帯域」を選ぶと、ＶＨＦ、ＵＨＦ、Ｃ１３～Ｃ６３の帯域をスキャンします。
- 今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
- スキャンには１０分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。
- 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「アッテネーター」を「オン」に設定し、もう一度操作してください。

⑪ 内容を確認する
- 修正するときは「地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）」をご覧ください。

⑫ ［戻る］ボタンを押して終了する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

地上デジタル放送のチャンネルを設定する（再スキャン）

受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「チャンネル設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「地上デジタル」を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 「再スキャン」を選び、［決定］ボタンを押す
- 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
- スキャンには１０分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。

⑦ 内容を確認する
- 修正するときは「地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）」をご覧ください。

⑧ ［戻る］ボタンを押して終了する

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）

リモコンの数字ボタンへの割り当てを、お好みで変えたいときに行います。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「チャンネル設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「地上デジタル」を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 「マニュアル」を選び、［決定］ボタンを押す
⑦ 修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、［決定］ボタンを押す
⑧ 「ＣＨ」のチャンネル番号を変える
⑨ ［戻る］ボタンを押して終了する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

行を入れ換えたいときは

① 手順⑥の操作後、［緑］ボタンを押す
② ［▲、▼］ボタンで入れ換えたい行を選び、［決定］ボタンを押す
③ ［▲、▼］ボタンで入れ換え先の行を選び、［決定］ボタンを押す
④ ［戻る］ボタンを押す

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
● 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。（2014年３月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html　を開く。
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→ 品番選択の「ＴＨ－〇〇〇〇」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

衛星デジタル放送のチャンネルを設定する

衛星デジタル放送（ＢＳデジタル／１１０度ＣＳデジタル）のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、リモコンの数字ボタンへの割り当てをお好みで変えたいときに行います。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「チャンネル設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「ＢＳ」「ＣＳ１」「ＣＳ２」のいずれかを選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、［決定］ボタンを押す
⑦ 「ＣＨ」のチャンネル番号を変える
⑧ ［戻る］ボタンを押して終了する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

行を入れ換えたいときは

① 手順⑤の操作後、［緑］ボタンを押す
② ［▲、▼］ボタンで入れ換えたい行を選び、［決定］ボタンを押す
③ ［▲、▼］ボタンで入れ換え先の行を選び、［決定］ボタンを押す
④ ［戻る］ボタンを押す

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

Gガイド（電子番組表）の地域設定をする

お住まいの地域に合った番組表を表示させる設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「番組表設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「Gガイド地域設定」を選び、お住まいの地域を設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- Gガイド地域設定は「かんたん設置設定」を実行すると、自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。
- 「Gガイド地域設定」を変更すると、番組情報を表示しなくなることがあります。表示されなくなった場合は、かんたん設置設定を最初からやり直してください。

Gガイド（電子番組表）の受信を確認する

番組表データの受信スケジュールを確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「番組表設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「Gガイド受信確認」を選び、［決定］ボタンを押す
- Gガイド受信スケジュールを表示します。

⑥ ［戻る］ボタンを押す

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- Gガイド受信スケジュールの表示に最大６分かかります。
- 「番組データの受信ができません」が表示されたときは、アンテナの接続およびGガイド地域設定をご確認ください。

通信によるGガイド受信の設定をする

本機の電源を「入」にしたとき、インターネットを利用して最新の番組データを取得するための設定をします。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「番組表設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「通信によるGガイド受信」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オン」に設定すると、インターネットを利用して自動的に番組データを取得します。
- ● インターネット「アクトビラ」の画面に切り換える必要はありません。

いろいろな機能を設定する
地域やチャンネルなど設置に関する設定をする
地域情報を受信するための設定をする

お住まいの地域や郵便番号を設定する

データ放送で地域の情報を受信するための設定をします。お住まいが変わったときなどに必要です。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「地域設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「県域設定」を選び、お住まいの地域を設定する
⑥ 「郵便番号」を選び、郵便番号を入力する
⑦ ［戻る］ボタンを押す

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 郵便番号の入力について
「［１～１０］ボタン」：
　１～９、０の番号を入力します。
「［黄］ボタン」：
　１文字ずつ番号を消去します。

お知らせ
● 地域設定は「かんたん設置設定」を実行すると自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。
● 伊豆、小笠原諸島地域は「東京都島部」を選びます。
南西諸島鹿児島県地域は「鹿児島県島部」を選びます。

いろいろな機能を設定する
地域やチャンネルなど設置に関する設定をする
地上デジタル放送のアンテナを調整する

アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「受信設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「地上」を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 必要であれば「アッテネーター」を設定する
- 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。

⑦ アンテナ（受信）レベルを確認する（受信の目安は４４以上）
⑧ 「物理チャンネル選択」を選び、［決定］ボタンを押す
⑨ 物理チャンネルを選び、［決定］ボタンを押す
⑩ アンテナの向きを調整し、アンテナ（受信）レベルを最大値にする
- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

- 設定したら［元の画面］ボタンを押す

いろいろな機能を設定する
地域やチャンネルなど設置に関する設定をする
衛星デジタル放送のアンテナを調整する

アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整する

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「受信設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「衛星」を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 「アンテナ電源」を選び、設定する
- 「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。（ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください）
- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変えると視聴できなくなりことがあります。放送局などから案内がない限り、変えないでください。

⑦ アンテナ（受信）レベルを確認後、アンテナの向きを調整し、アンテナ（受信）レベルを最大値にする
- アンテナの向きの調整はアンテナの取扱説明書をご覧ください。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

リモコンモードを変更する

テレビ本体側の受信リモコンモードを設定する

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぎたいときに設定します。
（モード１とモード２があり、リモコン側と設定を同じにする必要があります）

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「リモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「受信リモコンモード設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑥ 画面の表示内容に従って設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- 音声タッチパッドリモコンでは設定できません。
- リモコンモード２に設定されたリモコンを紛失した場合
  - リモコンモード１に設定された別のパナソニック製テレビのリモコンがあれば、本体側のリモコンモードを強制リセットしてリモコンモード１に変更できます。
    リモコンモードの設定については、➡ 取扱説明書をご覧ください。
  - 強制リセットでは、リモコンモード１からリモコンモード２に変更できません。

リモコンモードエラー表示を設定する

テレビ本体側の設定と異なるリモコンモードを連続して受信したときに、エラー画面を表示するか設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「リモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
⑤ 「リモコンモードエラー表示」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「オン」に設定すると、エラー画面を表示します。

クイックスタートを設定する

リモコンで電源「切」の状態から「入」にして映像が表示されるまでの時間を短縮する設定ができます。（工場出荷時は「切」に設定）

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「クイックスタート」を選び、「入」に設定する
- １日以上本機を使用しないときは、通常の表示時間となります。

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

いろいろな機能を設定する
地域やチャンネルなど設置に関する設定をする
Ｂ－ＣＡＳカードテストをする

Ｂ－ＣＡＳカードの動作を確認する

お知らせ
- Ｂ－ＣＡＳカード挿入後、３秒以上たってから行ってください。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 「Ｂ－ＣＡＳカードテスト」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「ＮＧ」が表示されたらＢ－ＣＡＳカードの挿入を確認してください。

- 確認したら［元の画面］ボタンを押す

映像音声テストをする

映像や音声に問題がある場合に、本機に問題があるかを診断します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ヘルプ」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「映像音声テスト」を選び、［決定］ボタンを押す
- テスト映像を表示し、テスト音声を本機のスピーカーから出力します。

④ テスト映像と音声が正常な場合は「はい」を選び、異常がある場合は「いいえ」を選び、［決定］ボタンを押す
- 画面に表示される指示に従ってください。
問題が解決されない場合は「ビエラ操作ガイド」の「困ったときは／用語集」をご覧ください。

⑤ 「終了する」を選び、［決定］ボタンを押してテストを終了する

- テレビ画面に戻るには［元の画面］ボタンを押す

放送ダウンロード予約を設定する

デジタル放送で送られてくる新しい情報のダウンロード予約の方法を選びます。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「放送ダウンロード予約 」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について
「自動」：
情報が届いた場合は、リモコンで電源「切」時に自動的にダウンロードを実行します。
通常は「自動」をおすすめします。
「手動」：
情報が届いた場合、放送メールでお知らせします。

■ 放送ダウンロードについて
デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

お知らせ
● ソフトウェアの更新中は、見るだけ予約は、開始時刻になっても実行されません。

ソフトウェアの更新を通知する

ソフトウェアの更新を通知する設定をする

最新のソフトウェアがある場合、本機に自動的に通知するか設定します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ソフトウェアの更新通知 」を選び、設定する

● 設定したら［元の画面］ボタンを押す

■ 設定項目について

「オン」：
最新のソフトウェアがあるとき、本機の電源を「切」「入」するとソフトウェアの更新についてのメッセージを表示します。［決定］ボタンを押すと、ソフトウェアの更新を開始します。

「オフ」：
「ソフトウェアの更新確認」でソフトウェアの更新を確認します。

ソフトウェアの更新を確認する

最新のソフトウェアをインターネット経由で確認します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「ソフトウェアの更新確認」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す
- ソフトウェアが最新でなければ、ソフトウェアを更新します。

● 確認したら［元の画面］ボタンを押す

お知らせ
- ソフトウェアの更新中は、見るだけ予約は、開始時刻になっても実行されません。
- ソフトウェアの更新を通知または確認するためには、本機をインターネットに接続する必要があります。

個人情報をリセットする

本機を廃棄されるときなどに記録されている情報をすべて消去します。

① ［メニュー］ボタンを押す
② 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
③ 「個人情報リセット」を選び、［決定］ボタンを押す
④ 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す
- 画面に表示される内容に従って操作してください。
- いったん画面が暗くなり、お買い上げ設定画面が表示されるまで本体の電源を「切」にしないでください。

- お買い上げ設定画面が表示されたら本体の電源を「切」にする

お知らせ
- 廃棄などで本機を手放される以外には、実行しないでください。
- お買い上げ設定画面が表示されるまで、本体の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報（アクトビラ有料情報サービスの購入情報やメール、データ放送のポイントなど）は、すべて消去されます。
- 本機で録画・再生に使用したＵＳＢハードディスクの登録情報も削除されるため、ＵＳＢハードディスクの録画番組は再生できなくなります。
- テレビ本体側をリモコンモード２に設定していた場合は、リモコンモード１に戻ります。
- 「制限項目設定」で設定した暗証番号は消去されません。「制限項目設定」の「暗証番号削除」で消去してください。
- 双方向データ放送やアクトビラやフィルタリングサービスをご利用の場合、本機からの操作により、放送局やインターネットのホームページに登録された情報は、この操作では消去されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の消去操作（退会手続きなど）を行ってください。

画質がおかしい

画面に光らない点がある

- ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に光らない点や常時点灯する点が存在する場合があります。これは故障ではありません。

一瞬画面が暗くなる

- 画面が切り換わる際に発生するノイズを抑えるために、一瞬画面を暗くしています。

画質がおかしい

映像が明るすぎたり、暗すぎたりする

● 映像の明るさや、色あいはメニューの「映像調整」から変更することができます。
また、変更した設定は「標準に戻す」で出荷設定に戻すこともできます。
設定を標準に戻すには
1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 「映像調整」を選び、［決定］ボタンを押す
3. 「標準に戻す」を選び、［決定］ボタンを押す
4. 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

画質がおかしい

ブロックノイズが発生する

- アンテナレベルを確認してください。
  アンテナレベルを確認するには
  1. テレビ放送視聴中に［サブメニュー］ボタンを押す
  2. 「アンテナレベル」を選び、［決定］ボタンを押した後、アンテナレベルを確認する
- アンテナレベルが低く他機器からアンテナ線を接続している場合は、アンテナ線を本機と直接接続することで改善することがあります。
  地上デジタル放送におけるアンテナレベルの受信の目安は「４４以上」、ＢＳ・ＣＳデジタル放送におけるアンテナレベルの受信の目安は「５０以上」です。

故障かな！？の前にご確認ください

テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい

映像が揺れる・映像が不鮮明・色模様が出る・色が消える

- アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？
- アンテナ線は正しく接続されていますか？
  - 接続については、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい

ＤＶＤレコーダーなどの録画機器で選局すると、一瞬黒い帯が出る

- チャンネルを切り換えたときに発生するノイズによるものです。

テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい

画面の上下に映像のない部分ができる

- １６：９より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。

テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい

ズームやジャストにすると画面の上下が欠ける

- 画面の位置調整がずれていませんか？
  - 画面の位置を調整してください。
    垂直の位置やサイズの微調整をするには
    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 「映像調整」 → 「画面の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 「垂直位置／サイズ」を選び、［決定］ボタンを押した後、 垂直の位置やサイズを微調整する

ダウンロードを行ったら、受信できなくなった

- ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設置設定を行ってください。

チャンネル番号が画面から消えない

- ［画面表示］ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？
  - 再度、［画面表示］ボタンを押してください。
    外部入力を選んでいるときは、外部機器からの映像が入力されないと消えません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
地上デジタル放送が映らない、映像が乱れる

地上デジタル放送が受信できない

- ＵＨＦアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか？
  - 従来の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。
- 地上デジタル放送が受信できるＵＨＦアンテナをご使用ですか？
  - 従来のアナログ放送用のＵＨＦアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のＵＨＦアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。
  - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
地上デジタル放送が映らない、映像が乱れる

映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）
映像が静止する（または、ときどき静止する）

● ＵＨＦアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？
またはアンテナ線の劣化などはありませんか？

- 「受信設定」の「地上」で、アンテナレベルが受信可能レベル（４４以上が目安）に達しているかご確認ください。
  アンテナレベルの確認は、［サブメニュー］ボタンからでも可能です。
  （アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、アンテナレベルが目安の数値以上に余裕を取ることをおすすめします）
  アンテナレベルを確認するには
  1. テレビ放送視聴中に［サブメニュー］ボタンを押す
  2. 「アンテナレベル」を選び、［決定］ボタンを押した後、アンテナレベルを確認する
- アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる

映像が出ない

- アンテナ線は正しく接続されていますか？
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
- 「受信設定」は、正しく設定されていますか？
  - アンテナの設置など受信環境が変わったときに設定します。
    設定を確認するには
    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 「機器設定」 → 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 「受信設定」を選び、［決定］ボタンを押した後、設定内容を確認する

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる

画質や音質が少し悪くなった

- 降雨対応放送になっていませんか？
  - 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。
    降雨対応放送は、画質・音質が少し悪くなります。
    天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる

１１０度ＣＳデジタル放送が受信できない

- 本機と衛星アンテナをビデオデッキなどを通して接続していませんか？
  - 直接接続するか、１１０度ＣＳ対応の分配器（別売品）などをご使用ください。
- ＢＳデジタル放送より高性能の、１１０度ＣＳ対応のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる

映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）
映像が静止する（または、ときどき静止する）

- アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？
またはアンテナ線の劣化などはありませんか？
  - 「受信設定」の「衛星」でアンテナレベルが受信可能レベル（５０以上が目安）に達しているかご確認ください。また「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。
アンテナレベルの確認は、［サブメニュー］ボタンからでも可能です。
アンテナレベルを確認するには
    1. テレビ放送視聴中に［サブメニュー］ボタンを押す
    2. 「アンテナレベル」を選び、［決定］ボタンを押した後、アンテナレベルを確認する
  - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。
  - 衛星デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる

特定のチャンネルの映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）

- 衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか？
- ＰＨＳデジタルコードレス電話機や携帯電話機などの影響を受け、映像や音声が出なくなることがあります。
    - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる

有料放送の視聴ができない

- 有料放送を視聴するための手続きはされていますか？
    - 視聴契約手続きをしてください。

デジタル放送（共通）が映らない、字幕が出ない

デジタル放送が映らない

- デジタル放送を視聴するためにはＢ－ＣＡＳカードが必要です。
  テレビ本体にＢ－ＣＡＳカードが挿入されていることをご確認ください。
  - Ｂ－ＣＡＳカードについては、取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
デジタル放送（共通）が映らない、字幕が出ない

字幕や文字スーパーが出ない

- 「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？
  - 「オン」にしてください。
    設定を確認するには
    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 「機器設定」 → 「表示の設定」 → 「字幕の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 「字幕」または「文字スーパー」を選び、［決定］ボタンを押す
- 「字幕言語」または「文字スーパー言語」を選び、［決定］ボタンを押すと、設定内容が確認できます
- 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？
  - 字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。
- 字幕の言語の設定は正しいですか？
  - 設定した言語のみ表示されます。

音声がおかしい

音質が悪い・大音量のとき、音声がひずむ

- 音声の設定はメニューの「音声調整」から変更することができます。
  また、変更した設定は「標準に戻す」で出荷設定に戻すこともできます。
  設定を標準に戻すには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「音声調整」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「標準に戻す」を選び、［決定］ボタンを押す
  4. 確認画面で「はい」を選び、［決定］ボタンを押す

- 音声がひずむ場合は、「サラウンド」の設定を「オフ」にしてください。
- 「音声調整」メニューの「バス」、「トレブル」なども調整してください。

音声ガイドが実際と異なる読み上げを行う

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
テレビ本体から異音がする、テレビ本体が熱くなる

テレビからときどき、「ピシッ」と音がする

- 画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
テレビ本体から異音がする、テレビ本体が熱くなる

テレビ内部から「カチッ」と音がする

- 番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
- デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。性能その他に影響ありません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
テレビ本体から異音がする、テレビ本体が熱くなる

テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い

- 本体天面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
（本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください）

テレビ本体から異音がする、テレビ本体が熱くなる

液晶パネルが動く・カタカタ音がする

- 液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

故障かな！？の前にご確認ください

リモコンが反応しない、リモコンで操作できない

リモコンが反応せず、操作できない

- 異なるテレビのリモコンをお使いではありませんか？
- 本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっていませんか？
  - リモコンの電池のふたを外すと、リモコン側のリモコンモードを設定するスイッチがあります。
- 障害物はありませんか？
  - リモコンとテレビの間に障害物があると、リモコン操作に反応しないことがあります。
- テレビに強い光が当たっていませんか？
  - テレビのリモコン受信部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコン操作に反応しないことがあります。
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
  - 古い電池をお使いのときは、新しい電池に交換して、リモコン操作できることをご確認ください。
  - リモコンの電池については、取扱説明書をご覧ください。
- 上記の内容が当てはまらない場合は、テレビ本体にある電源ボタンで電源を切り、５秒以上たってから、再度電源を入れて、動作をご確認ください。
  改善できない場合は、商品の点検をさせていただく必要があります。
  商品の点検については、修理相談窓口にお問い合わせください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
リモコンが反応しない、リモコンで操作できない

音声タッチパッドリモコンが反応せず、操作できない

- 音声タッチパッドリモコンの電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
  - 操作しないときにタッチパッドに触れても電池を消耗します。操作しないときはタッチパッドに触れたり、ボタンを押さないでください。
- 音声タッチパッドリモコンを本機にペアリング（登録）していますか？
  ペアリング（登録）するには（５０ cm以内の距離でペアリングしてください。）
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「タッチパッドリモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「登録」を選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従ってペアリング（登録）する
- 本体側と音声タッチパッドリモコン側のリモコンモードが異なっている場合があります。以下の手順で「受信リモコンモード設定」をやり直してください。
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「リモコン設定」 → 「受信リモコンモード設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  4. 画面の表示内容に従って設定する
- 音声タッチパッドリモコンのタップ機能を「オフ」（無効）に設定していませんか？
  タップ機能を「オン」（有効）に設定するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」→「タッチパッドリモコン設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「タッチパッド設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  4. 「タップ機能」で「オン」を選び、設定する
- 音声タッチパッドリモコンの電池を抜いてから入れ直してみてください。
- 手袋をはめて操作していませんか？
  - タッチパッド部分は素手で操作してください。

リモコンの放送切換ボタンを押しても、放送が切り換わらない

- テレビ本体のメニュー設定で、放送切換をできないようにしていませんか？
  設定を確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「受信対象設定」を選び、［決定］ボタンを押した後、 設定内容を確認する
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
  - リモコンの電池については、取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
リモコンが反応しない、リモコンで操作できない

音声タッチパッドリモコンで音声が正しく認識されない

- マイクに向かって発話していますか？
  - マイクから約１５ ㎝以上離れていると認識されない場合があります。
- 音声コマンドにない言葉を発話していませんか？
  - マイクアイコン表示中に、［ （サブメニュー）］ボタンを押すと、音声による検索や操作をするための音声コマンドが表示されます。
  - マイクアイコンをもう一度表示したい場合は、［ （音声操作）］ボタンを押してください。
- 音声による検索などを行う場合は、本機をインターネットへ接続し、ネットワークの設定をしてください。
- 「発話検出レベル」の設定を切り換えると改善される場合があります。

  設定を切り換えるには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」→「音声操作の設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「発話検出レベル」を選び、［決定］ボタンを押した後、設定する

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

ＳＤメモリーカードが再生できない

写真が再生できない

- パソコンなどで写真データを編集していませんか？
  - ご使用の編集ソフトによっては、正しく再生できない場合があります。
- 写真データの画素数は最小8×8画素～最大30719×17279画素の範囲ですか？
- 動作確認済みのＳＤメモリーカードをお使いですか？
  - 動作確認情報は、http://panasonic.jp/support/tv/　内の「品番別サポート情報」→品番選択の「ＴＨ-〇〇〇」→動作確認情報の「ＳＤカード接続検証（ＳＤスロット）データ 」でご確認ください。（2014年３月現在）
- ＪＰＥＧ以外の写真（ＴＩＦＦ形式など）、プログレッシブＪＰＥＧ形式、ＪＰＥＧ２０００形式には対応しておりません。

パソコンで編集した画像が再生できない

- パソコンで画像を編集した場合、ご使用の編集ソフトによっては、正しく再生できない場合があります。

ＳＤメモリーカードが再生できない

ＳＤビデオ再生で音声が出ない

- 対応していない音声形式の可能性があります。対応していない音声形式のときは、ビデオ再生画面の中央上部に下記のようなアイコンが表示されます。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ＳＤメモリーカードが再生できない

音楽が再生できない

- 対応していない音楽ファイル形式の可能性があります。
  ＭＰ３形式、Ｍ４Ａ形式（ＡＡＣ、Ａｐｐｌｅ　Ｌｏｓｓｌｅｓｓ）、ＦＬＡＣ形式、ＷＡＶ形式（ＬＰＣＭ）以外の音楽には対応しておりません。

ＳＤメモリーカードが再生できない

携帯電話でＳＤメモリーカードに録画したワンセグ放送の番組を、テレビで再生できない

- ＳＤメモリーカードに録画されたワンセグ放送の番組は、本機で再生できません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
アクトビラが動かない、つながらない

アクトビラが動かない、つながらない

- アクトビラをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。
  また、アクトビラの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（ＦＴＴＨ）などの高速回線との接続をおすすめします。
  - ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らないなどの場合があります。
  - アクトビラの最新情報は、当社ホームページでもご紹介しております。
    （2014年３月現在）
    http://panasonic.jp/support/actvila/
  - インターネットへの接続については、取扱説明書をご覧ください。
- 無線ＬＡＮ使用時はアクセスポイントの電源が入っているかご確認ください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
録画ができない、予約が実行されない

予約が実行されない

- 見るだけ予約をして、電源が「切」になっていませんか？
  - 見るだけ予約をした場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。
- 録画予約をして、本体の電源が「切」になっていませんか？
  - ＵＳＢハードディスクに録画予約をした場合、本体の電源を「切」にしていると予約が実行されません。
    リモコンで電源を「切」にしてください。
- 録画予約した後、ＵＳＢハードディスクを取り外したりしていませんか？
  - ＵＳＢハードディスクに録画予約した後、本機からＵＳＢハードディスクを取り外すと録画予約が実行されません。（別のＵＳＢハードディスクを接続し、録画用に設定した場合は録画予約が実行されます）

録画ができない、予約が実行されない

有料放送を録画できない

- 有料放送が録画できない場合、該当の有料放送と契約しているＢ－ＣＡＳカードが本機に挿入されていない可能性があります。契約しているＢ－ＣＡＳカードを本機に挿入してください。
  - Ｂ－ＣＡＳカードについては、取扱説明書をご覧ください。
- 番組によっては録画不可の番組もあります。
  - 詳しくは、契約している放送局（会社）へお問い合わせください。

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

再生ができない、録画した番組が消える

番組の先頭から再生が始まらない

- ＵＳＢハードディスクの録画番組を再生して途中で停止した場合、次回は停止した場面から再生するか、先頭から再生するか確認する画面を表示します。番組の先頭から見たい場合は、「最初から再生」を選んで決定してください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
再生ができない、録画した番組が消える

ダビング後に番組がＵＳＢハードディスクから消えてしまう

- ダビング後に番組がＵＳＢハードディスクから消えてしまうのは、デジタル放送のほとんどの番組に、不正なダビングを防止し著作権を保護するためのコピー制限があるためです。
  - 「録画一覧」画面で［データ］ボタンを押すと、ダビング可能回数を確認できます。
- コピー制限について
  本機は2008年７月より運用が開始されたダビング１０に対応しています。

本機で録画したデジタル放送をディーガのハードディスクへダビングする場合、各番組に加えられたコピー制御信号（個数制限コピー可能・１回だけ録画可能・コピー可能・コピー不可）によって、次のように動作します。

- 個数制限コピー可能（例：ダビング１０）

USBハードディスク
コピー(複製) 9回
＋
ムーブ(移動) 1回
レコーダー(ディーガ)のハードディスク
ムーブ(移動) ○
コピー禁止 ×
9回までコピー(複製)ができ、
１０回目はムーブ(移動)となり、
ＵＳＢハードディスクにある番組は消えます。

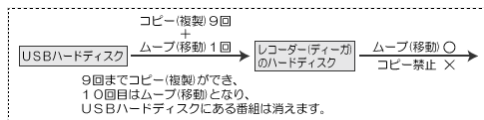
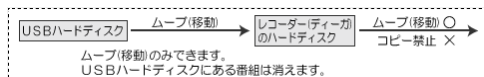
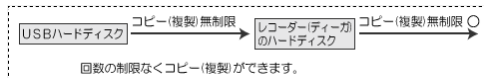
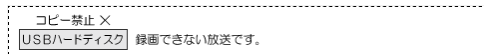
- １回だけ録画可能

USBハードディスク
ムーブ(移動)
レコーダー(ディーガ)のハードディスク
ムーブ(移動) ○
コピー禁止 ×
ムーブ(移動)のみできます。
ＵＳＢハードディスクにある番組は消えます。

- コピー可能

USBハードディスク
コピー(複製) 無制限
レコーダー(ディーガ)のハードディスク
コピー(複製) 無制限 ○
回数の制限なくコピー(複製)ができます。

- コピー不可

コピー禁止 ×
USBハードディスク
録画できない放送です。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
再生ができない、録画した番組が消える

スローで再生できない／１．３倍速で再生できない

- スロー再生は、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続しているディーガを操作しているときのみ、働きます。
- ＵＳＢハードディスクで録画中は１．３倍速で再生できません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
番組表が出ない、表示がおかしい

番組表が出ない、または 8 日分表示されない

- お買い上げ直後や本体の電源を切って 1 週間以上経過した場合は、番組データがありません。
  - 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。最大約 4 時間かかります。（2014年 3 月現在）
- 最新の番組データをインターネットから、より確実に取得する設定ができます。
  設定については「テレビを見る」→「番組表の使いかた」の「通信によるGガイド受信の設定をする」をご覧ください。
- 次の場合、番組データを受信できませんので、ご注意ください。
  （本体の電源を切っているとき／デジタル放送の電波状態がよくないとき）
- 録画実行中や 2 画面の場合は番組データを受信できないことがあります。

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

番組表が出ない、表示がおかしい

何列かにわたって同じ放送局が表示される

- 番組表を表示しているときに［サブメニュー］ボタンを押して「表示内容」を「設定チャンネル」に設定すると、チャンネル設定で設定したチャンネルだけを表示できます。

- 番組表を閉じた後、再度番組表を開くと放送局の表示は元に戻ります。チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示したいときは、「選局対象」に「設定チャンネル」を設定してください。

  チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「その他の設定」を選び、 ［決定］ボタンを押す
  3. 「選局対象」を選び、 ［決定］ボタンを押した後、「設定チャンネル」に設定する

接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない

接続したＨＤＭＩ対応機器の映像が出ない、乱れる

- ＨＤＭＩケーブルを確実に接続してください。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本体の電源を「切」して電源ランプが消えたことを確認してから、再度電源を入れてください。
  接続機器の電源を「切」「入」してください。
- 接続機器の出力信号を以下に変更してください。
  480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）、
  2160p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）※
  ※ ＨＤＭＩ４端子のみ対応しています。
- ４Ｋ出力に対応した機器を接続して４Ｋ映像をご覧になる場合は、ＨＤＭＩ４端子に接続してください。

接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない

接続したＨＤＭＩ対応機器の音声が出ない

- 接続機器の音声出力をリニアＰＣＭに設定してください。
- 「ＨＤＭＩ音声入力設定」を確認してください。
  「ＨＤＭＩ音声入力設定」の設定を確認するには
  1. ＨＤＭＩ入力に切り換えた後、［メニュー］ボタンを押す
  2. 「音声調整」 → 「ＨＤＭＩ音声入力設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 設定内容を確認する
- ＨＤＭＩ入力時のＤＶＤオーディオで暗号化されている場合は光デジタル音声出力されません。

接続したDisplayPort対応機器の映像が出ない、乱れる

- DisplayPortケーブルを確実に接続してください。
  - 接続については、 取扱説明書をご覧ください。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本体の電源を「切」して電源ランプが消えたことを確認してから、再度電源を入れてください。
  接続機器の電源を「切」「入」してください。
- 接続機器の出力信号を以下に変更してください。
  720p、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）、
  2160p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）

接続したDisplayPort対応機器の音声が出ない

- 接続機器の音声出力と「DisplayPort音声入力設定」を確認してください。
  「DisplayPort音声入力設定」の設定を確認するには
  1. DisplayPort入力に切り換えた後、 ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「音声調整」 → 「DisplayPort音声入力設定」を選び、 ［決定］ボタンを押す
  3. 設定内容を確認する

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない

接続した外部機器の映像が出ない、入力切換のとき入力が選べない

- 各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？
  端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」で入力端子を「使用しない（スキップ）」に設定していませんか？
  「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」の設定を確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「表示の設定」 → 「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 設定内容を確認する

接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない

接続した外部機器の音声が、ヘッドホン／イヤホンから聴こえない

- シアターに接続したディーガなどの機器の映像を視聴時、音声をシアターから出している場合は、本機のヘッドホン／イヤホン接続端子から音声を出力しません。接続しているシアターのヘッドホン／イヤホン接続端子に接続してお聴きください。
- 本機に接続したヘッドホン／イヤホンで音声を聴く場合は、シアターに音声を出力している機器を直接、本機にＨＤＭＩケーブルで接続してください。

接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない

画面右上で「ＨＤＭＩ１」などの入力の表示を消すことができない

- ［画面表示］ボタンを数回押すと、消すことができます。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない

デジタルビデオカメラの電源を入れても、自動で再生画面にならない

- ＨＤＭＩ２、３、または４端子に接続し直してください。
- ＨＤＭＩ１端子に接続したときは、［入力切換］ボタンで、ＨＤＭＩ１入力に切り換えてください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない

デジタルビデオカメラの再生画面は表示されるが、 本機のリモコンで操作できない

- デジタルビデオカメラの電源を「切」／「入」してみてください。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない

本機のリモコン操作でディーガに録画できない

- ディーガのチャンネル設定が合っているか確認してください。
  設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

故障かな！？の前にご確認ください

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）が正しく動作しない

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、ＨＤＭＩケーブルが正しく接続されていることを確認の上、下記の操作をしてください。
  1. すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の［電源］ボタンを入れ直す。
  2. ［入力切換］ボタンを押して入力を切り換え、接続・設定を変更したＨＤＭＩ入力ごとに映像を確認する。
  3. 接続した機器が操作できることを確認する。

故障かな！？の前にご確認ください

ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

録画できない

- ＵＳＢハードディスクをＵＳＢ３（録画用）端子に接続していますか？
- 接続したＵＳＢハードディスクを登録し、録画用に設定していますか？
  「ＵＳＢ機器一覧」でＵＳＢハードディスクを録画用に設定する必要があります。
  ＵＳＢ機器一覧を確認・録画用に設定するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「ＵＳＢ機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 未登録のＵＳＢハードディスクを選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従って設定する
- 録画禁止の番組ではありませんか？
  - 番組内容でご確認ください。
- ＵＳＢハードディスクの残量が少なくありませんか？
  - 不要になった番組を消去してください。
- ラジオ放送は録画できません。
  - 番組内容でご確認ください。

録画予約が実行されない

- 録画予約した後、録画用に設定したＵＳＢハードディスクを外していませんか？
- 本体の電源を「切」にしていると録画予約が実行されません。
  本機をご使用にならないときは、リモコンで電源を「切」にしてください。

録画番組を消去できない

- プロテクト設定した番組ではありませんか？
  - プロテクト設定を変更してください。
    プロテクト設定を変更するには
    1. ［録画一覧］ボタンを押す
    2. 設定を変更したい録画番組を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
    3. 「プロテクト設定変更」を選び、［決定］ボタンを押す

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

録画番組の一部または、すべてが消えた

- 録画や再生中に停電になったり、電源プラグが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ＵＳＢハードディスクが使えなくなる場合があります。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

データ放送の録画ができない

- 本機では録画できません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

再生していると途中で映像が乱れたり、ノイズが出たりする

- 天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生した場合に発生することがあります。
- アスペクト比（映像の横縦比）や解像度の異なる場面のつなぎ目では、一瞬画像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。
- 番組と番組のつなぎ目部分など、正しい画面が出るまで静止画になったりモザイク状のノイズが出る場合があります。
- シーンの切り換わりで、映像や音声が切れたりする場合があります。

１台のハードディスクを、複数のビエラやディーガで共用できるか知りたい

- 共用できません。
  機器の手順に従い登録した機器でのみ使用できます。
  登録した機器でお使いいただくＵＳＢハードディスクは登録した機器専用として使用してください。登録した機器専用で使用中のＵＳＢハードディスクをほかの機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

ＵＳＢハブを使用して２台以上のハードディスクを接続して、録画・再生ができるか知りたい

- ＵＳＢハブを使って複数のＵＳＢハードディスクを同時に接続することはできません。
（本機に登録できるＵＳＢハードディスクは８台ですが、一度に使用できる
ＵＳＢハードディスクは１台です）

困ったときは／用語集

故障かな！？の前にご確認ください

ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

ダビングできない

- 対応しているディーガはネットにつながっていますか？
- コピー禁止やコピー制限のかかっている番組、プロテクト設定された番組はダビングできません。
- ディーガの状態（録画や再生をしているときなど）によっては、ダビングできない場合があります。
- ダビング中にディーガ側で録画などの操作をすると、ダビングが失敗する場合があります。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

ダビングした番組が消えた

- コピー制限でダビング（複製）できない番組の場合、ムーブ（移動）となり、ＵＳＢハードディスクには番組が残りません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
３Ｄ映像にならない、３Ｄ映像の表示がおかしい

３Ｄ映像にならない

- ３Ｄ映像信号の中には、本機では自動的に３Ｄ映像と認識しないものがあります。３Ｄ映像の方式に合わせて「３Ｄ切換（マニュアル）」画面で以下のどれかを選んでください。
  - サイドバイサイド-３Ｄ
  - トップアンドボトム-３Ｄ
- ３Ｄグラスの電源を入れてもインジケータランプが点灯しない場合、３Ｄグラスの電池残量がありません。
  - 充電式の３Ｄグラスの場合は、充電してください。
  - 電池式の３Ｄグラスの場合は、電池を交換してください。
  - ３Ｄグラスについては、３Ｄグラスの取扱説明書をご覧ください。
- ４Ｋ映像は３Ｄで表示できません。また、４Ｋ映像は２Ｄから３Ｄに変換できません。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
３Ｄ映像にならない、３Ｄ映像の表示がおかしい

３Ｄは視聴者に制限があるか知りたい

● 以下の内容に注意してください。
- ３Ｄ映像の見え方には、個人差があります。
- 近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は視力矯正メガネの装着などにより、 視力を適切に矯正した上で３Ｄグラスをご使用ください。
- 光過敏の既往症のある方、心臓に疾患のある方、体調不良の方は３Ｄグラスを使用しないでください。
  病状悪化の原因になることがあります。
- ３Ｄグラスでの視聴年齢については、およそ５～６歳以上を目安にしてください。
- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。保護者の方が視聴環境の調整や目の疲れがないか、注意してあげてください。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
３Ｄ映像にならない、３Ｄ映像の表示がおかしい

３Ｄ映像の表示がおかしい

- ３Ｄ映像にちらつきが感じられる場合、「３Ｄ設定」の「３Ｄリフレッシュレート」を切り換えてください。
- ３Ｄ映像信号の状態によっては、３Ｄ映像を見ると違和感を感じることがあります。
  「３Ｄ設定」の「左右反転」や「斜め線フィルター」を切り換えてください。
- ３Ｄに変換した映像の見え方に違和感がある場合は「２Ｄ→３Ｄ変換効果」の設定を切り換えてください。

  ３Ｄ設定を切り換えるには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「映像調整」 → 「３Ｄ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 設定を切り換えたい項目を選び、［決定］ボタンを押した後、設定する

２Ｄ視聴時に勝手に映像が３Ｄに切り換わる

- 「３Ｄ設定」の「３Ｄ自動切換」を「アドバンスト」に設定していませんか？
  左右または上下に並んだ、よく似た映像を視聴するときに勝手に映像が切り換わる場合、３Ｄ自動切換が動作しています。切り換えずに視聴するには、「３Ｄ自動切換」を「オフ」または「オン」に設定してください。
  設定を確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「映像調整」 → 「３Ｄ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「３Ｄ自動切換」を選び、［決定］ボタンを押した後、設定内容を確認する

３Ｄ映像にならない、３Ｄ映像の表示がおかしい

３Ｄグラスの電源が勝手に切れる

- ３Ｄグラスは本機からの信号が途絶えると、自動的に電源が切れます。
- ３Ｄグラスの電源を入れてもインジケータランプが点灯しない場合、３Ｄグラスの電池残量がありません。
  - 充電式の３Ｄグラスの場合は、充電してください。
  - 電池式の３Ｄグラスの場合は、電池を交換してください。
  - ３Ｄグラスについては、３Ｄグラスの取扱説明書をご覧ください。

３Ｄ映像にならない、３Ｄ映像の表示がおかしい

３Ｄグラスの電源が入らない

- ３Ｄグラスの電源を入れてもインジケータランプが点灯しない場合、３Ｄグラスの電池残量がありません。
  - 充電式の３Ｄグラスの場合は、充電してください。
  - 電池式の３Ｄグラスの場合は、電池を交換してください。
  - ３Ｄグラスについては、３Ｄグラスの取扱説明書をご覧ください。

内蔵カメラが動作しない、収納しない

内蔵カメラが動作しない

- 内蔵カメラが立ち上がっているか、確認してください。
- 周囲が暗いなど、状況によって顔認識機能が正常に動作しないことがあります。

困ったときは／用語集
故障かな！？の前にご確認ください
内蔵カメラが動作しない、収納しない

電源を「切」にしても内蔵カメラが自動的に収納しない

- 「インフォメーションバー」を「オン」に設定していませんか？
  「インフォメーションバー」は内蔵カメラの機能を利用するため、電源を「切」にしても内蔵カメラが自動的に収納しない場合があります。
  内蔵カメラを収納したい場合は、「インフォメーションバー」を「オフ」に設定してください。
  - 設定については「いろいろな機能を設定する」→「インフォメーションバーを使う」の「インフォメーションバーについて」をご覧ください。

困ったときは／用語集
表示されたメッセージについて確認する
アンテナ接続やテレビ本体に関するメッセージが表示される

衛星アンテナとの接続に不具合があります。確認のためＢＳ放送に切り換えますか？
（Ｅ２０９）

- 衛星アンテナとの接続に不具合があります。
  メッセージに従い「はい」を選び決定してください。
  （本機からアンテナへの電源供給を停止します）
  衛星アンテナとの接続についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

アンテナ接続やテレビ本体に関するメッセージが表示される

現在、受信できません。

- アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線していませんか？
- アンテナ線は正しく接続されていますか？
  - 接続については、➡📖 取扱説明書をご覧ください。

再起動しました。

- 「リモコンが利かない」「表示が乱れる」などの異常状態から自動的に復旧した場合に表示されます。
  いったん本機の電源コードを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。（Ｅ２０２）

- アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。
- アンテナ線は正しく接続されていますか？
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
- 「受信設定」は、正しく設定されていますか？
  設定を確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「受信設定」を選び、［決定］ボタンを押した後、設定内容を確認する

アンテナ接続やテレビ本体に関するメッセージが表示される

Ｂ－ＣＡＳカードを正しく挿入してください。
挿入していても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて差し直してください。

- Ｂ－ＣＡＳカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。Ｂ－ＣＡＳカードを正しく挿入してください。
  - Ｂ－ＣＡＳカード裏側の端子部分（金色の部分）の指紋などの汚れを乾いた布などでやさしくふき取ってください。
  - Ｂ－ＣＡＳカード挿入口のほこりを掃除機などで取り除いてください。
  - 汚れなどをふき取ったＢ－ＣＡＳカードを挿入し直しても改善しない場合、カードの裏面を確認し、Ｂ－ＣＡＳカスタマーセンターへお問い合わせください。
  - Ｂ－ＣＡＳカードについては、取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
表示されたメッセージについて確認する
テレビ放送に関するメッセージが表示される

緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。

- 緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。

テレビ放送に関するメッセージが表示される

現在、このチャンネルは放送を休止しています。（Ｅ２０３）

- 放送局の都合などにより、放送を休止しているチャンネルを選んでいます。
  別のチャンネルを選んでください。

困ったときは／用語集
表示されたメッセージについて確認する
テレビ放送に関するメッセージが表示される

降雨対応放送に切り換わりました。（Ｅ２０１）

- 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。
  画質、音質が少し悪くなり、番組タイトルなどの番組情報が表示できない場合もあります。

テレビ放送に関するメッセージが表示される

選局できません。リモコンの地上ボタンを押し地上波放送に切り換えてください。

- 選局できない放送を選択しています。
  受信対象設定で、放送ごとの設定を確認してください。
  設定を確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「受信対象設定」を選び、［決定］ボタンを押した後、設定内容を確認する

困ったときは／用語集
表示されたメッセージについて確認する
テレビ放送に関するメッセージが表示される

３Ｄ映像を検出しました。３Ｄ映像をご覧になる場合は、３Ｄボタンを押してください。

- 本機が３Ｄ信号であると判断したときに表示します。検出メッセージを表示させない場合は「３Ｄ信号入力通知」を「オフ」に設定してください。
  ３Ｄ信号入力通知を設定するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「映像調整」 → 「３Ｄ設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「３Ｄ信号入力通知」を選び、［決定］ボタンを押した後、設定する

表示されたメッセージについて確認する

放送やソフトウェアなど、データ取得に関するメッセージが表示される

起動処理中です。このメッセージが消えるまで電源を切らずにお待ちください。（最大約 3 分）このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。

- 電源を「入」時に表示されます。
  本機のソフトウェアを更新していますので、そのまま最大約 3 分間お待ちください。自動的に視聴画面に戻ります。

困ったときは／用語集
表示されたメッセージについて確認する
放送やソフトウェアなど、データ取得に関するメッセージが表示される

時刻情報が取得できていないためこの操作はできません。

- 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。
（２画面の場合は番組データが取得できないことがあります）
- 最大約４時間かかります。（2014年３月現在）

表示されたメッセージについて確認する

放送やソフトウェアなど、データ取得に関するメッセージが表示される

ダウンロードが中断されました。このメッセージが消えるまで電源を切らずにお待ちください。（最大約 3 分）このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。

- 前回のダウンロード中に、受信異常や電源「切」などが発生し、ダウンロードが中断しました。再度、電源を「入」にすると表示されます。
  自動復旧しますので、そのまま最大約 3 分間お待ちください。

放送やソフトウェアなど、データ取得に関するメッセージが表示される

データを取得中です。

- データ放送の情報を取得中に表示します。
  そのままお待ちいただくか、別のチャンネルを選んでください。

困ったときは／用語集

表示されたメッセージについて確認する

放送やソフトウェアなど、データ取得に関するメッセージが表示される

番組データがありません。決定ボタンで取得します。

- 番組表で表示させたときに番組データが取得できなかった場合に表示されます。番組表で放送内容を知りたい放送局を選んで［決定］ボタンを押すと、そのチャンネルの番組情報を受信し、数分で表示します。
  - 番組情報が受信できない場合、放送内容が表示されないことがあります。

放送やソフトウェアなど、データ取得に関するメッセージが表示される

放送ダウンロードのお知らせがあります。決定ボタンを押してください。

- 放送ダウンロードの実施期間中に本機を視聴しているとき、一定時間だけ表示される場合があります。このような場合は、メッセージが表示されている間に［決定］ボタンを押して、放送ダウンロードのお知らせをご覧ください。
  （お知らせを見ずに表示を消す場合は［戻る］ボタンを押してください）

外部機器に関するメッセージが表示される

シアターと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

- 本機とシアター間で制御データを送受信中は操作できません。
  しばらくしてから再度操作してください。

外部機器に関するメッセージが表示される

シアターとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。

- 本機とシアター間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。
  シアターとの接続や設定を確認してください。
  - 接続方法については、取扱説明書をご覧ください。

  設定を確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 設定内容を確認する

外部機器に関するメッセージが表示される

ディーガと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

- 本機とディーガ間で制御データを送受信中に表示します。
  しばらくしてから再度操作してください。

外部機器に関するメッセージが表示される

ディーガとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。

- 本機とディーガ間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。
シアター、ディーガの接続や設定を確認してください。
  - 接続方法については、取扱説明書をご覧ください。

  設定を確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 設定内容を確認する

外部機器に関するメッセージが表示される

ＵＳＢ端子の電源容量を超えました。接続機器を外して、本体の電源をオフ、オンしてください。

- ＵＳＢ端子の電源容量を超えたため、ＵＳＢ端子に接続した機器に電源が供給されていません。接続した機器を外して、本体の［電源］ボタンで電源を切り、電源ランプが消えたことを確認してから再度電源を入れてください。

番組情報が取得できないため録画できませんでした。

- 「録画ボタン設定」を「番組終了」に設定している場合に、番組情報が取得できず番組の終了時刻が確認できないときに表示します。
  「録画ボタン設定」を「３時間録画」にするか、番組情報が取得できるまで待ってから操作してください。
  録画ボタン設定を設定するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「録画設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「録画ボタン設定」を選び、［決定］ボタンを押した後、設定する

困ったときは／用語集
表示されたメッセージについて確認する
録画や再生に関するメッセージが表示される

ＨＤＤがいっぱいのため、録画できません。

ＵＳＢハードディスクの容量が不足したときに、表示します。不要な番組を削除するか、新しいＵＳＢハードディスクをお使いください。

● 新しいＵＳＢハードディスクの場合、本機に登録し、録画用に設定してください。
ＵＳＢハードディスクを録画用に設定するには
1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 「機器設定」 → 「ＵＳＢ機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押す
3. 未登録のＵＳＢハードディスクを選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従って設定する

無効なＵＲＬが指定されました。（Ｂ０１５）

● アドレス（ＵＲＬ）に禁止された文字が使用されています。
正しいアドレス（ＵＲＬ）を入力してください。

サーバーが見つかりません。（Ｂ０１９）

- アドレス（ＵＲＬ）が間違って入力されている場合があります。正しいアドレスを入力してください。プロキシサーバー設定やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。本体および接続機器の電源を入れ直すことにより解決することがあります。

サーバーへの接続に失敗しました。（Ｂ０２０）

- サーバーが混みあっているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。
  しばらく待ってから再度実行してください。
  ホームページに接続できない場合は、プロキシサーバー設定やブロードバンドルーター、アクセスポイントなどの設定を確認してください。

サーバーとの通信に失敗しました。（Ｂ０２１）

- 通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中している可能性があります。しばらく待ってから再度実行してください。

ネットで使い方ガイドなどに関するメッセージが表示される

日付情報がありません。リモコンで今日の日付を設定してください。決定ボタンを押してください。（Ｂ０２２）

- 衛星アンテナを接続されていない場合などに、表示されることがあります。
  この場合は、メッセージに従って本日の日付を入力してください。

ネットで使い方ガイドなどに関するメッセージが表示される

認証に失敗しました。（Ｂ４０１）

- 回線業者やプロバイダーからのＩＤやパスワードを、ブロードバンドルーターやアクセスポイント、ケーブルモデム、ＡＤＳＬモデムの取扱説明書に従って、正しく設定してください。

ネットで使い方ガイドなどに関するメッセージが表示される

指定されたページが見つかりませんでした。（Ｂ４０４）

- 正しいアドレス（ＵＲＬ）を入力してください。また、プロキシサーバー設定やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
  本体および接続機器の電源を入れ直すことにより解決することがあります。

ネットで使い方ガイドなどに関するメッセージが表示される

接続先サイトの証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？サイト名：○○○○

- 接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。
  このまま接続することもできますが、接続しないことをおすすめします。
  しばらく待ってから再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。

くらし機器に関するメッセージが表示される

本機がネットワークに接続されていません。ネットワークの設定や接続をご確認ください。

- 本機がネットワークに接続されていないときに表示します。
  - ＬＡＮケーブルなどが正常に接続されているかご確認ください。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
  - ＤＨＣＰ機能付きのルーターを接続しているときは、ＩＰアドレスが設定されているかご確認ください。
  - 本機の電源を入れた直後は、ネットワークに正常に接続できないことがあります。約１分（ＤＨＣＰ機能付きのルーターやアクセスポイントを使用していないときは約３分）後に、再度操作を行ってください。

表示されたメッセージについて確認する

くらし機器に関するメッセージが表示される

使用できるくらし機器が見つかりませんでした。各くらし機器ごとの状態はくらし機器一覧で確認してください。

- 登録されているくらし機器が、ネットワーク上で見つからないときに表示します。
  - くらし機器が登録されているか、くらし機器一覧でご確認ください。
    くらし機器一覧を確認するには
    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 「ネットワーク設定」 → 「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 「くらし機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押した後、登録内容を確認する
  - 本機やくらし機器の接続をご確認ください。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
  - 本機が正常にネットワークに接続されていて、ネットアダプター（玄関番用）やライフィニティ システムを接続している場合は、パナソニックお客様ご相談センターまでご相談ください。
- パナソニックお客様ご相談センター
  ＴＥＬ　０１２０-８７８-３６５（フリーダイヤル）
  ※ 上記番号がご利用いただけない場合
  ＴＥＬ　０６-６９０７-１１８７（有料）

（2014年３月現在）

くらし機器に関するメッセージが表示される

機器名：○○○　型番：○○○
の登録に失敗しました。接続を確認し、再度登録操作を行ってください。

- くらし機器が本機に登録されていないため、使用できません。
  - くらし機器の登録を再度行ってください。

くらし機器に関するメッセージが表示される

機器名：○○○　型番：○○○
の登録に失敗しました。登録台数オーバーです。

- くらし機器に登録できる台数を超えているときに表示します。
  - 本機を登録する場合は、くらし機器に登録されている不要な機器を削除してください。くらし機器への登録可能台数や削除の方法については、くらし機器の取扱説明書をご確認ください。

くらし機器に関するメッセージが表示される

くらし機器が登録されていません。くらし機器一覧で新規登録を行ってください。

- 購入直後など、くらし機器が登録されていないときに表示します。

困ったときは／用語集
表示されたメッセージについて確認する
くらし機器に関するメッセージが表示される

登録できるくらし機器が見つかりませんでした。くらし機器の接続状態を確認する場合は決定を押してください。

- 登録できるくらし機器が、ネットワーク上で見つからないときに表示します。
  - ［決定］ボタンを押すと、ネットワークに接続されているくらし機器の状態を確認することができます。

くらし機器に関するメッセージが表示される

くらし機器が見つかりませんでした。ネットワークの接続、または、くらし機器をご確認ください。

- 登録できるくらし機器が、ネットワーク上で見つからないときに表示します。
  - 本機がネットワークに接続されているか、ご確認ください。
  - くらし機器が登録されているか、くらし機器一覧でご確認ください。
    くらし機器一覧を確認するには
    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 「ネットワーク設定」 → 「くらし機器設定」を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 「くらし機器一覧」を選び、［決定］ボタンを押した後、登録内容を確認する

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）でどんなことができるのですか？

- 本機のリモコンでデジタルビデオカメラやＣＡＴＶデジタルＳＴＢ、スカパー！プレミアムサービスＤＶＲなどの操作ができます。
- 本機のリモコン操作で、ディーガやシアターが連動して動作します。
  - 見ている番組をすぐ録画できます。
  - 本機のリモコンでディーガの録画予約ができます。
  - ディーガに再生専用ディスクを入れるだけで本機の電源が入り、自動再生を開始します。
- 本機のリモコンでシアターの音声に切り換えることができます。
- 本機の電源を切ると、ディーガやシアターも連動して電源が切れます。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）
ビエラリンクの機能に関するＱ＆Ａ集

ケーブルテレビを受信していますがビエラリンク（ＨＤＭＩ）の録画機能（見ている番組を録画）は使えますか？

- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢやホームターミナルを通じて、本機に接続して視聴されている場合は、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の録画機能（見ている番組を録画）は使えません。

ビエラリンクの機能に関するＱ＆Ａ集

スカパー！プレミアムサービスを受信していますがビエラリンク（ＨＤＭＩ）の録画機能（見ている番組を録画）は使えますか？

- スカパー！プレミアムサービスＤＶＲを通じて、本機に接続して視聴されている場合は、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の録画機能（見ている番組を録画）は使えません。

本機の番組表から録画予約をしましたが、番組表に予約アイコンが出ていません。

- 本機の番組表から録画予約すると、自動的に予約情報をディーガに送信します。
  この場合、録画予約の予約アイコンは、ディーガの予約一覧でご確認ください。
  （本機の番組表には予約アイコンは表示されません）

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）
ビエラリンクの機能に関するＱ＆Ａ集

ＷＯＷＯＷなどの有料番組を録画する方法はありますか？

- 契約されたＢ－ＣＡＳカードを、ディーガに挿入しておけば録画できます。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）
ビエラリンクの動作に関するＱ＆Ａ集

本機の複数のＨＤＭＩ端子に複数のディーガを接続した場合、ビエラリンクメニューから操作できるディーガはどれですか？

- 番号が小さいＨＤＭＩ端子に接続されたディーガを操作できます。

本機の複数のＨＤＭＩ端子に、ディーガとデジタルビデオカメラを接続したとき、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に連動して、どのＨＤＭＩ端子の入力に切り換わりますか？

- ＨＤＭＩ１端子にディーガを、ＨＤＭＩ２、3、または４端子にデジタルビデオカメラを接続してください。
  後から操作した機器に、入力が自動で切り換わります。
  - 一度入力が切り換わると、本機のリモコンで機器を操作できます。

ビエラリンクの動作に関するＱ＆Ａ集

ディーガでダビング中、本機のリモコンで電源を切った場合、本機に連動してディーガの電源も切れますか？

- ダビング中、ファイナライズ中、フォーマット中、プロテクト設定・解除処理中、消去処理中は、ディーガ本来の仕様として電源は切れません。

本機のオフタイマー使用時や無信号自動オフ機能などが動作した場合、ディーガの電源は連動して切れますか？

- 本機のオフタイマー、無信号自動オフ、無操作自動オフによって、本機の電源が切れたときは、ディーガの電源も連動して切れます。
  - ディーガがダビング中やファイナライズ中などの動作中は、連動して電源は切れません。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）が使える機器を見分ける方法はありませんか？

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応している機器には、下記のロゴマークが表示されています。

  VIERA Link

- 本機はビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５に対応しています。
  - ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５とは従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。

  ビエラリンクのバージョンを確認するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す

  2. 「ヘルプ」 → 「ＩＤ表示」を選び、［決定］ボタンを押す

  3. ビエラリンク（ＨＤＭＩ）バージョンを確認する
- 接続機器のビエラリンク（ＨＤＭＩ）への対応については、各機器の取扱説明書でご確認ください。

ＨＤＭＩケーブルは、どんなものが使えますか？

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に使用するＨＤＭＩケーブルは、当社製ＨＤＭＩケーブルを推奨します。
  - ＨＤＭＩケーブルについては、取扱説明書をご覧ください。
- ＨＤＭＩ規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）
ビエラリンクの接続や機器に関するＱ＆Ａ集

ＨＤＭＩ端子の付いたテレビやＤＶＤレコーダーなどを持っていますが、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）は使えますか？

- ＨＤＭＩ端子が付いていても、機器がビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応していないと使えません。

困ったときは／用語集

よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）

ビエラリンクの接続や機器に関するＱ＆Ａ集

本機にディーガとシアターを接続していますが、デジタルビデオカメラの音声を５．１ｃｈで再生したいときはどうすればいいですか？

- デジタルビデオカメラを本機のＨＤＭＩ２、３、または４端子に接続して、シアターと本機を光デジタルケーブル（別売品）で接続してください。
  また、デジタルビデオカメラの音声に、自動で切り換わらないことがあります。そのときは、シアターの入力をテレビに切り換えてください。
  - デジタルビデオカメラはビエラリンクＶｅｒ．２またはビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３以上対応の機種、シアターはビエラリンク対応の機種のみ対応。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Q＆A集）
アクトビラの機能に関するQ＆A集

アクトビラにはどのようなサービスがあるのですか？

- アクトビラは、リビングでちょっと知りたいような情報を家族一緒に楽しめるサービスです。
  おでかけ情報・レジャー・生活・ショッピング・ゲーム・占い・地域情報などです。

アクトビラに料金はかかりますか？

- アクトビラのご利用には料金はかかりません。ただし、一部有料のサービスもあります。また、光ファイバー（ＦＴＴＨ）などの回線使用料やプロバイダーとの契約・使用料は別途必要です。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）
アクトビラの機能に関するＱ＆Ａ集

アクトビラは一般のＷＥＢサイトとどう違うのですか？

- アクトビラは一般のＷＥＢサイトとは異なり、本機の機能を用いて操作・閲覧できるように構成され、リビングでの利用に配慮して運営されるサイトです。

アクトビラで使用する個人情報保護の方法は？

- インターネットで広く採用されている暗号化方式であるＳＳＬに対応しています。

ペアレンタルロック（視聴制限）のような機能はありますか？

- アクトビラの使用を制限する機能があります。
  設定するには「いろいろな機能を設定する」→「制限項目や暗証番号に関する設定をする」の「アプリの使用を制限する」をご覧ください。
- お子様などに見せたくないホームページやブログなどの表示を制限する、フィルタリング機能があります。
  制限項目を設定するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「制限項目設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 暗証番号を入力した後、設定したい項目を選び、設定する

表計算やワープロのソフトは使えるのですか？

- ご利用いただけません。

アクトビラにＰＰＰｏＥの機能はありますか？

- 本機にはありません。ルーターでＰＰＰｏＥの機能をお使いください。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）
アクトビラの機能に関するＱ＆Ａ集

デジタル放送のデータ放送とどう違うのですか？

- デジタル放送のデータ放送サービスは放送電波でデータが送られ、返信はブロードバンド環境を使用します。
  アクトビラは受信・送信ともにブロードバンド環境を使用します。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Q＆A集）
アクトビラの動作に関するQ＆A集

インターネットに接続できる環境であれば、どんな環境でも設置・接続ができますか？

- 光ファイバー（ＦＴＴＨ）、ＣＡＴＶなどのブロードバンド環境での使用に限ります。ただし、アクトビラの動画コンテンツを見るには、光ファイバー（ＦＴＴＨ）での接続が必要です。
  - ブロードバンドルーターの使用が許可されているかご確認ください。
- 最新情報については、以下のホームページでご覧になれます。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/actvila/ を開く。
  「アクトビラ○○○」→動作確認情報の「動作確認情報一覧」を選ぶ。

パソコンと同時に使えますか？

- パソコンを 2 台接続するのと同じことになりますので、ルーターなどで分配されていれば、お使いいただけます。
  - 接続については、➡ 取扱説明書をご覧ください。

アクトビラの動作に関するＱ＆Ａ集

アクトビラのコンテンツをパソコンで見ることはできますか？

- パソコンではアクトビラを見ることはできません。
  アクトビラを見るには、アクトビラに対応したテレビやディーガなどが必要です。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）
アクトビラの動作に関するＱ＆Ａ集

アクトビラの機能で一般のホームページを見ることはできますか？

- 見ることはできますがおすすめできません。
  テレビ向けに作成されていないので、文字が読みにくかったり、内容が表示できない場合や予期しない情報・有害情報を含む場合があります。

アクトビラの動画コンテンツは見られますか？

- 本機はアクトビラの動画コンテンツの視聴に対応しています。
- アクトビラの動画コンテンツの視聴は、光ファイバー（ＦＴＴＨ）の接続を推奨します。また、ＰＬＣや無線ＬＡＮを経由してインターネットに接続していると、映像が乱れる、途切れる、見えないなどの品質劣化が生じる場合があります。

アクトビラでＥメールは使えますか？

- インターネットのＥメール（電子メール）については、本機では使用できません。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Q＆A集）
アクトビラの動作に関するQ＆A集

一般のＷＥＢサイトを見ているとき、画面のスクロールは どうするのですか？

- リモコンのカーソルキー「▲、▼、◀、▶」で画面をスクロールさせます。ただし、パソコンのようななめらかなスクロールはできません。
  正しく表示されない場合もあります。

ストリーミングには対応していますか？

- アクトビラの動画コンテンツはストリーミング再生に対応しています。

ビエラリンクメニューに登録しているくらし機器の名称を変更したいのですが、どうすればいいですか？

- くらし機器側で設定できます。
  詳しくはくらし機器の取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
よくあるご質問（Q＆A集）
お部屋ジャンプリンクに関するQ＆A集

お部屋ジャンプリンクでどんなことができるのですか？

- 本機とお部屋ジャンプリンクに対応したディーガをＬＡＮで接続、設定すると、本機のリモコンで以下の操作ができます。
  - ディーガのハードディスクに録画予約
  - ディーガのハードディスクに記録された映像（アクトビラからダウンロードした番組を含む）や写真の再生（ディーガのハードディスクに保存された音楽の再生はできません）
  - ディーガで受信しているデジタル放送の視聴
- 使用するディーガによってできる操作が異なります。詳しくは以下のホームページをご覧ください。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/　を開き、「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。

お部屋ジャンプリンクに対応した機器はどのように接続するのですか？

- 有線（ＬＡＮケーブル）または無線ＬＡＮで機器を接続します。
  - 接続については、 取扱説明書をご覧ください。
- ネットワークを使用するための設定が必要です。
  ディーガ側での設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
  ネットワーク設定をするには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「ネットワーク設定」 → 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「かんたん設定」を選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従って設定する

困ったときは／用語集

よくあるご質問（Ｑ＆Ａ集）

お部屋ジャンプリンクに関するＱ＆Ａ集

お部屋ジャンプリンクに対応した機器には、何がありますか？

- 当社製のレコーダー（ディーガ）、テレビ（ビエラ）などがあります。
  詳しくは以下のホームページをご覧ください。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/　を開き、「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。

お部屋ジャンプリンクに関するQ＆A集

お部屋ジャンプリンク機能を使用するときは、ディーガの電源を「入」にしておく必要がありますか？

- ディーガの電源を「入」にしておく必要はありません。
  しかし、電源コードを電源コンセントに差し込んでおく必要があります。

ＡＡＣ（Advanced Audio Coding）

- 地上・ＢＳ・ＣＳデジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。
  「アドバンスト・オーディオ・コーディング」の略で、ＣＤ並みの音質データを
  約１/１２まで圧縮できます。
  また、５．１ｃｈのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

ａｃＴＶｉｌａ（アクトビラ）

- インターネットを通じて、便利で役立つテレビ向けの情報サービスを本機で受けることができます。
- アクトビラを使用するためには、ブロードバンド環境が必要になります。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。

ＡＲＣ（オーディオリターンチャンネル）

- 本機のＨＤＭＩ入力端子（ＡＲＣ対応）からシアターのＨＤＭＩ出力端子（ＡＲＣ対応）にデジタル音声信号を送る機能です。
  - 必ず、ＨＤＭＩ１または４端子（ＡＲＣ対応）に接続してください。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
- 「ＡＲＣ出力」を設定してください。
  設定するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「音声調整」→「ＡＲＣ出力」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 出力先の端子を選び、設定する
     「ＨＤＭＩ１」または「ＨＤＭＩ４」端子から選びます。

困ったときは／用語集
英字ではじまる機能や操作に関する用語集
「Ａ～Ｃ」ではじまる用語

ＡＶＣＨＤ形式

- Advanced Video Codec High Definition の略称で、高精細なハイビジョン映像をＳＤメモリーカードなどに記録する規格の１つです。
- 本機はこの規格で記録されたＳＤメモリーカードを再生できます。

Ｂ－ＣＡＳカード

- デジタル放送を視聴するには、付属のＢ－ＣＡＳカードを挿入してください。
  - Ｂ－ＣＡＳカードについては、取扱説明書をご覧ください。
- 「Ｂ－ＣＡＳカードテスト」でＢ－ＣＡＳカードが正常に動作するかを確認できます。
  確認するには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」 → 「設置設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「Ｂ－ＣＡＳカードテスト」を選び、［決定］ボタンを押す

困ったときは／用語集
英字ではじまる機能や操作に関する用語集
「Ａ～Ｃ」ではじまる用語

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ

- 本機と音声タッチパッドリモコンや３Ｄグラス（別売品）、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器との間で通信する規格です。
- ３Ｄの映像を見る場合、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ無線通信対応の当社製３Ｄグラスが必要です。
- ３Ｄグラスの操作については、３Ｄグラスの取扱説明書をご覧ください。

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ設定

- 本機へＢｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器をペアリング（登録）するメニューです。
- 本機はスピーカーなどのオーディオ機器には対応していません。

ＢＳデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite［ブロードキャスティング・サテライト］）を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
  ＢＳ日テレ、ＢＳ朝日、ＢＳ-ＴＢＳ、ＢＳジャパン、ＢＳフジ、放送大学などは無料放送を行っています。
  ＷＯＷＯＷ（ワウワウ）やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

ＣＡＴＶデジタルＳＴＢ

- 本説明書ではデジタルＣＡＴＶ（ケーブルテレビ）用の受信装置を
  ＣＡＴＶデジタルＳＴＢと呼んでいます。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３以上に対応のＣＡＴＶデジタルＳＴＢを本機に
  ＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続、設定すると、本機のリモコンで
  ＣＡＴＶデジタルＳＴＢを操作できます。

ＣＰＲＭ

- Content Protection for Recordable Mediaの略称です。
  デジタル放送には、原則として「１世代のみコピー可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号が加えられており、ＣＰＲＭに対応したデジタル録画機器と記録メディアとの組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。
  - ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。

困ったときは／用語集
英字ではじまる機能や操作に関する用語集
「D」ではじまる用語

Ｄ４映像入力端子

- 映像入力端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
- ＤＶＤプレーヤーなどの「Ｄ１～Ｄ４映像」のいずれかの出力端子と接続してください。
  - 接続については、 取扱説明書をご覧ください。
- ビデオデッキなどの「Ｙ、ＰＢ、ＰＲ」「Ｙ、ＣＢ、ＣＲ」「Ｙ、Ｂ-Ｙ、Ｒ-Ｙ」などの出力端子とはＤ端子ーピン映像コード（市販品）で接続できます。
- 対応している信号：480i、480p、720p、1080i
- 「Ｄ４映像」入力端子に接続するときは、ビデオ入力の音声入力端子にも同時に接続してください。

ＤＨＣＰ

- サーバーやブロードバンドルーターが、ＩＰアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DisplayPort

- デジタルテレビ向けインターフェース規格の１つです。本機のDisplayPort端子とDisplayPort対応機器（ＰＣなど）を１本のケーブルで接続することで、高品位な映像と音声を簡単に利用できます。

ＤＬＮＡ

- ＤＬＮＡ（Digital Living Network Alliance）は、家庭にあるオーディオ機器、パソコン、家電などをネットワークで接続して利用するために決められた仕様です。
- ＤＬＮＡに対応した製品や機能については、ＤＬＮＡのホームページを参照してください。
- 本機が対応するＤＬＮＡの機能は以下の通りです。
  - ＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）
  - ＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）
  - ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）
    本説明書ではお部屋ジャンプリンクサーバー機能といいます。
- 本機のＤＭＲ機能を使用する場合は、「ＴＶリモート設定」を設定してください。
- 本機のＤＭＳ機能（サーバー機能）を使用する場合は、「お部屋ジャンプリンク設定」を設定してください。

ＤＭＣ機能

- ＤＭＣ（デジタルメディアコントローラー）は、ＤＬＮＡで決められた機能の１つです。ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）機能に保存されているコンテンツを検索し、ＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信させます。配信されたコンテンツはＤＭＲ上で再生されます。
- 本機のＤＭＲ機能を利用する場合にＤＭＣとして使えることが確認済みの機器はWindows(R) 7、Windows(R) 8のパソコンです。（2014年３月現在）

ＤＭＰ機能

- ＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）は、ＤＬＮＡで決められた機能の１つです。
  ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）機能を持つ機器にあるコンテンツを検索して再生します。
- 本機のＤＭＰ機能を利用する場合、ＤＭＳ機能を持つ機器が「お部屋ジャンプリンク」画面に表示されます。

ＤＭＲ機能

- ＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能は、ＤＬＮＡで決められた機能の１つです。
  ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）に保存している映像や写真などのコンテンツを
  ＤＭＣ（デジタルメディアコントローラー）からの操作によって、ＤＭＲで再生します。
- 本機のＤＭＲ機能を使用する場合は、「ＴＶリモート設定」を設定してください。

ＤＭＳ機能

- ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）は、ＤＬＮＡで決められた機能の１つです。
  保存しているコンテンツをＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）機能や
  ＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信します。
- 本機のＤＭＳ機能（サーバー機能）を使用する場合は、「お部屋ジャンプリンク設定」を設定してください。

ＤＮＳ

- ドメイン名（XXX.co.jpなど）をＩＰアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。
  自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーから指定されたＤＮＳアドレスを「ＤＮＳ」に入力します。
  （例：111.112.xxx.xxx）
  - ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「ＤＮＳ１/ＤＮＳ２サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

ＤＶＤ

- ディスク片面１層で４．７ GBのデータを記録できる光ディスクの規格です。
- 本機に接続したＤＶＤプレーヤーなどの映像を見るには、［入力切換］ボタンを押して、画面を切り換えます。
  - 接続については、➡📖取扱説明書をご覧ください。
- パナソニックホームページの「つなぎ方ナビゲーション」でも詳しい説明がご覧になれます。（2014年３月現在）
  - http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/

Ｄ端子

- 「Ｄ４映像端子」を利用すると、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
- 「Ｄ１～Ｄ４映像」のいずれかの出力端子と接続してください。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。

ＥＣＯ（エコ）スタンバイ

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．４以上に対応の接続機器を本機とＨＤＭＩケーブルで接続、設定すると、本機の電源を「切」にしたときに、連動して接続機器の待機電力を最小モードに切り換える省エネ機能です。接続機器の設定も必要です。
接続機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
  - ＨＤＭＩケーブルについては、 取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
英字ではじまる機能や操作に関する用語集
「Ｅ～Ｉ」ではじまる用語

ＦＬＶ形式

- Ｆｌａｓｈ　Ｖｉｄｅｏ形式で作成された動画のファイルです。YouTubeなどのインターネット上で配信される動画共有サービスで採用されている主要な動画ファイル形式です。

ＨＤＣＰ

- High-bandwidth Digital Content Protection systemの略称です。
  デジタル放送などの映像コンテンツを入出力するときに、信号を暗号化して保護するデジタル著作権保護技術の１つで、ＨＤＭＩなどのデジタルインターフェースから出力するデジタル方式の映像コンテンツの信号を暗号化することによって、不正にコピーされるのを防止する機能です。
- ＨＤＣＰで保護された映像コンテンツは、映像再生機器とテレビなどの表示機器の両方がこの技術に対応した組み合わせにおいてのみ、視聴が可能です。

ＨＤＭＩ

- デジタルテレビ向けインターフェース規格の１つです。本機のＨＤＭＩ端子とＨＤＭＩ対応機器（ＤＶＤレコーダーやシアターなど）を１本のケーブルで接続することで、高品位な映像と音声を簡単に利用できます。
- ＤＶＩ－ＨＤＭＩ変換ケーブル（市販品）を使用してＤＶＩ対応機器と接続することもできます。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
- パナソニックホームページの「つなぎ方ナビゲーション」でも詳しい説明がご覧になれます。（2014年３月現在）
  - http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/

ＨＤオプティマイザー

- ＭＰＥＧ映像のブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部分に発生するちらつき（ノイズ）を低減させる機能です。

ＩＤ－１検出

● 映像信号に埋め込まれた画面サイズの情報を検出する仕組みです。
本機の場合、画面モードをズーム、フルに切り換えることが可能です。

ＩＰアドレス

- インターネットに接続するネットワーク機器を特定する番号です。
  家庭では、ブロードバンドルーターなどのＤＨＣＰ機能で自動的に割り当てるのが一般的です。
  （例：192.168.0.87）

ＩＰアドレス／ＤＮＳ設定

- アクトビラ、くらし機器などを使用するための設定をします。

ＩＰｖ６

- 本機でひかりＴＶを視聴するには、光回線（ＮＴＴ東日本またはＮＴＴ西日本のフレッツ回線）をご利用の上、ＩＰｖ６に対応した環境が必要です。
- ＩＰｖ６のＩＰアドレスやゲートウェイアドレスなどを確認する場合は、「ネットワーク状態」の「詳細情報」を選んで［決定］ボタンを押した後、［▼］ボタンを押します。

ＪＰＥＧ形式

● Joint Photographic Experts Groupの略称で、カラー静止画を圧縮、展開する規格の１つです。
デジタルカメラなどで保存形式としてＪＰＥＧを選ぶと、元のデータ容量の１／１０～１／１００に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

ＬＡＮ

- Local Area Network（ローカル・エリア・ネットワーク）の略称で、
  コンピューター・ネットワーク形式の１つです。
  一般家庭や企業のオフィスなどで用いられています。

ＭＡＣ（マック）アドレス

- ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、ハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

ＭＫＶ形式

- Ｍａｔｒｏｓｋａ　Ｖｉｄｅｏのファイル形式で作成された動画ファイルで、映像、音声、字幕などのデータを格納するためのフォーマットです。

ＭＰＥＧ２形式

- カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格の１つです。
  ＭＰＥＧ２はデジタル放送やＤＶＤなどに使われる圧縮方式です。
  本機のＳＤビデオ再生機能では、ＳＤカードムービーやＳＤビデオカメラなどで撮影したＭＰＥＧ２動画を再生することができます。

ＮＲ（ノイズリダクション）

- 映像のノイズ（ざらつき感）を低減します。

ＰＣＭ

- アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の１つです。
  「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略称で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

ＰＳ形式

● ＭＰＥＧ２プログラムストリーム形式のことで、ＤＶＤなどに動画を圧縮して記録する形式として採用されているファイル形式です。

ＳＤスピードクラス

- ＳＤメモリーカードへの連続的なデータ書き込みに関する速度規格です。

ＳＤビデオ再生

● 本機にＳＤメモリーカードを挿入することでＡＶＣＨＤ形式やＳＤ－Ｖｉｄｅｏ形式などで記録されたビデオ映像を再生することができます。

ＳＤ（ＳＤＨＣ、ＳＤＸＣ）メモリーカード

- 本機ではＳＤ規格に準拠した以下のカードを使用できます。（本説明書では、これらをＳＤメモリーカードと記載しています）
  - ＳＤメモリーカード（８ MB～２ GB）（※１）
  - ＳＤＨＣメモリーカード（４ GB～３２ GB）（※１）
  - ＳＤＸＣメモリーカード（４８ GB、６４ GB）（※１）
  - 最新情報は、http://panasonic.jp/support/tv/ 内の「品番別サポート情報」→品番選択の「ＴＨ-○○○」→動作確認情報の「ＳＤカード接続検証（ＳＤスロット）データ 」でご確認ください。（2014年３月現在）

  ※1 使用可能領域は表示の容量より少なくなります。
- ＦＡＴフォーマットされたＳＤメモリーカード、ＦＡＴ３２フォーマットされたＳＤＨＣメモリーカードが使用できます。
- exＦＡＴフォーマット（※２）されたＳＤＸＣメモリーカードが使用できます。

  ※2 ３２ GB以上のメモリーカードに対応したフォーマットです。
- miniＳＤメモリーカードやmicroＳＤメモリーカードを本機で使用する場合は、専用のアダプターに必ず装着してご使用ください。

ＳＤ－Ｖｉｄｅｏ形式

- ＳＤメモリーカード内の決められたフォルダに動画データを記録するための規格です。著作権保護技術のＣＰＲＭによるコピー制御機能によってデータを暗号化して記録していますので、不正なコピーを防ぐ機能も備えています。
- 本機はこの規格で記録されたＳＤメモリーカードを再生できます。

Ｓｋｙｐｅ

- Ｓｋｙｐｅは、本機の内蔵カメラでインターネットを通じてビデオ通話や音声通話を利用する電話サービスです。

ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶ

- インターネットを通じて、映画やアニメなどの動画を本機で購入し視聴することができます。
  （ご使用になるためには、ブロードバンド環境が必要になります）
- ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶは株式会社ＴＳＵＴＡＹＡ．ｃｏｍが運営・管理している動画販売サービスです。（2014年３月現在）本機でレンタル（ストリーミング）動画の視聴ができます。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。

ＴＳ形式

- ＭＰＥＧ２トランスポートストリーム形式のことで、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送をはじめとして、世界各国のデジタル放送規格の多くで送信形式の１つとして採用されている規格です。また、ブルーレイディスクなどハイビジョンテレビ放送を記録する形式の１つとしても採用されているファイル形式です。

ＴＶリモート

- ＴＶリモートは本機の操作ができるスマートフォンやタブレット端末などのテレビリモコンアプリです。スマートフォンやタブレット端末などにＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２を
インストールし、本機が接続されているホームネットワークに無線ＬＡＮで接続して、以下のようなことができます。
  - スマートフォンなどを本機のリモコンとして使うことができます。
（チャンネル選局・音量の調整・カーソル操作など）
  - スマートフォンなどに保存された動画（ビデオ）や画像（写真）、音楽などのコンテンツを本機に転送して視聴する、または本機に接続したＵＳＢハードディスクに保存することができます。
また、本機に転送したコンテンツを他のスマートフォンなどにダウンロードして共有することができます。
  - ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴中に、本機で４Ｋ映像コンテンツを再生すると、メッセージを表示してスマートフォンやタブレット端末などでの視聴を停止します。（外部入力からの４Ｋ映像は除く）
  - 本機で４Ｋ映像コンテンツ再生中は、ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴できません。（外部入力からの４Ｋ映像は除く）
  - 本機のお部屋ジャンプリンクサーバー機能を使って、ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内の動画（ビデオ）や画像（写真）、音楽、本機で受信している放送などをスマートフォンなどで視聴することができます。

  ※ 一部のスマートフォンではお楽しみいただけない場合もあります。
- ＴＶリモートの機能や操作などについては、以下のホームページでご覧になれます。
（2014年３月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。
テレビお客様サポートの「アプリ情報」から、ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２の情報を参照する。
（ お使いの端末に合わせて、ＡｎｄｒｏｉｄアプリまたはｉＯＳアプリをお選びください。）

ＵＲＬ（Uniform Resource Locator）

- インターネット上の所在場所にアクセスするための文字列。
  （例： http://panasonic.jp/）

ＵＳＢ機器

- ＵＳＢハードディスクなど、本機のＵＳＢ端子に接続して録画や再生に利用する機器です。

ＵＳＢ端子

- 本機に対応する機器を接続できます。本機で動作確認済みのＵＳＢ機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。
  「動作確認情報」→『液晶テレビ（ビエラ）』→『「ＴＨ－○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。
- ＵＳＢ端子に機器を接続したり、ＵＳＢ端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にし、電源ランプが消えたことを確認してから行ってください。
  - ＵＳＢ機器の接続と取り外しについては、取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
英字ではじまる機能や操作に関する用語集
「Ｕ～Ｚ」ではじまる用語

ＵＳＢハードディスク（ＵＳＢ　ＨＤＤ）

- 本機のＵＳＢ３（録画用）端子にＵＳＢハードディスクを接続すると、ハイビジョン放送を高画質のまま録画・再生できます。
  - 容量が１６０ GB以上のＵＳＢハードディスクを録画・再生用にご使用いただけます。
  - ＵＳＢハードディスクに録画できるのは、地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送です。
- 本機で動作確認済みのＵＳＢ機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2014年３月現在）
  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。
  「動作確認情報」→『液晶テレビ（ビエラ）』→『「ＴＨ－〇〇〇」の接続検証』から、機器を選ぶ。

ＶＩＥＲＡ　Ｌｉｎｋ（ＨＤＭＩ）

- 本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。
  - すべての操作ができるものではありません。
  - ＨＤＭＩケーブルについては、取扱説明書をご覧ください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）は、ＨＤＭＩ ＣＥＣ（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のＨＤＭＩによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。
  他社製ＨＤＭＩ ＣＥＣ対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５に対応しています。
  ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

Ｗｅｂブラウザ

- 本機ではＷｅｂブラウザを使ってＷｅｂページを閲覧できます。以下の手順でＷｅｂブラウザを起動してください。
  1. ［アプリ］ボタンを押してアプリ一覧画面を表示する
  2. 「Ｗｅｂブラウザ」を選び、［決定］ボタンを押す

ＷＰＳ

- Wi-Fi Protected Setupの略称で、Ｗｉ－ＦｉアライアンスがDNS認証する無線ＬＡＮで簡単にアクセスポイントへの接続を設定するための規格です。
  本機では２通りの方式に対応しています。
  - ＷＰＳ（プッシュボタン）方式
    アクセスポイントのボタンを押すと設定できます。
  - ＷＰＳ（ＰＩＮコード）方式
    本機に表示されたＰＩＮコードをアクセスポイントに設定します。

アクセスポイントのボタンやＰＩＮコードの設定についてはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

Wスピード

- 液晶パネルの性質上、動きの速いシーンでは映像の表示が追いつかず、ぼやけて見える場合があります。
  「Wスピード」は、映像の表示コマ数を２倍にして動きの速いシーンをよりきれいに見せる機能です。

YouTube

- YouTubeはYouTube社が運営・管理している動画共有サービスです。（2014年３月現在）
  本機はYouTubeにアップロードされている動画を表示することができます。
- ご利用になるには、事前にネットワークへの接続と設定が必要です。
  - 接続については、➡📖取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク設定をするには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「ネットワーク設定」 → 「ネットワーク接続」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「かんたん設定」を選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従って設定する
- ［アプリ］ボタンを押し、「YouTube」を選んで決定するとYouTubeの入り口が表示されます。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の登録商標です。

1080i／1080p

- 1080iは、デジタルハイビジョン映像の１つで、１１２５本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。
  １１２５本の走査線で画面を表示するため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像となります。
- 1080pは、デジタルハイビジョン映像の１つで、１１２５本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。
  インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

１１０度ＣＳデジタル放送

● 通信衛星（Communications Satellite［コミュニケーションズ・サテライト］）を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。
ほとんどの放送は有料です。
● １１０度ＣＳデジタル放送の放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。「スカパー！」にはＣＳ１とＣＳ２の２つの放送サービスがあります。
- お問い合わせ先については、取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
数字ではじまる機能や操作に関する用語集
「１～２」ではじまる用語

１回だけ録画可能

- デジタル放送には「１世代のみコピー可能」、「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号が加えられており、ＣＰＲＭに対応したデジタル録画機器と記録メディアとの組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）

２Ｄ映像

- 従来の平面的な映像です。本機では、３Ｄグラスを装着せずに視聴できるほか、３Ｄ変換し、３Ｄグラスを装着することによって、３Ｄ映像のような立体的な表示を楽しむことができます。
- 紛失、故障などで３Ｄグラスが使えないときや、一時的に３Ｄグラスの使用を中止するときに、３Ｄ映像を２Ｄに表示させて見ることができます。

困ったときは／用語集
数字ではじまる機能や操作に関する用語集
「１～２」ではじまる用語

2160p

４Ｋ映像の１つで、有効走査線数２１６０本を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。
デジタルハイビジョン映像の解像度（ＦＨＤ：1920×1080）の横縦それぞれ２倍（3840×2160）、面積比で４倍の画素数で超高精細な映像となります。

2 画面

● デジタル放送などを 2 画面で表示します。

２画面時に「イヤホンから音を出す」

- ２画面でご覧になるときに、ヘッドホン／イヤホン接続端子から出力する音声（左画面・右画面）を設定します。

２画面時に「スピーカーから音を出す」

- ２画面でご覧になるときに、スピーカーから出力する音声（左画面・右画面）を設定します。

2画面で探す

- ［2画面］ボタンを押して、今の時間帯で放送されている番組を2画面で探すことができます。

困ったときは／用語集
数字ではじまる機能や操作に関する用語集
「３～７」ではじまる用語

３Ｄ映像

- 当社製の３Ｄグラス（別売品）を装着すると立体的に見ることができる映像です。本機では以下の映像信号を３Ｄ映像として見ることができます。（2014年３月現在）
  - フレームシーケンシャル
  - サイドバイサイド
  - トップアンドボトム

  ※ 入力信号については、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。
- ３Ｄグラスの電源を入れたときにインジケータランプが５回点滅する場合、３Ｄグラスの電池残量が少なくなっています。
  - 充電式の３Ｄグラスの場合は、充電することをおすすめします。
  - 電池式の３Ｄグラスの場合は、電池を交換することをおすすめします。
- ３Ｄグラスの電源を入れてもインジケータランプが点灯しない場合、３Ｄグラスの電池残量がありません。
  - 充電式の３Ｄグラスの場合は、充電してください。
  - 電池式の３Ｄグラスの場合は、電池を交換してください。
- ３Ｄグラスについては、３Ｄグラスの取扱説明書をご覧ください。
- ４Ｋ映像は３Ｄで表示できません。また、４Ｋ映像は２Ｄから３Ｄに変換できません。

３Ｄ切換

● ［３Ｄ］ボタンを押すと「３Ｄ切換」画面が表示されます。
「３Ｄ切換」画面の操作で適切な３Ｄの表示（または２Ｄの表示）に切り換えられない場合は、［青］ボタンを押し、「３Ｄ切換（マニュアル）」画面から手動で方式を設定できます。

３Ｄ変換

３Ｄに対応しない映像を、本機で擬似的に３Ｄに変換して表示することができます。

困ったときは／用語集
数字ではじまる機能や操作に関する用語集
「３～７」ではじまる用語

３ＧＰＰ形式

- 携帯電話などで扱われる動画のファイル形式として採用されているファイル形式です。

３桁チャンネル番号

- デジタル技術により、１つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。
  例えば、ある放送には物理チャンネルの２５ｃｈを使って「１０１」～「１０３」の３つの放送を提供します。
  この「１０１」「１０２」「１０３」を３桁チャンネル番号と呼びます。
  このうち、下位１桁が「１」の放送が、その放送局の代表チャンネル（この場合「１０１」）と呼ばれます。

３桁入力選局

- デジタル放送では、３桁チャンネル番号を入力して選局することができます。

３次元Ｙ／Ｃ分離

- 受信した映像信号をＹ（輝度信号）とＣ（色信号）に正確に分離することで、色のにじみが少なく高画質な映像で見ることができます。
- ビデオデッキなどの再生映像が不自然に見える場合は、「３次元Ｙ／Ｃ分離」を「オフ」に設定すると改善する場合があります。

困ったときは／用語集
数字ではじまる機能や操作に関する用語集
「３～７」ではじまる用語

４Ｋ映像

横縦の解像度が約4000×2000ピクセル前後の高解像度の映像のことです。
本機でDisplayPort端子やＨＤＭＩ４端子に接続した場合に視聴可能な４Ｋ映像の入力信号は以下の通りです。

- ４Ｋ ＵＨＤ：3840×2160（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
- ＤＣＩ ４Ｋ：4096×2160（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）

480i／480p

- 480iは、５２５本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。
- 480pは、５２５本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。
  インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

720p

● デジタルハイビジョン映像の１つで、７５０本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。
インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

アイコン

- 本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 表示例

テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
１６：９ 1080i	番組の映像信号情報 上：画像の横縦比（１６：９、４：３） 下：信号方式（480i、480p、720p、1080iなど）

明るさオート

- 周囲の明るさに応じて、画面を見やすい明るさに調整する機能です。

アクセスポイント

- 無線ＬＡＮによってネットワーク機器を接続するときに、電波を中継する親機です。接続方式や無線方式などの規格が本機と適合するものをご使用ください。

アクトビラ

- インターネットを通じて、便利で役立つテレビ向けの情報サービスを本機で受けることができます。
  （アクトビラを使用するためには、ブロードバンド環境が必要になります）
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。

アプリ一覧

- 番組表、予約一覧、メディアプレーヤー、インターネットサービスなどをアプリと呼びます。本機では［アプリ］ボタンを押すことでアプリを一覧表示し、選んで楽しむことができます。

暗証番号

- 視聴可能年齢の制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。

困ったときは／用語集
あ行ではじまる機能や操作に関する用語集
「あ」ではじまる用語

アンテナ線

- テレビを見るにはアンテナ線の接続が必要です。
  接続をする場合は、紙の説明書をお読みになり、必ずテレビの電源を切ってから始めてください。
  - パナソニックホームページの「つなぎ方ナビゲーション」でも詳しい説明がご覧になれます。（2014年３月現在）
    http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/
  - 接続については、 ➡ 取扱説明書をご覧ください。

アンテナ電源

- 衛星放送をご自宅などの個別アンテナで受信される場合、衛星アンテナへの電源供給が必要です。
  - 接続と設定については、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。

アンテナレベル

- アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。
  表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
  アンテナレベルは天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。
  またアンテナシステムの条件などによって、変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
  - 受信可能なアンテナレベル（目安）
    地上デジタル　４４以上
    衛星　５０以上
  - アンテナレベルについては、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。

今すぐ見る

- 番組表や検索結果などから、現在放送中の番組を選び［決定］ボタンを押すと、その番組を視聴できます。

イヤホン

- 本機に接続可能なイヤホンはM３プラグですので、ご購入時に必ず確認してください。
  - 本機のヘッドホン／イヤホン接続端子については、➡📖取扱説明書をご覧ください。
- 本機にイヤホンを接続しているとき、スピーカーからも音声を出す設定ができます。
- ２画面時は左画面の音声が出ます。
  「サブメニュー」→「イヤホンから音を出す」を「右画面」に設定中は、右画面の音声が出ます。

映像モード

- 番組や映像ソフトなどに合わせて、見やすい画質が選べます。

エコナビ

- 視聴環境に応じて、本機の画面の明るさや画質を自動調整したり、接続している機器を制御して、消費電力を低減します。
  - エコナビ動作時の消費電力については、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。

枝番選局

- 枝番とは、地上デジタル放送で同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。
  例：「０１１－０」「０１１－１」「０１１－２」

オーディオ機器

- デジタル音声入力（光）端子のあるＰＣＭまたはＡＡＣ対応で
サンプリングレートコンバーターを内蔵したＭＤやシアターなどのオーディオ機器を接続できます。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。

オートチャプター

- ＵＳＢハードディスクに録画されたデジタル放送の番組には自動的にチャプターマークを作成することができます。
  チャプターマークが付いた番組の再生中や一時停止中に［スキップ］ボタンを押すと作成されたマークの場面に飛び越し操作ができます。
- チャプターマークを作成する、しない設定ができます。
- 録画する番組によっては、正しく作成されない場合があります。

お好みページ

- アクトビラでホームページを閲覧中、今見ているホームページを「お好みページ」に登録すると、次回からは簡単に呼び出せます。
  - お好みページについては、取扱説明書をご覧ください。

追っかけ再生

- 「録画一覧」画面で録画中の番組を選び決定すると、番組の先頭から再生できます。
  ただし、再生している映像に影響がでる場合があります。

困ったときは／用語集
あ行ではじまる機能や操作に関する用語集
「お」ではじまる用語（１／２）

オフタイマー

- タイマーで自動的に電源を切ることができます。

困ったときは／用語集
あ行ではじまる機能や操作に関する用語集
「お」ではじまる用語（１／２）

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）

- 本機とお部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）に対応したディーガをＬＡＮで接続・設定すると、本機のリモコンで以下の操作ができます。
  - ディーガのハードディスクに録画予約
  - ディーガのハードディスクに記録された映像（アクトビラからダウンロードした番組を含む）や写真の再生
（ディーガのハードディスクに保存された音楽の再生はできません）
  - ディーガで受信しているデジタル放送の視聴
- ディーガの設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

お部屋ジャンプリンクサーバー機能

- お部屋ジャンプリンクサーバー機能は、ＤＬＮＡのＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）機能に相当します。保存している録画番組を、ＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）機能やＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信します。
- 本機のお部屋ジャンプリンクサーバー機能を使用する場合は、「お部屋ジャンプリンク設定」を設定してください。

音声ガイドの設定

- チャンネル選局時の番組情報や設定状況などを音声で読み上げたり、リモコン操作時の確認音で、本機操作を手助けする設定をします。

音声切換

- 複数の音声がある放送のときに音声を切り換えることができます。
- 切り換えることができる音声の種類と数は番組により異なります。

音声コマンド

- 音声で本機を操作したり、インターネットを利用して検索などを行う場合に、マイクに向かって発話する言葉です。
- 発話する言葉がわからないときは、マイクアイコン表示中に、
  ［ （サブメニュー）］ボタンを押すと、音声コマンドが表示できます。
  - マイクアイコンをもう一度表示したい場合は、［ （音声操作）］ボタンを押してください。

音声操作

- 音声タッチパッドリモコンのマイクを使って、発話した言葉を認識し、以下のような操作をすることができます。
  - チャンネルや音量を操作する
  - インターネットに接続して検索する
  - 登録したホーム画面に切り換える※１　など
- スマートフォンなどを本機のリモコンとして設定して、音声で操作することもできます。（本機でＴＶリモートの設定が必要です※２）

※1 内蔵カメラの顔認識機能や音声タッチパッドリモコンのマイクで声認識機能を利用します。

※2 設定については「ネットワーク」→「ネットワークを利用するための接続設定をする」の「ＴＶリモートの設定をする」をご覧ください。

困ったときは／用語集
あ行ではじまる機能や操作に関する用語集
「お」ではじまる用語（２／２）

音声タッチパッドリモコン

- 本機に付属の音声タッチパッドリモコンで音声操作機能を使って本機の操作をしたり、インターネットなどの画面操作が簡単にできます。
- 音声タッチパッドリモコンで操作するには、音声タッチパッドリモコンを本機にペアリング（登録）する必要があります。
- 音声タッチパッドリモコンの［電源］ボタンは、テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください。
- 操作をしなくても、タッチパッド部分に触れていると電池が消耗しますのでご注意ください。

音声モード

- 番組や映像ソフトなどに合わせて、聴きやすい音声が選べます。

オンタイマー

- タイマーで自動的に電源を入れることができます。

顔認識機能

- 本機の内蔵カメラを使って、登録した顔画像を認識する機能です。この機能を利用して、ホーム画面を切り換えることができます。

画面の設定

- 映像をお好みに合わせて見やすくします。

画面モード

- デジタル放送などの４：３の映像（480i、480p）を、１６：９の画面に拡大表示する種類が選べます。
- ハイビジョン映像で両端に映像のない帯部分があるとき、帯部分を削除（サイドカット）して１６：９の画面に拡大表示できます。

かんたん設置設定

- ご購入後初めて電源を入れたときや、引っ越しなどで設定をやり直すときは、かんたん設置設定を行ってください。
  - かんたん設置設定については、取扱説明書をご覧ください。

関連情報

- 番組内容画面や広告詳細画面の「関連情報」を選んで決定すると、地上デジタル放送局やＢＳデジタル放送局から送られてきたデータ（番組に関連した情報）に基づいて、番組を検索できます。

キーワードで探す

- 本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組の検索ができます。
  キーワードで探すこともできます。

きらめき効果

- ２Ｄ映像のとき、きらめき感を強調し、透明感や光り輝く質感を表示する機能です。
  - ３Ｄ映像のときは設定できません。

クイックスタート

- リモコンで電源「切」の状態から「入」にして映像が表示されるまでの時間を短縮する設定ができます。
（１日以上本機を使用しなかったときは、通常の出画時間となります）

くらし機器設定

- くらし機器を使用するための設定をします。

くらし機器通知

- くらし機器通知機能に対応のネットワーク機器を接続、設定（登録）すると、くらし機器（当社製テレビドアホン（別売品）や当社製センサーカメラ（別売品））などからの通知や画像を本機でご覧になれます。
  - くらし機器については、➡ 取扱説明書をご覧ください。

クリアフォント

- ２Ｄ映像のとき、輪郭が崩れたような文字をくっきり滑らかな文字にする機能です。
  - ３Ｄ映像のときは設定できません。

ゲートウェイアドレス

- インターネットへのアクセスで経由すべき機器のＩＰアドレスです。
  通常はブロードバンドルーターのＩＰアドレスをいいます。
  （例：192.168.0.1）

ケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）

- ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
- さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。
- 詳しくはケーブルテレビ会社に相談ください。

ケーブルテレビを見る

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３以上に対応したＣＡＴＶデジタルＳＴＢをＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続、設定しているとビエラリンクメニューに表示されます。
  本機のリモコンでＣＡＴＶデジタルＳＴＢを操作するときに選んで［決定］ボタンを押してください。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
か行ではじまる機能や操作に関する用語集
「こ」ではじまる用語

個人情報リセット

- 本機の廃棄を目的に、お客様が操作した情報をすべて消去します。
- 本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報（アクトビラ有料サービスの購入情報やメール、データ放送のポイントなど）が、すべて消去されます。
- 本機で録画・再生に使用したＵＳＢハードディスクの登録情報も削除されるため、ＵＳＢハードディスクの録画番組は再生できなくなります。
- 「制限項目設定」で設定した暗証番号は消去されません。「制限項目設定」の「暗証番号削除」で消去してください。
- 本操作後は、本体の電源「切」にしてください。（電源ランプが消えることを確認してください）

コーデック

- 音声や動画を圧縮／伸長する信号処理のことです。

こまめにオフ

- 本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器で視聴や操作しない機器の電源を自動で「切」にする省エネ機能の設定です。
  - ＨＤＭＩケーブルについては、取扱説明書をご覧ください。

再生機器

- 再生機器の接続については、➡ 📖 取扱説明書をご覧ください。

サイドカット

- ハイビジョン映像で両端に映像のない帯部分があるとき、帯部分を削除して１６：９の画面に拡大表示できます。

サイドバイサイド

- 本機で見ることができる３Ｄ映像の方式です。
- 日本ＢＳ放送（ＢＳ１１デジタル）などで採用されています。（2014年３月現在）

サブネットマスク

● ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器の
ＩＰアドレスを絞り込むための数字です。
（例：255.255.255.0）

困ったときは／用語集
さ行ではじまる機能や操作に関する用語集
「さ」ではじまる用語

サブメニュー

- テレビ放送を見ているときや、アクトビラを使用中に、［サブメニュー］ボタンを押すと、今の画面に関連する機能を呼び出すことができます。

左右入換

- ２画面のとき、左右の画面を入れ換えます。

シアター

- 本機と接続して、音声信号を増幅する機器です。
  ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応したシアター（ラックシアターやサウンドセットなど）を本機とＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続、設定すると、本機のリモコンでシアターの機能を操作できます。

市外局番入力

- 本機をご使用になる地域に合わせた地上デジタル放送の番組データを受信するために入力します。
- 「市外局番入力」は、「かんたん設置設定」を実行すると、入力画面が表示されます。
  - かんたん設置設定については、➡ 取扱説明書をご覧ください。

時間指定予約

- 本機が持つ番組の予約方法の１つです。時間指定予約では、あらかじめ予約したい番組の日時を指定して予約できます。

字幕の設定

- デジタル放送の字幕や文字スーパーがある場合に表示させる設定です。

写真一覧

- 写真表示方法の１つで、ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器の写真をまとめて表示して見ることができます。
- ＪＰＥＧ形式や３Ｄ対応ルミックスで撮影した３Ｄ写真を見ることができます。
  - プログレッシブＪＰＥＧ形式、ＪＰＥＧ２０００形式には対応しておりません。

写真再生

- ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器の全フォルダ内を探し、本機で表示可能な写真を表示します。
- ＪＰＥＧ形式や３Ｄ対応ルミックスで撮影した３Ｄ写真を見ることができます。
  - プログレッシブＪＰＥＧ形式、ＪＰＥＧ２０００形式には対応しておりません。

ジャンル別に探す

- 本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組の検索ができます。
  映画やスポーツなどのジャンル別に探すことができます。

受信対象設定

● リモコンの放送切換ボタンを誤って押したとき、視聴しないテレビ放送（ＢＳデジタル／１１０度ＣＳデジタル）に切り換わらないように設定できます。

順送り選局

● ［チャンネル］ボタンでチャンネルを順送りに選局します。

消音

- 急な電話やご来客時などに、［消音］ボタンを押すとテレビの音を消します。

シングル表示

- 写真表示方法の１つで、ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器の写真を１枚ずつ見ることができます。

人名で探す

- 本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組の検索ができます。番組に出演している人名から探すことができます。

垂直位置／サイズ

● 画面モードを切り換えた後、さらに詳細な調整をしたいときに設定します。

水平表示領域

- 画面モードを切り換えた後、さらに詳細な調整をしたいときに設定します。

スカパー！プレミアムサービス

- スカパーＪＳＡＴ株式会社が行っている、有料衛星多チャンネル放送の１つです。標準画質のチャンネルに加えてハイビジョン画質のチャンネルを視聴できます。
- 受信するには、スカパー！プレミアムサービスＤＶＲが必要です。
- 詳しくはスカパー！プレミアムサービスのホームページなどでご確認ください。

スカパー！プレミアムサービスＤＶＲ

- 本説明書ではスカパー！プレミアムサービス用の受信装置を
スカパー！プレミアムサービスＤＶＲと呼んでいます。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５以上に対応のスカパー！プレミアムサービスＤＶＲ
を本機にＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続、設定すると、本機のリモコンで
スカパー！プレミアムサービスＤＶＲを操作できます。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集

さ行ではじまる機能や操作に関する用語集

「す」ではじまる用語

スカパー！プレミアムサービスを見る

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５以上に対応した
  スカパー！プレミアムサービスＤＶＲをＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続、設定しているとビエラリンクメニューに表示されます。
  本機のリモコンでスカパー！プレミアムサービスＤＶＲを操作するときに選んで［決定］ボタンを押してください。

スキップ設定

● ［入力切換］ボタンを押したとき、接続のないＨＤＭＩ入力やビデオ入力などの外部入力を飛ばす（スキップさせる）設定ができます。

ストリーム

- DisplayPort接続時に入力される１組の信号（映像と音声）のことです。
- 本機では、複数組の信号が入力された場合、自動的に最適化して表示したり、１組の信号のみを表示することができます。
    - 本機に入力された信号の表示方法を選択するには
      ［入力切換］ボタンを押してDisplayPort入力に切り換えてください。
      1. ［メニュー］ボタンを押す
      2. 「機器設定」→「DisplayPort設定」を選び、［決定］ボタンを押す
      3. 「ストリーム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
      4. 出力方法を選び、設定する

スライドショー

- 写真表示方法の１つで、ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器の写真を連続して見ることができます。

制限項目設定

- 視聴可能年齢の制限を設定できます。
  - 制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。
  - 年齢制限を超える番組は番組表などで「…」と表示されます。
- 「フィルタリング設定」を設定できます。

困ったときは／用語集
さ行ではじまる機能や操作に関する用語集
「せ」ではじまる用語

静止

- デジタル放送の視聴中に［静止］ボタンを押すと、画面を静止することができます。

接続コード

- ＤＶＤレコーダーやビデオデッキなどの外部機器を本機に接続するには、必要に応じて市販の接続コードをお求めください。
  - 接続については、 取扱説明書をご覧ください。

節電視聴

- 画面表示を暗くすることにより、本機の消費電力を削減します。

選局対象

- デジタル放送のとき、順送りで選局できるチャンネルを設定します。

その他の設定（予約設定）

- 予約設定および時間指定予約のさらに詳細な設定をしたいときに設定します。

困ったときは／用語集
た行ではじまる機能や操作に関する用語集
「た」ではじまる用語

タイトル表示

- チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどを表示させる設定です。

タイマー予約

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応したディーガの録画予約設定（タイマー予約）を本機から行います。

ダウンロード予約

- デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。
- 放送ダウンロードの方法は「自動」「手動」から選びます。

  放送ダウンロードの方法を設定するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「機器設定」→「システム設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「放送ダウンロード予約 」を選び、設定する
- 最新のソフトウェアがある場合、本機に自動的に通知するか、設定できます。

タッチパッドリモコン設定

- 音声タッチパッドリモコンを本機にペアリング（登録）したり、タップ機能の「オン（有効）」「オフ（無効）」、カーソル速度を設定するメニューです。

困ったときは／用語集
た行ではじまる機能や操作に関する用語集
「た」ではじまる用語

ダビング

- 本機のＵＳＢ３（録画用）端子に接続して録画したＵＳＢハードディスクの録画番組を、ＬＡＮで接続したディーガなどにダビングすることができます。
  - ディーガなどダビング対応機器の設定や登録については、各対応機器の取扱説明書をご覧ください。

困ったときは／用語集
た行ではじまる機能や操作に関する用語集
「た」ではじまる用語

ダビング１０

- 「個数制限コピー可能」の信号とともにハードディスクに録画された番組は、ほかのデジタル録画機器へ最大１０回ダビングすることができます。
  １０回目のダビングを行うとハードディスクから番組が消去されます。
  ダビングされたＤＶＤなどから、ほかのデジタル録画機器への再コピーはできません。
- 「個数制限コピー可能」のコピー制御信号は、地上・ＢＳ・ＣＳデジタル放送で利用されています。

ダビング履歴

- 本機のＵＳＢ３（録画用）端子に接続したＵＳＢハードディスクから、ＬＡＮ接続のダビング対応ディーガなどにダビングした履歴を確認できます。

地域設定

- 番組表を使うために必要な設定です。
- Ｇガイド地域設定と地域設定は、「かんたん設置設定」を実行すると自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。

困ったときは／用語集
た行ではじまる機能や操作に関する用語集
「ち」ではじまる用語

地上デジタル放送

- ＵＨＦ帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
- お問い合わせ先（2014年３月現在）
  - 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
    0570－07－0101（ナビダイヤル）
    （IP電話などでつながらない場合は、03－4334－1111）
    受付時間：平日…9:00～18:00、土日・祝日…9:00～18:00
  - 社団法人デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

チャプター一覧

- ＵＳＢハードディスクの「録画一覧」画面を表示中、またはＵＳＢハードディスクの録画番組を再生中に［緑］ボタンを押すと、「チャプター一覧」画面を表示します。
- 「チャプター一覧」画面で見たいシーンのチャプター静止画像を選んで、決定すると、その場面から再生が始まります。

困ったときは／用語集
た行ではじまる機能や操作に関する用語集
「ち」ではじまる用語

チャンネル一覧表（地上デジタル／物理チャンネル）

- 地上デジタル放送は、かんたん設置設定や初期スキャンで選択した地域によって放送局が設定されます。
- 地上デジタルの放送は、ＵＨＦの電波を使って行われています。
  この電波は放送局ごとに割り当てられており（１３～６２ｃｈ）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。
- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表や物理チャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。（2014年３月現在）
  - http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html　を開く。
    テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶ 同意する」→品番選択の「ＴＨ-〇〇〇」→ 取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

チャンネル設定（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

- 地上デジタル放送の受信状況が変わったときに、チャンネル設定（初期スキャンや再スキャンなど）をしてください。
- 衛星デジタル放送（ＢＳ、ＣＳ１、ＣＳ２）は工場出荷時に設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。
- よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンに登録すると便利です。

注目番組

- 放送局からの情報を基にＧガイドが提供する番組情報を表示します。
- 番組情報から番組の詳細内容を見たり、予約などができます。
- 最大１年先までの番組情報を表示します。
- 実際の運用は、Ｇガイドが提供する番組情報に基づきます。

通信によるGガイド受信

- インターネットを利用して番組データを取得するための設定です。
  設定すると、本機の電源を「入」にしたとき、自動的に最新の番組データを取得します。
  - インターネット［アクトビラ］の画面に切り換える必要はありません。

ディーガの操作

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応したディーガを本機にＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続、設定すると、本機のリモコンから操作できます。

困ったときは／用語集
た行ではじまる機能や操作に関する用語集
「て」ではじまる用語

ディモーラ

- 外出先のパソコンなどから、本機のＵＳＢハードディスクに録画予約や録画番組の削除などの操作ができます。ご利用になるには、パソコンなどから、下記ホームページで会員登録を行ってください。
  http://dimora.jp/
- 会員登録をするには、本機をインターネットに接続する必要があります。
- サービスを利用するには、下記のように本機で設定を行った後、ディモーラのホームページで会員登録を行ってください。
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 「ネットワーク設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 「ディモーラの設定」を選び、［決定］ボタンを押す
  4. 「ディモーラ機能」を選んで［決定］ボタンを押し、「入」に設定する
  5. 「機器ＩＤ確認」で機器ＩＤを確認する（ディモーラのホームページで機器ＩＤなどを入力する必要があります）
  6. ［元の画面］ボタンを押して「ディモーラの設定」画面を閉じる
  7. ディモーラのホームページで機器ＩＤなどを入力し、会員登録をする

データ放送

- デジタル放送のサービスの１つにデータ放送があります。
  お住まいの地域の生活情報や番組関連情報、クイズ、天気予報、ニュースなどの放送です。
- デジタル放送を見ているときに、画面に表示される説明に従い操作すると、いろいろな情報を見ることができます。
  番組表からの選局やチャンネル選局でご覧いただけるデータ放送では［データ］ボタンの操作は不要です。

デジタル音声出力

- デジタル音声出力（光）端子を持ち、ＰＣＭまたはＡＡＣ対応で
  サンプリングレートコンバーターを内蔵したＭＤやシアターなどのオーディオ機器が接続できます。

デジタルシネマリアリティ

- 毎秒２４コマで撮影された映画の映像を、原画に忠実に映す機能です。

デジタルビデオカメラ

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応した当社製デジタルビデオカメラを本機にＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続、設定すると、本機のリモコンから操作できます。

時計表示

- 放送中の番組と外部入力の映像を表示しているとき、画面左下に時刻を表示できます。

トップアンドボトム

- 本機で見ることができる３Ｄ映像の方式です。

困ったときは／用語集
た行ではじまる機能や操作に関する用語集
「と」ではじまる用語

ドルビーデジタル（Ｄｏｌｂｙ　Ｄｉｇｉｔａｌ）

- ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。
  ステレオ音声だけではなく、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よく圧縮できます。

二重音声

- デジタル放送のとき、２カ国語放送など二重音声の番組が放送されることがあります。
- ［音声切換］ボタンを押して、現在の音声を表示したり切り換えることができます。

困ったときは／用語集
な行ではじまる機能や操作に関する用語集
「に」ではじまる用語

入力切換

- ディーガ・ＤＶＤなど、本機に接続した機器の映像を見るときに、［入力切換］ボタンを押して、画面を切り換えます。

ネットで使い方ガイド

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の接続機器や記録されたＳＤメモリーカードから機器の品番情報などを取得し、それに基づいてインターネットから機器の使いかたなどのお役立ち情報がご覧になれます。
  - ご覧になれる情報は当社製の機器に限ります。
  - すべての関連商品が対象ではありません。
- ご覧になるには、ブロードバンド環境が必要です。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
- ［メニュー］ボタンを押し、「ヘルプ」→「ネットで使い方ガイド」を選んで［決定］ボタンを押すとご覧になれます。
  （2014年３月現在）

困ったときは／用語集
な行ではじまる機能や操作に関する用語集
「ね」ではじまる用語

ネットワーク接続

- 本機に接続したネットワーク機器の利用を可能にするために、画面の表示内容に従って設定します。

ネットワークリモコン

- スマートフォンなどを本機でリモコンとして使えるよう、設定できます。
- スマートフォンなどの機器をネットワークリモコンとして使用するには、機器側での設定も必要になる場合があります。

番組内容

- 番組を見ているときに［番組表］ボタンを押し、決定すると番組の内容を見ることができます。

番組表

- 本機の画面上に、新聞のテレビ欄のように番組を一覧表示します。画面上で番組を選ぶとその番組を見たり、録画予約などをすることができます。
  - 本機の番組表はＧガイドを使用しています。

番組表設定

- 番組表を使うために必要な設定です。
- Ｇガイド地域設定と地域設定は、「かんたん設置設定」を実行すると自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。

番組連動おまかせエコ

- 比較的音量変化の少ない番組（ドラマ、バラエティ、ニュースなど）の視聴時に、シアターが自動的に消費電力を抑える機能です。
2010年以降の当社製シアターの対応機種とＨＤＭＩ接続する場合に利用できます。

困ったときは／用語集
は行ではじまる機能や操作に関する用語集
「は」ではじまる用語

番組を探す

- 本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組の検索ができます。
キーワードやジャンル、人名などで番組を探すことができます。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）

- 本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。
  - すべての操作ができるものではありません。
  - ＨＤＭＩケーブルについては、 取扱説明書をご覧ください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）は、ＨＤＭＩ ＣＥＣ（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のＨＤＭＩによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。
  他社製ＨＤＭＩ ＣＥＣ対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５に対応しています。
  ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

ひかりＴＶ

- 光回線（ＮＴＴ東日本またはＮＴＴ西日本のフレッツ回線）をご利用の場合に、多チャンネル放送やビデオなどを有料で視聴できます。
- ご利用になるには、ひかりＴＶへのお申し込みが必要です。
  サービス内容やお申し込み方法については、ひかりＴＶのホームページなどでご確認ください。
- 事前に「ひかりＴＶ設定」が必要です。
- ［アプリ］ボタンを押し、「ひかりＴＶ」を選んで決定するとひかりＴＶの画面が表示されます。以下の項目を選べます。
  - ホーム：
    ひかりＴＶのホーム画面が表示されます。
  - テレビ：
    ひかりＴＶで配信されている、テレビ番組を視聴できます。
- ひかりＴＶの視聴を終了するときは、［元の画面］ボタンを押します。

ビデオ一覧

- 本機に接続したＵＳＢ機器やＳＤメモリーカード、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器などに保存しているビデオ映像を再生することができます。
- 本機で再生できるビデオ映像はＳＤ－Ｖｉｄｅｏ規格Ｖｅｒ．１．３１（Entertainment Profile形式）で記録されたファイルやＡＶＣＨＤ規格に対応したファイル、当社製デジタルビデオカメラなどで記録したＭＰ４形式のファイル、当社製３Ｄ対応デジタルビデオカメラで撮影した３Ｄ映像、音声フォーマットはＭＰＥＧ１／Ｌａｙｅｒ２形式またはドルビーデジタル形式です。

ビデオ入力端子

- ビデオデッキなどの映像と音声の出力端子に接続します。
  - 接続については、 取扱説明書をご覧ください。

ビデオ入力表示書換

- 入力端子に接続した機器に合わせて［入力切換］ボタンを押したときの表示を変えることができます。

フォーマット

- 録画に使用するＵＳＢハードディスクは、本機に登録する必要があります。登録するとき、フォーマットが実行されますので画面に表示される内容に従ってください。
- フォーマットすると、記録内容はすべて消去され元に戻すことができません。すべて消去してよいか確認してから行ってください。

物理チャンネル

- 地上デジタル放送は、ＵＨＦの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（１３～６２ｃｈ）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

ブルーレイディスク

- ディスク片面１層で２５ GBのデータを記録できる光ディスクの規格です。
- 本機に接続したＢＤプレーヤーなどの映像を見るには、［入力切換］ボタンを押して、画面を切り換えます。
  - 接続については、取扱説明書をご覧ください。
- パナソニックホームページの「つなぎ方ナビゲーション」でも詳しい説明がご覧になれます。（2014年３月現在）
  - http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/

フレームシーケンシャル

- 本機で見ることができる３Ｄ映像の方式です。
- ＢＤビデオに収録されている３Ｄ映像などに用いられている形式です。

ブロードバンドルーター

● 光回線やＡＤＳＬなどの高速インターネット接続回線を、本機やパソコンなどで共有するために使うネットワーク機器です。

困ったときは／用語集
は行ではじまる機能や操作に関する用語集
「ふ」ではじまる用語

プロキシ

- 本機の代わりに目的のサーバーにアクセスし、本機にデータを送る中継サーバーのことです。
  プロバイダーからプロキシサーバーのアドレスを指定された場合のみ設定が必要です。
- プロキシサーバー設定でプロキシを設定して、インターネットを利用できるようにします。

プロバイダー

● ケーブルや電話回線に接続した機器をインターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

ペアリング（登録）

- 本機にＢｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を登録することをペアリングといいます。
- 本機でＢｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を使うには、ペアリング（登録）が必要です。
- 本機はスピーカーなどのオーディオ機器には対応していません。

ヘッドホン

- 本機に接続可能なヘッドホンはM３プラグですので、ご購入時に必ず確認してください。
  - 本機のヘッドホン／イヤホン接続端子については、取扱説明書をご覧ください。
- 本機にヘッドホンを接続しているとき、スピーカーからも音声を出す設定ができます。
- ２画面時は左画面の音声が出ます。
  「サブメニュー」→「イヤホンから音を出す」を「右画面」に設定中は、右画面の音声が出ます。

放送切換

- 本機は、地上デジタル放送／ＢＳデジタル放送／１１０度ＣＳデジタル放送の受信が可能です。
  チャンネルを選ぶときは、まず放送切換ボタンを押して、見たい放送を選んでから選局します。
- 使わない放送切換ボタンの操作をできないように設定できます。

放送メール

- 放送メールとは、デジタル放送の放送局や本機からのお知らせや情報をお伝えする機能です。
  インターネットのメールではありません。

マイ ホーム

- テレビ放送やメディアプレーヤー、インターネット、データサービスなどを選んで楽しむことができます。
  いくつかのホーム画面から選ぶことができ、それぞれのホーム画面ではテレビ画面以外のアプリを並べ替えたり、入れ替えたりすることもできます。
- 詳しくはホーム画面の「使いかたガイド」を選び、［決定］ボタンを押すことで表示されるガイドをご覧ください。

（表示例）

まとめ番組

- ＵＳＢハードディスクに録画した複数の録画番組をまとめて、１つの番組のように消去、およびプロテクト設定変更ができます。
  - 「毎週予約設定」を「毎日」や「毎週（火）」などに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、「録画一覧」画面でまとめ番組として表示します。
  - ＵＳＢハードディスクの「録画一覧」画面で、［サブメニュー］ボタンを押して、まとめ番組の作成や解除などの操作ができます。

マルチビュー放送

- 1 つの番組に複数の映像のある放送です。
（2014年 3 月現在では行われておりません）

マルチショット３Ｄ

- 同じ被写体を左右にずらして撮影した２枚の写真を右目用、左目用に指定して、３Ｄの写真を作成し、保存することができます。

右画面操作

- 2画面のとき、右画面のチャンネルを変えたり外部入力の映像に切り換えたいときは、［▶］ボタンを押して、「 」表示中に操作します。

ミモーラ

- 録画一覧画面を表示中に［赤］ボタンを押すと、録画した番組の中から見たいシーンや見どころを一覧表示します。
  - シーン／見どころ一覧から再生するには、下記ホームページで会員登録が必要です。
    http://r.me-mora.jp/
  - シーン／見どころ一覧を見るには、本機をインターネットに接続してください。

見るだけ予約

- テレビを見ているときに、予約時刻になると、「見るだけ予約」で予約した番組に切り換わります。（アクトビラ、ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶ、ネットで使い方ガイドを表示中は予約番組には切り換わりません）
- 番組内容画面の「見るだけ予約」を選んで設定します。

無信号自動オフ

- 無信号の状態で約１０分間本機の操作をしないとき、自動的に電源を切る機能です。
- メッセージなどを表示中は電源が「切」にならない場合があります。

無線ＬＡＮ

- 本機とアクセスポイントを設定することにより、無線ＬＡＮでネットワークに接続することができます。

困ったときは／用語集
ま行ではじまる機能や操作に関する用語集
「む」ではじまる用語

無線親機設定

本機を無線親機に設定することで、宅内の各機器（無線子機）と接続できます。

- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がなくても本機の近くに設置した無線ＬＡＮ対応のディーガやスマートフォンなどと接続し、お部屋ジャンプリンクやくらし機器の機能を使うことができます。
  また、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器と接続して、コンテンツ（写真やビデオ映像、音楽）を共有することができます。
- お客様の環境によっては、無線が届きにくい場合など、無線アクセスポイントの設置が必要となることがあります。
  ※ 無線ブロードバンドルーターを利用したインターネット環境がある場合には、本機とルーターを無線ＬＡＮ接続することを推奨します。
  ※ 本機を無線親機に設定すると本機はインターネットに接続できません。

無操作自動オフ

- 約 4 時間以上、本機の操作をしないときに、自動的に電源を切る機能です。

困ったときは／用語集
ま行ではじまる機能や操作に関する用語集
「め」ではじまる用語

メディアプレーヤー

- 写真やビデオなどの異なるコンテンツを、同じような操作でご覧いただくための再生機能です。
- ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器、ファイル共有機能に対応したネットワーク機器などに保存しているコンテンツも同じ操作で再生できます。

困ったときは／用語集
ま行ではじまる機能や操作に関する用語集
「も」ではじまる用語

もっとＴＶ

- もっとＴＶサービスは、テレビ番組などの映像を、放送局が公式に、インターネットを通じて提供するサービスです。
- ご利用条件やコンテンツ内容の不明点は、株式会社電通が運営するもっとＴＶ
  ホームページよりお問い合わせください。（2014年３月現在）
  もっとＴＶホームページ　http://www.mottotv.jp/
- 「もっとＴＶ」は株式会社電通の商標または登録商標です。

郵便番号

- 本機をご使用になる地域のデータ放送を受信するために郵便番号を入力して地域を登録します。
- 「郵便番号入力」は、「かんたん設置設定」を実行すると、入力画面が表示されます。
  - かんたん設置設定については、取扱説明書をご覧ください。

予約一覧

- 予約した番組は「予約一覧」画面で確認できます。
  この画面から予約の変更や削除ができます。

困ったときは／用語集
や行ではじまる機能や操作に関する用語集
「よ」ではじまる用語

予約変更／予約削除

- 予約した番組は「予約一覧」画面で確認できます。
  この画面から予約の変更や削除ができます。

ラジオ放送

- デジタル放送のサービスの１つにラジオ放送があります。
  ラジオ放送では、音声を主として静止画なども放送します。
- 本機では、ラジオ放送は録画できません。

困ったときは／用語集
ら行ではじまる機能や操作に関する用語集
「り」ではじまる用語

リマスター超解像

- 見た目の解像度を上げ、鮮明な映像にする機能です。

リモコンモード

- リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぎたいときに設定します。
  モード１とモード２があり、テレビ本体側とリモコン側の設定を同じにする必要があります。

困ったときは／用語集
ら行ではじまる機能や操作に関する用語集
「ろ」ではじまる用語

録画一覧

- ＵＳＢハードディスクに録画されたデジタル放送の番組を一覧で表示します。
- 「録画一覧」画面から番組の再生操作や番組の消去／プロテクト設定などの操作ができます。
  また、［サブメニュー］ボタンで表示される内容の操作ができます。

録画予約

- 本機は、番組表や検索結果などから録画予約ができます。